保証とアフターサービス （必ずお読みください）

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

補修用性能部品の保有期間

- カラーテレビの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後８年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

東芝家電製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談、ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答などで販売店に修理のご相談が出来ない場合

『東芝家電修理ご相談センター』 フリーダイヤル 0120 — 1048 — 41 ※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

修理をご依頼されるときは～出張修理

- 218ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は ▼

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ
形名	35P2700
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているとき ▼

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

便利メモ	
お買い上げ店名	TEL（　　）　－

長年ご使用のカラーテレビの点検をぜひ!!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶

● ご使用中止 ●

このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。

廃棄時にご注意ねがいます

2001年４月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

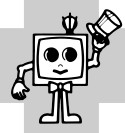
新製品などの商品選び、お取り扱い、お手入れ方法などのご相談

『東芝家電ご相談センター』 フリーダイヤル 0120 — 1048 — 86
携帯電話・PHSからのご利用は （03）3426 — 1048
FAX（03）3425 — 2101（365日・8:00～20:00受付）

※電話受付：365日・24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。

http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

※詳しくは、８ページの「安全上のご注意」をご覧ください。

株式会社 東芝
映像ネットワーク事業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目１番地８号 東芝万世橋ビル
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

愛情点検

Ⓣ 23552091

東芝BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ取扱説明書　35P2700

TOSHIBA

（BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵）

東芝BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ取扱説明書

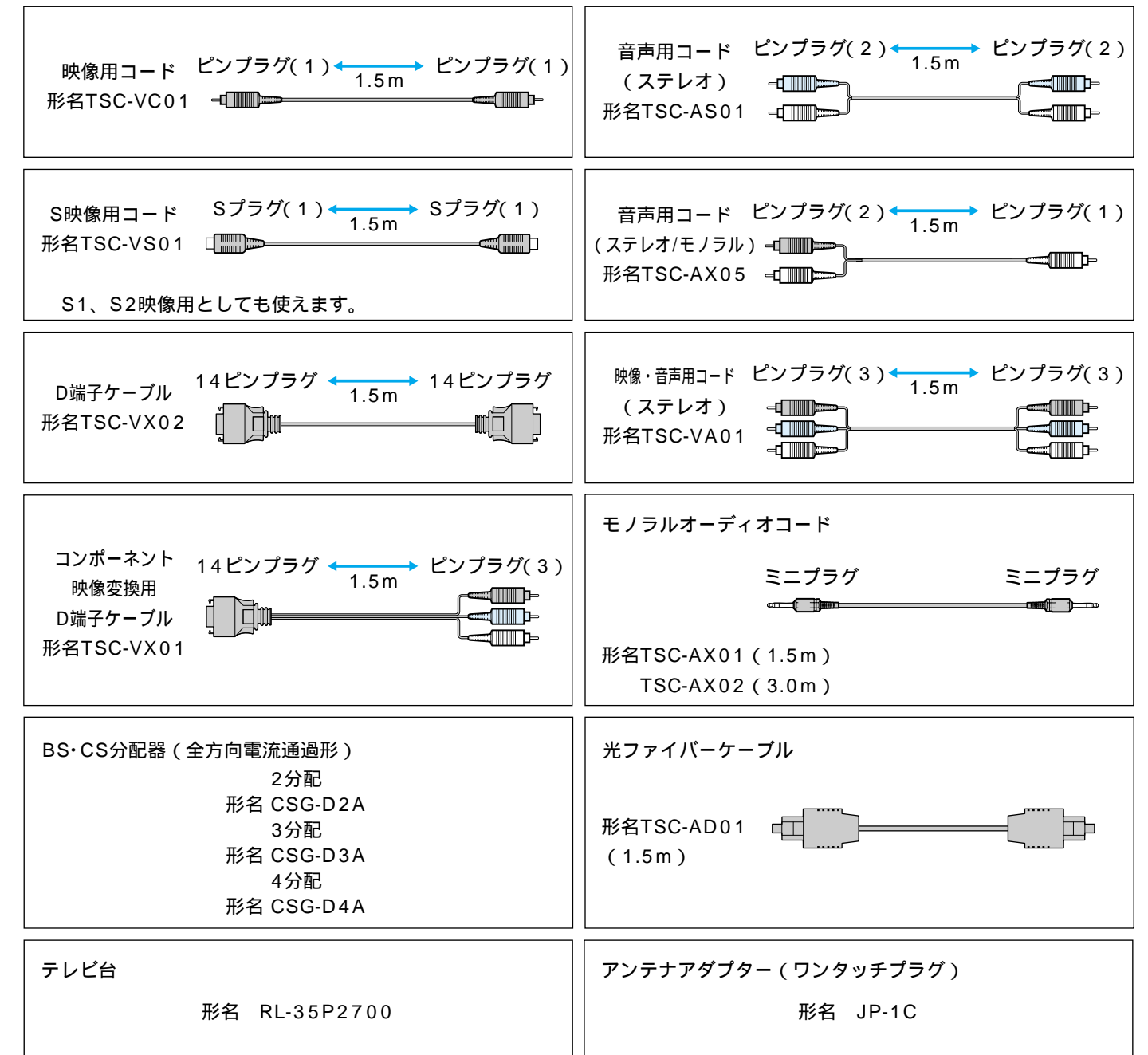
形名 35P2700

Digital FACE

● このたびは東芝BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのテレビを正しく使っていただくため、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつも手元に置いてご使用ください。
● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。

もくじ

別売り品

● 別売りアクセサリーは、システムアップの組み合わせによってお選びください。
● ここにあげたアクセサリーは一部です。詳しくは東芝総合カタログまたは、販売店にご相談ください。

B-CAS カード ID 番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
・お問い合わせの際に役立ちます。

その他

もくじ

第3章
パソコンをモニターするときの設定

第4章
他の機器をつないで楽しむ

第5章
設置/最初の設定

第6章 その他

本機の特長

35型BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

デジタル放送をハイクオリティピクチャーで！

- BS・110度CSデジタル放送用アンテナのご使用によって、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。
- 新開発の「高性能映像プロセッシングLSI」によって、高精細なデジタルハイビジョン映像でお楽しみいただけます。
- 525i、525pなどにも対応、デジタルプロセッシング処理で高画質を実現しました。

デジタルならではのリアルサウンド！

- 重低音バズーカの採用で、体で感じるダイナミックな重低音を響かせます。
- TruSurroundの採用によって、映画などでより自然な臨場感をお楽しみいただけます。(→90ページ)

カンタン操作、簡単選局！

- 番組表やお気に入り、番組チェック、ジャンル検索などで、デジタル放送をカンタン操作で選局できます。(→30、33、36、37ページ)
- 付属のビデオコントロールケーブルとテレビ画面に表示される番組表を使えば、デジタル放送番組の録画予約もカンタンに行うことができます。(→58ページ)
- デジタルスマートリモコンと多彩なグラフィック画面表示で、楽しく操作できます。
- 本機とオンキヨー製AVアンプを接続することによって、本機に付属のリモコンでAVアンプを操作することができます。(→131ページ)

期待が高まるデータ放送に対応

- デジタル放送のデータ放送に対応。(→44ページ)

スマートメディアTM、SDメモリカード、i.LINK(アイリンク)など、デジタルメディアに対応

- デジタルカメラで撮影し、スマートメディアTMやSDメモリカードに記録した画像をテレビ画面でご覧になれます。(→54、56ページ)
- D-VHSビデオをi.LINK接続すれば、デジタル放送番組の録画予約がカンタンに行えます。 (→58ページ)

デジタルならではの高画質化機能を搭載

- デジタルプログレッシブ (→87ページ)
- ゴーストリダクション(→179ページ)
- デジタル３次元Ｙ／Ｃ分離回路

パソコン接続対応

- XGAをリアルに表示

- 地上波のデジタル放送は受信できません。

第１章 ご使用の前に

安全上のご注意

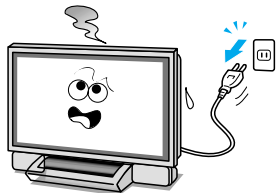
商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷[＊1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[＊2]を負うことが想定されるか、または物的損害[＊3]の発生が想定されること”を示します。

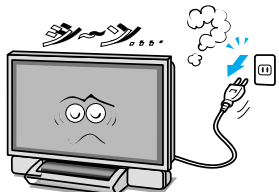
＊1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
⚠ 高圧注意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 左の図は高圧注意の例を示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け

■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

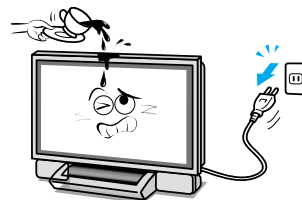
そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

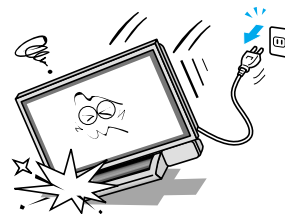
プラグを抜け

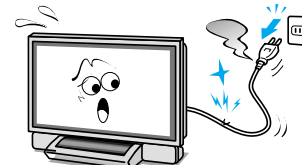
⚠警告

異常や故障のとき つづき

■ **内部に水や異物が入ったらすぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ **電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、主電源スイッチを切り、電源プラグが冷えたことを確認しコンセントから抜くこと**

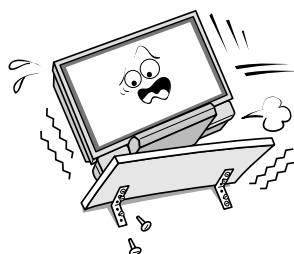
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置されるとき

■ **屋外や浴室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと**

火災・感電の原因となります。

■ **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと**

モニターが落ちて、けがの原因となります。
前面が重いので水平で安定したところに据え付けてください。

- テレビ台をご使用の場合は、カタログに記載されたテレビ台のご使用をおすすめします。ご使用のテレビ台によっては倒れたり破損してけがの原因となります。詳しくはテレビ台の取扱説明書をお読みください。

■ **振動のある場所に置かないこと**

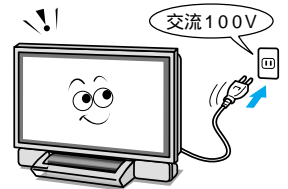
振動でモニターが移動・転倒し、けがの原因となります。

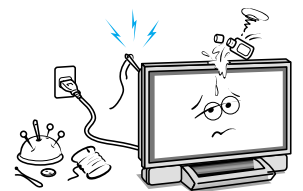
安全上のご注意 つづき

⚠警告

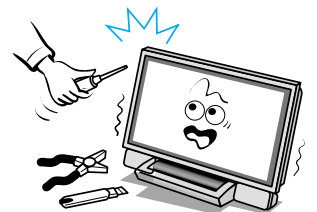
設置されるとき つづき

■電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込むこと

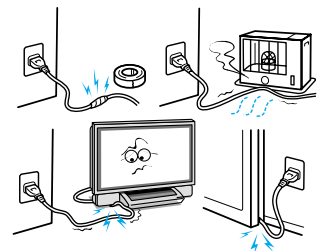
- 交流 100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと発熱によって火災の原因となります。
- AC アウトレットは、モニター専用です。ドライヤーや電熱機具などモニター以外の電気機器は絶対に接続しないでください。

■上に物を置かないこと

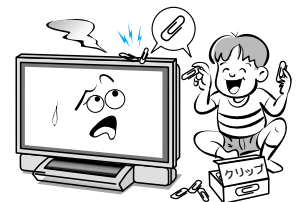
- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ご使用になるとき

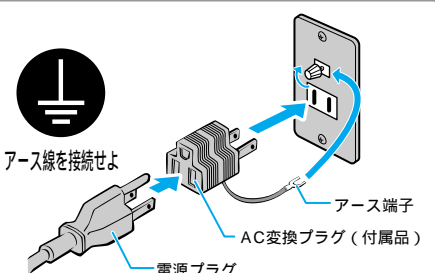
■修理・改造・分解はしないこと

内部には電圧の高い部分があり感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■電源コードは、

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重い物を載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

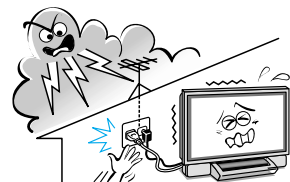
火災・感電の原因となります。

■異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■アース線を必ず接地すること（変換プラグを使用する場合）

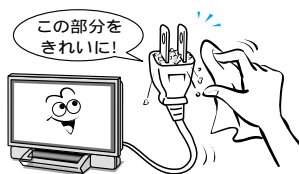
壁のコンセントが 2 芯専用の場合は、必ずアース工事を行ってから、付属の変換プラグを使用しアース接続してください。
このときアース線を電源コンセントに差し込まないでください。
感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者にご依頼ください。

⚠警告

ご使用になるとき　つづき

■雷が鳴りだしたら、モニター・電源コード・アンテナ線・電話機コードに触れないこと

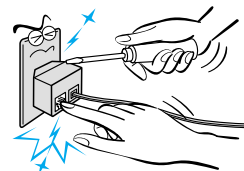
感電の原因となります。

お手入れについて

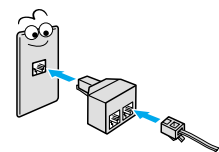
■電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

⚠注意

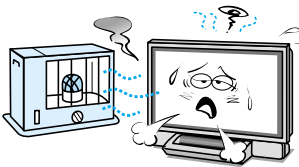
電話線切換器を使うとき

■モジュラー分配器、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしないこと

電話回線には直流電圧がかかっており、ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因になることがあります。

■正しく接続すること

正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

設置されるとき

■温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱や感電の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形、ブラウン管の変色・破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと発熱や感電の原因となることがあります。

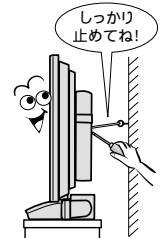
安全上のご注意 つづき

⚠注意

設置されるとき つづき

■転倒防止の処置を行なうこと

転倒防止の処置を行なわないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

●転倒防止のしかたは 148 ページをご覧ください。

■通風孔をふさがないこと

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

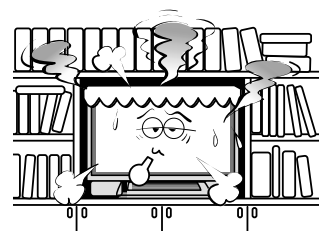
●壁に押しつけないでください。（10cm 以上の間隔をあける）

●押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。

●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

●じゅうたんや布団の上に置かないでください。

●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁　止

■移動したり持ち運ぶ場合は、

●離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器間との接続線および電話機コードや転倒防止を外すこと

外さないまま移動すると電源コードが傷つき火災・感電や、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

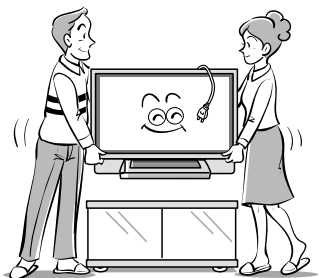
●持ち運びは 2 人以上で立てた状態で行うこと

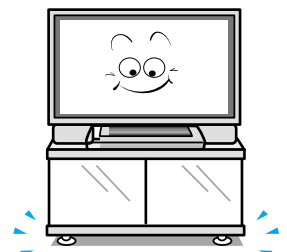
●表示パネル面を上向きまたは下向きにして運ばないこと

●車（キャスター）付きのテレビ台ごと移動させるときは、テレビ台の受け皿を取り除いてモニターを支えながらテレビ台を押すこと

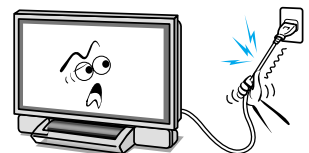
モニターを支えながら、テレビ台を押さないと、モニターが落下してけがの原因となることがあります。

●本体を動かすときはスピーカー部ではなくディスプレイ部の下側を持って持ち上げてください。

指　示

■車（キャスター）付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定すること

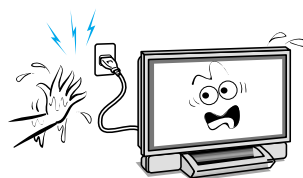
固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかい物の上に置くときは、キャスターを外してください。
詳しくはお買い求めになられたテレビ台の取扱説明書をお読みください。

ご使用になるとき

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

⚠注意

ご使用になるとき つづき

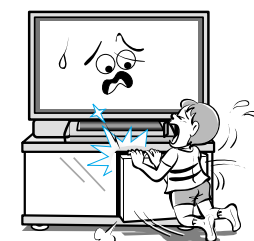
■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

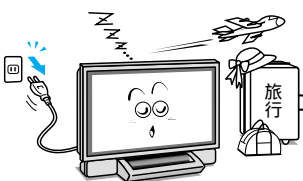
感電の原因となることがあります。

■ モニターやテレビ台にぶら下ったり上に乗ったりしないこと

落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

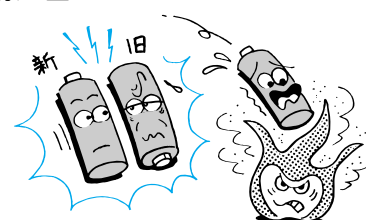
■ テレビ台をご使用のときは

- **モニター前面部をはみ出したり、片寄った載せかたをしないこと**
- **テレビ台のトビラを開けたままにしないこと**

倒れたり、破損したり、また指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
（電源プラグを抜いている間は、ソフトウェアの自動ダウンロードなどは、はたらきません。）

■ リモコンに使用している乾電池は

- **指定以外の電池は使用しないこと**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

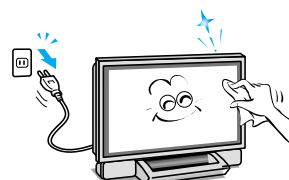
守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

お手入れについて

■ お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行うこと

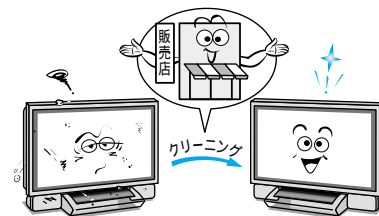
感電の原因となることがあります。

- お手入れのしかたは 149 ページをご覧ください。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

お手入れについて つづき

■年に一度くらいは内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください

ほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

免責事項について

■地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

■取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

お願い

画面の焼き付きについて

- プラズマディスプレイモニターの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けると、部分的に消えない残像（焼き付き）が発生します。これは、蓄積効果によって輝度劣化が生じるためです。この焼き付きを避けるために、一定時間同じ画面を表示することや、ノーマルモードでのご使用は極力行わないでください。焼き付きが発生した場合は、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼き付きのレベルが軽いときは、しだいに目立たなくなる場合があります。しかし、一度発生した焼き付きは、完全には消えません。特に固定表示を煩雑に使用される場合は、輝度を落とし、画面のスクロールや表示文字の反転（背景画面と表示画面の反転）を行うことや、スーパーライブやフルモードでのご使用をおすすめします。（→42、98、115ページ）

ノーマルモードでのご注意

- ノーマルモードの表示部と非表示部（映像のない部分）は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。従って、なるべく次のように調整することをお奨めします。

1. 映像のコントラストと明るさを弱める。（→83、102、113ページ）
2. ロングライフモードの設定を行う。（→98、115～118ページ）

ただし、調整しても焼き付きを起こす時間が若干のびるだけで、焼き付きを抑えることはできません。できる限りスーパーライブやフルモードでご使用ください。

点欠陥について

- プラズマディスプレイモニターは微細な画素の集合で表示しています。そのため、99.99%以上の有効画素を実現していますが、ごく一部に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがありますので、あらかじめご了承ください。

赤外線について

- プラズマディスプレイモニターは、原理上赤外線を放射しております。赤外線フィルターなど赤外線放射対策をしていますが、使用状態によっては周囲の赤外線機器に影響を与えることがあります。このときはプラズマモニターの光が入らないように機器の受光部を設定してください。

電波妨害について

- 機器は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器を本機に近付けると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のない所まで本機から離してください。

デジタル放送(BSデジタル、110度CSデジタル)について

- デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することにより、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルなテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載して放送されています。
- デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができますので（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式)、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに5.1チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

- デジタル化でハイビジョン放送が多チャンネルになります。
- デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送（従来のBS放送と同じレベルの画質）
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インタレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インタレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

- また、デジタルハイビジョン放送１番組と通常放送3番組を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。

※本機は750pの信号を受信したときは1125iに変換して映します。

■解像度制限のある信号をご覧になる際のご注意

デジタルハイビジョン放送で解像度制限されている信号の場合には、解像度の低い状態で表示されます。
その場合は、表示ボタンを押した時にアイコンHDが表示されます。また、そのときにはデータ放送が表示されない場合があります。
（アイコン表示については、39、217ページをご覧ください。）

ラジオ放送の特長

- 音声放送に加えて、静止画や動画を使ったデータ付の放送もあります。

データ放送の特長

- テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の2種類があります。
- 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使い方がお楽しみいただけます。
- 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がお楽しみいただけます。

■ BSデジタル放送の一覧（2002年9月現在）

放送の種類	テレビ放送	ラジオ放送		独立データ放送	
チャンネル	100番台、200番台（101〜209）	300番台、400番台（300〜499）		600番台、700番台、800番台、900番台（600〜999）	
チャンネル名	NHK BS1	BSC300(マーケット・チャンネル)	BS日テレラジオ(ch445衛星版ラジオ日本)	St.GIGA(セント・ギガ)	NDBデータ
	NHK BS2	BSC301(カルチャー・チャンネル)	BSAラジオ455	NHK	BS955
	NHK BShi(デジタルハイビジョン)	BS BIRD(Blooming 316)	BSAラジオ456	BS日テレデータ	Tivi!963
	BS日テレ(日本テレビ系)	BS BIRD(WORLD TOUR STATION)	BS-i RADIO 461	BS朝日データ	ch999
	BS朝日(テレビ朝日系)	BS BIRD(B&M 318)	BS-i RADIO 462	BS-i (CH766)	−
	BS-i (TBS系)	BS BIRD(OPERA MY SEAT)	BSJ 471	777DATA	−
	BSジャパン(テレビ東京系)	JFN320	BSJ 472	BSフジ780	−
	BSフジ(フジテレビ系)	JFN321	LFX488	WOWOW navi	−
	デジタルWOWOW	JFN322	BSQR489	スター・チャンネル データ800	−
	スター・チャンネルBS	JFN323	WOWOW wave 1	メガポート	−
	−	St.GIGA(セント・ギガ)	WOWOW wave 2	WNI910ch.	−
	−	BS日テレラジオ(ch444ヒーリングステーション)	−	Digicas(デジキャス)	−

■ 110度CSデジタル放送の一覧（2002年9月現在）

プラットワン

放送の種類	テレビ放送	ラジオ放送「サウンドテリア」		データ放送	
チャンネル	000番台 （000～099）	700番台 （700～799）		000番台 （000～099）	900番台 （900～999）
チャンネル名	プラットワン・プロモチャンネル	サウンドスケープテリア	ビートルズ・サウンドテリア	データカレッジ	おー当たりch
	G＋　SPORTS&NEWS	ヒーリングテリア	J-POPクラシックステリア	CS日本（ポータル）★	お！宝ch
	NNN24	ライトクラシックテリア	J-POPベストヒッツテリア	ep（蓄積チャンネル）※	CS教育テレビ
	電波少年的放送局	スクリーンテリア	KIDSテリア	BBTVでーた★	ゲーちゃん
	ブルームバーグ テレビジョン	ストリング・アンサンブルテリア	にっぽんのうたテリア	ベルメゾンTV★	ハローTivi!
	ミュージックジャパンTVプラス	カフェ・ミュージックテリア	—	WOWOW PPVナビ★	スポーツTivi!
	マンマTV・サイエンス	スウィングテリア	—	—	ニュースTivi!
	ep（蓄積チャンネル）※	フュージョンテリア	—	—	ショッピングTV
	ep056	カントリー&ウェスタンテリア	—	—	カルチャーTV
	BBTV	ラテン&ブラジリアンテリア	—	—	—
	ベルメゾンTV	ボーダーレス・ミュージックテリア	—	—	—
	WOWOW PPV1	R&B・ソウルテリア	—	—	—
	WOWOW PPV2	60s&70sロック&ポップステリア	—	—	—
	WOWOW PPV3	80s&90sロック&ポップステリア	—	—	—
	WOWOW PPV4	ロック&ポップ・ベストヒッツテリア	—	—	—

- ※印のチャンネルは、本機では蓄積チャンネルのサービスを受けられません。
- ★印のチャンネルは、番組連動データ放送です。

スカイパーフェクＴＶ！2

放送の種類	テレビ放送				独立データ放送	
チャンネル	100番台 （100～199）	200番台 （200～299）			100番台 （100～199）	500番台 （500～599）
チャンネル名	スカパー！2プロモ	FOX	衛星劇場	Viewsic	ワンテンポータル	横浜ベイスターズチャンネル
	C-TBSウェルカムチャンネル	スペースシャワーTV	チャンネルNECO	日経CNBC	CS映画	ム・ーハ
	QVC	カートゥーン ネットワーク	シネフィル・イマジカ	アニメシアターX (AT-X)	たまごとじ	—
	ファミリー劇場	FIGHTING TV サムライ	スーパーチャンネル	ゴルフネットワーク	BAZ	—
	TBSチャンネル	ファボリTV	AXN	LaLa TV	TAKARAZUKA SKY STAGE (プロモ)	—
	キッズステーション	ザ・ゴルフ・チャンネル	CS NOW	CSN1ムービーチャンネル	AQデータ放送	—
	ヒストリーチャンネル	MTV	アクティブ！スポーツチャンネル	ディスカバリーチャンネル	—	—
	ショップ チャンネル	カミングスーンTV	J スカイスポーツ 1	アニマルプラネット	—	—
	アニマックス	BBCワールド	J スカイスポーツ 2	TAKARAZUKA SKY STAGE	—	—
	フジテレビ721	朝日ニュースター	J スカイスポーツ 3	—	—	—
	フジテレビ739	CNNインターナショナル	GAORA	—	—	—
	フジテレビ. ディノス	日本映画＋時代劇TV	スカイ・A	—	—	—
	AQステーション	東映チャンネル	スポーツ・アイESPN	—	—	—

- 放送局によっては、テレビ放送やラジオ放送にあわせた番組連動データ放送も行われています。
- 各放送の一覧は、変更になる場合がありますので、ご了承ください。

必ずお読みください

お問い合わせ先について

- 受信契約など放送受信についてのお問い合わせは、各放送事業者にご連絡ください。

付属のB-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CASカードは、有料放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要となるものです。常に本体に挿入しておいてください。また、B-CASカードの登録は必ず行ってください。
- 詳しくは、カードに使用されている台紙の説明をご覧ください。
- カードを紛失したり、盗難にあった場合や、破損、汚損が生じた場合は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(カード添付の台紙を参照)にご連絡ください。

取扱説明書について

- この取扱説明書に記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- この取扱説明書において受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
- この取扱説明書に記載されている機能は、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- 画面に表示されるアイコン(絵文字)については、「アイコン一覧」(→217ページ)をご覧ください。
- この取扱説明書での「デジタル放送」の表現は、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送に対して使用されます。

ソフトウェアのバージョンアップについて

- お買い上げ後より良くお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
  本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波の中に入れられたソフトウェアを受信することにより、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。(お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています。)
  ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、詳しくは206ページをご覧ください。

インターネットで情報を・・・

- ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご参照ください。

■ http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照ください。

- また、東芝総合ホームページ(TOSHIBA TOP PAGE)からもさまざまな情報を提供しております。

プラズマテレビをご覧いただくための準備

- 下記の手順に従って、準備を行ってください。
- 本システムは、プラズマモニター、BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー、スピーカー、バズーカスピーカーの４点の構成です。

これ以降は、チューナーとモニターのつなぎかた（144～147ページ）を参照しながら行ってください。

チューナーとモニター、チューナーとスピーカーを接続する （→ 144～146ページ）

▼

VHF/UHFアンテナ線を接続する （→151～152ページ）

▼

BS・110度CSアンテナ線を接続する （→153～157ページ）

▼

電話回線を接続する （→158～160ページ）

▼

B-CASカードを装着する （→150ページ）

▼

電源コードを接続する （→147ページ）

▼

リモコンに乾電池を入れる （→23ページ）

▼

はじめての設定をする （→163～167ページ）

▼

B-CASカードの登録をする （B-CASカードに添付されている説明紙を参照）

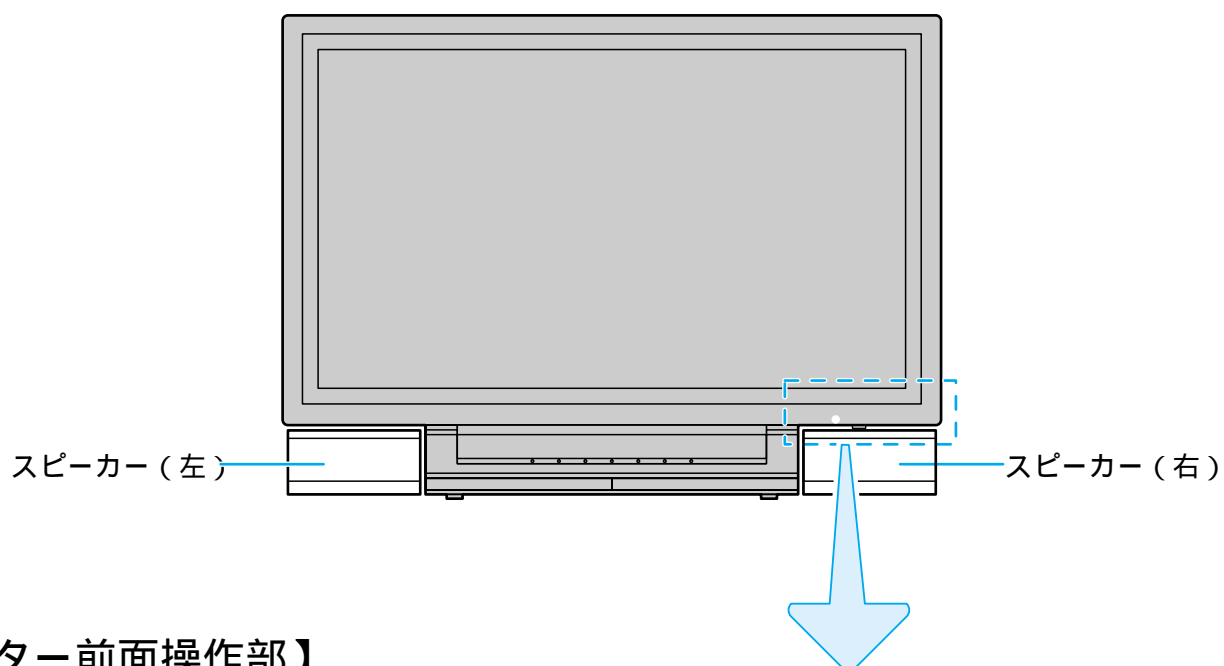
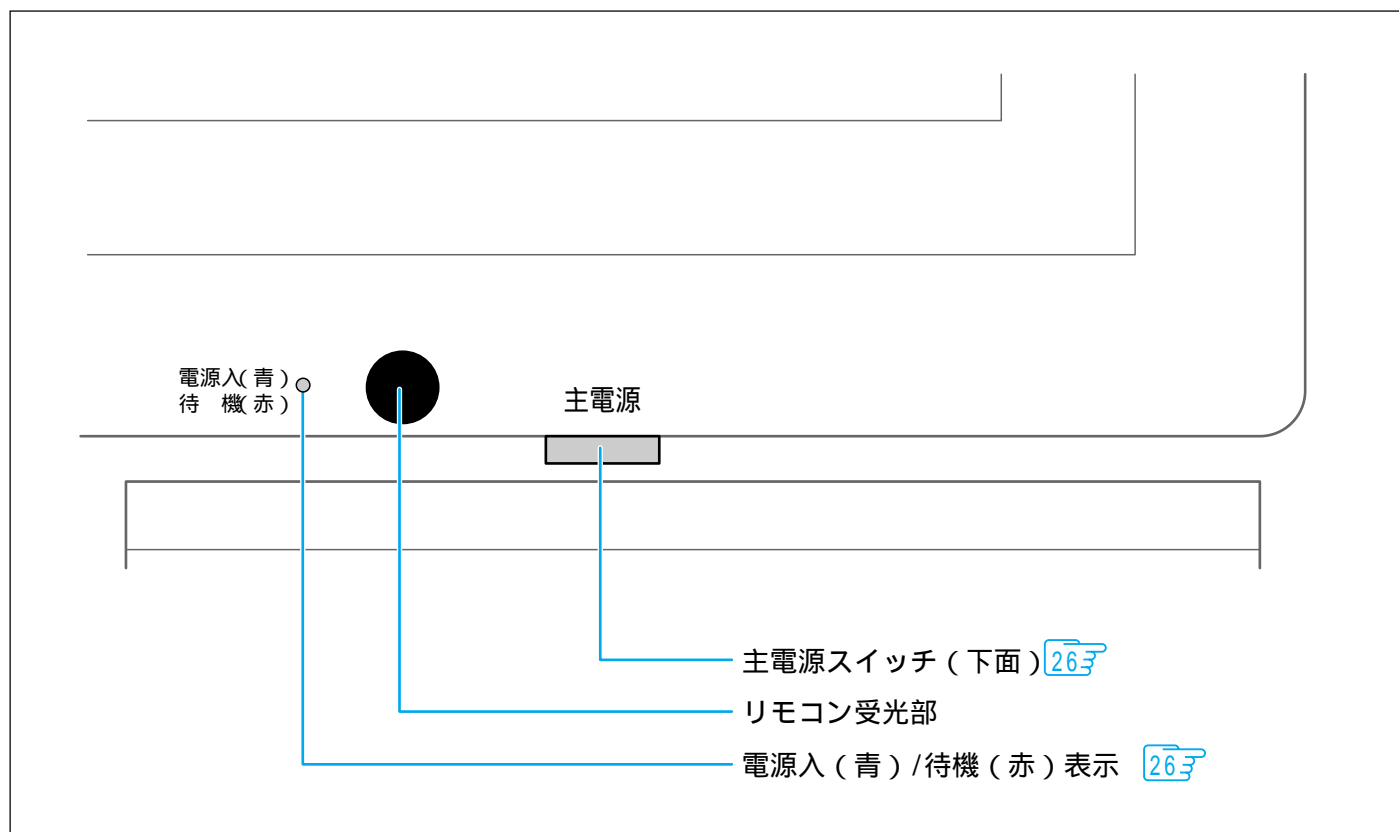
▼

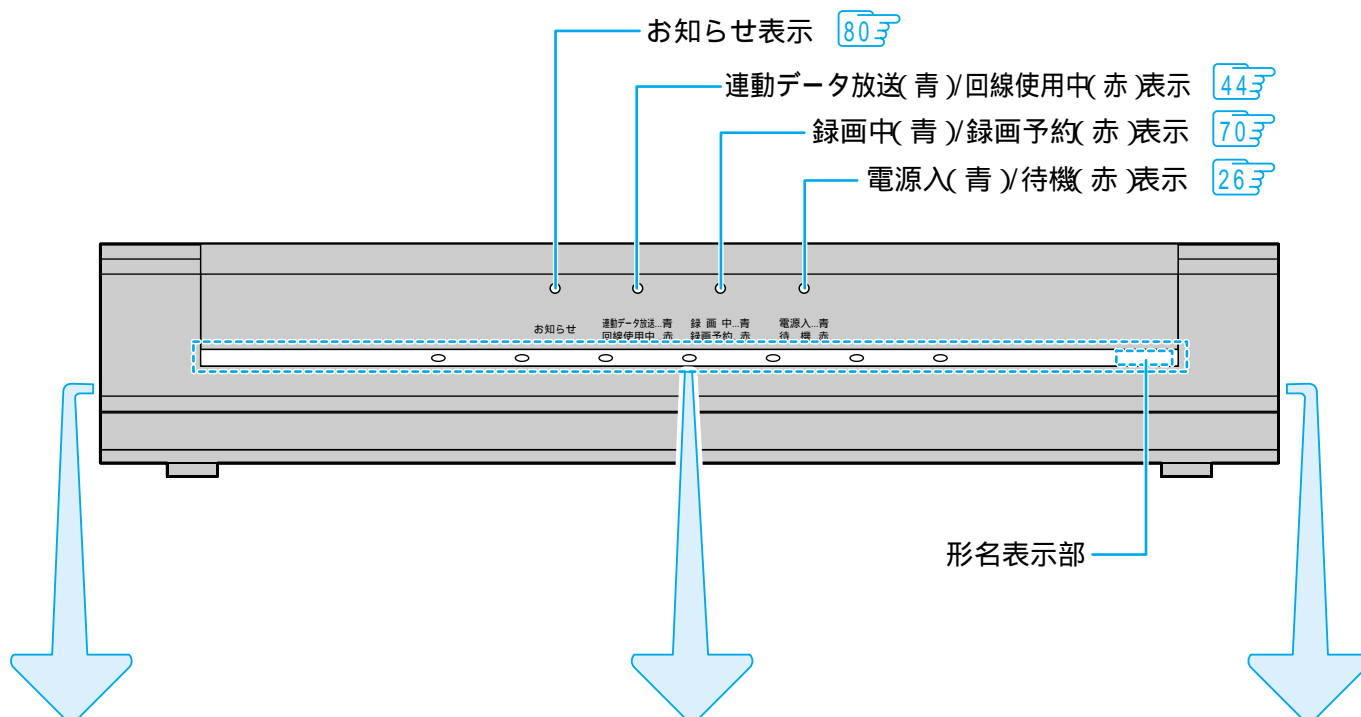
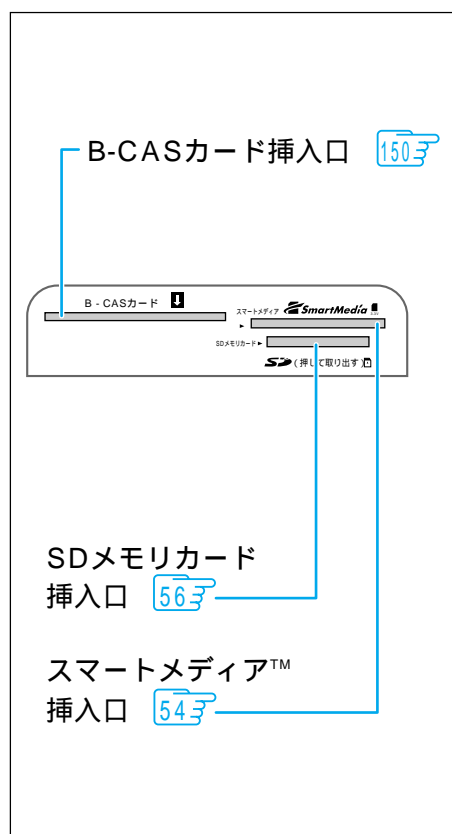
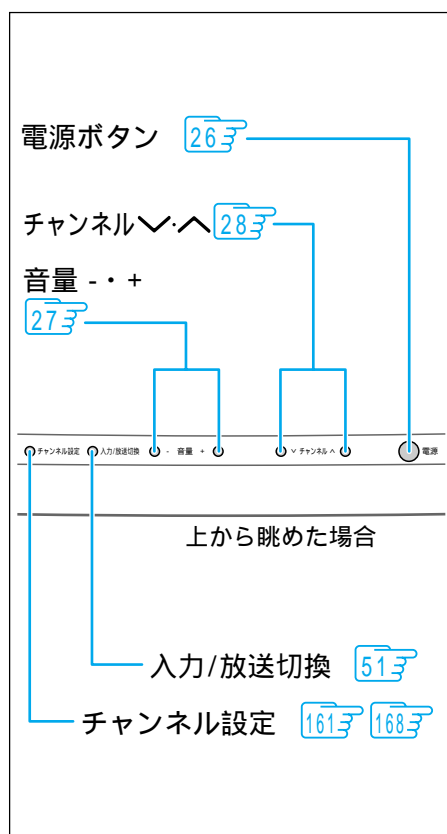
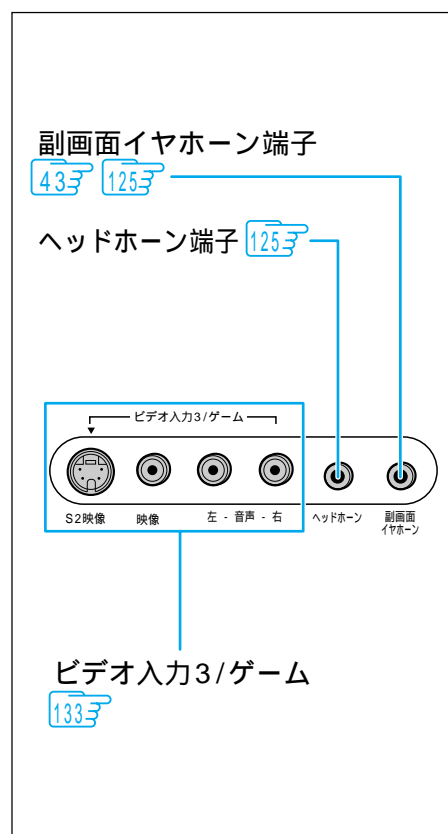
加入契約をする （→224～227ページおよび付属の加入申込書を参照）

- B-CASカードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」を加入申込書に必ず貼ってください。

各部のなまえ

- 詳しくは☞内のページをご覧ください。
- 参照ページはおもなページだけを記載しています。

モニター（前面）

【モニター前面操作部】

※文字位置や配列などは実際とは多少異なります。

チューナー（前面操作部）

【左側面とびら内】

【前面】

【右側面】

※背面端子の説明は125、126ページをご覧ください。

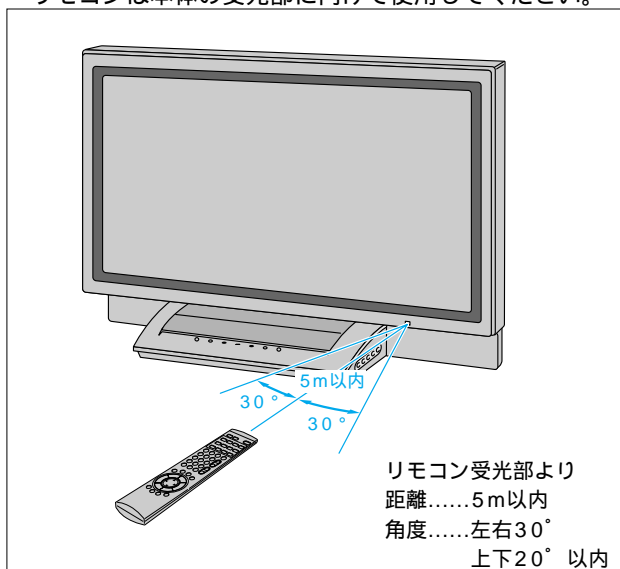
各部のなまえ つづき

● 詳しくは［☞］内のページをご覧ください。
● 参照ページはおもなページだけを記載しています。

リモコン

リモコンの準備

リモコンの使用範囲

● リモコンは本体の受光部に向けて使用してください。

お願い　リモコンについて

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。

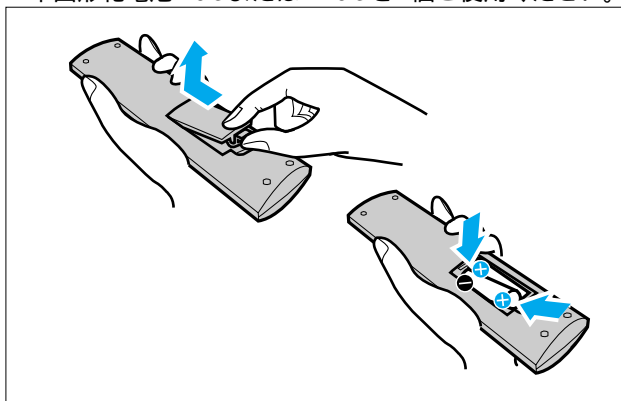
乾電池の入れかた

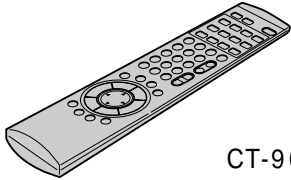
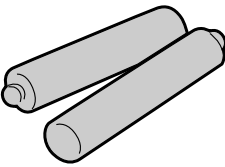
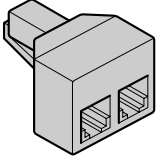
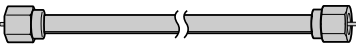
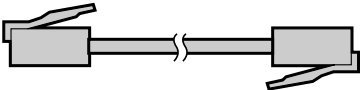
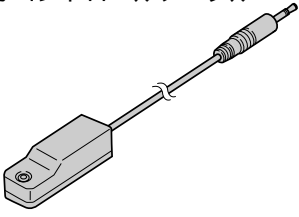
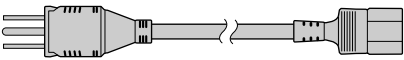
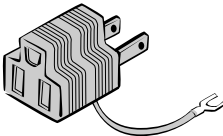
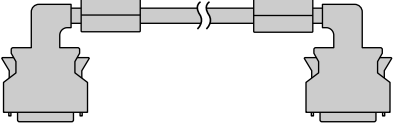
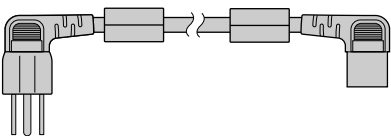
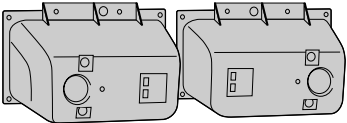
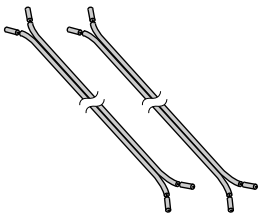
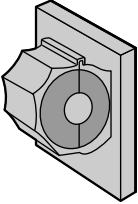
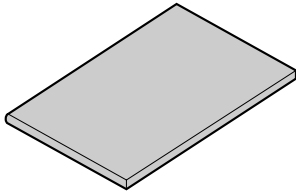
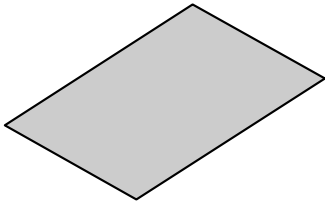
注意

■ リモコンに使用している乾電池は

- **指定以外の乾電池は使用しないこと**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しないこと**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。

■カバーを外し、乾電池を入れる

- カバーを外すには、カバー下の△部分を矢印方向に押しながら、すくい上げるようにします。
- ⊕と⊖を間違えないように入れます。
- カバーを閉めるときは、カバー上部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまで押し込みます。

お願い　乾電池について

- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったら2個とも新しい乾電池と交換してください。

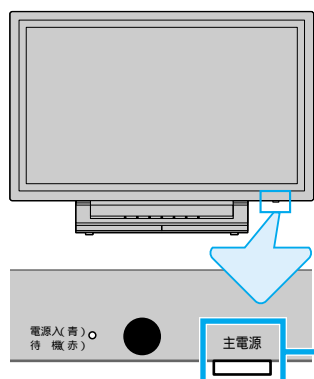
付属品

● 本機には、下記の付属品があります。お確かめください。

第2章 テレビの操作をする

電源を入れるには

● 設置、接続、最初の設定については１４４～１６７ページをご覧ください。

【モニター】

モニターの表示ランプが消えているとき（主電源切のとき）

● モニターの主電源スイッチを押す

主電源

● モニターとチューナーの「電源入（青）/待機（赤）」表示が青色に点灯して映像が出ます。
（電源を入れてから映像が出るまでしばらく時間がかかります。）

【リモコン】

モニターの表示ランプが赤色に点灯しているとき（待機状態のとき）

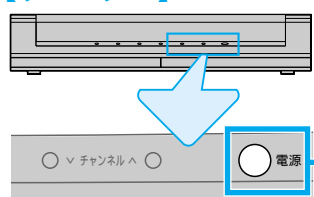
● リモコンまたはチューナーの電源ボタンを押す

電源

● モニターとチューナーの「電源入（青）/待機（赤）」表示が青色になり映像が出ます。
（電源を入れてから映像が出るまでしばらく時間がかかります。）

電源

【チューナー】

〇 ∨ チャンネル ∧ 〇　電源

電源を切るには

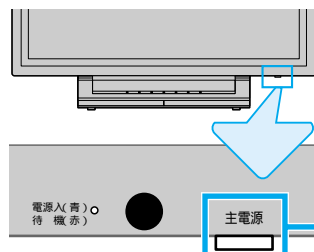
【リモコン】

待機状態にするには

● リモコンまたはチューナーの電源ボタンを押す

電源

● モニターとチューナーの「電源入（青）/待機（赤）」表示が赤色になります。

【モニター】

電源を切るには

モニターの主電源スイッチを押す

主電源

● モニターの「電源入（青）/待機（赤）」表示が消え、モニターの主電源が切れます。
※チューナーの「電源入（青）/待機（赤）」表示は赤色になり、チューナーが待機状態になります。

お知らせ

■電源コードの抜/差で直接電源を入/切する場合は、30秒以上の間隔をあけてください。

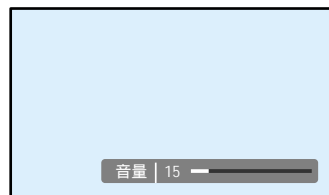
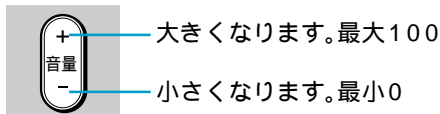
■次の場合には、自動的に電源が切れ、待機状態になります。

● 「省エネ設定」（→94ページ）を設定しているとき
※お買い上げ時は、次のときに電源が「待機」になるように設定されています。
・テレビの地上放送を見ている場合で、放送終了後電波が止まってから約15分以上経ったとき（デジタル放送の場合は切れません）
・通常画面でビデオなどを見ている場合で、ビデオ入力端子へ信号が15分以上なかったとき

● オフタイマーを設定しているとき（→77ページ）

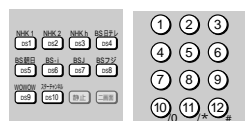
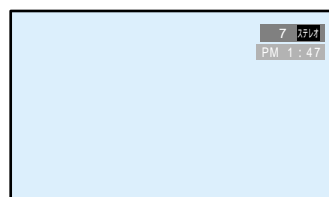
はじめに…

音量を調整するには

● **音量ボタン＋・－を押して、音量を調整する**

- 副画面イヤホーン端子にイヤホーンを挿入して、スピーカーとイヤホーンの両方で聴くことができます。
  イヤホーンの音量はクイックメニューの「親切イヤホーン音量」（→43ページ）で選び調整してください。
- 本機とオンキヨー製AVアンプを連動させたときは調整表示がかわります。連動動作に関する詳細は、130ページをご覧ください。

番組を見る

チャンネルダイレクトボタンで選ぶ

● **チャンネルダイレクトボタンを押して、チャンネルを選ぶ**

- お買い上げ時は、下表のように設定されています。
- UHFやCATV放送を見るときは、161、168ページのチャンネル設定を行ってください。

お買い上げ時に設定されている内容

リモコンのボタン	設定されている内容	チャンネル	種類
1～12	VHF1～12	1～12	地上放送
DS1 （NHK1）	NHK BS1	101	BSデジタル放送
DS2 （NHK2）	NHK BS2	102	
DS3 （NHKh）	NHK ハイビジョン	103	
DS4 （BS日テレ）	BS日テレ	BSテレビのチャンネル	
DS5 （BS朝日）	BS朝日		
DS6 （BS-i）	BS-i		
DS7 （BSJ）	BSジャパン		
DS8 （BSフジ）	BSフジ		
DS9 （WOWOW）	WOWOW		
DS10（スターチャンネル）	スターチャンネル		

※1～12の地上放送の場合、あらかじめ販売店などで地域に合わせたチャンネル設定を行う場合があります。(→171ページ「地域名と放送局名の一覧表」参照)
※設定を変更したり、未使用のリモコンボタンに新たにCATV(有線テレビ)などお住まいの地域で受信できるチャンネルを追加する場合は、手動チャンネル設定(→168ページ)を行ってください。
※お買い上げ時やダウンロードによるソフトのバージョンアップ時には、110度CSデジタル放送はリモコンのボタンにチャンネル設定されていません。設定するには手動チャンネル設定(→168～170ページ)をご覧ください。
※1～12の地上波とDS1～DS3(NHK)を除き、DS4～DS10のボタンは押すごとに同じ放送局の複数のチャンネルを切り換えて選ぶことができます。
例)DS9(WOWOW)については、DS9ボタンを押すごとに191→192→193 と選局できます。

お知らせ

- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。
  購入のしかたは47ページをご覧ください。
- 録画予約、一発録画の実行中のときは、デジタル放送のチャンネルを切り換えることはできません。

チャンネルボタン∧·∨で選ぶ

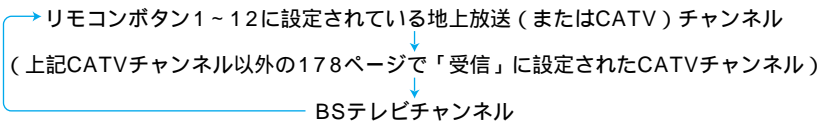
- チャンネルスキップ設定（→178ページ）で「スキップ」に設定されているチャンネルは選局できません。
- デジタル放送で1つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。購入のしかたについては45ページをご覧ください。
- 110度CSの各放送メディア内では放送の種類（プラットワン、スカイパーフェクTV!2）に区別なく選局できます。
- BS・110度CSの場合、受信できないチャンネルは選べません。
- チューナーのチャンネル∧·∨ボタンでは、テレビモードのチャンネルだけが選局できます。

●チャンネルボタン∧·∨でチャンネルを選ぶ

- 受信している放送の種類に応じて、次のように順に選局されます。

地上放送またはBSデジタル放送を受信しているとき

・テレビ放送を受信しているときには次のように選局されます。

→リモコンボタン1〜12に設定されている地上放送（またはCATV）チャンネル
↓
（上記CATVチャンネル以外の178ページで「受信」に設定されたCATVチャンネル）
↓
BSテレビチャンネル

・BSラジオ、またはBSデータ放送を受信しているときは、受信している放送メディア（BSラジオまたはBSデータ）の中で、順に選局されます。

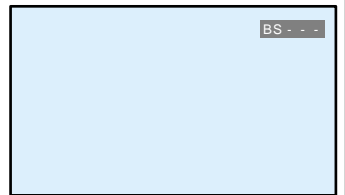
110度CSデジタル放送を受信しているとき

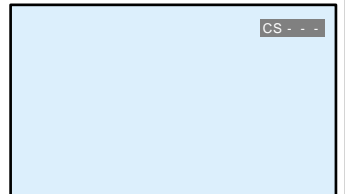
・受信している放送メディア（110度CSテレビ、110度CSラジオ、または110度CSデータ）の中で、順に選局されます。

■放送の種類を変えるとき

●BS···（CS···）ボタンを押して、放送の種類を切り換える

地上放送またはBSデジタル放送に切り換える場合

- 直前に選局したBSチャンネルに切り換わり、画面の右上に「BS−−−」が表示されます。
- 地上放送を選局するには、一度BSチャンネルを表示してからチャンネルボタン∧·∨で選んでください。

110度CSデジタル放送に切り換える場合

- 直前に選局した110度CSチャンネルに切り換わり、画面の右上に「CS−−−」が表示されます。

■放送メディアを変えるとき

●メディアボタンを押して、放送メディアを選ぶ

地上放送またはBSチャンネルが表示されている場合

- 押すごとに、次のように切り換わります。

テレビ→BSラジオ→BSデータ（→テレビに戻る）

- テレビモード ······ 地上放送とBSテレビ放送をご覧になれます。
- BSラジオモード ······ BSラジオ放送をご覧になれます。
- BSデータモード ······ BSデータ放送をご覧になれます。
- チャンネルのないメディアには切り換えられません。

110度CSチャンネルが表示されている場合

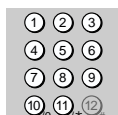
- 押すごとに、次のように切り換わります。

110度CSテレビ → 110度CSラジオ → 110度CSデータ（→110度CSテレビに戻る）

- 110度CSテレビモード ······ 110度CSテレビ放送をご覧になれます。
- 110度CSラジオモード ······ 110度CSラジオ放送をご覧になれます。
- 110度CSデータモード ······ 110度CSデータ放送をご覧になれます。
- チャンネルのないメディアには切り換えられません。

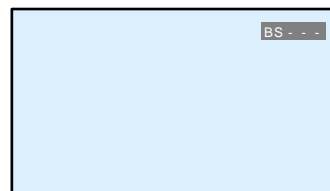
チャンネル番号を指定して選ぶ(BSまたは110度CSデジタル放送の場合)

● BS…（CS…）ボタンを１回または２回押し、数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

BS－－－

BS103

● 例えば、地上放送またはBSチャンネルを選んでいる状態でBS103チャンネルを選ぶ場合
ⒷⓈ① ⑩/0 ③ と押す

● 地上放送またはBSチャンネルを選んでいる状態でBS…(CS…)ボタンを2回押すと、画面右上に「CS－－－」が表示されます。
例えばCS001チャンネルを選ぶ場合
ⒷⓈ ⒷⓈ ⓪ ⓪ ① と押す

● 110度CSチャンネルを選んでいる状態でBS…(CS…)ボタンを2回押すと直前に選局したBSチャンネルに切り換わり、画面の右上に「BS－－－」が表示されます。
● 存在しないチャンネルは選べません。
● ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。
購入のしかたは45ページをご覧ください。

見たいチャンネルの番号がはっきりとわからない場合

● ＊ボタンを使って、次のように選ぶことができます。
● 例1：300番台のBSチャンネルを見たいとき（地上放送またはBSチャンネルを選んでいるとき）
ⒷⓈ ③ ⑪/＊ と押す

→300番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

● 例2：250番台のBSチャンネルを見たいとき（地上放送またはBSチャンネルを選んでいるとき）
ⒷⓈ ② ⑤ ⑪/＊ と押す

→250番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが 選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

● 110度CSデジタルも同様に選ぶことができます。

お知らせ

● PCモード時は、BS…（CS…）ボタンは、動作しません。
● 録画予約、一発録画の実行中のときなどは、デジタル放送のチャンネルを切り換えることはできません。

■本機の出荷後、新たに追加されたり変更された110度CSのチャンネルを選局する場合

● お買い上げ直後や「設定の初期化」（→205ページ）を行った後などには、このページの操作で選局できない場合があります。その場合には、次の操作を行ってください。
①BS…（CS…）ボタンで110度CSデジタル放送を選ぶ
②チャンネルボタン∧･∨を押して、受信したい放送の種類（プラットワンまたはスカイパーフェクTV！2）のチャンネル（どのチャンネルでも構いません）を選ぶ
● 手順②の操作でチャンネルを受信した後は、このページに記載されている方法で選局できるようになります。

番組表で選ぶ（BSまたは110度CSデジタル放送の場合）

● テレビ画面に、BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送の一週間先までの番組表を表示させて、番組を選ぶことができます。

番組の選びかた

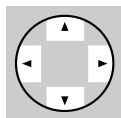
1 BS…（CS…）ボタンを押して、BS デジタル放送か 110 度 CS デジタル放送かを選ぶ

● BSデジタル放送の番組表を見たいときは、画面右上を「BS−−−」にします。
● 110度CSデジタル放送の番組表を見たいときは、画面右上を「CS−−−」にします。

2 番組表ボタンを押す

● 選んだ放送の番組表が表示されます。

● 電源を「入」にした直後や、放送の種類（BSデジタル、プラットワン、スカイパーフェクTV！2）を変えた直後は番組が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
● データ放送を実行しているときは、番組表に切り換わらない場合があります。その場合は、データ放送を終了してから操作してください。
● D4端子からの映像は、信号のフォーマットによっては番組表の背景に出ない場合があります。
● i.LINKモード、録画予約、一発録画、PCモードのときは番組表ボタンは、はたらきません。

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で番組を選ぶ

- カーソルボタン◀·▶でチャンネルを選べます。
- カーソルボタン▲·▼で先の時間帯に進むことや、前の時間帯に戻ることができます。（現在の日時よりも前の時間帯には戻れません）

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - 放送メディアについては、28ページをご覧ください。

番組についての説明を見たいとき

①番組説明ボタンを押す
- 番組についての説明が見られます。

②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

翌日の番組表を見たいとき

- **赤色ボタンを押す**

前日の番組表を見たいとき

- **青色ボタンを押す**
  - 今日より前には戻れません。

色分け表示するジャンルを変更したいとき

- 32ページをご覧ください。

ジャンルを指定して番組を選ぶときは

- 33ページをご覧ください。

4 決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（59ページの手順2以降の操作）
- 予約設定が終わると番組表画面に戻ります。予約した番組には◕が表示されます。
- 予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→69ページの手順3）

番組表表示を終了したいとき

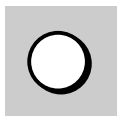
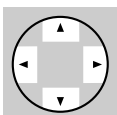
- **終了ボタンを押す**

- 臨時サービス、エンジニアリングダウンロードサービスは、番組表に表示されません。
- 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
- 番組表で表示できるのは最大7日後までですが、チャンネルによって異なる場合があります。
- カーソルボタン▲·▼で現在の日時より前の時間帯には移動できません。

番組表で選ぶ つづき

色分け表示するジャンルを変更するには

- 番組表で色分け表示されているジャンルを変更したい場合は下記の操作を行ってください。
- お買い上げ時は次のように設定されています。
  - 赤…映画
  - 緑…スポーツ
  - 橙…音楽

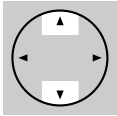
1 番組表が表示されている状態で、緑ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で登録したいジャンルを選び、決定ボタンを押す

- 未登録のジャンルの中から選んでください。

ジャンルの色分け表示を取り消したい場合

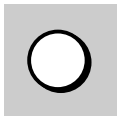
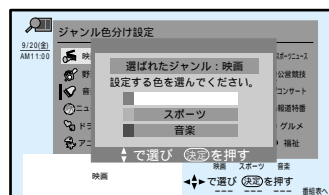
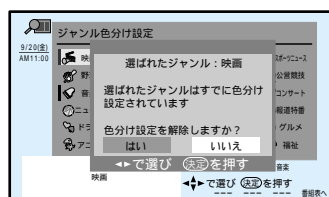
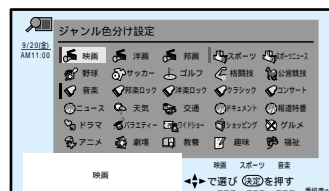
①色分け表示を取り消したいジャンル（登録済みのもの）を選び、決定ボタンを押す
- 右のメッセージが表示されます。

②カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- 選んだジャンルの色分け表示が取り消されます。

③番組表に戻るには、戻るボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で設定する色を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ色が設定されます。
- すでに他のジャンルが設定されている色を選んだ場合、選んだジャンルに入れ換わります。

他のジャンルを登録するときは、手順2、3を繰り返す

4 ［番組表に戻るには］ 緑ボタンを押す

- 登録内容が番組表に反映されます。

- 同じジャンルを複数の色に登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。

ジャンルを指定して選ぶ（BSまたは110度CSデジタル放送の場合）

番組の選びかた

- 映画、スポーツなどのジャンルを指定して、番組を探したり、選局することができます。
- ジャンル検索は日付ごとに実行します。従って、検索直後は現在日の検索結果が表示されます。
- ジャンル検索ができるのは最大7日後までですが、チャンネルによって異なります。
  ジャンルについての情報が送られていない番組については検索されません。
- ジャンル検索は、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送のどちらか指定した方について行います。BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の両方を検索範囲にすることはできません。

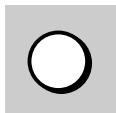
はじめに BS…（CS…）ボタンを1回または2回押して、ジャンル検索する放送の種類（BSデジタル放送か、110度CSデジタル放送か）を選びます。

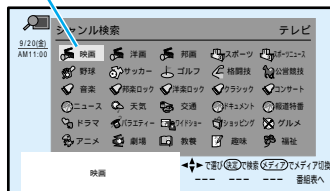
1 番組表ボタンを押す

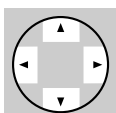
- 番組表が表示されます。

2 黄色ボタンを押す

- ジャンル指定画面になります。

ジャンル名が長い場合には、省略して表示されます。

ジャンル検索する放送メディアを切り換えるとき

- メディアボタンで、テレビモード、ラジオモード、データモードを切り換えられます。
  放送メディアについては28ページをご覧ください。

3 カーソルボタン▲·▼·◄·►でジャンルを選び、決定ボタンを押す

- 検索が始まり、検索結果が順次表示されます。

ジャンル検索結果を切り換えるとき

- 赤ボタンを押すと翌日のはじめの番組にカーソルが移動します
- 青ボタンを押すと前日のはじめの番組にカーソルが移動します（今日より前には戻れません）
  - 該当する番組が多い場合、すべての番組を検索できないことがあります。その場合は操作ガイドに「●（緑）続きを表示」が表示されます。緑ボタンを押すとつづきを検索できます。ただし、前の検索結果に戻ることはできません。

番組についての説明を見るには

①番組説明ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で選局、または予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

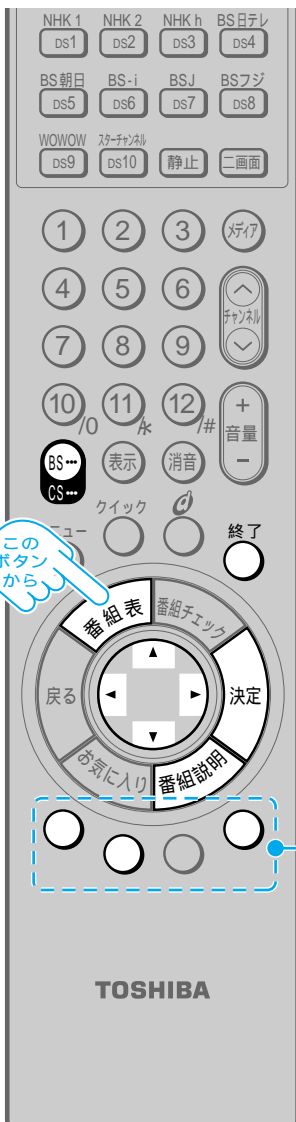
- 選んだ番組が選局されます。

◕ 予約アイコン
表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

今後放送となる番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（59ページの手順2以降の操作）
- 予約設定が終わると検索結果の画面に戻り、予約アイコン◕（右図）が追加されます。
- すでに予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→69ページ手順3）

ジャンル検索を終了したい場合

- **通常画面に戻るには終了ボタンを押す**
- **番組表に戻るには黄色ボタンを押す**

お知らせ

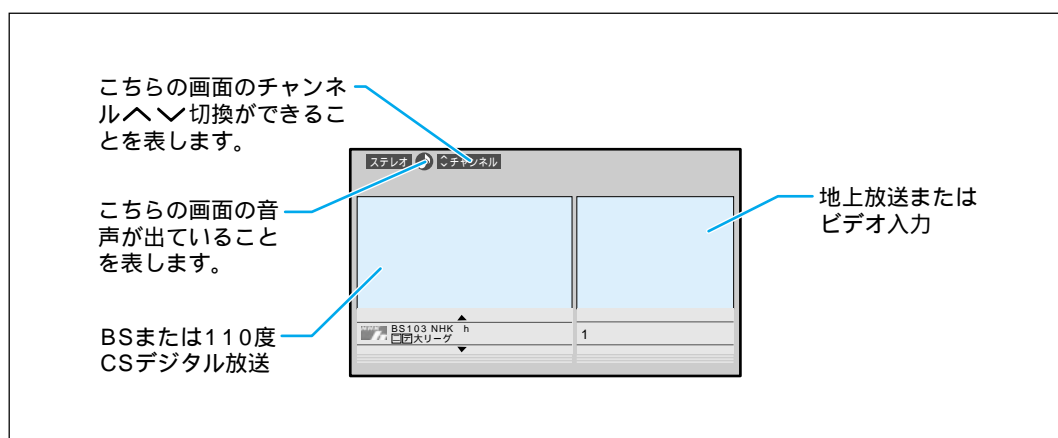
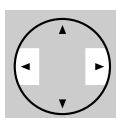
- ジャンル検索画面で黄色ボタンを押すと番組表に戻ります。
- 電源を「入」にした直後や、放送の種類（BSデジタル、プラットワン、スカイパーフェクTV！2）を変えた直後は検索できない場合があります。
- 該当する番組がない場合は検索結果画面に「該当する番組はありません」が表示されます。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービスは検索されません。
- 録画予約、一発録画のときなどは、ジャンル検索は、はたらかないモードがあります。

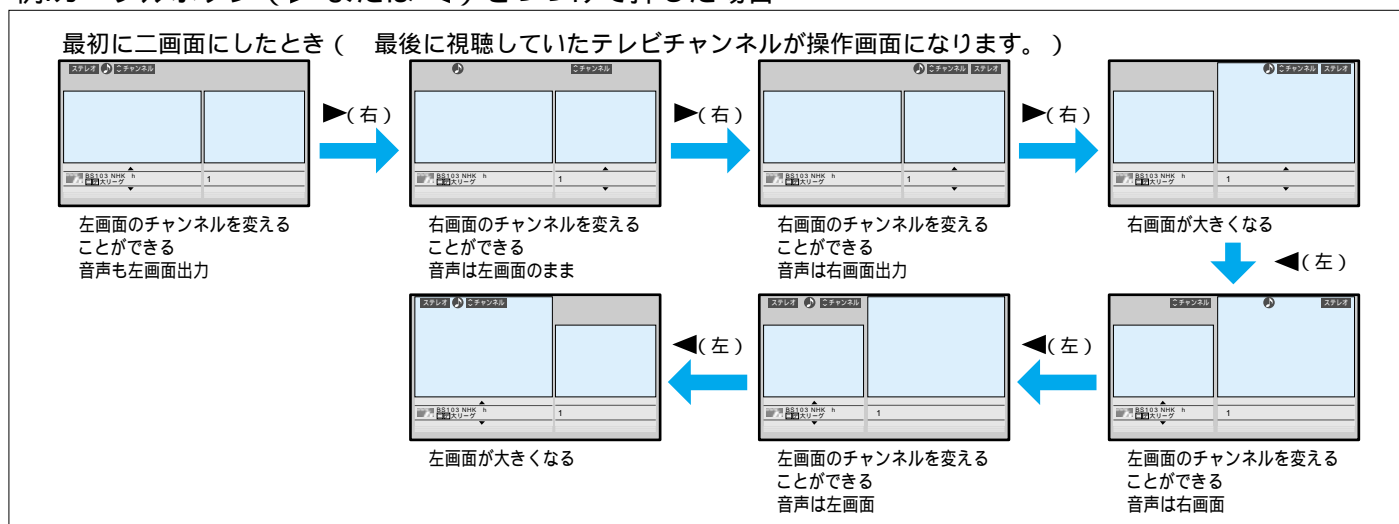
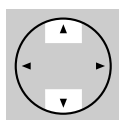
二画面表示を楽しむ

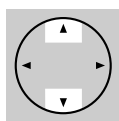
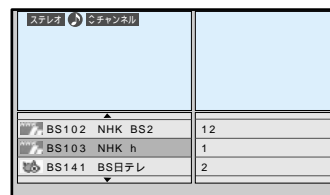
- 左側の画面で BS または 110 度 CS デジタル放送を、右側の画面で地上放送またはビデオ入力を同時に二画面表示にして楽しむことができます。
- 二画面表示のままで、チャンネルを変えることもできます。

「二画面」表示でチャンネルを切り換えて楽しむ

1 二画面ボタンを押す

- もう一度押すと、1画面表示に戻ります。

2 カーソルボタン◀·▶で、操作画面を選ぶ

- 現在選択されている状態は、上図のチャンネル∧∨·♪表示で確認できます。
- どちらの画面の音声を出すかを選んだり、片方の画面を大きく表示させることもできます。詳しくは、下図をご覧ください。

例.カーソルボタン（▶または◀）をつづけて押した場合

3 カーソルボタン▲·▼を押す

- チャンネルリストが表示され、数秒後に元に戻ります。

4 カーソルボタン▲·▼でチャンネルを選び、決定ボタンを押す

- BS・110度CSデジタル放送はBS…(CS…)ボタンと数字ボタンで選局できます。
- BS…(CS…)ボタンで放送の種類を切り換えることができます。
- ダイレクト選局ボタンで選ぶこともできます。
- 入力切換ボタンで右画面のビデオ入力端子を選ぶこともできます。(ただし、i.LINKモードには切り換えられません。)
  (D４端子の映像は、映像信号のフォーマットによっては表示することはできません。)

5 音量ボタンでお好みの音量に調整する

- 「♪」が表示されている画面の音量が調整できます。

6 [1画面に戻すには] 二画面ボタンを押す

お願い

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等において「二画面」を使用されますと、著作権法で保護されている著作権を侵害する恐れがあります。

- 二画面のときビデオ入力はビデオ1→ビデオ2→…ビデオ5→テレビと番号順に切り換わります。
- データ放送を受信しているときは二画面表示にならない場合があります。
- 二画面で「副画面イヤホーン」端子にイヤホーンを挿入したとき、スピーカーからは操作画面（♪表示の画面）、イヤホーンからはもう一方の画面の音が出ます。（副画面イヤホーン側の映像は音声に対して若干遅れますが、故障ではありません。）
- 二画面で表示ボタンを押すと、操作画面の番組情報を見ることができます。ただし地上放送はチャンネル番号と、設定してある場合には放送局名だけが表示されます。またBSまたは110度CSデジタル放送では番組によっては、「番組説明」を見ることができます。（→39ページ）
- 「ヘッドホーン」端子にヘッドホーンを挿入した場合は、操作画面の音（スピーカーの音）が出力されます。（ただしバズーカははたらきません）
- D4映像入力からの映像は映像信号のフォーマットによっては二画面で見られません。
- 左画面で地上放送またはビデオ入力は見られません。また右画面でBSまたは110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- PCモード時は2画面ボタンは動作しません。

番組チェックで選ぶ(BSまたは110度CSデジタル放送の場合)

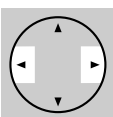
- 今放送されている番組のリストを表示して選局できます。次に放送される番組のリストで予約したり、放送局名リストから選局することもできます。
- 番組のリストには、BS デジタル放送のリストと 110 度 CS デジタル放送のリストがあります。

番組の選びかた

はじめに BS…(CS…)ボタンを 1 回または 2 回押して、BS デジタル放送か 110 度 CS デジタル放送を選ぶ

1 番組チェックボタンを押す

- 画面の下部に現在放送されている番組のリストが表示されます。

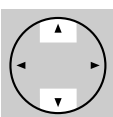
2 カーソルボタン◀・▶でリストの種類を選ぶ

- 今の番組、次の番組、放送局名のいずれかのリストを選びます。

「情報を取得するには(青)ボタンを押してください」が表示されたとき

- **上記メッセージが表示されている番組の情報をリストに表示させるには、青色ボタンを押す**

■詳しい説明

・デジタル放送の、「今の番組」と「次の番組」のリストは、受信している番組とは異なる放送の種類の番組(CS番組の場合はプラットワン、スカイパーフェクTV!2)については、そのままでは情報を取得できません。
青色ボタンを押すと、異なる放送の種類の情報を取得します。

3 カーソルボタン▲・▼で番組(またはチャンネル)を選ぶ

放送メディアを変えたいとき

- メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ
- 放送メディアについては、28ページをご覧ください。

番組についての説明を見たいとき

①番組説明ボタンを押す
- 番組についての説明が見られます。

※放送局名リストでは番組説明ボタンははたらきません。

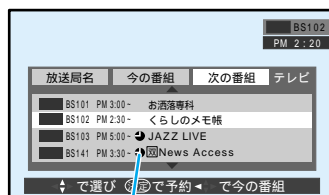
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

4 決定ボタンを押す

今の番組または放送局名リストで選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

次の番組リストで選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。(59ページの手順2以降の操作)
- 予約設定が終ると次番組リストに戻り、予約アイコン◕(右図)が表示されます。
- すでに予約している番組を選んでいるときは、予約内容取り消しの画面になります。(→69ページ手順3)

◕ 予約アイコン

お知らせ

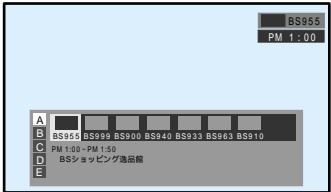
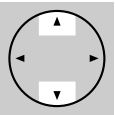
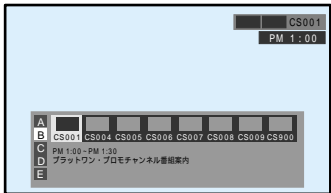
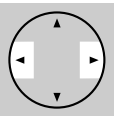
- 臨時サービスまたは、エンジニアリングダウンロードサービスは番組リストおよびチャンネルリストには表示されません。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、「今の番組」と「次の番組」表示が、現在時刻表示に対して合わなくなるときがあります。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画、PCモードのときには、番組チェックボタンははたらきません。

お気に入りで選ぶ(BSまたは110度CSデジタル放送の場合)

選びかた

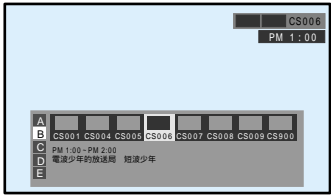
- 「お気に入り選局設定」(→38ページ)で登録したお気に入りチャンネルを選べます。
- お買い上げ時には、下の表の内容が設定されています。

1 お気に入りボタンを押す

- 画面の下部にお気に入りチャンネルリストが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼でグループを選ぶ

- A・B・C・D・Eの5つのグループのいずれかを選びます。

3 カーソルボタン◀・▶でチャンネルを選ぶ

番組についての説明を見たいとき

①番組説明ボタンを押す

- お気に入り選局した現在の番組説明を見ることができます。

②お気に入りチャンネルリストに戻るには、決定ボタンを押す

4 決定ボタンを押す

- 選んだチャンネルが選局されます。

5 [お気に入りチャンネルリストを終了するには]
お気に入りボタンを押す

■お買い上げ時に設定されている内容

	1	2	3	4	5	6	7	8
A	メディアサーブ (955ch)	日本BS放送 (999ch)	メガポート放送 (900ch)	日本データ放送 (940ch)	DCI放送 (933ch)	日本メディアーク (963ch)	ウェザーニューズ (910ch)	—
B	—	—	—	—	—	—	—	—
C	—	—	—	—	—	—	—	—
D	—	—	—	—	—	—	—	—
E	—	—	—	—	—	—	—	—

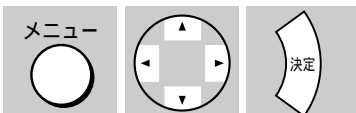
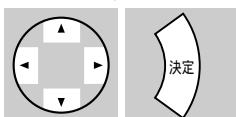
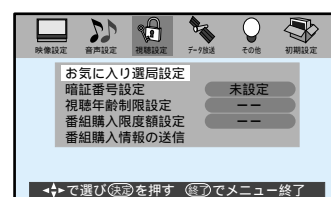
- i.LINK操作中、録画予約、一発録画、PCモードのときなどは、お気に入りボタンがはたらかないモードがあります。

お気に入りで選ぶ つづき

登録のしかた

- 最大5グループに8チャンネルずつ合計40のお気に入りチャンネルを登録できます。
- BSデジタル放送チャンネルと110度CSデジタル放送チャンネルを混合で登録することができます。

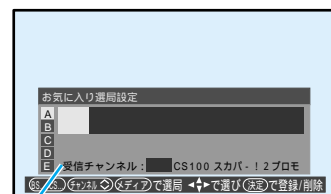
1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

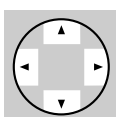
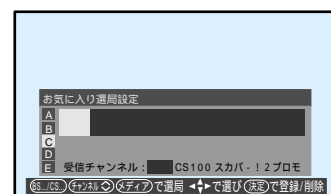
- 「設定メニュー」が表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「お気に入り選局設定」を選んで、決定ボタンを押す

- お気に入り選局設定画面が表示されます。

3 チャンネルボタン∧·∨を押して登録したいチャンネルを選ぶ

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ・放送メディアの詳細については28ページをご覧ください。

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

- **BS…(CS…)ボタンを押す**

選んでいるチャンネルについての情報が表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼でグループを選び、カーソルボタン◀·▶で登録する場所を選ぶ

- グループは、A・B・C・D・Eの5つの中から選びます。

5 決定ボタンを押す

すでに他のチャンネルが登録されている場所を選んだとき

- 登録されていたチャンネルが削除され未登録になります。もう一度決定ボタンを押すと新たに選んだチャンネルが登録されます。

未登録の場所を選んだとき

- 登録されます。

いくつものチャンネルを登録するときは、手順3～5を繰り返す

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

- 同じグループ内に同じチャンネルを複数登録することはできません。

こんなことがしたいとき

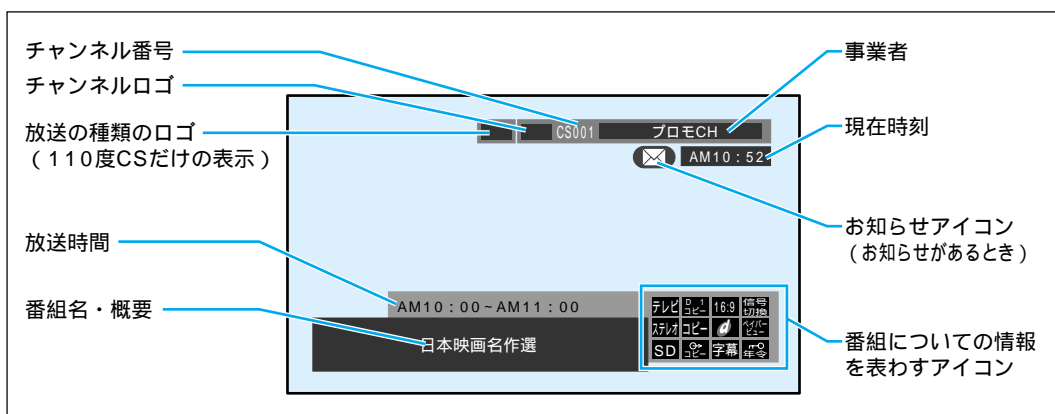
お知らせ

- 番組情報や番組説明の画面に表示されるアイコンの詳細は、アイコン一覧（→217ページ）をご覧ください。
- i.LINKのデジタル信号によっては、番組の情報が表示される場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、番組情報の表示が、現在時刻表示と合わなくなるときがあります。

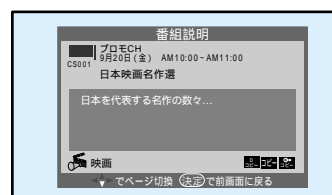
番組についての情報を見る

番組についての情報を見るには

●表示ボタンを押す

- 下記のような現在受信しているチャンネルや番組の情報が表示されます。表示は数秒後に消えます。

番組についての詳しい説明を見るには

●番組説明ボタンを押す

- 現在視聴中の番組についての説明を見ることができます。
- 説明画面を消すには、決定ボタンを押してください。

表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

■録画や録音が制限されている場合

- 番組によっては、録画や録音が制限される場合があり、その場合は番組情報や番組説明の画面でアイコンを表示してお知らせします。アイコン表示については217ページをご覧ください。
- B-CASカードが挿入されていない場合などで判定できない場合はアイコンは表示されません。
- デジタル録画が制限されている番組のときは、i.LINK端子に信号が出力されない場合があります。

音を一時消す

●消音ボタンを押す

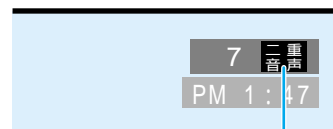
- もう一度押すと音が出ます。
- 音量ボタンの操作でも音が出るようになります。

こんなことがしたいとき つづき

音声多重放送を聞くには

- 二重音声放送の場合、主音声、副音声、主音声＋副音声を切り換えることができます。
- お買い上げ時は「主音声」に設定されています。
- 視聴している番組が二重音声でない場合は、音多切換の操作はできません。

はじめに

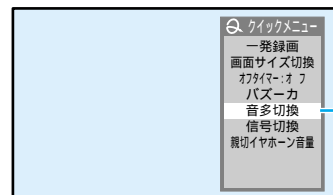
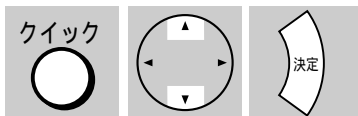
二重音声放送の場合、表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

アイコン

（地上放送の場合）

アイコン

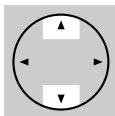
（デジタル放送の場合）

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「音多切換」を選び、決定ボタンを押す

- 音多切換の画面になります。（次の手順の画面）

※二重音声でない場合は、「音多切換」は薄く表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で主音声、副音声、主：副を切り換える

- カーソルを切り換えるごとに設定されます。

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）

	主音声		副音声		主：副	
スピーカー →	（左）	（右）	（左）	（右）	（左）	（右）
音声出力 →	主音声	主音声	副音声	副音声	主音声	副音声

3 ［通常画面に戻るには］
決定ボタンを押す

- 音多切換は、二重音声の放送受信時、i.LINK入力時に行えます。
- デジタル放送、地上放送それぞれについて手順2で選んだ二重音声は、最後に設定した状態が保たれます。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約、一発録画実行中は、デジタル放送の音声切換はできません。地上放送の二重音声は切換可能です。
- 91ページで光デジタル音声出力端子を「ACC優先」や「サラウンドACC優先」に設定している場合で、MPEG-2 AAC音声が出力されている場合には主音声、副音声の切り換えは本機ではできません。その場合はMPEG-2 AACデコーダ側で切り換えてください。

字幕を見る

- BSまたは110度CSデジタル放送の場合で字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。
- お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。

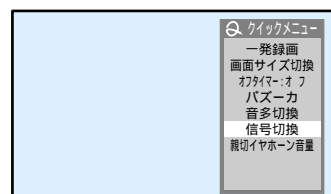
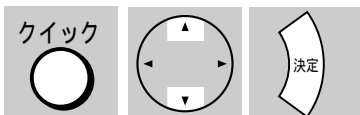
1 字幕があることをアイコン（絵文字）で確認する

- 表示ボタンで表示されます。
- 字幕アイコンが薄く表示されている場合、視聴中の番組は字幕放送ではありません。

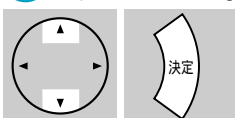
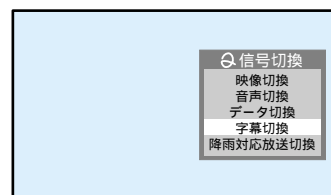
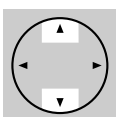
テレビ　D1コピー　16:9　信号切換
ステレオ　コピー　ペイパービュー
HD　コピー　字幕　年令

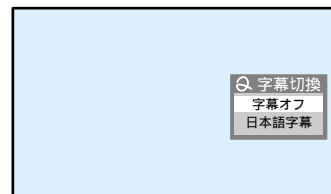
アイコン

2 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

クイックメニュー
一発録画
画面サイズ切換
オフタイマー：オフ
バズーカ
音多切換
信号切換
親切イヤホーン音量

3 カーソルボタン▲·▼で、「字幕切換」を選び、決定ボタンを押す

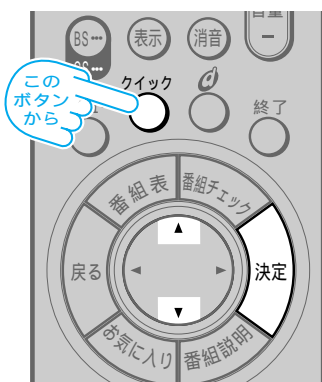
- 字幕設定画面が表示されます。

信号切換
映像切換
音声切換
データ切換
字幕切換
降雨対応放送切換

4 カーソルボタン▲·▼で、表示したい字幕を設定する

- 受信する番組によって選べる言語が異なります。
- 字幕を見ないときは「字幕オフ」に設定してください。
- 字幕付きペイ・パー・ビュー番組は購入後に字幕表示ができます。

字幕切換
字幕オフ
日本語字幕

5 [通常画面に戻るには]
決定ボタンを押す

お知らせ

- データ放送は番組によっては最大2つの言語の字幕が送られます。
- 番組によっては、字幕設定画面上に言語名ではなく、「字幕1」「字幕2」と表示される場合もあります。
- 予約を実行している時には、字幕切換はできません。
- 背面の「デジタル放送録画出力」端子からは、字幕が画面表示するように設定されている場合でも、出力されません。
- 二画面ではカーソルボタンで選んだ操作画面の字幕が表示されます。
- 二画面で表示しているときは、字幕がはみ出すことがあります。
  字幕表示中に番組表を表示した場合、字幕表示は消えます。通常画面に戻ると再び字幕表示します。

こんなことがしたいとき つづき

お知らせ

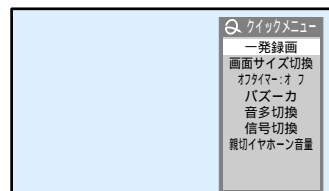
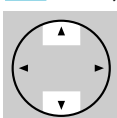
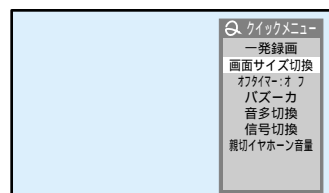
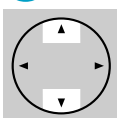
- 営利目的、または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等において画面の大きさを変えるなどの特殊機能(送られてくる映像の縦横比を変えるなど)を使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります
- D４映像入力端子に７５０ｐ信号を受信したときはフルモードになり画面サイズは切り換えられません。
- Ｓ2映像端子のあるA/V機器からフルモードの信号が入力されたときはテレビ画面サイズがフルモードになり、レターボックス（4:3）で上下に黒い幕が表示されるもの）の信号が入力されたときはズームモードの画面になります。その後、お好みの画面サイズに切り換えることもできます。
- Ｓ１映像端子のあるＡ/Ｖ機器からフルモードの信号が入力されたときはテレビ画面サイズがフルモードになります。その後、お好みの画面サイズに切り換えることもできます。
- ノーマルモードは画面の焼き付き防止のために極力使用しないでください。
- ノーマルモードのとき、画面の横に出る映像のない部分の明るさを変えられます。(→113ページ)
- デジタル放送の場合、番組によっては、いくつかの子画面や選択項目などが画面に表示されて、カーソルボタン▲･▼･◀･▶でそれらを選択できるものがあります。その場合、画面サイズを「スーパーライブ」、「ズーム（ゲームズーム）」、「映画字幕」のいずれかでご覧の際には、選択している部分の枠がずれて表示される場合がありますが、これは故障ではありません。

画面サイズを切り換える

- 画面サイズを切り換えて迫力あるワイド画面が楽しめます。
- 画面サイズ（画面の横と縦の比）が16：9の信号を受信したときは自動的に最適なサイズになり、切り換えることはできません。

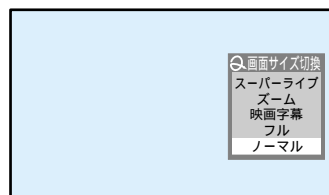
1 クイックボタンを押す

クイック

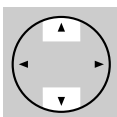
- クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼で「画面サイズ切換」を選び、決定ボタンを押す

- 画面サイズ切換画面が表示されます。
- 「画面サイズ切換」が薄く表示されたときは切り換えられません。

3 カーソルボタン▲･▼でご希望の画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタン▼(▲は逆回り)を押すごとに以下の順に切り換わります。

スーパーライブ ↔ ズーム ↔ 映画字幕 ↔ フル ↔ ノーマル

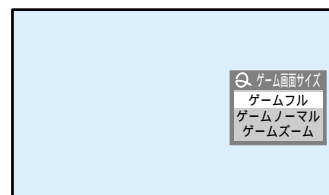
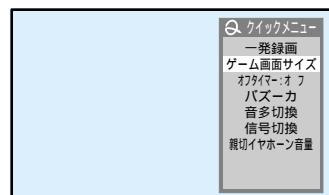
■画面サイズモードについて

- スーパーライブ　:通常（4：3）のテレビ番組をワイド画面で楽しむモードです。
- ズーム　:劇場サイズの横長映像を楽しむモードです。
- 映画字幕　:字幕が入った横長の劇場サイズの映像を楽しむモードです。
- フル　:スクイーズＤＶＤのようなフルモードの映像を楽しむモードです。
- ノーマル　:通常（4：3）のテレビと同じ画面サイズで楽しむモードです。

■ゲーム入力画面のとき (ビデオ入力表示設定で「ゲーム」に設定していたとき（→95ページ))

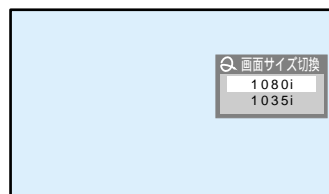
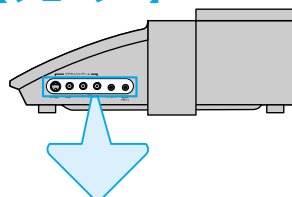
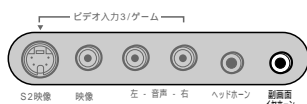
- クイックメニューの「画面サイズ切換」表示が「ゲーム画面サイズ」に変わります。

●下記の操作を行う

①上記の手順2で「ゲーム画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼でゲーム画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタン▼(▲は逆回り)を押すごとに以下の順に切り換わります。

→ゲームフル→ゲームノーマル→ゲームズーム

■ 1125i（1080i）信号のとき

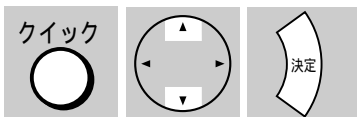
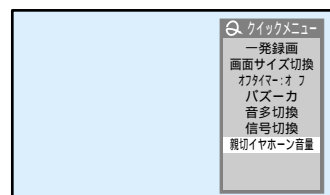
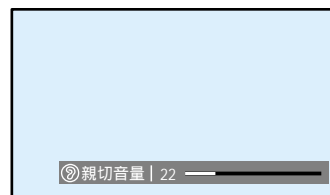
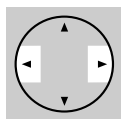
- 上記の手順3の画面が右の画面に変わります。

●カーソルボタン▲･▼で「1080i」または「1035i」を選び決定ボタンを押す

イヤホーンとスピーカーの両方で聞くには

- 1画面表示のとき、副画面イヤホーン端子を使うと、スピーカーの音を出したままイヤホーンで聞くことができます。
- 副画面イヤホーン端子の音量調整はスピーカー音量と独立して調整できます。

副画面イヤホーン音量調整のしかた

はじめに **副画面イヤホーン端子にイヤホーンを差し込む**

1 **クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「親切イヤホーン音量」を選び、決定ボタンを押す**

- イヤホーン挿入時にだけ「親切イヤホーン音量」が表示されます。

2 **カーソルボタン◀·▶を押して音量を調整する**

お知らせ

- 消音ボタンを押しても副画面イヤホーン音声は消えません。
- 副画面イヤホーンには、バズーカ、Trusurroundははたらきません。
- スピーカーの音に比べ副画面イヤホーンの音がやや早く聞こえますが故障ではありません。
- PC入力時は、副画面イヤホーン音量の調整はできません。切り換える前の音量で聞けます。

映像を一時静止する

●静止ボタンを押す

- 静止画面と動画の2画面が出ます。
- もう一度押すと通常の1画面に戻ります。

動画

動画の位置を変えるには

- カーソルボタン▲·▼·◀·▶で、動画を右上、左上、左下、右下に移動することができます。

動画を消去するには

青ボタンを押す
- もう一度押すと動画が表示します。

番組についての説明が見たいとき

①番組説明ボタンを押す
- 動画についての番組の説明を見ることができます。

②番組説明を消すには、決定ボタンを押す

お知らせ

- D4端子からの映像は映像信号のフォーマットによっては静止画で見ることはできません
- ラジオ、データ視聴中は、静止画にすることはできません。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときは静止画にできません。
- 静止ボタンを押すと、本体背面「デジタル放送録画出力」端子からの出力映像が一瞬静止することがあります。
- 静止画中は字幕は表示されません。

データ放送を楽しむ(BSまたは110度CSデジタル放送の場合)

【チューナー】

【前面】

データ放送を楽しむ

データ放送の種類

■番組連動データ放送

● BSまたは110度CSのテレビ番組やラジオ番組に関連したデータ放送
例 ・野球放送中に他球場の速報を放送
・クイズ番組への参加
・ニュース番組での解説情報　など

■独立データ放送

● テレビ番組とは無関係の独立したデータ放送
例 ・ショッピング(オンライン通販)
・天気予報
・ニュース、株価情報　など

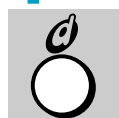
● 双方向のデータ放送を楽しむには、電話回線の接続と設定（→158、165、194ページ）が必要です。
● 録画予約、一発録画実行中は、データ放送の操作はできません。
● 電話回線を使用しているときは、本体の「回線使用中（赤）」表示が点灯します。
● 番組によっては、電話回線の使用料がかかる場合とかからない場合があります。
● 二画面や静止画表示などでは、データ放送はお楽しみになれません。

● データ放送サービスの中で、カウントを蓄積し更新できる番組などがあります。（例：ゲームのスコアやオンラインショッピングのポイントなど）
通常それらのカウント数を更新するのは「電源入（青）」のときですが、「待機（赤）」のときに行われる場合もあります。従って更新中に主電源を切ると正しくカウント数が更新されない場合があります。主電源を切る場合は、カウント数が更新されていることをデータ放送で確認してから行ってください。

番組連動データ放送を楽しむ

はじめに

チューナーの「連動データ放送（青）」が点灯した番組の場合は、下記の操作で番組連動データ放送をお楽しみになれます。
● 表示ボタンを押したときにⓓは表示されます。
● 選局時に画面にマークが表示されます。表示は数秒後に消えます。

1 **ⓓボタンを押す**

● 番組連動データ放送がはじまります。
● 放送によってはⓓボタンを押さなくても自動的にデータ放送がはじまる場合もあります。

2 **画面に表示される操作指示に従って、操作をする**

3 [データ放送を終了するには]
終了ボタンを押す

● データ放送受信中は、リモコン、チューナーの一部のボタンが動作しない場合があります。
● 画面に表示される操作指示で、「ⓓボタン」ではなく、「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。その場合もⓓボタンを押して操作してください。

独立データ放送を楽しむ

1 **データ放送の番組を選ぶ**

● 選局のしかたは、「番組表で選ぶ」（→30ページ）、や「番組チェックで選ぶ」（→36ページ）などをご覧ください。

2 **画面に表示される操作指示に従って、操作をする**

3 ［データ放送を最初から受信しなおすには］
終了ボタンを押す

ペイ•パー•ビュー番組を楽しむ

●ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
つまり、見たい番組についてだけ料金を払ってご覧になることができます。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するための準備

● 19ページの「プラズマテレビをご覧いただくための準備」がすべて完了していることが必要です。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するには…

● 次ページ「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」の操作で購入してください。

■番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合

● 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合は基本以外の信号を視聴するために、追加料金が必要な場合があります。
（53ページで視聴したい信号を購入できます）

■ペイ・パー・ビュー番組の録画について

● ペイ・パー・ビュー番組の録画には、次の3通りのサービスがあります。
● 録画できるもの
● 録画できないもの
● 追加料金を払えば録画できるもの（録画購入）
※ ペイ・パー・ビュー番組によっては、デジタル録画ができない場合があります。

「録画購入」について

● 視聴購入の場合とは、料金が別の場合があります。料金は画面の表示で確認できます。
購入のしかたは、「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」（→次ページ）をご覧ください。

■番組購入後の変更について

● 番組購入後の取り消しはできません。
● ただし録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取り消しができます。（→69ページ）
● 予約を取り消したペイ・パー・ビュー番組は購入されません。
● 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

■番組購入限度額を設定するには

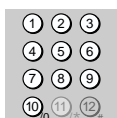
● ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。
設定のしかたは、「番組購入限度額の設定」（→202ページ）をご覧ください。

■番組購入履歴を見るには

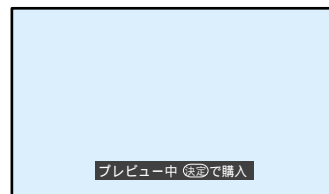
● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。（→49ページ）

ペイ・パー・ビュー番組を購入する

1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ

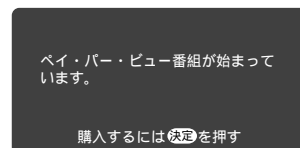
● 次のような画面が表示されます。

プレビュー中の場合

● 右の画面が表示されます。
● 購入する場合は、48ページ手順**2**に進んでください。
（プレビューについては、下の「お知らせ」をご覧ください。）

プレビュー中 決定で購入

番組が始まっている場合

● 右のメッセージが表示されます。
● 購入する場合は、48ページ手順**2**に進んでください。

ペイ・パー・ビュー番組が始まっています。

購入するには決定を押す

視聴制限がはたらいている場合

● 右のようなメッセージが表示されます。
● 番組を購入する場合は、下記の操作を行ってください。

①決定ボタンを押す
- 暗証番号入力の画面になります。

②数字ボタンで暗証番号を入力する
- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して1桁目から入力しなおしてください。
- 次は、48ページ手順**2**の「決定ボタンを押す」のあとに進んでください。

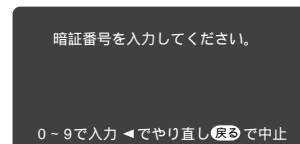
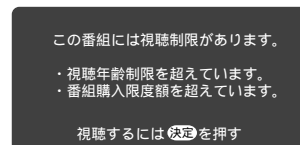
この番組には視聴制限があります。

・視聴年齢制限を超えています。
・番組購入限度額を超えています。

視聴するには決定を押す

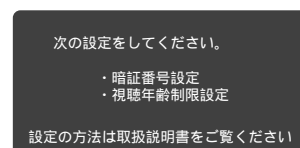
暗証番号を入力してください。

■■■■

0～9で入力 ◀でやり直し 戻るで中止

- 右のメッセージが表示されたとき暗証番号の設定（→199ページ）や、視聴年齢制限の設定（→200ページ）が必要です。

次の設定をしてください。

・暗証番号設定
・視聴年齢制限設定

設定の方法は取扱説明書をご覧ください

メッセージが表示されて、番組購入ができない場合

● 「次の場合には番組を購入できません」（→次ページの「お知らせ」）をご覧ください。

［次のページにつづく］

■プレビューについて
● 番組によっては、番組を選んだときに、しばらくの間視聴できる場合があります。これをプレビューといいます。
プレビューは、番組購入の前に番組内容を確認するのに便利です。
（プレビューが終わった後、チャンネルを変え、再度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません。）

■番組を購入できる時間について
● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間まで限られている場合があります。
その場合、それ以降は購入できませんのでご注意ください。

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

ペイ・パー・ビュー番組を購入する つづき

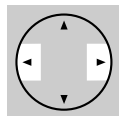
2 決定ボタンを押す

右のメッセージが表示された場合

①**決定ボタンを押す**
- 暗証番号入力の画面になります。

②**数字ボタンで暗証番号を入力する**

この番組には視聴制限があります。
・番組購入限度額を超えています。
視聴するには 決定 を押す

3 下記の操作を行う

右の画面が表示されている場合

- **カーソルボタン◀・▶で「購入する」を選ぶ**
  - 購入しない場合は、「しない」を選んでください。

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
購入料金：￥500
購入しますか？
購入する　しない
◀▶で選び 決定 を押す

右の画面が表示されている場合

- この場合は、録画するためには視聴とは別の料金が必要です。
  カーソルボタン◀・▶で、「視聴購入」か「録画購入」を選ぶ
  - 購入しない場合は、「しない」を選んでください。

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
視聴料金：￥500
録画料金：￥700
購入しますか？
視聴購入　録画購入　しない
◀▶で選び 決定 を押す

4 決定ボタンを押す

- 「番組を購入しました。」が表示されます。
  これで購入の操作は終了です。

デジタル録画できない番組の場合

- D-VHSビデオがi.LINK登録されていて（→184ページ）、i.LINK端子経由でデジタル録画できない番組の場合には、右の画面が表示されます。
  アナログ録画する場合は、カーソルボタン◀・▶で「はい」を選んで、決定ボタンを押してください。

この番組はデジタル録画できません。
このまま購入しますか？
はい　いいえ
◀▶で選び 決定 を押す

- アナログ録画、デジタル録画については、「一発録画」（→73ページ）をご覧ください。

すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合

- 決定ボタンを押すと、右のメッセージが表示されます。
  ①**番組を購入する場合は、カーソル◀・▶ボタンで「はい」を選ぶ**
  - 購入しない場合は、「いいえ」を選んでください。

  ②**決定ボタンを押す**

すでに購入された番組と時間が重なっています。
購入を続けますか？
はい　いいえ
◀▶で選び 決定 を押す

すでに予約された番組と時間が重なっています。
購入を続けますか？
はい　いいえ
◀▶で選び 決定 を押す

お知らせ

■**次の場合には番組を購入できません。**（画面にメッセージが表示されます。）
- 契約していない番組の場合
- 番組を購入できる時間が終了している場合
- 電話回線が正しく接続されていないため、購入情報が送信されていない場合
  - 電話回線の接続と設定を確認してください。（→158、165、194ページ）
  - 「番組購入情報の送信」（→79ページ）を行ってください。

■**番組によっては、録画が制限される場合があり、その内容は番組説明画面で確認できます。**
（→39ページ）

お知らせ

- 番組購入履歴には２５番組まで表示されます。
- ２５番組を超えた場合は、リスト表示された古いものから順番に削除されます。
- 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→５３ページ）も含みます。

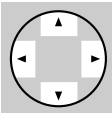
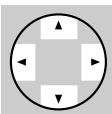
番組購入履歴を見る

● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「番組購入履歴」を選び、決定ボタンを押す

4 番組購入履歴を見る

● 購入状況が次のように表示されます。
- 購入済み
- 購入エラー
  録画予約実行時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。
  この場合は購入料金はかかりません。
- 取消
  録画予約実行前に、取り消された場合に表示されます。

表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼でページを変えることができます。

番組購入履歴をすべて削除したい場合

①青ボタンを押す
②カーソルボタン◄·►で「はい」を選ぶ
③決定ボタンを押す
番組購入履歴がすべて削除されます。

5 下記を行う

前画面に戻るには

● **決定ボタンを押す**

通常画面に戻るには

● **終了ボタンを押す**

降雨対応放送について

●衛星を利用した放送では、雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。
その場合でも、デジタル放送では、降雨対応放送が行われているときには、下記の操作によって放送をご覧になることができます。

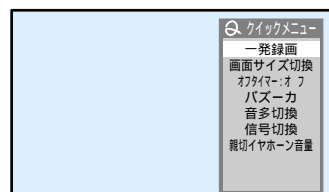
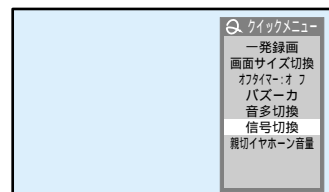
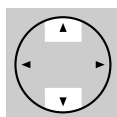
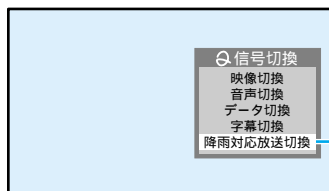
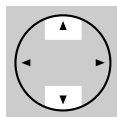
降雨対応放送に切り換えるには

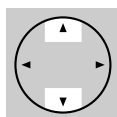
はじめに

BS または 110 度 CS デジタル放送を選んでいて、右のメッセージが表示された場合は、以下の操作により、降雨対応放送に切り換えることができます。

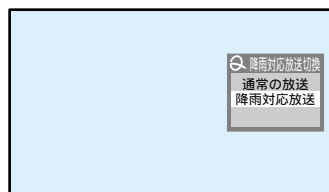
電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。

1 クイックボタンを押す

●クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定ボタンを押す

※降雨対応放送が行われていない番組の場合は、薄く表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

●選んだ状態に放送が切り換わります。
●通常の放送に戻すには、「通常の放送」を選んでください。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- クイックメニューに「降雨対応放送切換」が濃く表示されているとき、降雨対応放送に切り換えることができます。
- 電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品位が落ちる場合があります。
- 予約実行時には、「降雨対応放送切換」はできません。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約実行時には、降雨対応放送切換の操作はできません。（ただし、自動では切り換わります。）

ビデオなどの外部機器を楽しむ

- ビデオなどをチューナーの「ビデオ入力」につないだ場合について説明します。
  （接続のしかたや詳しい操作方法は 124 ～ 142 ページをご覧ください。）
- リモコンでの切り換えとチューナー前面での切り換えでは動作が異なります。

リモコンの「入力切換」ボタンで切り換える場合

1 見たい機器の電源を入れる

2 入力切換ボタンで「ビデオ入力」を選ぶ

入力切換

- 押すごとに順に切り換わります。

地上放送·BSテレビ·110度CSテレビ → ビデオ1 → ビデオ2 →…ビデオ5 → i.LINK → PC

ビデオ1 VTR
AM 11：30

3 ビデオなどを操作する

チューナーの「入力/放送切換」ボタンで切り換える場合

【チューナー】

【チューナー前面】

1 見たい機器の電源を入れる

2 入力 / 放送切換ボタンで「ビデオ入力」を選ぶ

入力/放送切換

- 押すごとに順に切り換わります。

地上放送・BSテレビ → ビデオ1 → …ビデオ5 → i.LINK → 110度CSテレビ → PC

3 ビデオなどを操作する

- 「二画面」、「録画中」、「録画予約」、「一発録画」の実行中はi.LINKには切り換わりません。
- 画面右上に表示されている入力表示は、VTR、DVDなどの機器名に変えることができます。
  （→95ページ）
- ビデオ入力3/ゲームに切り換えたときは、ゲームに適した画質と画面サイズとなるように設定されています。
  ビデオなどをつなぐときは、ビデオ入力3/ゲーム端子を選んだ後、終了ボタンを押してください。
  通常のビデオ入力端子として使えるようになります。
- 常時ゲーム以外の機器をつなぐときは、「ビデオ入力表示の設定」（→95ページ）をゲーム以外にしてご使用ください。

映像、音声、データを切り換える

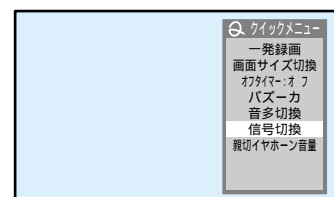
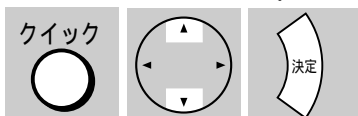
● デジタル放送の場合、１つの番組の中に複数の信号（映像や音声、データ）がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。

1 複数の信号があることをアイコン（絵文字）で確認する

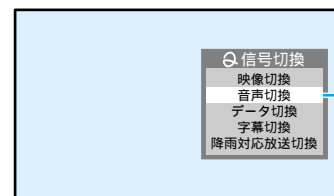
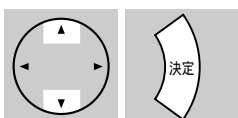
● 表示ボタンで表示されます。

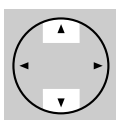
アイコン

2 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

● 信号切換の画面（次の手順の画面）になります。

3 カーソルボタン▲·▼で「映像切換」「音声切換」「データ切換」のいずれかを選び、決定ボタンを押す

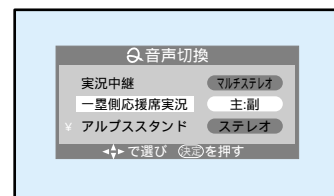
● 選んだ切換の画面（次の手順の画面）になります。

信号切換
映像切換
音声切換
データ切換
字幕切換
降雨対応放送切換

※信号が１つだけの場合は、薄く表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼でお好みの信号を選ぶ

Ⓒが表示されている信号について

● お聞きになるためには追加料金が必要です。
● 「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」（→53ページ）の操作を行ってください。

音声切換で二重音声を選んだ場合

● スピーカーからの音声出力を切り換えるには「音声多重放送を聞くには」（→40ページ）をご覧ください。

（「音声切換」を選んだ場合）
表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

5 決定ボタンを押す

● 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます。）
● 選局時の操作を行うと、手順4で選んだ状態は取り消されます。
● アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約、一発録画実行中は信号切換はできません。

選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合

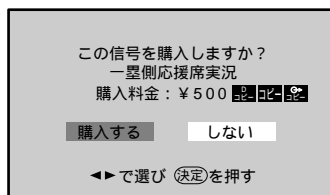
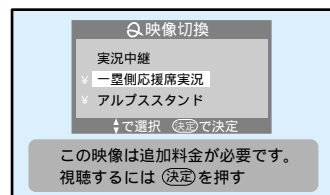
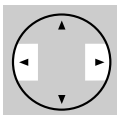
はじめに

52ページに従って、お好みの映像、音声、データ放送を選ぶ

52ページに従って

● 右の画面が表示されます。以下の操作を行ってください。

1 決定ボタンを押す

● 右の画面になります。

2 カーソルボタン◄・►で、「購入する」または「しない」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

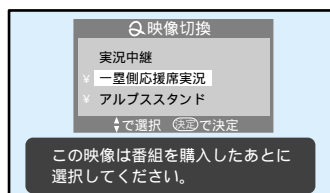
● 選んだ信号が購入されます。
● 購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面になります。
購入する場合は、暗証番号を数字ボタンで入力してください。
購入しない場合は、終了ボタンを押してください。

ペイ・パー・ビュー番組の購入がまだ行われていない場合

● 右のメッセージが表示されます。以下のように、ペイ・パー・ビュー番組の購入を行ってから、ご希望の映像や音声、データを購入してください。

①終了ボタンを押す
- 通常画面に戻ります。

②ペイ・パー・ビュー番組を購入する
- 47ページの操作を行う

③「映像切換」または「音声切換」または「データ切換」（→52ページ）の操作をする

デジタルカメラの画像を見る

スマートメディアTMの画像を見る

- デジタルカメラでスマートメディアTMに記録した画像を再生して、テレビ画面で見ることができます。
- 本機で再生できるスマートメディアTMと記録されているファイルの仕様については下記のとおりです。パソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした画像は再生できない場合があります。

記録媒体	スマートメディアTM（3.3V）2/4/8/16/32/64/128MB対応
圧縮方式	JPEG準拠
画像ファイルフォーマット	Exif ver2.1準拠
互換ルール	DCF ver1.0準拠

- デジタルカメラの取り扱いかたについては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 スマートメディアTM カードを差し込む

- 数秒でスマートメディアに記録した画像が表示されます。
- スマートメディアの取り扱いかたについては、スマートメディアTMの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- とびらの裏側のマーク◢に向きを合わせて差し込んでください。
  スマートメディアTMを差し込むときの上下の向きにご注意ください。金属部（金色）が下向きになります。
- 自動的に画像再生されるのは一画面で放送を視聴しているときだけです。また一画面でもi.LINKモード、録画予約、一発録画のときは、自動的に画像再生はされません。

■画像再生モードを終了した後に再度画像を再生したい場合は、次の操作で画像再生モードになります。

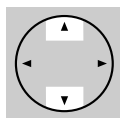
①メニューボタンを押す（スマートメディアカードが差し込まれている状態で）
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「メモリカード」を選び、決定ボタンを押す
- スマートメディアカードとSDメモリカードの両方が挿入されているときはSDメモリカード の画像が出ます。そのときは赤色ボタンを押してスマートメディアに切り換えてください。

お願い

- スマートメディアTM の画像を見ているときは、スマートメディアTMを取り出さないでください。
- スマートメディアTM の画像を見ているときは、電源を切らないでください。
- スマートメディアTM の金属部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- 正しく表示されないときは、スマートメディアTM の金属部（金色の部分）をきれいにして挿入し直してください。
- インデックスエリアには、スマートメディアTMに付属のインデックスラベルを貼ってください。市販のラベルなどは貼らないでください。カードの出し入れの際、故障の原因になります。
- 静止画（写真など）で長時間見ると画面の焼き付きの原因になりますのでご注意ください。

お知らせ

- スマートメディアTM（SmartMediaTM）は（株）東芝の商標です。
- お買い上げ時は、デジタルカメラ画像表示中は、BGM（背景音）が流れるように設定されています。BGMが出ないようにするには55ページ手順2または97ページをご覧ください。
- スマートメディアTMに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

2 カーソルボタン▲·▼で見たい画像を選ぶ

● 選んだ画像が右側に拡大して表示されます。

SDメモリカードモードに切り換えるとき

● **赤色ボタンを押す**
- SDメモリカードモードとスマートメディアモードに交互に切り換わります。

スライドショー表示で見るとき

● 現在選んでいる画像から自動的に順番に表示させて見ることができます。
● **青色ボタンを押す**
- スライドショーモードになります。

スライドショーを一時止めるには

● **赤色ボタンを押す**
- 再度赤ボタンを押すと、スライドショーが再開されます。

スライドショー表示を止めて、一覧表示に戻るには

● **青色ボタンを押す**
- または、戻るボタンを押します。

BGMをオン/オフするには

● **緑色ボタンを押す**
- 押すごとにオン/オフが交互に切り換わります。

●「BGM（背景音）の設定」（→97ページ）で、BGMのオン/オフを設定することもできます。

■**スライドショー表示のとき**
- ●カーソルボタン▲·▼を押すと、画面の「枚数」表示が切り換わり、見たい画像を選ぶことができます。
- ●表示ボタンを押すと、画像以外の表示を消すことができます。再び表示するにはもう一度表示ボタンを押します。

3 ［通常画面に戻るには］ 終了ボタンを押す

お知らせ

■**次のメッセージが表示されたときは画像を再生できません。**

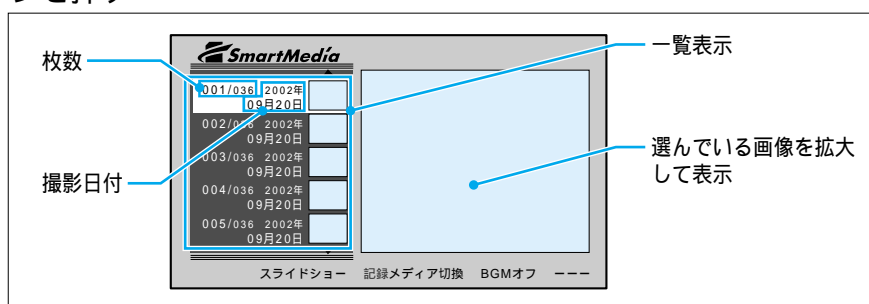
「画像データがありません」
● 本機で再生できる画像データがありません。

「画像データを表示できません」
● データに欠落などがあるため、本機で再生することができません。

「スマートメディアのフォーマットが違うため、画像データを表示できません」
● 本機で対応しているスマートメディア™ではありません。

「スマートメディアを確認してください」
● 3.3Vのスマートメディア™をご使用ください。（54ページ参照）

「スマートメディアが挿入されていません」
● スマートメディア™を挿入してください。

■**スマートメディア™の画像を表示中は、ビデオ用のS1映像出力端子または映像出力端子および音声出力端子からは信号が出力されません。**

デジタルカメラの画像を見る つづき

SDメモリカードの画像を見る

- デジタルカメラでSDメモリカードに記録した画像を再生して、テレビ画面で見ることができます。
- 本機で再生できるSDメモリカードと記録されているファイルの仕様については下記のとおりです。
パソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした画像は再生できない場合があります。

記録媒体 ※	SDメモリカード(3.3V)8/16/32/64/128/256MB対応
圧縮方式	JPEG準拠
画像ファイルフォーマット	Exif ver2.1準拠
互換ルール	DCF ver1.0準拠

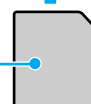
※本機はバージョン1.0のSDメモリカードに対応しています。
- デジタルカメラの取り扱いかたについては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 SD メモリカードを差し込む

- 数秒たつと、SDメモリカードに記録した画像が表示されます。

- とびらの裏側のマークに向きを合わせて差し込んでください。

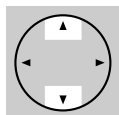
- 自動的に画像再生されるのは一画面で放送を視聴しているときだけです。また一画面でもi.LINKモード、録画予約、一発録画のときは、自動的に画像再生はされません。

- SDメモリカードの取り扱いかたについては、SDメモリカードの取扱説明書をご覧ください。

■画像再生モードを終了した後に再度画像を再生したい場合は、次の操作で画像再生モードになります。

①メニューボタンを押す(SDメモリカードが差し込まれている状態で)
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「メモリカード」を選び、決定ボタンを押す

- SDメモリカードの画像を見ているときは、SDメモリカードを取り出さないでください。
- SDメモリカードの画像を見ているときは、主電源を切らないでください。
- インデックスエリアには、SDメモリカードに付属のインデックスラベルをご使用ください。
市販のラベルなどは貼らないでください。SDメモリカードの出し入れの際、故障の原因となります。
- 静止画（写真など）で長時間見ると画面の焼き付きの原因になりますのでご注意ください。

- お買い上げ時は、デジタルカメラ画像表示中、BGM（背景音）が流れるように設定されています。BGMが出ないようにするには57ページ手順2または97ページをご覧ください。
- SDメモリカードに記録されている容量によっては、記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

2 カーソルボタン▲·▼で見たい画像を選ぶ

- 選んだ画像が右側に拡大して表示されます。

スマートメディアモードに切り換えるとき

- **赤色ボタンを押す**
  - ＳＤメモリカードモードとスマートメディアモードに交互に切り換わります。

スライドショーモードで見るとき

- 現在選んでいる画像から自動的に順番に表示させて見ることができます。
- **青色ボタンを押す**
  - スライドショーモードになります。

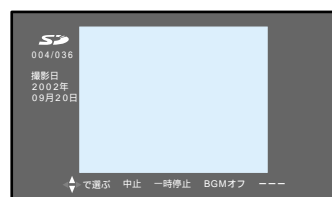
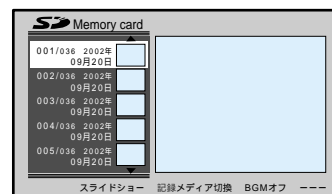
スライドショーを一時止めるには

- **赤色ボタンを押す**
  - 再度赤ボタンを押すと、スライドショーが再開されます。

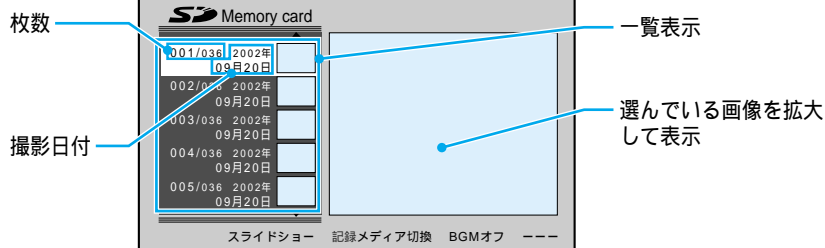
スライドショー表示を止めて、一覧表示に戻るには

- **青色ボタンを押す**
  - または、戻るボタンを押します。

BGMをオン/オフするには

- **緑色ボタンを押す**
  - 押すごとにオン/オフが交互に切り換わります。
- 「BGM（背景音）の設定」（→97ページ）で、BGMのオン/オフを設定することもできます。

■スライドショー表示のとき

- カーソルボタン▲·▼を押すと、画面の「枚数」表示が切り換わり、見たい画像を選ぶことができます。
- 表示ボタンを押すと、画像以外の表示を消すことができます。再び表示するにはもう一度表示ボタンを押します。

3 ［通常のテレビ画面に戻るには］終了ボタンを押す

■次のメッセージが表示されたときは画像を再生できません。

「画像データがありません」
- 本機で再生できる画像データがありません。

「画像データを表示できません」
- データに欠落などがあるため、本機で再生することができません。

「SDメモリカードのフォーマットが違うため、画像データを表示できません」
- 本機で対応しているSDメモリカードではありません。

「SDメモリカードが挿入されていません」
- SDメモリカードを挿入してください。

■SDメモリカードの画像を表示中は、ビデオ用のS1映像出力端子または映像出力端子および音声出力端子からは信号が出力されません。

録画予約/視聴予約

- BS または 110 度 CS デジタル放送の場合、番組表の画面などで番組を指定することで、予約を行うことができます。ビデオを連動動作させて、録画予約を行うこともできます。詳しくは下記をご覧ください。
- 予約を行う際は、「予約についての注意事項」（→ 72 ページ）もご覧ください。

録画予約/視聴予約について

■予約の種類

- 予約には、番組指定予約と日時指定予約があります。
  - 番組指定予約…番組表画面などで、番組を指定して予約を行います。通常はこの方法で予約します。
  - 日時指定予約…日と時間を指定して予約します。放送時間の長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。
- さらに番組指定予約・日時指定予約のそれぞれについて、録画予約または視聴予約が行えます。
  - 録画予約…本機からビデオなどの録画機器をコントロールして、録画予約を行うときに使います。
  - 視聴予約…予約実行時に視聴だけをする場合に使います。

■予約できる番組数

- 視聴予約、録画予約合わせて最大16番組です。

■「録画予約」について

- 録画予約には2つの種類があります。

1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合
- 付属のビデオコントロールケーブルを使います。
- 予約時間になるとビデオコントロールケーブルからビデオのリモコン信号を出してビデオをコントロールし、録画を行います。

2 i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合
- i.LINK端子からビデオをコントロールして録画を行います。

■「録画予約」をする前の準備

- 「録画予約」を行うには、次の準備が必要です。

1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合
①「ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた」（→127ページ）で、本機とビデオを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→135ページ）
③接続される録画機器の機種設定（→191ページ）

- 上記の準備はビデオをビデオコントロールケーブルで連動させる場合です。ビデオコントロールケーブルを使わない場合（非連動）は、本機で予約した後、ビデオなどの録画機器でも予約の設定を行う必要があります。ビデオの取扱説明書もよくお読みください。
- デジタル放送録画出力端子からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）や字幕、データ放送は出力されません。

2 i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画をする場合
①i.LINK端子を使って本機とビデオを接続する（→136ページ）
②「i.LINK設定」を行う（→184～190ページ）

- 「i.LINKについて」（→141ページ）もご覧ください。
- i.LINK端子からは通常、メニュー表示などは出力されません。

- D-VHSビデオを使用する場合でも、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画を行う場合は、上の「**1** アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合」の準備を行ってください。

- PC入力時は、視聴予約はできません。

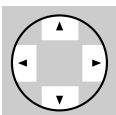
録画予約/視聴予約のしかた

● 予約の概要や予約をする前の準備については、58ページをご覧ください。

1 番組表ボタンを押す

● 番組表が表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で、予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

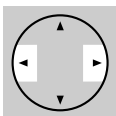
● 今後放送される番組を選んでください。

■次のメッセージが表示された場合

● 「番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません。」
  • 決定ボタンを押すと番組表画面に戻ります。
    「番組購入情報の送信」(→79ページ)を行ってください。
● 「番組予約ができません。次の設定をしてください。」
  • 「暗証番号の設定」(→199ページ)、「視聴年齢制限の設定」(→200ページ)を行ってください。

■次のメッセージが表示された場合は、68ページをご覧ください。

● 「すでに購入された番組と時間が重なっています。」
● 「予約数がいっぱいです。」
● 「他の予約と時間が重なっています。」
● 「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

3 カーソルボタン◀·▶で「視聴予約」、「録画予約」のどちらかを選び、決定ボタンを押す

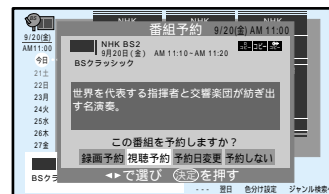
● 録画が禁止されている番組の場合には、録画予約はできません。
(その場合は、「この番組は録画予約できません。」のメッセージでお知らせします。)

視聴予約を選んだ場合

● これで予約設定完了です。

録画予約を選んだ場合

● 手順4に進んでください。

予約日時を変更したい場合

● 予約日を毎日、毎週などに変更したり、予約時間を変更することができます。
● 詳しくは、63ページをご覧ください。

[次のページにつづく]

お知らせ

● 独立データ放送は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画予約できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画できません。
● ジャンル検索や番組チェックで次に放送される番組を選んだ場合にも予約ができます。（→33、36ページ）

録画予約/視聴予約 つづき

4 設定内容を画面で確認する

●確認する内容は下記のとおりです。

変更が必要な場合は、62ページをご覧ください。

①「録画機器」

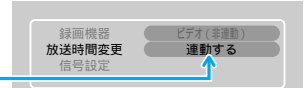
アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

●「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」が表示されていることを確認してください。

●「録画機器機種設定」（→１９１ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
●「該当なし」に設定した場合は「ビデオ（非連動）」が表示されます。

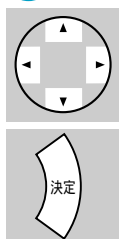
i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。

②「放送時間変更」
（放送時間変更に連動する／連動しないの設定）

③「信号設定」（i.LINK端子経由でデジタル録画する場合は必要はありません）
●録画する映像や音声信号の設定です。
●変更しない場合は、基本の映像、音声信号が録画されます。
●信号設定については、右上の画面には設定内容が表示されません。設定内容を確認する場合や変更する場合は、62ページで行ってください。

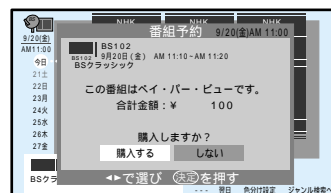
録画予約/視聴予約のしかた つづき

5 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「録画予約する」を選び、決定ボタンを押す

決定

- 予約設定はこれで完了です。
  次は手順6を行ってください。

次の画面が表示されたとき

- 番組に視聴制限がはたらいています。
  - 録画予約する場合は数字ボタンで暗証番号を入力する
    - 間違って入力した場合はカーソルボタン◀を押し、もう一度1桁目から入力してください。

- 選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。
  - 録画予約する場合はカーソルボタン◀・▶で「購入する」を選び、決定ボタンを押す
    - 録画するには画面に表示された料金がかかります。
    - 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→53ページ）も含みます。

- 設定されている録画機器では、デジタル録画予約することはできません。複数のD-VHSビデオを登録している場合は、「録画用機器の設定」（→188ページ）で他の録画機器に変更してください。

録画予約できません。
録画機器を変更してください。
決定を押す

- 独立データ放送は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画予約できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画できません。

■デジタル方式で録画をする場合
- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
  （機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。）
- 番組によっては、録画できない場合があります。
  （その内容のメッセージが画面に表示されます。）
- データ放送は、番組情報が送られない場合デジタル録画予約できない場合があります。

6 下記の準備を行う

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

- **ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合**
  ①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する（→135ページ）
  ②録画機器の準備をする
  - **録画するビデオテープを録画機器に入れる**
  - **録画機器の入力切換を行う（本機が接続されている入力に切り換える）**
  - **録画機器の電源を切（待機）にする**

予約が完了しました。
録画機器の準備を行い、電源が「切」になっていることを確認してください。
決定を押す

- **ビデオコントロールケーブルを使わない場合**
  - 録画機器で予約の設定を行ってください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

- 録画するD-VHSテープをビデオに入れてください。

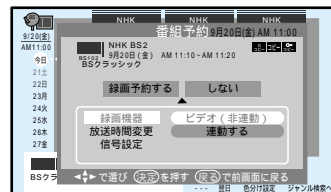
予約が完了しました。
D－VHSのテープを入れて、録画機器の準備をしてください。
決定を押す

録画予約/視聴予約 つづき

予約設定内容を変更する場合

● 60ページの手順4の画面で、予約設定の内容を変更する方法について説明します。

■「録画機器」の変更

①カーソルボタン▲・▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲・▼で下記のように設定し、決定ボタンを押す

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

●「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」に設定してください。

●「録画機器機種設定」(→191ページ)でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。
●「該当なし」にした場合は「ビデオ(非連動)」が表示されます。

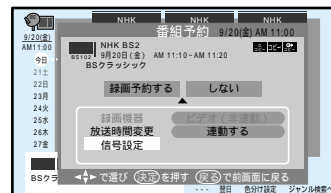
i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●録画に使用するi.LINK機器に設定してください。(「録画用機器の設定」(→188ページ)で設定したi.LINK機器のみが設定できます。)

■「放送時間変更」(放送時間変更に連動する/連動しないの設定)

①カーソルボタン▲・▼で「放送時間変更」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲・▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定ボタンを押す

■「信号設定」(i.LINK端子経由でデジタル録画する場合は必要ありません)

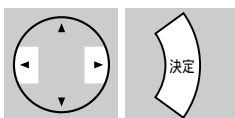
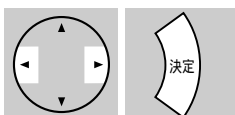
●録画する映像や音声信号の設定です。
①カーソルボタン▲・▼で「信号設定」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲・▼で設定する内容を選び、決定ボタンを押す
• 設定項目は、下記のとおりです。
  • 映像信号
  • 音声信号
  • 二重音声

お知らせ

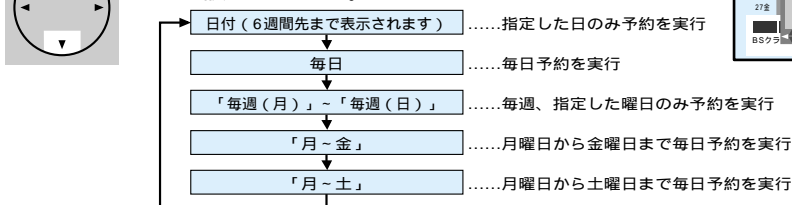
●「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合は、予約番組が時間変更された場合に、自動的に時間に合わせて録画予約を実行します。最大3時間までの番組開始時刻の遅れに対応します。(番組開始時刻が早くなった場合には対応していません。)選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は自動的に「連動する」の設定になります。
●「連動する」に設定されていても正常に連動動作しない場合があります。(→詳しくは71ページ)

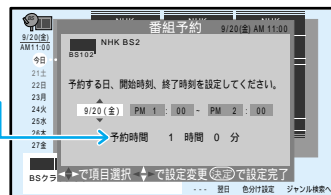
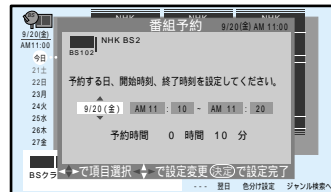
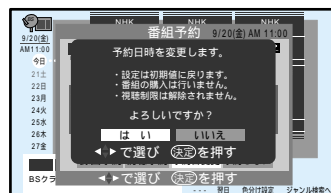
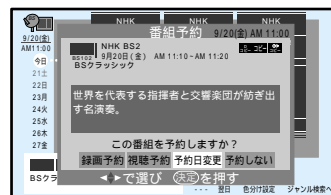
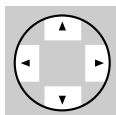
予約日時を変更する場合

● 予約日を毎日、毎週などにしたり、予約時間を変更する方法について説明します。

● 予約時間の変更は次のような場合に便利です。
例．複数の番組を録画予約する場合で、前の番組の終了時刻と後の番組の開始時刻が同じ場合
・そのままでは、前の予約番組の終わり部分が数秒間欠けることとなりますが、後の番組の予約開始時刻を遅い時刻に変更することにより、前の予約番組を終わりまで録画させることができます。

1 59ページ手順3の画面で、カーソルボタン◀･▶で「予約日時変更」を選び、決定ボタンを押す

2 画面の説明を読んだ後、カーソルボタン◀･▶で「はい」を選んで、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン◀･▶で予約日（左端の項目）を選び、カーソルボタン▲･▼で設定する

● カーソルボタン▲･▼を押すことにより、次のように設定できます。

4 カーソルボタン◀･▶で予約開始時刻または終了時刻を選び、カーソルボタン▲･▼で設定する

● 画面下に予約時間が表示されます。
● 設定できる時間は最大23時間59分です。

5 決定ボタンを押す

● 時刻設定に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。決定ボタンを押し、時刻設定をやり直してください。

6 59ページ手順3以降の操作により予約を行う

● 予約設定は、上の手順2の画面で表示された内容のもとで行われます。（左の「お知らせ」参照）
● 予約設定の画面表示は、番組名の表示が「日時指定予約」に変わります。

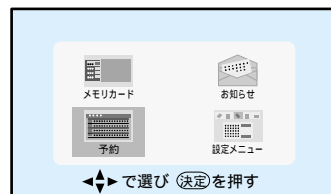
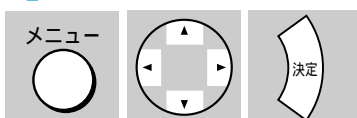
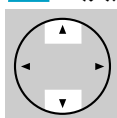
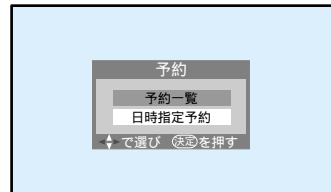
● 日時を変更して予約した場合、次のようになります。
・ペイ・パー・ビュー番組の購入は行いません。
・視聴制限は解除されません。
・録画予約では放送時間変更の設定はできません。
・アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合、録画予約で二重音声の設定を行えます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。

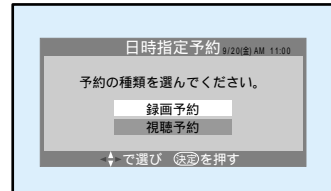
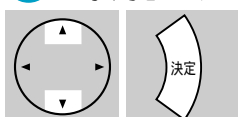
録画予約/視聴予約 つづき

予約のしかた(日時を指定して予約する場合)

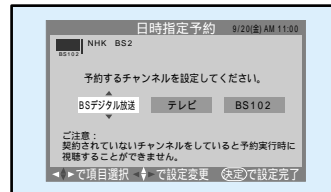
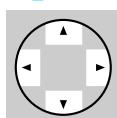
- 日と時間を指定して予約します。放送時間が長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。
- 毎日、毎週、月〜金、月〜土などの予約が選べます。
- 日時指定予約は次のような場合に便利です。

例：複数番組を録画予約する場合で、前の番組の終了時刻と後の番組の開始時刻が同じ場合
・そのままでは、前の予約番組の終わり部分が少し欠けることとなりますが、後の番組の予約開始時刻を遅い時刻に変更することにより、前の予約番組を終わりまで録画させることができます。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼◀·▶で「予約」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「日時指定予約」を選び、決定ボタンを押す

- 69ページをご覧ください。

「予約数がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか？」

3 カーソルボタン▲·▼で「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン◀·▶で放送の種類(左端の項目)を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

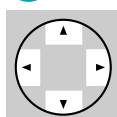
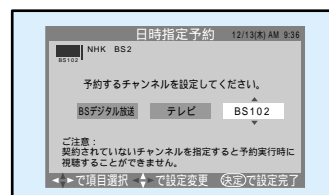
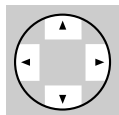
- カーソルボタン▲·▼を押すごとに下のように切り換わります。

BSデジタル放送 ←→ 110度CS

5 カーソルボタン◀·▶でメディアタイプ（まん中の項目）を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

- カーソルボタン▲·▼を押すごとに下のように切り換わります。

→ テレビ ←→ ラジオ ←→ データ ←

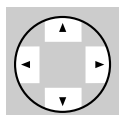
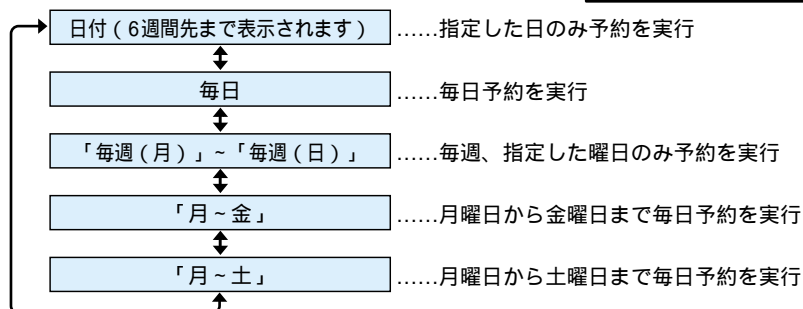
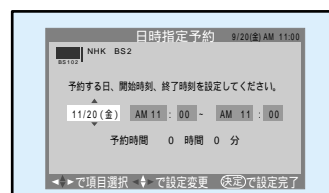
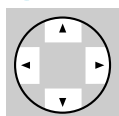
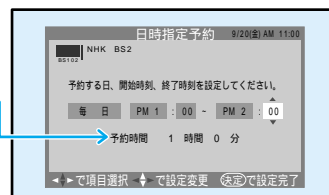
[次のページにつづく]

- 日時指定予約の場合、次のようになります。
  - ・日時指定予約ではペイ・パー・ビュー番組の購入は、行われません。
  - ・日時指定予約の録画予約では放送時間変更の設定はできません。
  - ・アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合、録画予約で二重音声の設定を行えますが、それらがない番組では無効となります。

6 カーソルボタン◀·▶でチャンネル番号（右端の項目）を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

7 決定ボタンを押す

● 日時指定画面になります。

8 カーソルボタン◀·▶で予約日（左端の項目）を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

●カーソルボタン▲·▼を押すごとに下のように切り換わります。

- 日付（6週間先まで表示されます）……指定した日のみ予約を実行
- 毎日……毎日予約を実行
- 「毎週（月）」～「毎週（日）」……毎週、指定した曜日のみ予約を実行
- 「月～金」……月曜日から金曜日まで毎日予約を実行
- 「月～土」……月曜日から土曜日まで毎日予約を実行

9 カーソルボタン◀·▶で予約開始時刻または終了時刻を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

● 画面下に予約時間が表示されます。
● 設定できる時間は最大23時間59分です。

10 決定ボタンを押す

● 時刻設定に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。決定ボタンを押して、時刻設定をやり直してください。他のメッセージが表示された場合は、68ページをご覧ください。

手順3で視聴予約を選んだ場合

● これで予約設定完了です。

手順3で録画予約を選んだ場合

● 手順11に進んでください。

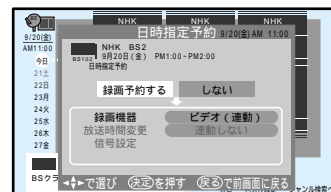
● 手順**6**で、受信契約していないチャンネルを指定すると、予約実行時に視聴や録画ができません。

録画予約/視聴予約 つづき

予約のしかた(日時を指定して予約する場合) つづき

11 設定内容を画面で確認する

●確認する内容は下記のとおりです。

①「録画機器」

変更が必要な場合は、62ページをご覧ください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

●録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

●「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」が表示されていることを確認してください。
●次は「信号設定」を確認してください。

●「録画機器機種設定」(→191ページ)でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。
●「該当なし」に設定した場合には「ビデオ(非連動)」が表示されます。

②「信号設定」

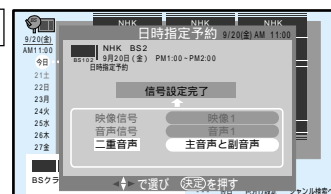
● 「録画機器」の設定が「ビデオ(連動)または(非連動)」のときだけの設定です。
● **カーソルボタン▲·▼で「信号設定」を選び、決定ボタンを押す**

■「二重音声」

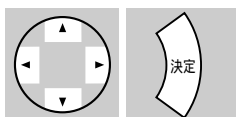
変更が必要な場合は、67ページをご覧ください。

● 「二重音声」の詳細については40ページをご覧ください。
● 「二重音声」の設定は予約実行中の二重音声番組に対してこの設定が反映されます。

[次のページにつづく]

お知らせ

● 予約したチャンネル番号が独立データ放送の場合は、録画機器を「ビデオ（連動）／（非連動）」に設定できません。
● 日時指定予約では放送時間変更、映像信号、音声信号の変更設定はできません。
● 日時指定予約でアナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約をする場合は、映像、音声、データなどで複数の信号がある番組の場合は、基本信号だけが記録されます。
● 予約実行時の番組が二重音声でない場合「二重音声」で設定した内容は無効になります。

予約のしかた(日時を指定して予約する場合) つづき

12 カーソルボタン▲·▼◀·▶で「録画予約する」を選び、決定ボタンを押す

13 下記の準備を行い、決定ボタンを押す

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

- ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合
  ①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する(→135ページ)
  ②録画機器の準備をする
  ・録画するビデオテープを録画機器に入れる
  ・録画機器の入力切換を行う(本機が接続されている入力に切り換える)
  ・録画機器の電源を切(待機)にする

- ビデオコントロールケーブルを使わない場合
  ・録画機器で予約の設定を行ってください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

- 録画するD-VHSテープをビデオに入れてください。

- 日時指定予約の設定時間は番組表(→30ページ)で時間表示欄に反映されます。

予約設定内容を変更する場合

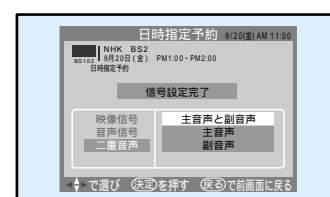
- 66ページの手順11の画面で、予約設定の内容を変更する方法について説明します。

■「録画機器」

- 「録画機器」の変更方法については62ページをご覧ください。

■「二重音声」(i.LINK を使ってデジタル録画する場合は設定の必要はありません)

①カーソルボタン▲·▼で「二重音声」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼で「主音声と副音声」、「主音声」、「副音声」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「信号設定完了」を選び、決定ボタンを押す

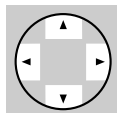
- お買い上げ時には「主音声と副音声」に設定されています。

お知らせ

■i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
  (機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。)
- 番組によっては、録画できない場合があります。
  (その内容のメッセージが画面に表示されます。)

録画予約/視聴予約 つづき

予約設定時に次のメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージ表示された場合に、録画を続けるための手順を説明します。

予約がいっぱいの場合（16番組まで予約できます）

「予約がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか？」

①**カーソルボタン◀・▶で「はい」を選ぶ**
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②**決定ボタンを押す**
● 画面は予約一覧になります。他の予約を取り消してください。
詳しくは次ページの手順**3**をご覧ください。

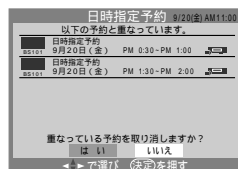
すでに購入した番組と放送時間が重なる場合

「すでに購入された番組と時間が重なっています。
予約を続けますか？」

①**カーソルボタン◀・▶で「はい」を選ぶ**
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②**決定ボタンを押す**

すでに予約した番組と放送時間が重なる場合

「他の予約と時間が重なっています。他の予約を
取り消しますか？」

①**カーソルボタン◀・▶で「はい」を選ぶ**
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②**決定ボタンを押す**
● 予約が重複している番組のリストが表示されます。
・予約が重複している番組が5つ以上ある場合は、カーソルボタン▲・▼で番組のリストを切り換えて確認できます。

重複している番組を取り消す場合

● **カーソルボタン◀・▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
・重複している番組がすべて取り消されます。

重複している番組を取り消さない場合

● **カーソルボタン◀・▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

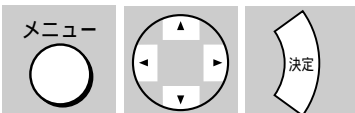
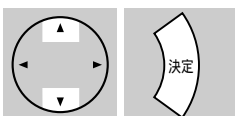
ダウンロード予約と時間が重なる場合

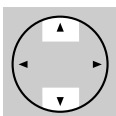
「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。
このダウンロード予約を
取り消しますか？」

①[ダウンロード予約を取り消す場合]
カーソルボタン◀・▶で「はい」を選ぶ
● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。
②**決定ボタンを押す**
● ダウンロードについては、206ページをご覧ください。

予約一覧と予約の取り消し

● 予約した内容を確認したり、予約を取り消すことができます。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼◀·▶で「予約」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

● 予約一覧が表示され、予約の状況が確認できます。

3 [予約の詳しい内容を見たいときや予約を取り消したいとき]
カーソルボタン▲·▼で予約番組を選び、決定ボタンを押す

● 予約内容の画面になります。
● 画面は予約の種類によって異なります。

予約を取り消すには

● **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
・予約が取り消され、予約一覧の画面に戻ります。

予約一覧の画面に戻るには

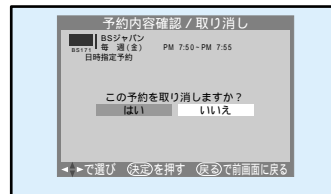
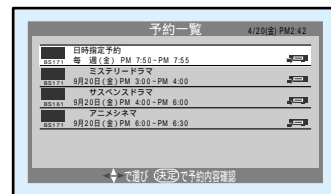
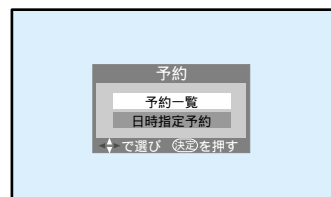
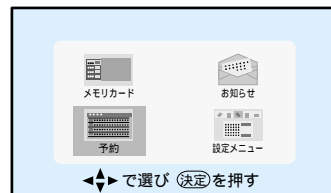
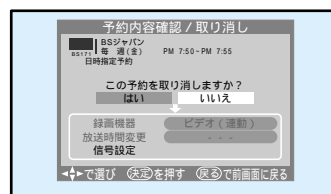
● **カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

（視聴予約の場合）

番組についての説明を見たいとき

※日時指定予約の場合ははたらきません。
①番組説明ボタンを押す
● 番組についての説明が表示されます。
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

（録画予約の場合）

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

● 日時指定予約の予約一覧で番組説明ボタンははたらきません。
● 番組表やジャンル検索結果のリストまたは番組チェックの次の番組のリストですでに予約されている番組を選んだ場合も、手順**3**の上の画面になり、予約内容の確認や予約の取り消しを行うことができます。
● 予約されている時間を過ぎると、予約が実行された場合もそうでない場合（時間変更などで予約が実行されなかったなどの場合）も予約一覧から削除されます。
● ＰＣ入力時は、「録画予約」の取り消しはできません。

録画予約/視聴予約 つづき

【チューナー】

【前面】

予約の動作について

● テレビを視聴中に予約が動作する場合について説明します。

■予約設定後

● 録画予約をしたときは、本体の「録画予約」(赤)表示が点灯します。

■予約番組放送開始

● デジタル放送をご覧の場合には、予約番組の放送時間近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。(PCモード時は表示されません。)
予約を中止する場合は終了ボタンを押してください。
● 予約番組の放送時間になると自動的にチャンネルが切り換わり予約した番組が選ばれます。
● 録画予約の場合は、本体の「録画中」(青)表示が点灯します。

ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約している場合

● 決定ボタンを押すと番組を購入するための画面になります。カーソルボタン◀・▶で「購入する」を選び、決定ボタンを押してください。

視聴制限がはたらいている番組を視聴予約している場合

●「この番組には視聴制限があります。」のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押した後、暗証番号を入力してください。

■予約動作中

● 予約実行中にできる操作は、次のとおりです。

■視聴予約の場合
・ 通常どおり操作できます。

■録画予約の場合
・ 地上放送やCATVの選局はできます。
それ以外の操作はできないものがあります。

録画予約を中止したい場合

①終了ボタンを押す
●「BS(またはCS)＊＊＊CHを録画中です。もう一度（終了）ボタンを押すと録画を中止します。」が表示されます。
②上記のメッセージが表示されている間に終了ボタンを押す
● 録画予約が中止されます。

録画予約実行中に操作ボタンを押したとき

● 操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。
● 操作できないボタンを押したときは、「BS＊＊＊CHを録画中です。（終了）ボタンを押すと録画を中止します。」が表示されます。

● 録画予約動作中にリモコンで電源の入/待機を切り換えると、録画中の信号にノイズが入る場合があります。

■予約番組放送終了

● 予約を終了し、通常どおり使用できます。

● 予約番組の優先順位や注意事項については、71、72ページをご覧ください。
● PCモード時は視聴予約は実行されません。

予約番組の優先順位について

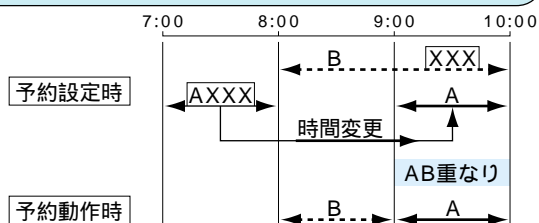
● 予約番組の放送時間が変更となって、他の予約番組と重なった場合には、予約番組に優先順位をつけて予約を実行します。
（予約時に「放送時間変更」を「連動する」に設定することによって、ご希望の予約を優先して実行させることができます。）
● 次に例を用いて予約番組の優先順位について説明します。

←→ :「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組
←‐‐‐→ :「放送時間変更」を「連動しない」に設定した予約番組とします。

（下図の XXX 印は時間変更や予約動作時に取り消されることを示します。）

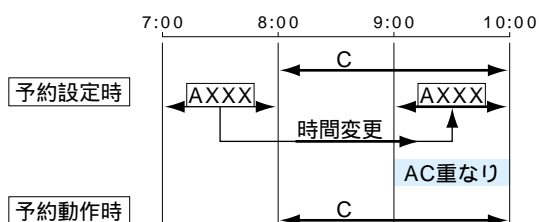
「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組と設定していない予約番組が重なった場合

● 「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組が優先されます。

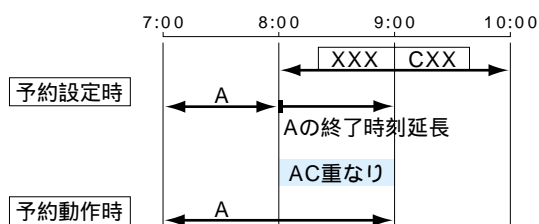
例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとBの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではA番組は「放送時間の変更に連動する」に設定されているので優先されて予約が実行されます。
したがって、予約実行はB番組が8～9時、A番組が9～10時となります。

「放送時間変更」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

開始時刻が変更された場合

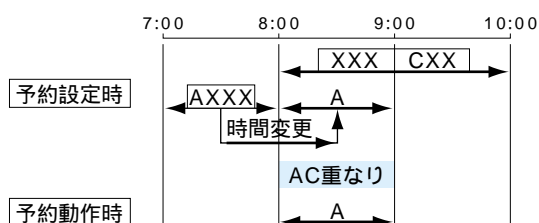
● 開始時刻の早い予約が優先されます。

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は9時から10時の間が重なっています。この場合は開始時刻の早いC番組の予約が優先されて動作し、A番組の予約は取り消されます。

終了時刻が延長された場合

● 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例では、A番組の終了時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なります。この場合は先に予約を実行したA番組が優先されて動作します。C番組の予約は取り消されます。

複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

● 予約設定時の開始時刻が早い予約が優先されます。

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なっています。この場合は予約設定時の開始時刻が早いA番組が優先されて動作し、C番組の予約は取り消されます。

「放送時間変更」を「連動しない」に設定した複数の予約番組が重なった場合

● 予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。

例では、B番組の開始時刻が変更されたため、BとDの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではBとDの番組は「放送時間変更」を「連動しない」に設定されているので予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。
したがって、予約実行はD番組が8～10時となり、B番組の予約は取り消されます。

● 上記の優先順位で取り消された予約については、取り消された理由を「お知らせ」で表示します。（「お知らせ」については→80ページ）

録画予約/視聴予約 つづき

予約についての注意事項

■予約全般について
- 予約実行前に、チューナーの電源が「入」だった場合、予約終了後も電源は「入」のままです。
- 天候・停電・送信側の都合などで、予約を実行できない場合は、「テレビに関するお知らせ」を発行します。

■視聴予約について
- 録画予約の「放送時間変更」が「連動する」に設定されている場合で、録画している予約番組の放送時間が予定より延長されたために視聴予約の開始時刻と重なった場合、視聴予約が取り消されます。
- 視聴予約は、モニターの主電源が「入」のときだけ実行されます。
  モニターの主電源が「切」やチューナー電源が「待機」のときには実行されません。
- 一発録画実行中は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。
- ＰＣ入力時は、視聴予約はできません。

■録画予約について

＜共通事項＞
- 予約実行中は、地上放送やＣＡＴＶの選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 予約実行前に、チューナーの電源が「待機」だった場合、予約が開始されても本機の画面には映像や音声は出ません。録画予約終了後は「待機」になります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組の開始時刻が遅れている場合は「予約番組の開始が遅れています。このままの状態でお待ちください。」とメッセージ表示される場合があります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合、リレーサービス（番組終了時間以後、別のチャンネルで引き続きその番組の続きを放送するサービス）には自動で対応します。ただし、リレーサービスの情報送信が遅れた場合は、対応できない場合があります。
- 予約番組の「放送時間変更」を「連動する」に設定しても、追従できる開始時刻は最大3時間までです。3時間を超えると予約が取り消されます。また、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できません。
- 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約で録画された最後の部分が少し欠けます。
- 録画予約実行中は同じ放送の種類のチャンネルを切り換えることはできません。
- 録画予約実行中はご案内チャンネル（→２２１ページ）に切り換えることはできません。
- 録画予約実行中は緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害または非契約の状態の場合、無信号状態で録画が継続されます。
- 日時指定予約の場合はペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
- ＰＣ入力時は、録画予約の解除はできません。

＜i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画予約を行う場合＞
- 「i.LINKについて」（→１４１ページ）も必ずお読みください。
- 録画予約実行時にテープが走行中の場合は録画できません。
- 録画予約実行時にD-VHSビデオが他機器からの制御を受けない設定になっているときは、予約は実行されません。
- 録画予約実行時に、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- 録画予約実行時に、D-VHS側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっていると録画できない場合があります。
- 録画予約実行中は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- i.LINKで他機器を制御しているときに予約が開始時刻になった場合はi.LINKの制御を中止して予約を実行します。ただし、外部からi.LINK制御を受けているときは、予約は実行されません。
- 録画予約終了後D-VHSビデオの電源は録画開始直前の状態になります。

＜ビデオコントロールケーブルを使ってアナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約を行う場合＞
- ビデオの入力切換を正しく設定し（本機の映像出力をつないでいる入力に切り換える）、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- ビデオテープのツメが折れている場合には録画できません。
- 録画予約実行中に停電が起きた場合や電源コードの抜き差しが行われた場合
  - 上記の後、チューナーが電源「入」または「待機」の状態に復帰したときに、予約番組が終了していた場合、その予約が録画予約の場合でも、チューナーは録画機器のコントロールを行いません。
    （録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。）
    これは、録画機器側で設定されている予約が中止されるのを防ぐためです。
    したがって、その場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますので、ご注意ください。
- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 録画予約実行中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 映像信号、音声録画はそれぞれ１つずつ設定できますが、録画された番組については複数映像、複数音声、二重音声、字幕を切り換えることはできません。

■ペイ・パー・ビュー番組の予約について
- 「放送時間変更」は自動的に「連動する」に設定されます。
- ペイ・パー・ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

■万一、本機の故障や誤動作によって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容補償についてはご容赦ください。

一発録画
（今視聴している番組を録画する）

● BSまたは110度CSデジタル放送の場合は、今ご覧になっている番組をビデオに簡単操作で録画させることができます。番組が終了すると録画も自動的に終了します。詳しくは下記をご覧ください。

一発録画について

● 録画予約と同様に次の2つの種類があります。

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

● 付属のビデオコントロールケーブルを使ってビデオをコントロールし、録画を行います。
● 録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①「ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた」（→127ページ）で、本機とビデオを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→135ページ）
③接続される録画機器の機種設定（→191ページ）

● デジタル放送録画出力端子からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）やデータ放送は出力されません。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

● i.LINK端子からビデオをコントロールしてデジタル録画を行います。
● 録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①i.LINK端子を使ってビデオと接続する（→136ページ）
②「i.LINK設定」を行う（→184ページ）

● 「i.LINKについて」（→141ページ）もご覧ください。
● i.LINK端子からは通常、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）は出力されません。

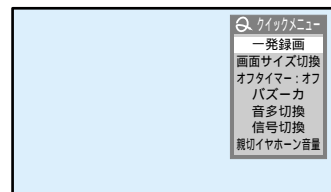
● D-VHSビデオを使用して、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画を行う場合は、上の「アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合」の準備を行ってください。また、「i.LINK端子付きのD-VHSビデオとのつなぎかた」（→136ページ）で接続を行ってください。

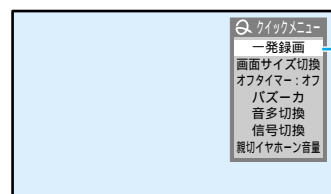
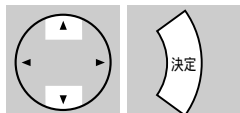
一発録画 つづき
（今視聴している番組を録画する）

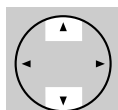
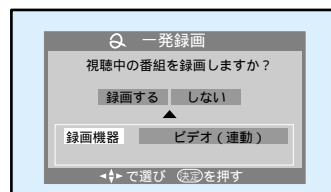
一発録画のしかた

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

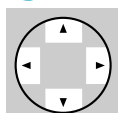
● 一発録画をする前の準備については、前ページをご覧ください。

1 **BS または 110 度 CS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す**

● クイックメニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲･▼で「一発録画」を選び、決定ボタンを押す**

録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

3 **下記の操作で、録画機器を指定する**

①カーソルボタン▲･▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼で「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」を選び、決定ボタンを押す
・「録画機器機種設定」（→191ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
・「該当なし」にした場合は「ビデオ（非連動）」が表示されます。

4 **下記の準備を行う**

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する。（→135ページ）
②録画機器で、下記の準備をする
・録画するビデオテープを録画機器に入れる
・録画機器の入力切換を行う（本機が接続されている入力に切り換える）
・録画機器の電源を切（待機）にする

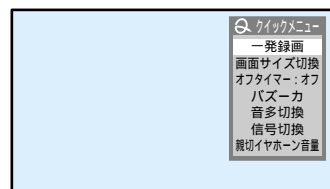
5 **カーソルボタン▲･▼･◄･►で「録画する」を選び、決定ボタンを押す**

● 録画が始まります。
● 録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
● 番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源が「切」または待機状態になります。
● 録画機器機種設定（→191ページ）を「該当なし」に設定した場合は、録画機器で録画を開始してから決定ボタンを押してください。

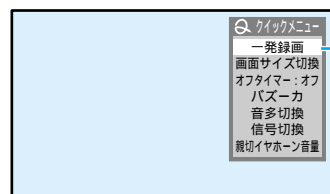
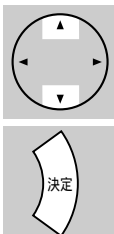
お知らせ

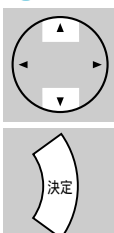
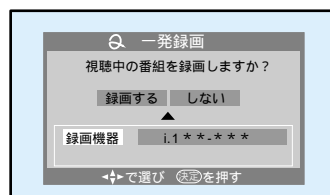
● 独立データ放送は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画予約できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）では録画できません。

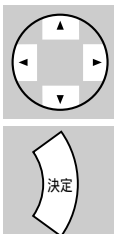
i.LINK端子経由でD-VHSビデオにデジタル録画する場合

- 一発録画をする前の準備については、73ページをご覧ください。
- i.LINKについては、136～142ページをご覧ください。

1 BS または 110 度 CS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

- クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「一発録画」を選び、決定ボタンを押す

録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

3 下記の操作で、録画機器を指定する

①カーソルボタン▲·▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼でi.LINK機器に設定し、決定ボタンを押す
- 「録画用機器の設定」(→188ページ)で設定したi.LINK機器のみが設定できます。

4 録画する D-VHS テープをビデオに入れる

5 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源が「切」または待機状態になります。

右のメッセージが表示された場合

- 録画できるデータ速度を超えているため、設定されている機器ではデジタル録画できません。「録画用機器の設定」(→188ページ)で他の録画機器に変更してください。

「録画できません。録画機器を変更してください。」

一発録画 つづき
（今視聴している番組を録画する）

一発録画のしかた つづき

一発録画を中止したい場合（PCモード時はできません）

1 **終了ボタンを押す**

● 「録画実行中です。もう一度(終了)を押すと録画を中止します。」が表示されます。

2 **上記のメッセージが表示されている間に終了ボタンを押す**

終了

● 一発録画が中止されます。

一発録画についての注意事項

- 一発録画実行中は、地上放送やCATVの選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 一発録画実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 一発録画実行中にリモコンの電源ボタンが押された場合は、録画を続行したまま電源は待機状態になります。電源待機状態で一発録画実行中にリモコンの電源ボタンが押されたときは、録画を続行したまま電源が入ります。
- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 一発録画を行う場合は、事前に録画機器が使用中でない事を確認してください。
- i.LINK端子経由で、デジタル録画を行う場合は、D-VHS側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっていないことを確認してください。
- コピー禁止の信号は、録画できません。
- 番組によってはデジタル録画できない場合があります。
- ペイ・パー・ビュー番組の場合は、購入してから一発録画の操作を行ってください。（購入しないと一発録画はできません。）また、番組によっては録画制限のため録画できない場合がありますので表示ボタンであらかじめ番組情報をご確認ください。
- 一発録画実行中に録画予約の開始時刻になると、一発録画は中止されます。
- 一発録画実行中に視聴予約またはダウンロード予約の開始時刻になると、その予約を実行せずに「テレビに関するお知らせ」（→80ページ）を発行します。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 停電が起きた場合（電源コードの抜き差しが行われた場合）や、主電源が押された場合は、一発録画を中止します。このとき本機は録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。したがって、その場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますのでご注意ください。
- 録画中は、i.LINKケーブルの抜き差しは行わないでください。
- 録画中は緊急警報放送は受信できません。
- 一発録画では、番組終了時間が延長された場合、変更時間に合わせて録画します。
- 一発録画では、録画番組がリレー形式（たとえば同一番組を途中で放送チャンネルを変更して継続するなど）の場合、リレー時刻と同時に指定の番組へ自動で切り換えて録画します。
- 一発録画中に受信障害が発生したり、B-CASカードが抜かれたなどの場合でも録画は継続されます。
- **万一、本機の故障や誤動作によって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容補償についてはご容赦ください。**

オフタイマー

●オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

オフタイマーの設定をする

1 **クイックボタンを押す**

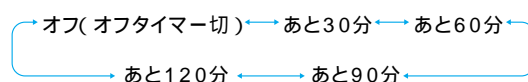
● クイックメニューが表示されます。

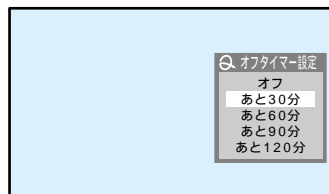
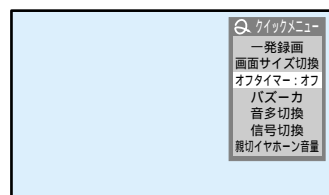
2 **カーソルボタン▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定ボタンを押す**

● オフタイマーの設定画面になります。

3 **カーソルボタン▲·▼で設定時間を選ぶ**

● 下記のどれかに設定できます。

オフ（オフタイマー切）⟷あと30分⟷あと60分⟷あと90分⟷あと120分⟷オフ

4 **決定ボタンを押す**

● オフタイマーが設定され、通常画面に戻ります。
● 設定を取り消すときは、手順3で「オフ」を選びます。

オフタイマーの動作について

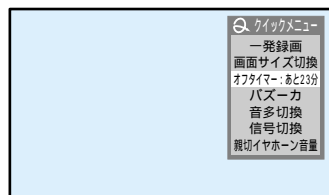
● 設定時間の約1分前になると、「まもなくオフタイマー電源が切れます」のメッセージが表示されます。
● 設定時間になると電源が切れて、待機状態になります。

残り時間の確認のしかた

● 電源が切れるまでの残り時間は、以下の方法で確認できます。

1 **クイックボタンを押す**

● クイックメニューが表示されオフタイマーの残り時間が表示されます。

2 [クイックメニューを消すには]
もう一度クイックボタンを押す

● PCモードに切り換えるとオフタイマーの設定は取り消されます。
● 主電源を切るかまたは、待機状態にするとオフタイマーの設定は取り消されます。
● 録画予約または一発録画実行中はオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えて録画は番組終了まで続けられます。

バズーカ設定

- 迫力のある豊かな低音を楽しめる機能です。
- お買い上げ時は「オン」に設定されています。
- 「オン」時のバズーカレベルの調整は、「お好みの音声に調整する」（→ 93 ページ）をご覧ください。
- 設定メニューからバズーカを設定することもできます。（→ 88 ページ）

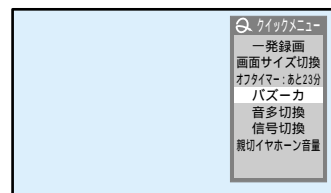
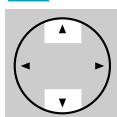
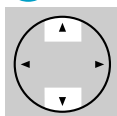
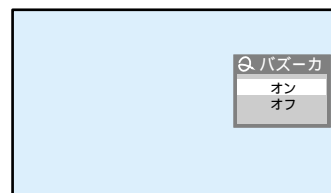
バズーカの設定をする

1 **クイックボタンを押す**

クイック

- クイックメニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲·▼で「バズーカ」を選び、決定ボタンを押す**

クイックメニュー
一発録画
画面サイズ切換
オフタイマー：あと23分
バズーカ
音多切換
信号切換
親切イヤホーン音量

3 **カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す**

- カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。
  - オ　ン…バズーカ効果が出ます。
  - オ　フ…バズーカ効果が出ません。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- PC入力時は、クイックボタンは、はたらきません。

■**バズーカ設定について**

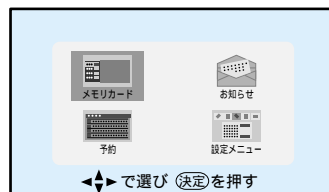
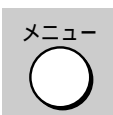
- バズーカ設定で「オフ」のときに、「お好みの音声に調整する」（→93ページ）の音声調整でバズーカレベルの調整を行うとバズーカ設定が「オン」に変わります。
- ヘッドホーンや副画面イヤホーン、光デジタル音声出力、オーディオ出力でお聴きになる場合は、バズーカの効果が得られません。

番組購入情報の送信

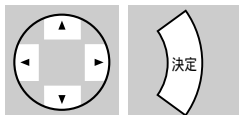
- 通常、番組購入情報は電話回線を通じて自動的にセンターに送られます。
- 何らかの事情で、自動送信ができなかった場合は、下記の操作で、送信を行ってください。

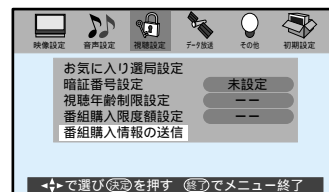
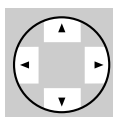
はじめに

- **番組購入情報が送信されていない場合は、「テレビに関するお知らせ」（→80ページ）でお知らせします。**
- **B-CASカードを挿入し、電話回線が正しく接続されていることを確認した後、下記の操作で送信してください。**

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼・◄・►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄・►で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲・▼で「番組購入情報の送信」を選んで、決定ボタンを押す

- 下記のメッセージに応じて決定ボタンを押してください。
- 送信が終了して、決定ボタンを押すと設定メニュー画面に戻ります。

初期画面

ペイ・パー・ビュー番組の購入情報をカスタマーセンターに送信します。電話回線の接続を確認して次へ進んでください。
決定で次へ進む

B-CASカスタマーセンター接続中

カスタマーセンターに接続しています。
しばらくおまちください。
戻るで中止

B-CASカスタマーセンターに送信中

番組購入情報を送信しています。
しばらくおまちください。
戻るで中止

送信完了

ペイ・パー・ビュー番組の購入情報をカスタマーセンターに送信しました。
決定で送信完了

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■次のメッセージが表示された場合

番組購入情報を送信する必要はありません。
決定を押す

- 現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。

センターと通信できません
電話機コードの接続が正しくない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
決定を押す

- 電話回線の接続（→158ページ）および電話回線設定（→194ページ）を参照し、もう一度接続設定の状態を確認してください。

B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。
決定を押す

- B-CASカスタマーセンターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度電話コードの接続を確認してください。

お知らせ(放送局からのお知らせ、テレビに関するお知らせ、ボード)を見るには

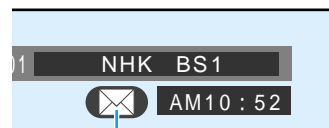
お知らせ(放送局からのお知らせ、テレビに関するお知らせ、ボード)を見るには

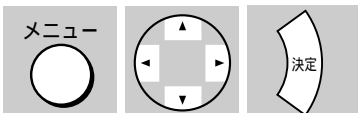
- お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「テレビに関するお知らせ」、「ボード」の3つの種類があります。
- チューナー前面の「お知らせ」表示(青)の点滅については、206ページをご覧ください。

※「ボード」では、110度CSデジタル放送のご案内やお知らせなどを見ることができます。(BSデジタル放送には、この情報はありません。)

はじめに

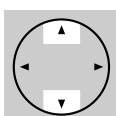
未読の「お知らせ」があるとき

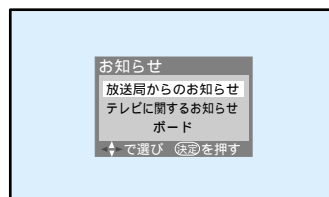
- チューナー前面の「お知らせ」表示(青)が点灯します。
- 選局したときや、表示ボタンを押したときに、「お知らせ」アイコンが表示されます。

未読の「お知らせ」アイコン

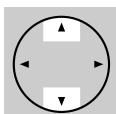
1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◄·►で「お知らせ」を選び、決定ボタンを押す

メモリカード　お知らせ　予約　設定メニュー
◄▲▼►で選び 決定を押す

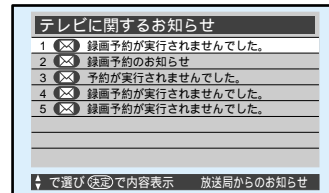
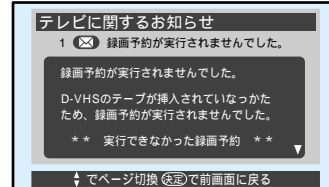
2 カーソルボタン▲·▼でお知らせの種類を選び、決定ボタンを押す

- 「放送局からのお知らせ」、「テレビに関するお知らせ」、「ボード」のいずれかを選びます。
- 決定ボタンを押すと、それぞれのリスト画面が表示されます。

お知らせ
放送局からのお知らせ
テレビに関するお知らせ
ボード
▲▼で選び 決定を押す

お知らせ選択画面に戻るには

- **戻るボタンを押す**

3 カーソルボタン▲·▼で、読みたいお知らせを選び、決定ボタンを押す

- お知らせの本文が表示されます。

お知らせリスト画面に戻るには

- **決定ボタンを押す**

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えられます。

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

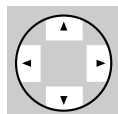
- 「放送局からのお知らせ」は、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を合わせて24通まで記憶されます。「テレビに関するお知らせ」は40通まで記憶されます。「ボード」はプラットワン、スカイパーフェクトTV！2それぞれに対し50通まで記憶されます。それぞれ最大数を超えて受信した場合は、既読の古いものから順に削除されます。すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。
- お知らせが1つも無い場合は手順2で決定ボタンを押したときに「お知らせはありません」が表示されます。

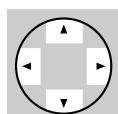
B-CASカード番号表示

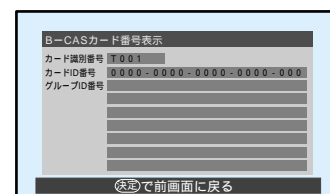
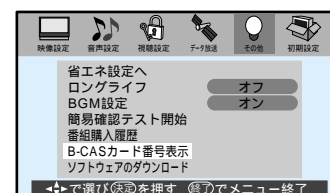
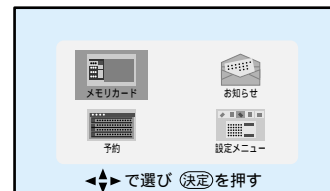
● B-CAS カードに登録されている番号をテレビ画面で確認できます。

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

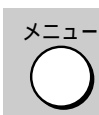
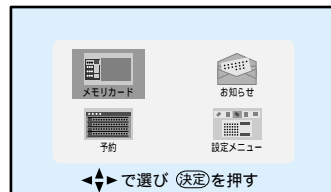
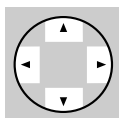
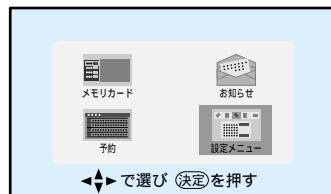
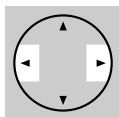
2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「B-CAS カード番号表示」を選んで、決定ボタンを押す

● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。

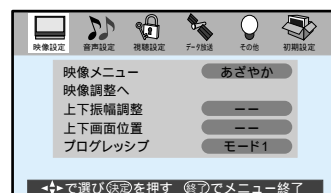
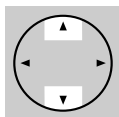
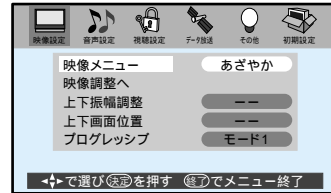
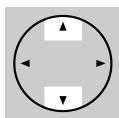
4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

テレビの操作をする

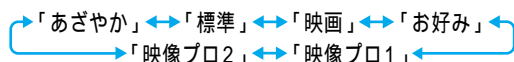
映像の設定のしかた

お好みの映像を映像メニューから選ぶ

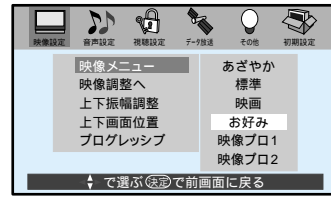
1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタンで▲·▼·◄·►「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

●「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

● 映像設定画面になります。

4 カーソルボタン▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 映像メニューが表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼でお好みの映像を選ぶ

● カーソル▼(▲は逆まわり)ボタンを押すごとに以下の順に切り換わります。

「あざやか」↔「標準」↔「映画」↔「お好み」
「映像プロ2」↔「映像プロ1」

● 映像プロ1、映像プロ2の映像設定については84ページをご覧ください。

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

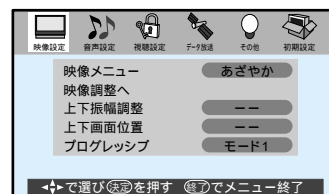
お知らせ

● 「あざやか」「標準」「映画」の設定状態から「映像調整」(次ページ参照)を行うと自動的に「お好み」モードになります。
● ゲーム画面のときは映像メニューの切り換えはできません。
● PC画面には反映されません。PC画面は101ページをご覧ください。

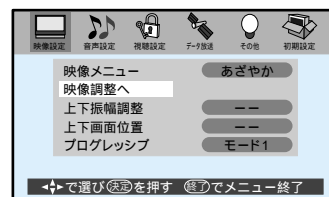
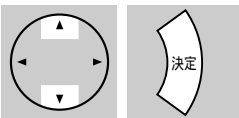
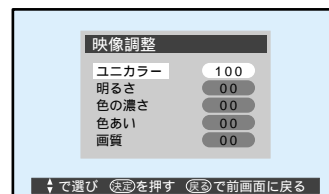
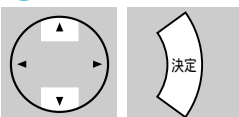
調整項目	内　容
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき
映画	お部屋を少し暗くして映画館のような雰囲気で楽しむとき 暖かみのある色あいを再現します
お好み	お好みに調整した映像で楽しむとき (調整方法は次ページをご覧ください。)

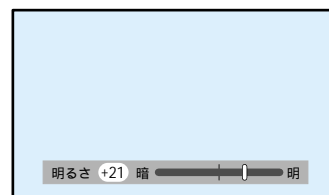
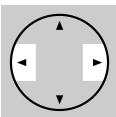
お好みの映像に調整する

● 調整した映像は、「お好み」モードに記憶されます。

1 下記の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「映像調整へ」を選び、決定ボタンを押す

● 「映像調整」画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で調整する項目を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン◄·►でお好みの映像に調整する

● 調整画面はボタンを押さないと、数秒で<映像調整>画面に戻ります。

いくつもの項目を調整するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

調整項目	内　容	カーソルボタン ◄·►
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さが同時に調整できます。	00 ～ 100 淡くなる⇔濃くなる
明るさ	画面の明るさが調整できます。	−50 ～ +50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さが調整できます。	−50 ～ +50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	肌色などが調整できます。	−50 ～ +50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
画質	映像の鮮明さが調整できます。	−50 ～ +50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる

映像の設定のしかた つづき

お好みの映像に調整する つづき

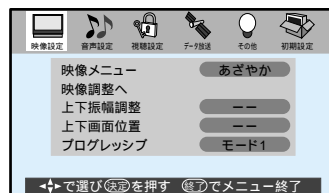
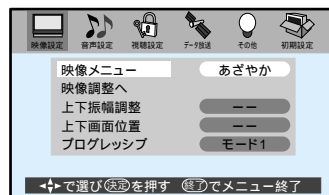
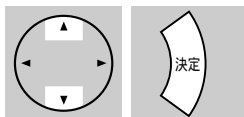
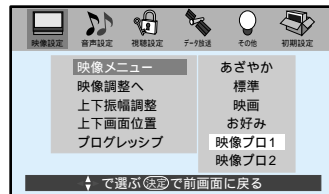
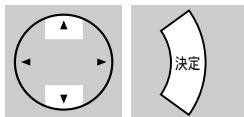
映像プロ調整のしかた

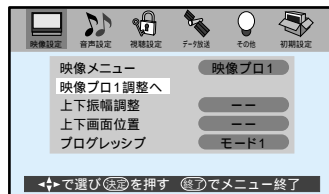
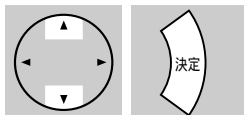
- 通常は「あざやか」、「標準」、「映画」、「お好み」の映像設定でご覧いただけます。
- 「映像プロ1」および「映像プロ2」の設定はさらにきめ細く調整した映像がご覧いただけます。
- 「映像プロ１」と「映像プロ2」はお好みに調整した映像を別々に保存できます。
- 調整項目と働きは全く同じです。
- 設定した映像を標準に戻すこともできます。

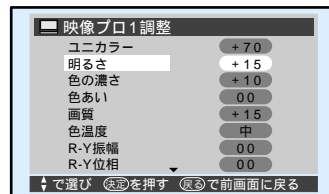
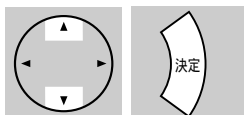
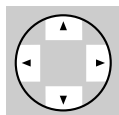
■映像プロ 1、映像プロ 2 の調整のしかた［例：映像プロ 1］

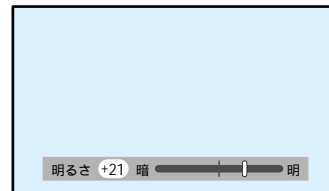
- 映像メニューで「映像プロ1」(「映像プロ2」)を選んでいるときだけ、映像プロ1(映像プロ2)の調整ができます。

1 下記の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「映像プロ 1」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「映像プロ 1 調整へ」を選び、決定ボタンを押す

- 「映像プロ１調整」画面が表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼で調整する項目を選び、決定ボタンを押す

- 表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

6 カーソルボタン◀·▶または▲·▼でお好みの映像に調整する（調整機能の詳細は下表）

● 調整画面でボタンを押さないと、数秒で<映像プロ1調整>画面に戻ります。

※映像を標準に戻すときは
①カーソルボタン▲·▼で「標準に戻す」を選び決定ボタンを押す
②カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び決定ボタンを押す

いくつもの項目を調整するときは、手順5、6を繰り返す

7 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

※「映像プロ2」の映像調整は、映像プロ1と同様に1〜7の手順で行うことができます。

■映像プロ調整機能と項目 [映像プロ 1]、[映像プロ 2]

映像の何を調整するか？	映像プロ1(2)調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度		「高」「中」「低」	色調を調整します。 低：暖色系、高：寒色系
	色温度「高」「中」「低」	Gドライブ※	−15〜00〜+15	明るい部分の色温度を微調整します。「+」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
		Bドライブ※	−15〜00〜+15	
	R−Y振幅		−05〜00〜+05	赤色系の色あいを補正します。
	R−Y位相		−05〜00〜+05	
	G−Y振幅		−05〜00〜+05	緑色系の色あいを補正します。
	G−Y位相		−05〜00〜+05	
黒階調の調整 映像の黒の部分を浮かせたり沈めたり、黒の階調を表現する部分を細かに調整します。	DC補正		「高」「中」「低」	映像の明るさによる黒レベルの変動を補正します。
	黒補正		「オン」「オフ」	映像の黒レベルを補正します。(映像信号の内容によって効果は変化します。)
	黒伸張		「オン」「オフ」	映像の暗い部分のコントラストを補正します。(映像信号の内容によって効果は変化します。)
	ガンマ補正		「弱」「中」「強」「オフ」	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを補正します。
輪郭の調整 映像の輪郭などを強調したり弱めたり、好みに合わせた調整をします。	Vエンハンサー(垂直輪郭補正)		「弱」「中」「強」「オフ」	横線の輪郭を補正します。

※Gドライブ、Bドライブの2項目は、明るい画面と暗い画面の色温度が最適になるようにそれぞれ交互に調整してください。
※Vエンハンサーは、D4端子の1125i映像入力時は、調整できません。

映像の設定のしかた つづき

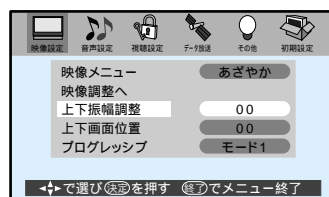
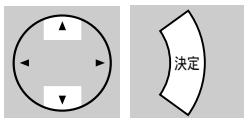
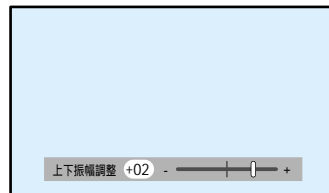
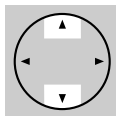
上下振幅調整/上下画面位置調整

- 画面サイズがズームと映画字幕のときに調整できます。

1 **下記の操作で「映像設定」画面にする**

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

2 **カーソルボタン▲·▼で「上下振幅調整」または「上下画面位置」を選び、決定ボタンを押す**

- 上下振幅調整または上下画面位置調整画面になります。

3 **カーソルボタン▲·▼でお好みの上下振幅または上下画面位置に調整、設定する**

上下振幅調整 +02

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 調整画面はボタンを押さないと数秒で設定メニュー画面に戻ります。
- ビデオの再生時などで、上下振幅調整を00→−03にすると画面の上下にノイズが出ることがあります。このノイズが気になるときは上下振幅調整で画面を大きくしてご覧ください。
- 上下振幅調整で画面を大きくした場合、画面サイズ切換をした際に、番組表などの画面表示が一部欠ける場合があります。
- 750P、1125P、525P（16：9）の信号を受信したときは調整できません。
- ズームまたは映画字幕のとき調整値を最大/最小にするとチャンネル番号やメニューの文字および放送局からのメッセージなどが隠れてしまうことがあります。

■振幅調整ができる画面サイズ

画面サイズ / 調整項目	スーパーライブ	ズーム	映画字幕	フル	ノーマル
上下振幅調整/上下画面位置	×	○	○	×	×

- ○印が調整できます。×印は調整出来ません。
- ゲームモードのときは選択した画面サイズでの調整ができます。

ボタン / 調整項目	カーソルボタン ▼	カーソルボタン ▲
上下振幅調整	映像が上下方向に小さくなります。 −03←00	映像が上下方向に大きくなります。 00→+03
上下画面位置	映像の位置が下方向に変わります。 −03←00	映像の位置が上方向に変わります。 00→+03

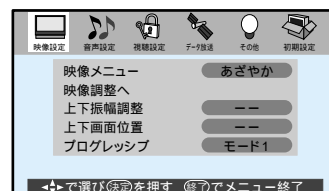
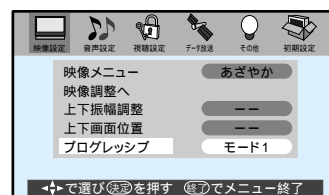
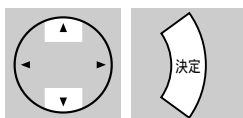
- 個々のテレビによって調整範囲が異なることがありますが故障ではありません。

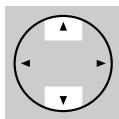
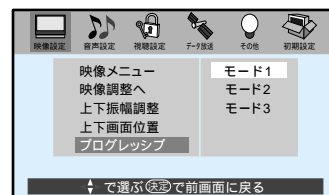
プログレッシブ設定

- 525iの信号を受信したときに調整できます。
- お好みに応じて3つのモードが選べます。(各モードの内容は下のお知らせをご覧ください。)
- お買い上げ時は「モード1」に設定されています。

1 下記の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

映像メニュー　あざやか
映像調整へ
上下振幅調整　ーー
上下画面位置　ーー
プログレッシブ　モード1

2 カーソルボタン▲·▼を押して「プログレッシブ」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼でご希望のプログレッシブモードを選ぶ

- カーソルボタンを押すごとに順に切り換わります。

→ モード1 ↔ モード2 ↔ モード3 ←

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■**プログレッシブ設定について**

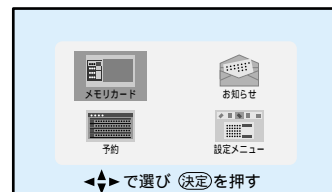
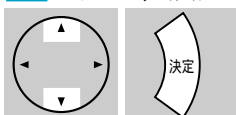
- モード1…
  静止画がきれい。文字のちらつきが少ない、通常モードです。
- モード2…
  モード1よりちらつきをおさえたモードです。
- モード3…
  静止画と動画の違和感を少なくするモードです。
- プログレッシブは525P、750P、1125iの信号を受信したときは設定できません。

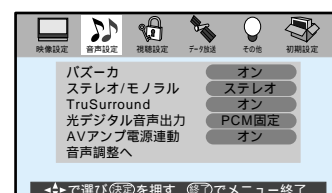
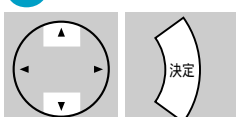
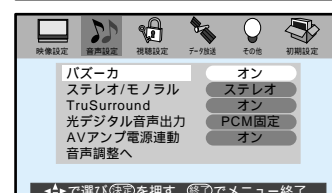
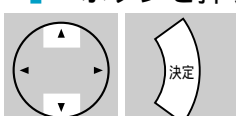
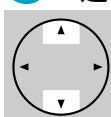
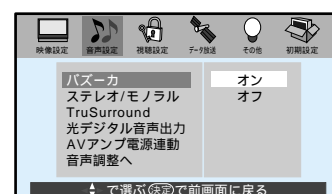
音声の設定のしかた つづき

バズーカ設定

- 迫力のある豊かな重低音を楽しめる機能です。
- お買い上げ時は「オン」に設定されています。
- 「オン」時のバズーカレベルの調整は、「お好みの音声に調整する」(→93ページ)をご覧ください。
- クイックメニューでも「バズーカ設定」(→78ページ)を行うことができます。

1 メニューボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」画面が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「音声設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「バズーカ」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選ぶ

- カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。
  - ・オ ン…バズーカ効果が出ます。
  - ・オ フ…バズーカ効果が出ません。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

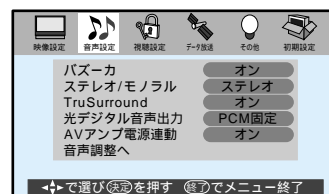
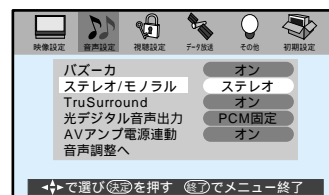
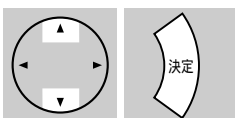
■バズーカ設定について

- バズーカ設定で「オフ」のときに、「お好みの音声に調整する」(→93ページ)の音声調整でバズーカレベルの調整を行うとバズーカ設定が「オン」に変わります。
- ヘッドホーンや副画面イヤホーン、光デジタル音声出力、オーディオ出力でお聴きになる場合は、バズーカの効果が得られません。

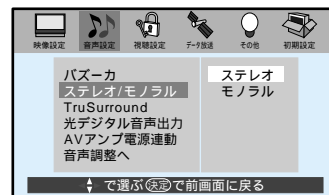
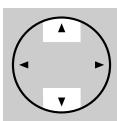
ステレオ/モノラルの設定

- 信号の弱いステレオ放送のときに、音声にノイズがでることがあります。その場合、以下の操作で「モノラル」に設定することにより、聴きやすくなります。
- お買い上げ時は「ステレオ」に設定されています。

1 下記の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「ステレオ/モノラル」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「ステレオ」または「モノラル」を選ぶ

- カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。

ステレオ ⟷ モノラル

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

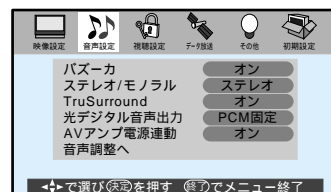
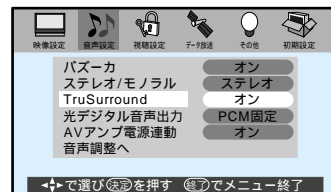
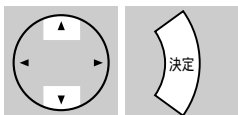
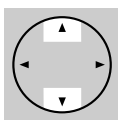
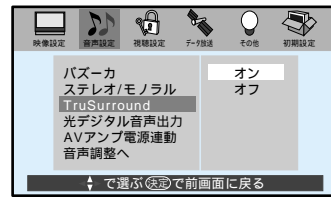
- 「モノラル」に設定されているときは、ステレオ放送のときでも「ステレオ」になりません。電源を入れたときに、数秒間「モノラルが選ばれています」と表示されます。
- ステレオ/モノラル設定は地上放送やCATV受信時に設定できます。BSまたは110度CSデジタル放送受信時は設定できません。

音声の設定のしかた つづき

TruSurroundの設定（サラウンド設定）

- TruSurroundは、映画などをより自然な臨場感でお楽しみいただける機能です。
- お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 下記の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「TruSurround」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選ぶ

- カーソルボタンを押すごとに切り換わります。
  - オ　ン…サラウンド効果が出ます。
  - オ　フ…サラウンド効果が得られません。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■TruSurround（サラウンド設定）について

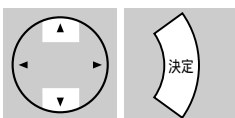
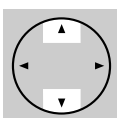
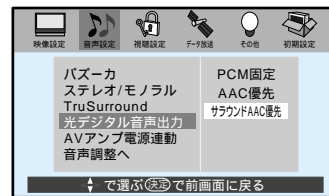
- ヘッドホーンとオーディオ出力（固定）でお聴きになる場合は、サラウンド効果が得られます。
- 光デジタル音声出力では、リニアPCMだけ効果が得られます。副画面イヤホーン、デジタル放送録画出力では、サラウンドの効果は得られません。
- ご覧になる内容によってはサラウンド効果があらわれにくい場合があります。
- TruSurroundと (●) 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

光デジタル音声出力の設定

- 本機背面にある「光デジタル音声出力」端子は、「リニアPCM」と「MPEG-2 AAC」の2種類の信号を切り換えて出力できます。
- お買い上げ時は「PCM固定」に設定されています。
- MPEG-2 AACデコーダー(市販品)をつなぐときは、下記の操作で「AAC優先」に設定してください。

1 下記の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「光デジタル音声出力」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で希望の信号を選ぶ

- 「PCM固定」・・・・・リニアPCM信号が出力されます。
- 「AAC優先」・・・・・MPEG-2 AAC信号が出力されます。
- 「サラウンドAAC優先」・・・・・AACマルチCHステレオ受信時はAACで出力する。上記以外の受信時にはリニアPCMで出力する。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■光デジタル音声出力設定について

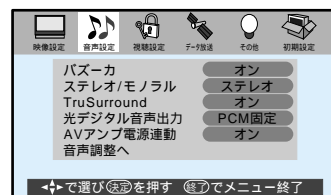
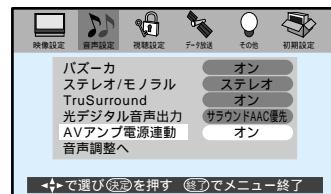
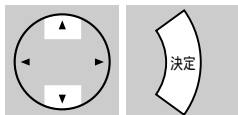
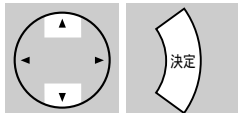
- 背面の「光デジタル音声出力」からは、テレビのスピーカー音が出力されます。（バズーカは効果が得られません。TruSurroundはリニアPCMのときだけ効果が得られます。）
- 「光デジタル音声出力」設定を「AAC優先」に設定した場合でも、音声信号が「AAC優先」でない場合は、「PCM固定」で出力されます。
- 光デジタル音声出力端子から出力される音声がAACのときには、データ放送の一部の音声（効果音など）は、出力されない場合があります。

音声の設定のしかた つづき

本機とオンキヨー製AVアンプの電源連動設定

- RI端子（RI対応品）を持つオンキヨー製AVアンプと、本機のRIオーディオコントロール端子をモノラルオーディオコードで接続すると、本機に付属のリモコンで、オンキヨー製AVアンプが連動動作します。
  詳しい連動動作については131ページをご覧ください。
- 本機の電源とオンキヨー製AVアンプの電源を連動させたくない場合は、AVアンプ電源連動設定を「オフ」にしてください。
- お買い上げ時の「AVアンプ電源連動」は「オン」に設定されています。

1 下記の操作で「音声設定」画面にする

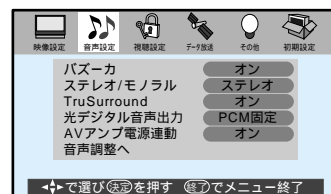
①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀･▶で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲･▼で「AVアンプ電源連動」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼でご希望の「オン」または「オフ」を設定し、決定ボタンを押す

- オン： 本機に付属のリモコンで、電源、入/待機、音量＋•－、消音操作に連動して、AVアンプが動作します。
- オフ： 本機に付属のリモコンで、電源、入/待機だけAVアンプは連動しません。音量＋•－と消音は連動します。

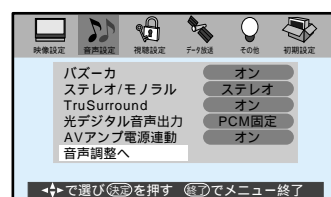
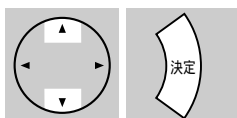
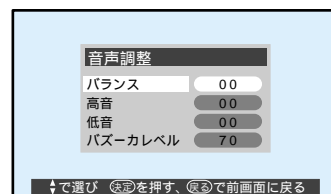
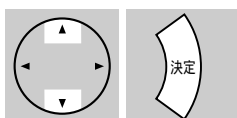
4 ［通常画面に戻るには］ 終了ボタンを押す

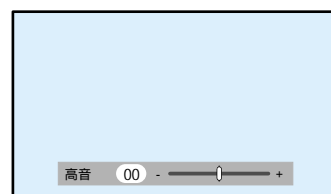
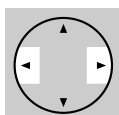
- 「AVアンプ電源連動」を設定された後は、本機に付属のリモコンの電源ボタンで、チューナーを一度「待機」にし、もう一度電源ボタンで電源を「入」にして、正しく連動動作することをご確認ください。
- RIはオンキヨー株式会社の商標です。

お好みの音声に調整する

1 下記の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「音声調整へ」を選び、決定ボタンを押す

● 「音声調整」画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で希望の調整項目を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン◀·▶でお好みの音声に調整する

● 各項目の調整画面はボタンを押さないと数秒で「音声調整」画面に戻ります。

調整項目	カーソルボタン ◀·▶
バランス	−50 〜 +50 左の音が強調される⇔右の音が強調される
高音	−50 〜 +50 高音が軽減される⇔高音が強調される
低音	−50 〜 +50 低音が軽減される⇔低音が強調される
バズーカレベル	00 〜 100 小さくなる⇔大きくなる

いくつもの項目を調整するときは、手順3、4を繰り返す

5 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

■デジタル機器からのD4映像入力時の音声調整について

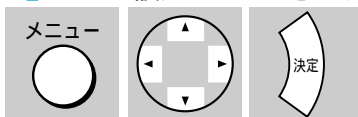
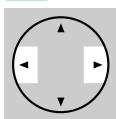
- テレビや映像入力、S2映像入力時の音声とは別に、D4映像入力用の音声設定に、自動的に切り換わります。
- お好みに調整した、低音、高音、バズーカレベルはテレビや映像入力、S2映像入力時とは別にD4映像入力時用に設定できます。
- お好みに調整した音声は、D端子を外しても設定されていますので、続けてご利用になれます。

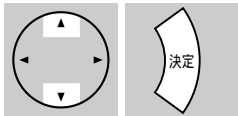
※同一A/V機器から、D端子映像出力とこれ以外の映像出力が本機に入力されている場合、映像の状態によってA/V機器からの出力が異なったとき、音声調整状態が変わることがあります。

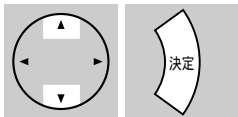
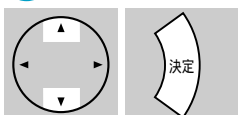
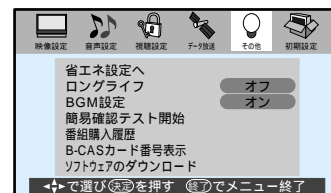
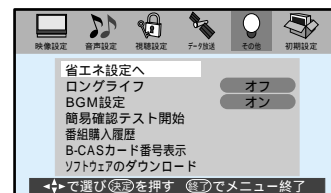
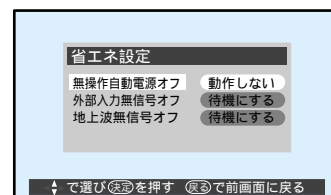
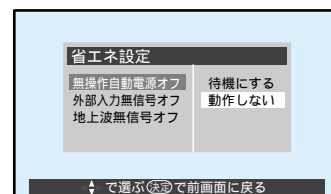
- PCモードには反映されません。PCモードは101ページをご覧ください。

省エネ設定

● 「無操作自動電源オフ」、「外部入力無信号オフ」、「地上波無信号オフ」の設定ができます。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

2 **カーソルボタン◀·▶で「その他」を選ぶ**

3 **カーソルボタン▲·▼で「省エネ設定」を選び、決定ボタンを押す**

● 省エネ設定画面になります。

4 **カーソルボタン▲·▼で設定する項目を選び、決定ボタンを押す**

● それぞれの設定画面になります。

5 **カーソルボタン▲·▼で設定状態を選び、決定ボタンを押す**

いくつもの項目を設定するときは、手順4、5を繰り返す

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■設定する内容について

● **無操作自動電源オフ**
テレビの無操作状態が約3時間続くと電源を切り待機状態にします。

● **外部入力無信号オフ**
外部入力（1画面）時に無信号状態が約15分間続くと電源を切り待機状態にします。

● **地上波無信号オフ**
地上波（VHF/UHF）受信時に無信号状態が約15分間続くと電源を切り待機状態にします。
外部入力時とBS放送受信時は機能しません。

■お買い上げ時の設定

● **無操作自動電源オフ：「動作しない」**
無操作状態が3時間続いても電源が切れません。

● **外部入力無信号オフ：「待機にする」**
外部入力時、無信号状態が約15分間続くと自動的に電源が切れて待機状態になります。

● **地上波無信号オフ：「待機にする」**
テレビ放送を見ているとき、放送が終了して電波が止まると約15分後に自動的に電源が切れて待機状態になります。

ビデオ入力表示の設定

ビデオ入力表示の設定

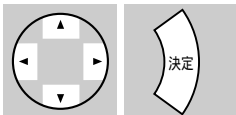
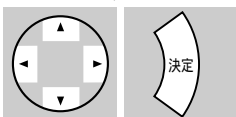
● ビデオ入力1〜5を選んだときに表示される機器名（ビデオ、DVDなど）を接続する機器に合わせて変更することができます。

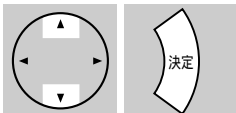
ビデオ入力表示を変更する

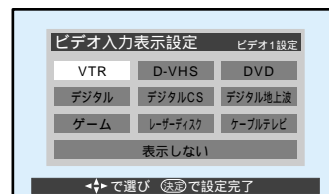
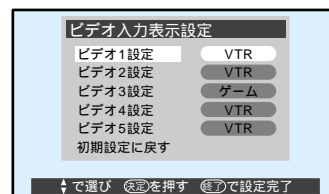
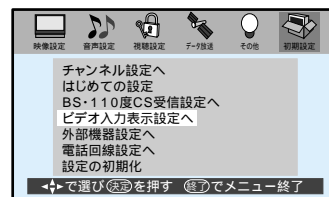
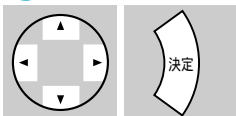
1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「ビデオ入力表示設定へ」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で設定するビデオ入力を選び、決定ボタンを押す

● 機器名のリストが表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定する機器名を選び、決定ボタンを押す

● 表示させない場合は、「表示しない」を選んでください。

いくつものビデオ入力表示を変更するときは、手順4、5を繰り返す

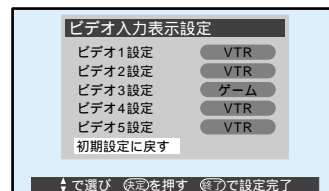
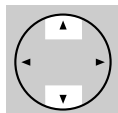
6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

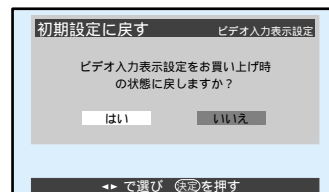
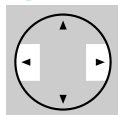
- 「ゲーム」に変更したビデオ入力を選ぶと、ゲームに適した画質と画面サイズに切り換わります。
- お買い上げ時の設定
  ビデオ1：VTR　ビデオ2：VTR　ビデオ3：ゲーム　ビデオ4：VTR　ビデオ5：VTR

ビデオ入力表示の設定 つづき

ビデオ入力表示をお買い上げ時の状態に戻す

1 **前ページの手順 1 ～ 3 の操作を行い、「ビデオ入力表示設定」画面にする**

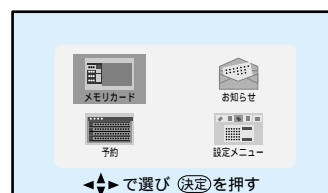
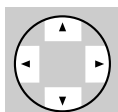
2 **カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

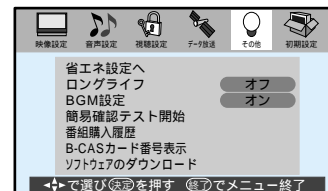
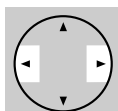
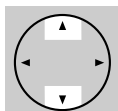
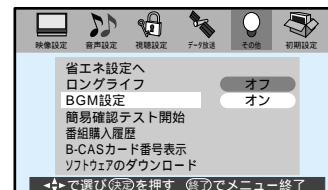
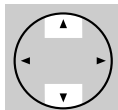
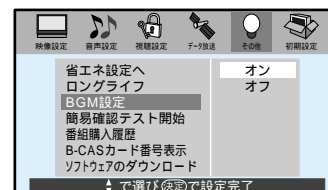
● お買い上げ時の状態に戻り、「ビデオ入力表示設定」画面になります。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

BGM(背景音)の設定

- デジタルカメラの画像表示中に BGM（背景音）を流すことができます。
- デジタルカメラの画像表示中に緑色ボタンで BGM のオン / オフを切り換えることもできます。(→ 55、57 ページ)
- お買い上げ時は、「オン」に設定されています。

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「その他」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「BGM 設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「BGM設定」画面になります。

5 カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

- オ　ン…
  デジタルカメラの画像表示でBGM(背景音)が流れます。
- オ　フ…
  デジタルカメラの画像表示でBGM(背景音)が流れません。

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

画面の焼き付きを軽減させる設定

ロングライフ設定

- 画面の焼き付きを軽減させるために、画面を反転表示（ネガ/ポジ）またはホワイトにします。
- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

例、「オン」に設定する

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

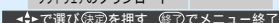
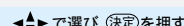
2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「ロングライフ」を選び、決定ボタンを押す

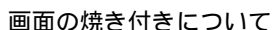
4 カーソルボタン▲·▼で設定する項目を選び、決定ボタンを押す

- 例、「オン」を選ぶ。
- 押すごとに「オフ」↔「ホワイト」↔「オン」の順に切り換わります。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

●ロングライフ設定で「オン」または「ホワイト」に設定したときは、設定後他のボタン操作を行うと解除されます。

■ロングライフモードの設定について

- オン：ロングライフ機能がはたらき、焼き付きを軽減します。
- オフ：解除し、通常画面になります。
- ホワイト：画面全体を白く発光させ、焼き付きを軽減します。

■画面の焼き付きについて

- プラズマディスプレイパネルの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けますと、部分的に消えない残像（焼き付き）が発生します。これは、蓄積効果により輝度劣化が生じるためです。この焼き付きを避けるために、一定時間同じ画面を表示することや、ノーマルモードでのご使用は極力行わないでください。
  焼き付きが発生した場合は、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼き付きのレベルが軽いときは、次第に目立たなくなる場合があります。しかし、一度発生した焼き付きは、完全には消えません。
  特に固定表示を煩雑に使用される場合は、フルモードでのご使用をお奨めします。

第3章 パソコンをモニターするときの設定

PCメニュー操作のしかた

- この章は「PC」入力に切り換えたときだけの設定です。(グレーレベル、設定メニューの音声調整およびバズーカを除く)
- 調整や設定は、メニュー画面からメニュー項目(アイコン表示)を選んで行います。
- 画面の表示のしかたや操作のしかた、項目の内容を説明しています。調整や設定のしかたは、それぞれのページを参照してください。

入力切換ボタン

PC入力に切り換えます。

PC

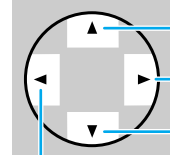
メニューボタン

メインメニューを表示します。

メインメニュー表示中は、選択や設定した内容を決定し、次のステップに進みます。

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

カーソルボタン▲·▼·◄·►

項目や設定内容を選んだり、調整するボタンです。

カーソルが上に移動する
設定内容を選んだり調整する
カーソルが下に移動する
設定内容を選んだり調整する

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

カーソル　ガイド表示

決定ボタン

選択や設定した内容を決定し、次のステップに進みます。

戻るボタン

ひとつ前の画面に戻すときに押します。

- PCメニュー設定はメニュー設定とは連動しない独立した設定です。
- PC入力時は、クイックボタンは、はたらきません。
- i.LINK操作パネルを押したあと、入力切換すると、早くPCモードに切り換えられます。

終了ボタン

メニューを消します。

PC

PCメニュー	サブメニュー	できる機能・はたらき	参照ページ
映像の設定	コントラスト	映像の濃淡を調整します。	102
	明るさ	画面の明るさを調整します。	102
	画質	画面の鮮明度を調整します。	102
	映像モード	映像ソフトに合わせて、映像モードを設定します。	103
	色温度	色あいを赤っぽく、または自然に、または青っぽく設定します。	104
	ホワイトバランス※1	白色のバランスを調整します。	105
	ゲイン RED※1	白レベルの赤の強弱を調整します。	105
	ゲイン GREEN※1	白レベルの緑の強弱を調整します。	105
	ゲイン BLUE※1	白レベルの青の強弱を調整します。	105
	バイアス RED※1	黒レベルの赤の強弱を調整します。	105
	バイアス GREEN※1	黒レベルの緑の強弱を調整します。	105
	バイアス BLUE※1	黒レベルの青の強弱を調整します。	105
音声の設定※4	低音	低音の強弱を調整します。	106
	高音	高音の強弱を調整します。	106
	バランス	音の中心（左右バランス）を調整します。	106
	バズーカ	バズーカ（重低音）のオン/オフを設定します。	106
	バズーカレベル	バズーカの強弱を調整します。	106
画面の設定	画面モード	フル、ノーマルの画面モードを設定します。	107
	上下位置	映像の表示位置を上下方向に調整します。	107
	左右位置	映像の表示位置を左右方向に調整します。	107
	上下サイズ	映像のサイズを上下方向に調整します。	107
	左右サイズ	映像のサイズを左右方向に調整します。	107
	オートピクチャー※3	位相、分周比の自動調整を設定します。	108
	位相※2	画面にちらつきが出たときに調整します。	109
	分周比※2	画面にしま模様が出たときに調整します。	109
べんり機能の設定	画面表示	画面表示を表示するかしないかを設定します。	110
	メニュー位置	メニュー表示の位置を設定します。	111
	パワーマネジメント	パソコンを接続したとき、省電力ディスプレイとして使用できるように設定します。	112
	グレーレベル※4	ノーマルモードのとき、画面の横に出る映像のない部分の明るさを設定します。	113
	シネマモード	DVDソフトに記録された映像情報を、プログレッシブ出力するための変換モードを設定します。	114
	ロングライフ	画面の焼き付きを低減するために設定します。	115
	PLE	パソコン画面の輝度を最小に設定します。	115
	ピクチャーシフト	画面の表示位置を一定時間ごとに移動します。	116
	リバース	パソコン画面を反転表示します。	117
	スクリーンワイパー	画面の焼き付き低減を一定時ごとに行います。	118
	初期設定に戻す	調整や設定の状態を初期設定に戻します。	119
オプション	RGBセレクト	パソコンから入力される信号に合ったモードに設定します。	120
	HDセレクト	入力する高精細映像の垂直ラインを設定します。	121
インフォメーション	周波数	現在、入力されている信号の周波数・同期極性・解像度を確認します。	122

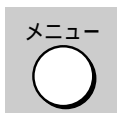
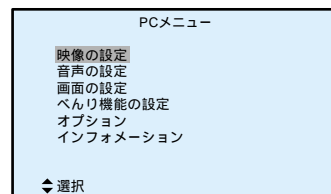
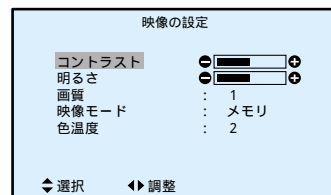
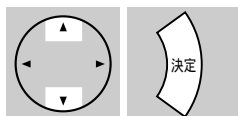
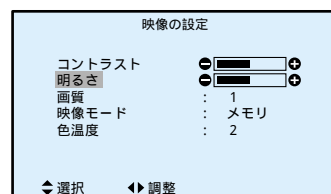
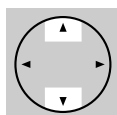
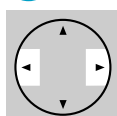
※1:「色温度」で「プロ」を選択時に限り、表示・調整可能
※2:「オートピクチャー」で「オフ」を選択時に限り、表示・調整可能
※3:ビデオ信号（525i、525P）のときは、「オートピクチャー」、「位相」、「分周比」は表示されません。
※4:「音声の設定」と「グレーレベル」は、PCモード以外にも反映されます。

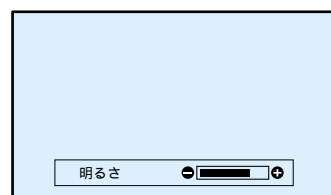
映像の設定

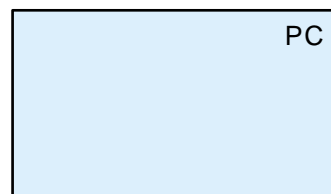
お好みのコントラスト/明るさ/画質に調整する

例:「明るさ」を調整する

1 入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える

2 メニューボタンを押す

● PCメニューモードになります。

3 カーソルボタン▲·▼で「映像の設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「明るさ」を選ぶ

5 カーソルボタン◀·▶で「明るさ」を調整する

例:「明るさ」が調整されました。

● 3秒以上カーソルボタン◀·▶を押さないでいると、調整が確定してひとつ前の画面に戻ります。
● 続けて他の調整をしたいときは手順4の操作から行ってください。

◀ 暗くなる　　明るくなる ▶

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

調整項目	内　容	カーソルボタン ◀·▶
コントラスト	映像の濃淡が調整できます。	淡くなる⇔濃くなる
明るさ	画面の明るさが調整できます。	暗くなる⇔明るくなる
画質	画面の鮮明度が調整できます。	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 やわらかくなります。　くっきりします。

お願い

■「調整はできません」と表示が出たとき

● 「映像モード」の設定で「メモリ」を選んでください。詳しくは、103ページを参照してください。

お知らせ

■お買い上げ時の内容に戻したいとき

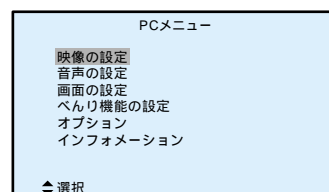
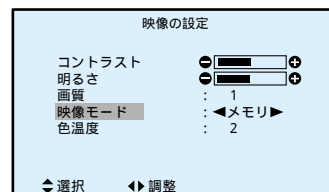
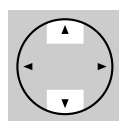
● 「映像モード」の設定で「初期設定」を選んでください。詳しくは、119ページを参照してください。

映像モードの設定

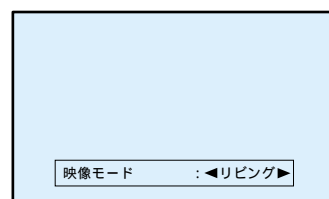
● 部屋の明るさや映像ソフトに合わせて、映像モードを設定します。

例:「リビング」に設定する

1 **前ページの手順1～3の操作で「映像の設定」画面にする**
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「映像の設定」を選び、決定ボタンを押す

PC

2 **カーソルボタン▲·▼で「映像モード」を選ぶ**

3 **カーソルボタン◀·▶で「リビング」を選ぶ**

例:「リビング」に設定されました。
● 3秒以上カーソルボタン◀·▶を押さないでいると、選択が確定してひとつ前の画面に戻ります。
● カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

→メモリ ↔ シアター ↔ リビング ↔ 初期設定←

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

■映像モードの種類について
● メモリ…
最後に映像調整した内容を記憶します。
● シアター…
暗いお部屋で見るときに設定します。映画館のような、暗い画面で繊細さを重視した映像になります。
● リビング…
明るいお部屋で見るときに設定します。　明暗がはっきりした、メリハリのある映像になります。
● 初期設定…
「コントラスト」と「明るさ」がお買い上げ時の映像調整状態に戻ります。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき
● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

色温度の設定

- 色温度を設定します。

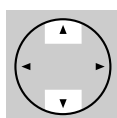
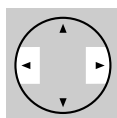
例:「3」に設定する

1 **102ページの手順1～3の操作で「映像の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「映像の設定」を選び、決定ボタンを押す

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⬍選択

2 **カーソルボタン▲·▼で「色温度」を選ぶ**

映像の設定
コントラスト
明るさ
映像モード : メモリ
色温度 :◄2►
⬍選択 ◄►調整

3 **カーソルボタン◄·►で「3」を選ぶ**

例:「3」に設定されました。

- カーソルボタン◄·►を押すごとに切り換わります。

※「プロ」の設定については、次ページを参照してください。

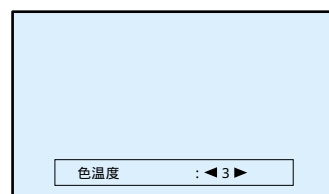
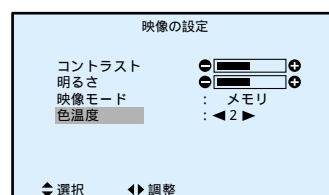
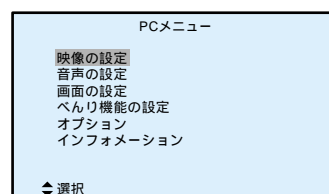
4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

■色温度とは

- 白色の色あいを数値的に表したものを色温度といいます。
  単位はケルビン(K)で表します。
  画面は色温度が低いと赤っぽく、高いと青っぽく表示されます。

■色温度の種類について

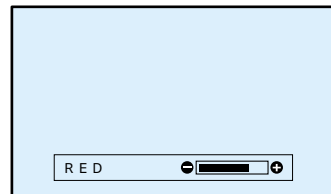
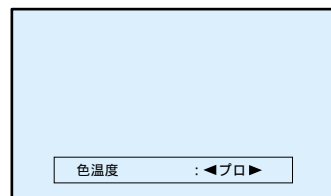
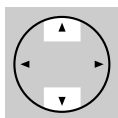
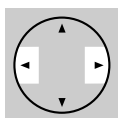
- 1…
  青っぽく表示します。
- 2…
  自然な色あいに表示します。
- 3…
  赤っぽく表示します。
- プロ…
  色あいを自分で調整できます。
  厳密な白色のバランス調整を必要とするときにご使用ください。

色温度の設定(プロ)

● ホワイトバランスを設定します。

例:「プロ」の「ゲインRED」を調整する

1 **前ページの手順 1、2 の操作で「色温度」画面にする**

2 **カーソルボタン◀·▶で「プロ」を選び決定ボタンを押す**

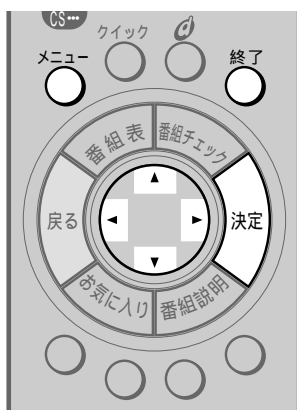
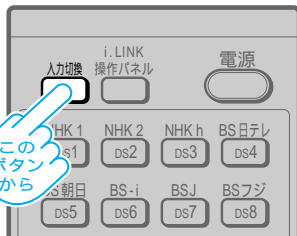
● カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

3 **カーソルボタン▲·▼で「ゲイン RED」を選ぶ**

4 **カーソルボタン◀·▶で調整する**

例:「ゲインRED」が調整されました。

● 3秒以上カーソルボタン◀·▶を押さないでいると、調整が確定してひとつ前の画面に戻ります。

● 続けて他の調整をしたいときは手順3の操作から行ってください。

◀ 赤が弱くなる　　赤が強くなる ▶

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

■**ホワイトバランスの調整について**

● 明るいときと暗いときの白色のバランスを調整します。

● ゲインRED…
白レベルの赤の強弱を調整します。

● ゲインGREEN…
白レベルの緑の強弱を調整します。

● ゲインBLUE…
白レベルの青の強弱を調整します。

● バイアスRED…
黒レベルの赤の強弱を調整します。

● バイアスGREEN…
黒レベルの緑の強弱を調整します。

● バイアスBLUE…
黒レベルの青の強弱を調整します。

■**お買い上げ時の内容に戻したいとき**

● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

音声の設定

低音/高音/バランス/バズーカ/バズーカレベルを調整する

● 低音・高音・左右・バズーカ・バズーカレベルのバランスを調整する。(PCモード以外にも反映されます。)

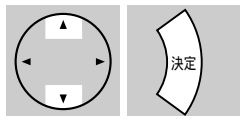
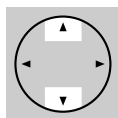
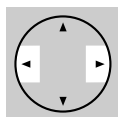
例:高音を調整する

1 **102 ページの手順 1、2 の操作で「PC メニュー」画面にする**
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す

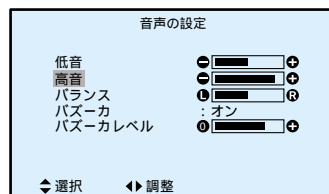
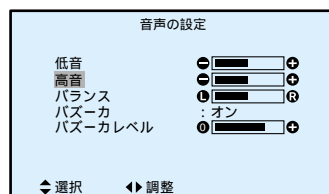
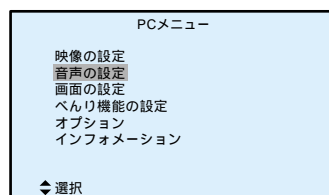
2 **カーソルボタン▲・▼で「音声の設定」を選び、決定ボタンを押す**

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
◆選択

3 **カーソルボタン▲・▼で「高音」を選ぶ**

音声の設定
低音
高音
バランス
バズーカ　：オン
バズーカレベル
◆選択　◀▶調整

4 **カーソルボタン◀・▶で調整する**

例:「高音」が調整されました。
● 続けて他の調整をしたいときは手順3の操作から行ってください。

音声の設定
低音
高音
バランス
バズーカ　：オン
バズーカレベル
◆選択　◀▶調整

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

調整項目	内　容	カーソルボタン ◀・▶
低　音	低音の強弱が調整できます。	弱くなる⇔強くなる
高　音	高音の強弱が調整できます。	弱くなる⇔強くなる
バランス	左右の音のバランスが調整できます。	左が強くなる⇔右が強くなる
バズーカ	バズーカのオン/オフが設定できます。	オン⇔オフ
バズーカレベル	バズーカの強弱が調整できます。	弱くなる⇔強くなる

お知らせ

■**お買い上げ時の内容に戻したいとき**
● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

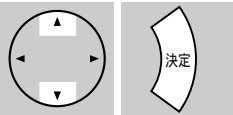
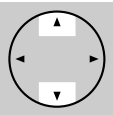
画面の設定

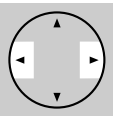
画面モード/上下位置/左右位置/上下サイズ/左右サイズ

- 画面の位置･大きさを調整します。

例:上下位置を調整する

1 **102ページの手順1、2の操作で「PCメニュー」画面にする**
①入力切換ボタンで｢PC｣入力に切り換える
②メニューボタンを押す

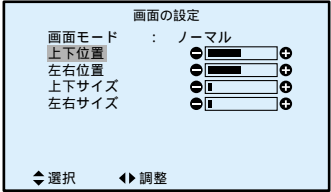
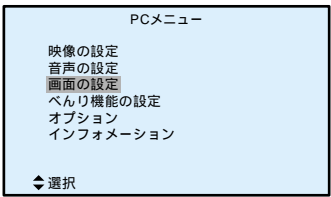
2 **カーソルボタン▲･▼で「画面の設定」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲･▼で「上下位置」を選ぶ**

- 画面モードを変更したいときは｢画面モード｣を選び、カーソルボタン◀･▶で画面モードを変更してください。

4 **カーソルボタン◀･▶で調整する**

例:｢上下位置｣が調整されました。
- 3秒以上カーソルボタン◀･▶を押さないでいると、調整が確定してひとつ前の画面に戻ります。
- 続けて他の調整をしたいときは手順3の操作から行ってください。

◀ 下に移動する　上に移動する ▶

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

調整項目	内　容	カーソルボタン ◀･▶
画面モード	画面サイズが「フル」と「ノーマル」に設定できます。	「フル」⇔「ノーマル」に変わる
上下位置	映像の上下位置が変わります。	下に移る⇔上に移る
左右位置	映像の左右位置が変わります。	左に移る⇔右に移る
上下サイズ	映像の上下サイズが変わります。	上下に縮む⇔上下に伸びる
左右サイズ	映像の左右サイズが変わります。	左右に縮む⇔左右に伸びる

■調整の基準点について
- 「上下サイズ」「左右サイズ」を調整するとき、調整の基準点は画面の左上になります。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき
- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

画面の設定 つづき

オートピクチャーの設定

- オートピクチャーを設定します。
- 「オン」に設定すると、位相と分周比が自動で調整されます。
- 「PC入力」端子に接続し、選択しているときだけ動作します。

例:「オン」に設定する

1 前ページの手順1～3の操作で「画面の設定」画面にする

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「画面の設定」を選び、決定ボタンを押す

PC

2 カーソルボタン▲·▼で「オートピクチャー」を選ぶ

3 カーソルボタン◀·▶で「オン」を選ぶ

例:「オン」に設定されました。

- カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

オン ⟷ オフ

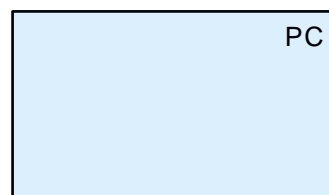
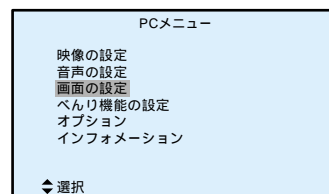
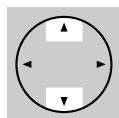
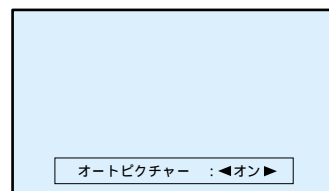
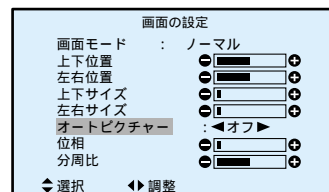
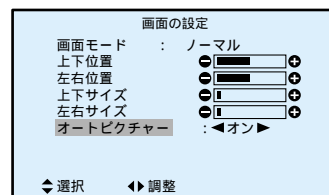
4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

■オートピクチャーとは

- 「位相」と「分周比」を自動調整する機能です。ビデオ信号（525i、525P）のときは「オートピクチャー」の表示はされません。
  「オートピクチャー」を「オン」に設定すると「上下位置」「左右位置」も自動で調整されます。
  万一、調整されないときは、「オートピクチャーの設定」をオン、オフし、再設定してください。
  さらに変更したいときは、107ページを参照し、「上下位置」「左右位置」を調整してください。

■ご自分で調整したい方は

- 「オートピクチャー」を「オフ」に設定し、「位相」「分周比」を調整してください。

位相/分周比の設定

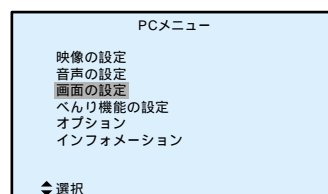
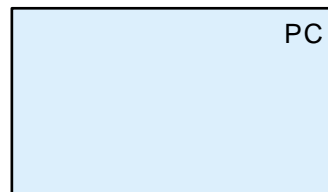
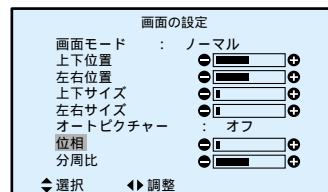
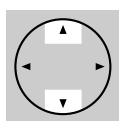
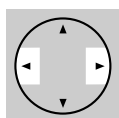
● 位相と分周比を調整します。

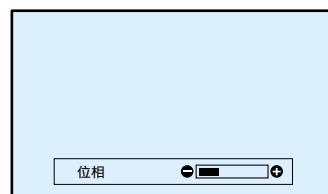
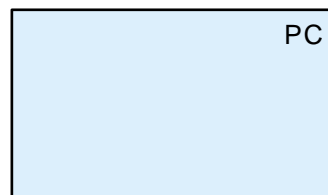
例:「位相」を調整する

1 **前ページの手順1～3の操作で「画面の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「画面の設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「オートピクチャー」を選ぶ
⑤カーソルボタン◀·▶で「オフ」を選ぶ

2 **カーソルボタン▲·▼で「位相」を選ぶ**

画面の設定
画面モード : ノーマル
上下位置
左右位置
上下サイズ
左右サイズ
オートピクチャー : オフ
位相
分周比
選択 調整

3 **カーソルボタン◀·▶で調整する**

例:「位相」が調整されました。

● 3秒以上カーソルボタン◀·▶を押さないでいると、調整が確定してひとつ前の画面に戻ります。
● 続けて他の調整をしたいときは手順2の操作から行ってください。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

■位相・分周比について

● ビデオ信号（525i、525P）のときは「位相」「分周比」の調整ができないため、表示されません。
● 位相の調整…
画面にちらつきが出たときに調整します。
● 分周比の調整…
画面にしま模様が出たときに調整します。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき

● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

べんり機能の設定

画面表示の設定

- 画面モードなどの画面表示を消します。(「オフ」設定時)
「オン」に設定すると画面表示が出ます。

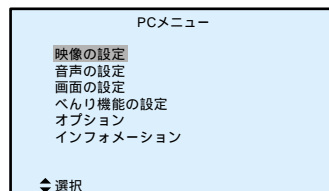
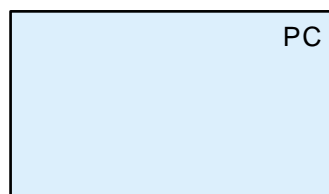
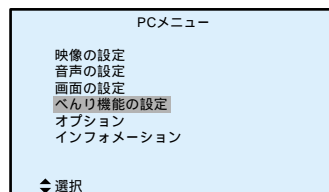
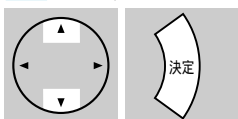
例:「オフ」に設定する

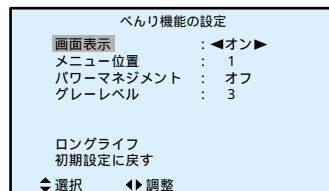
1 **102ページの手順1、2の操作で「PCメニュー」画面にする**
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す

PC

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⬍選択

2 **カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す**

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⬍選択

3 **カーソルボタン▲·▼で「画面表示」を選ぶ**

- 画面モードを変更したいときは「画面モード」を選び、カーソルボタン◀·▶で画面モードを変更してください。

べんり機能の設定
画面表示 : ◀オン▶
メニュー位置 : 1
パワーマネジメント : オフ
グレーレベル : 3
ロングライフ
初期設定に戻す
⬍選択 ◀▶調整

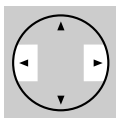
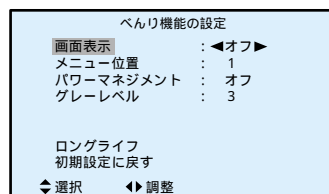
4 **カーソルボタン◀·▶で「オフ」を選ぶ**

例:「オフ」に設定されました。
- カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

オン ←→ オフ

べんり機能の設定
画面表示 : ◀オフ▶
メニュー位置 : 1
パワーマネジメント : オフ
グレーレベル : 3
ロングライフ
初期設定に戻す
⬍選択 ◀▶調整

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

お知らせ

■画面表示の設定について
- オン…
画面表示が出ます。
- オフ…
画面表示が出ません。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき
- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

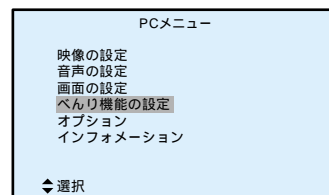
メニュー位置の調整

● メニュー表示の位置を調整します。

1 **前ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

PC

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

2 **カーソルボタン▲·▼で「メニュー位置」を選ぶ**

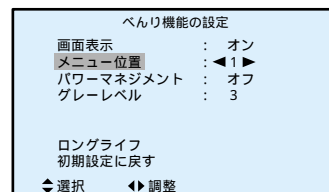
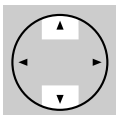
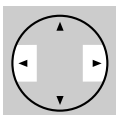
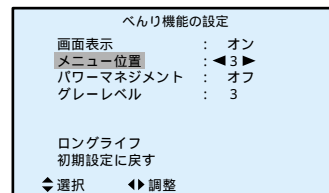
3 **カーソルボタン◀·▶で「3」を選ぶ**

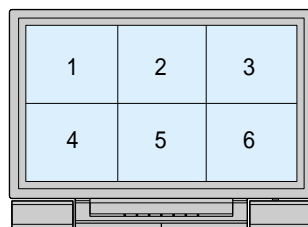
例:「3」に設定されました。
● カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

1 ↔ 2 ↔ … ↔ 5 ↔ 6

べんり機能の設定
画面表示 : オン
メニュー位置 : ◀3▶
パワーマネジメント : オフ
グレーレベル : 3
ロングライフ
初期設定に戻す
⇕選択 ◀▶調整

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

お知らせ

■メニュー位置の調整について
● メニュー位置は、次の6とおりがあります。

1	2	3
4	5	6

■お買い上げ時の内容に戻したいとき
● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

べんり機能の設定 つづき

■パワーマネジメント機能について

- パワーマネジメント機能とは、一定時間キーボードまたはマウス操作しない場合に、モニターの消費電力を自動的に軽減させる省エネルギー機能です。
  この機能は、VESAのDPMS方式にもとづいたパソコンと組み合わせたときに、有効になります。
- パソコンの電源が入っていない場合やパソコンと本機が正しく接続されていない場合、パワーマネジメント機能がはたらき、本機は「オフステート」になります。
- パソコン側のパワーマネジメント機能については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■パワーマネジメントの設定について

- オン…
  パワーマネジメント機能がはたらきます。
- オフ…
  解除されます。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき

- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

■パソコン未接続でパワーマネジメントの設定を「オン」→「オフ」に変えたい場合は、電源を入れてから1分以内に設定することができます。

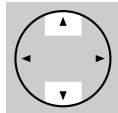
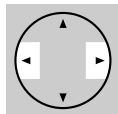
パワーマネジメントの設定

● パソコンを接続したとき、省電力モニターとして使用できるように設定します。

例:「オン」に設定する

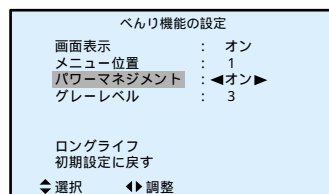
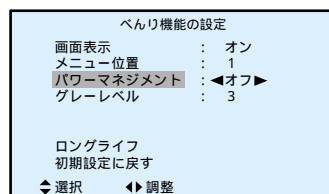
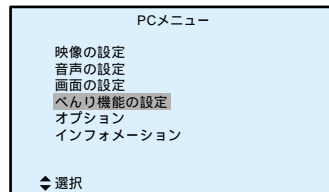
1 **110ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲・▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

2 **カーソルボタン▲・▼で「パワーマネジメント」を選ぶ**

3 **カーソルボタン◀・▶で「オン」を選ぶ**

例:「オン」に設定されました。

● カーソルボタン◀・▶を押すごとに切り換わります。

オン ⟷ オフ

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

パワーマネジメント機能と電源入(青)/待機(赤)表示について

● パワーマネジメント機能の状態は、モニターの電源入(青)/待機(赤)表示で確認できます。

パワーマネジメントモード	電源入(青)/待機(赤)表示	パワーマネジメント動作状態	内　容	復帰方法
オンステート	青　色	OFF	パソコンから水平/垂直同期信号が入力されています。	通常、パソコンを使用している状態ですので、必要ありません。
スタンバイステート	紫　色	ON	パソコンから水平同期信号が入力されていません。	キーボードやマウスを操作する。即時に画面が表示されます。
サスペンドステート	赤　色	ON	パソコンから垂直同期信号が入力されていません。	キーボードやマウスを操作する。画面が表示されますが、スタンバイステートのときより表示されるまでに時間がかかります。
オフステート	赤　色	ON	パソコンから水平/垂直同期信号が入力されていません。	キーボードやマウスを操作する。画面が表示されますが、スタンバイステートのときより表示されるまでに時間がかかります。

お願い

■グレーレベルの調整について

- グレーレベルでは、グレーの明るさをお客様の好みに合わせて調整できます。ノーマルモードの表示部と非表示部（映像のない部分）は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。
  従って、なるべく次のように調整することをお奨めします。
  ①映像の表示部と非表示部の明るさの差が縮まるように、灰色を調整する。
  ②映像のコントラストと明るさを弱める
  （→102ページ）
  ただし調整しても、焼き付きを起こす時間が若干のびるだけで、焼き付きを抑えることはできません。できる限りフルモードでご使用ください。

■グレーレベルの設定について

0…黒色 → **15…明るい灰色**
だんだん明るくなる

■お買い上げ時の内容に戻したいとき

- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

グレーレベルの設定

- ノーマルモードのとき、画面の横に出る映像のない部分の明るさを設定します。（PCモード以外にも反映されます。）

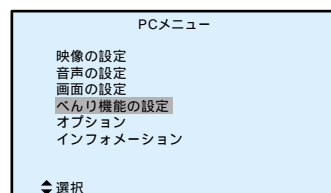
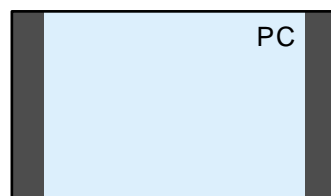
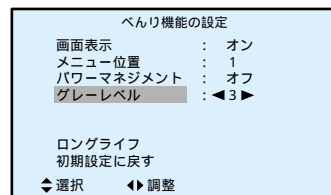
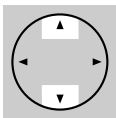
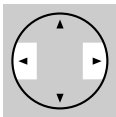
例:「5」に設定する

1 110ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする

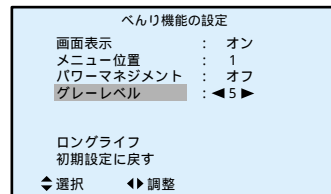
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

2 カーソルボタン▲·▼で「グレーレベル」を選ぶ

べんり機能の設定
画面表示 : オン
メニュー位置 : 1
パワーマネジメント : オフ
グレーレベル : ◀3▶
ロングライフ
初期設定に戻す
⇕選択 ◀▶調整

3 カーソルボタン◀·▶で「5」を選ぶ

例:「5」に設定されました。

- カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

0 ↔ 1 ↔ … ↔ 14 ↔ 15

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

べんり機能の設定 つづき

シネマモードの設定

- DVDソフトに記録された映像情報に合わせて、シネマモードを設定します。NTSCと525i(60Hz)のときだけ、有効です。

例:「オフ」に設定する

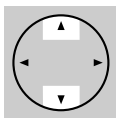
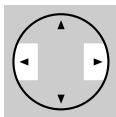
1 **110ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

PCメニュー

映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション

⬍選択

2 **カーソルボタン▲·▼で「シネマモード」を選ぶ**

べんり機能の設定

画面表示	:	オン
メニュー位置	:	1
パワーマネジメント	:	オフ
グレーレベル	:	3
シネマモード	:	◀オン▶
ロングライフ		
初期設定に戻す		

⬍選択 ◀▶調整

3 **カーソルボタン◀·▶で「オフ」を選ぶ**

例:「オフ」に設定されました。

- カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

オン ⟷ オフ

べんり機能の設定

画面表示	:	オン
メニュー位置	:	1
パワーマネジメント	:	オフ
グレーレベル	:	3
シネマモード	:	◀オフ▶
ロングライフ		
初期設定に戻す		

⬍選択 ◀▶調整

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■シネマモードとは

- DVDソフトに記録された映像情報を、プログレッシブ出力するための変換モードです。

■シネマモードについて

- オン…
  通常は「オン」を選びます。
  「オン」は、DVDソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判断し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
- オフ…
  ビデオ素材として記録されたDVDソフトの再生に適したモードです。プログレッシブ出力に変換します。

お知らせ

■PLEの設定について

- オート…
  パソコン画面の輝度を映像に適したモードに自動設定し、映像を見やすくします。ただし、明暗のはっきりした静止画を映すことが多い場合、部分的に消えない映像（焼き付き）の原因になることがあります。焼き付きの発生を軽減させるために、「ロック」に設定することをお奨めします。
- ロック…
  パソコン画面の輝度を最小に固定します。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき

- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

ロングライフ設定

- 画面の焼き付きを軽減させるための設定です。

PLEの設定

- パソコン画面において、輝度を自動で調整するか、輝度を最小に固定するかを設定します。明暗のはっきりした静止画像を映すことが多い場合には、「ロック」に設定します。

例:「ロック」に設定する

1 **110ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

2 **カーソルボタン▲·▼で「ロングライフ」を選び、決定ボタンを押す**

べんり機能の設定
画面表示 : オン
メニュー位置 : 1
パワーマネジメント : オフ
グレーレベル : 3
ロングライフ
初期設定に戻す
⇕選択 ◀▶調整

3 **カーソルボタン▲·▼で「PLE」を選ぶ**

ロングライフ
PLE : ◀オート▶
ピクチャーシフト : オフ
リバース : オフ
スクリーンワイパー : オフ
⇕選択 ◀▶調整

4 **カーソルボタン◀·▶で「ロック」を選ぶ**

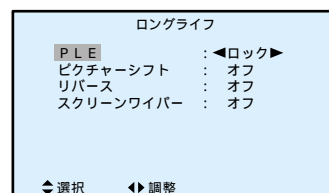
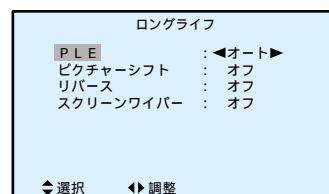
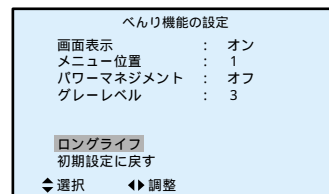
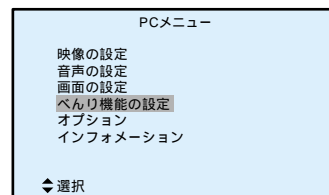
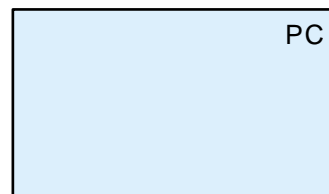
例:「ロック」に設定されました。

- カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

オート ⟷ ロック

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

お願い

■ピクチャーシフトについて

- デジタルズームのときは「ピクチャーシフト」は、はたらきません。

■ピクチャーシフトの設定について

- オン…
  画面の表示位置を一定時間ごとに移動するように設定します。静止画像を映すときに設定すると、焼き付きの発生を低減させる効果があります。
- オフ…
  解除されます。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき

- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

ロングライフ設定 つづき

ピクチャーシフトの設定

- 画面の表示位置を一定時間ごとに移動するように設定します。

例:「オン」に設定する

1 **110ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする**

①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

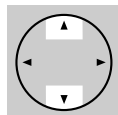
PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⬍選択

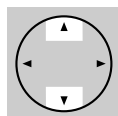
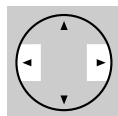
2 **カーソルボタン▲·▼で「ロングライフ」を選び、決定ボタンを押す**

べんり機能の設定
画面表示 : オン
メニュー位置 : 1
パワーマネジメント : オフ
グレーレベル : 3
ロングライフ
初期設定に戻す
⬍選択 ◀▶調整

3 **カーソルボタン▲·▼で「ピクチャーシフト」を選ぶ**

ロングライフ
PLE : オート
ピクチャーシフト : ◀オフ▶
リバース : オフ
スクリーンワイパー : オフ
⬍選択 ◀▶調整

4 **カーソルボタン◀·▶で「オン」を選ぶ**

例:「オン」に設定されました。

- カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

オン ←→ オフ

ロングライフ
PLE : オート
ピクチャーシフト : ◀オン▶
リバース : オフ
スクリーンワイパー : オフ
⬍選択 ◀▶調整

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを数回押す

PC

リバースの設定

● 画面の反転表示（ポジ/ネガ）を設定します。

例:「オン」に設定する

1 **110ページの手順1、2の操作で「べんり機能の設定」画面にする**
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す

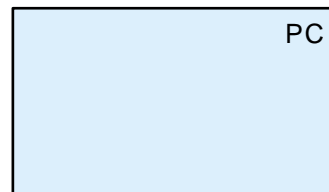
PC

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⬍選択

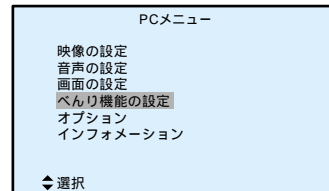
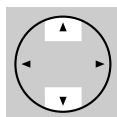
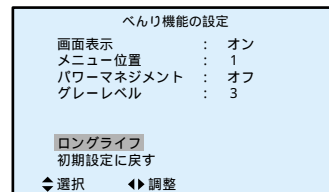
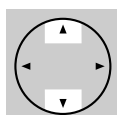
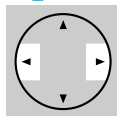
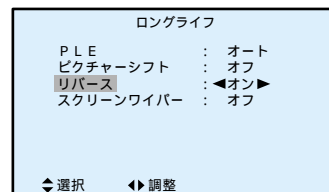
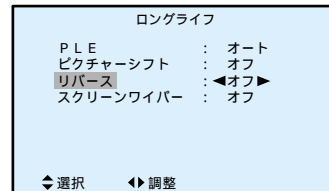
2 **カーソルボタン▲·▼で「ロングライフ」を選び、決定ボタンを押す**

べんり機能の設定
画面表示 ： オン
メニュー位置 ： 1
パワーマネジメント ： オフ
グレーレベル ： 3
ロングライフ
初期設定に戻す
⬍選択 ◀▶調整

3 **カーソルボタン▲·▼で「リバース」を選ぶ**

ロングライフ
PLE ： オート
ピクチャーシフト ： オフ
リバース ：◀オフ▶
スクリーンワイパー ： オフ
⬍選択 ◀▶調整

4 **カーソルボタン◀·▶で「オン」を選び、決定ボタンを押す**

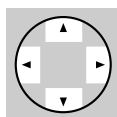
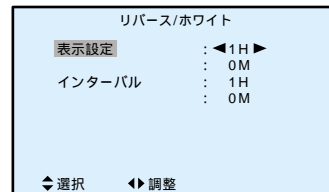
例:「オン」に設定されました。
● カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

ロングライフ
PLE ： オート
ピクチャーシフト ： オフ
リバース ：◀オン▶
スクリーンワイパー ： オフ
⬍選択 ◀▶調整

● 「オン」または「ホワイト」を選択中に決定ボタンを押すと、それぞれの「時間設定」画面に切り換わります。

5 **カーソルボタン▲·▼で設定項目を選び、カーソルボタン◀·▶で設定時間を設定する**

● 3分〜12時間45分の間で3分間隔に設定できます。

リバース/ホワイト
表示設定 ：◀1H▶
　　　　 ： 0M
インターバル ： 1H
　　　　 ： 0M
⬍選択 ◀▶調整

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

お知らせ

■リバースの設定について
- オン…
  画面を反転表示（ネガ/ポジ）します。
- オフ…
  解除されます。
- ホワイト…
  画面全体を白く発光させ、焼き付きを低減します。

■お買い上げ時の内容に戻したいとき
- べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

べんり機能の設定 つづき

ロングライフ設定 つづき

スクリーンワイパーの設定

● 白い縦帯を左から右へ走査させて画面の焼き付きを軽減させる機能です。

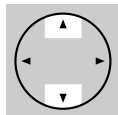
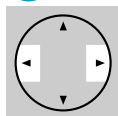
例:「オン」に設定する

1 前ページの手順1、2の操作で「ロングライフ」画面にする

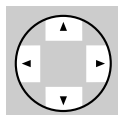
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「ロングライフ」を選び、決定ボタンを押す

PC

2 カーソルボタン▲·▼で「スクリーンワイパー」を選ぶ

ロングライフ
PLE : オート
ピクチャーシフト : オフ
リバース : オフ
スクリーンワイパー : ◀オフ▶
選択 調整

3 カーソルボタン◀·▶で「オン」を選び、決定ボタンを押す

例:「オン」に設定されました。
● カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

オン ⟷ オフ

● 「オン」を選択中に決定ボタンを押すと、「時間設定」画面に切り換わります。

ロングライフ
PLE : オート
ピクチャーシフト : オフ
リバース : オフ
スクリーンワイパー : ◀オン▶
選択 調整

4 カーソルボタン▲·▼で設定項目を選び、カーソルボタン◀·▶で設定時間を設定する

● 3分～12時間45分の間で3分間隔に設定できます。

スクリーンワイパー
表示設定 : ◀1H▶ 0M
インターバル : 1H 0M
スピード設定 : 1
選択 調整

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

PC

お知らせ

■**スクリーンワイパーについて**
● オン…
白い縦帯を左から右へ走査させて画面の焼き付きを軽減させます。
● オフ…
設定を解除します。

■**お買い上げ時の内容に戻したいとき**
● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

PCメニュー設定を初期設定に戻す

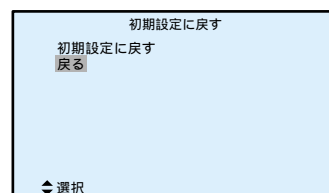
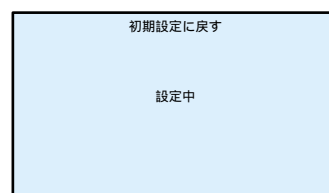
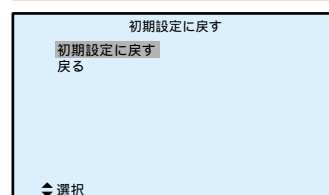
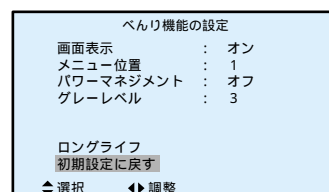
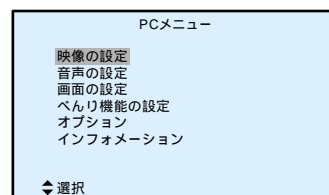
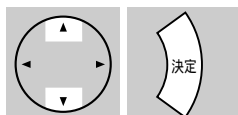
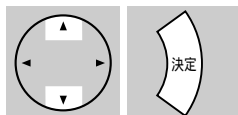
● PCメニューの調整や設定をお買い上げ時の内容に戻します。

1 **102ページの手順1、2の操作で「PCメニュー」画面にする**
①入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える
②メニューボタンを押す

PC

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

2 **カーソルボタン▲·▼で「べんり機能の設定」を選び、決定ボタンを押す**

べんり機能の設定
画面表示　：　オン
メニュー位置　：　1
パワーマネジメント　：　オフ
グレーレベル　：　3
ロングライフ
初期設定に戻す
⇕選択　◀▶調整

3 **カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**

初期設定に戻す
初期設定に戻す
戻る
⇕選択

4 **メニューボタンを押す**

● 自動で各設定をお買い上げ時の内容に戻します。

初期設定に戻す
設定中

● 各設定がお買い上げ時の内容に戻ります。

初期設定に戻す
初期設定に戻す
戻る
⇕選択

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

PC

お知らせ

■お買い上げ時の内容に戻る項目は
● 詳しくは、101ページを参照してください。
● メニュー設定は、この設定ではお買い上げ時の設定には戻りません。戻すには205ページをご覧ください。

オプション設定

RGBセレクトの設定

● パソコンから入力される信号に合ったモードに設定します。

例:「動画」に設定する

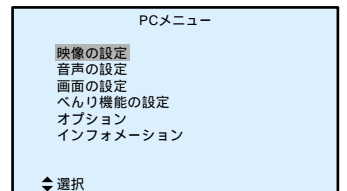
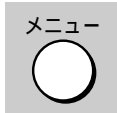
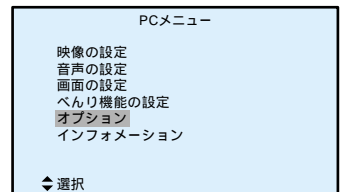
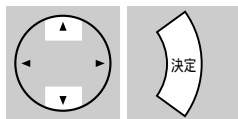
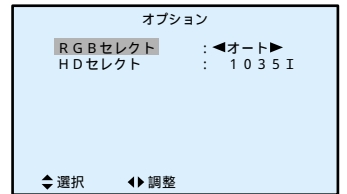
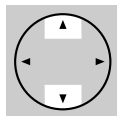
1 **入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える**

PC

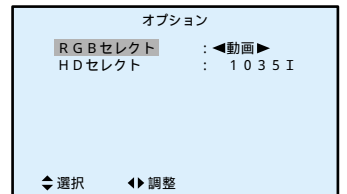
2 **メニューボタンを押す**

● メニューモードになります。

3 **カーソルボタン▲·▼で「オプション」を選び、決定ボタンを押す**

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
選択

4 **カーソルボタン▲·▼で「RGBセレクト」を選ぶ**

5 **カーソルボタン◄·►で「動画」を選ぶ**

例:「動画」に設定されました。

● カーソルボタン◄·►を押すごとに切り換わります。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■**お買い上げ時の内容に戻したいとき**

● べんり機能の設定で「初期設定に戻す」を選んでください。ただしその他の各設定も、お買い上げ時の内容に戻ります。詳しくは、119ページを参照してください。

お知らせ

■**RGBセレクトの設定について**

● オート…
「入力できるパソコン信号について」(→230ページ）のとおりに判別します。通常は「オート」に設定してご使用ください。

● スチル…
VESAスタンダード信号を判別します。RGB信号の静止画を見るときに設定します。

● 動画…
スキャンコンバータなどのビデオ信号をRGB信号に変換して動画を見やすくします。パソコン画像で動画を見るときに設定します。

● ワイド1…
852ドット×480ライン、垂直周波数：60Hz、水平周波数：31.7kHzのワイド*VGA信号を入力するときに設定します。

● ワイド2…
848ドット×480ライン、垂直周波数：60Hz、水平周波数：31.0kHzのワイド*VGA信号を入力するときに設定します。

＊VGAは米国International Business Machines, Inc.の登録商標です。

● DTV（デジタル放送）…
デジタル放送（480P）のときに設定します。

●480Pとは480本で順次走査するデジタル地上放送です。

HDセレクトの設定

● 入力する高精細映像の垂直ライン(1035本または1080本)を設定します。

例:「1080B」に設定する

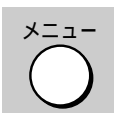
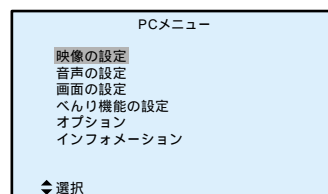
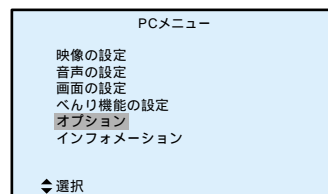
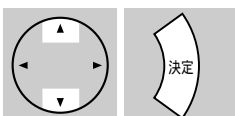
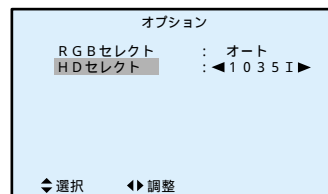
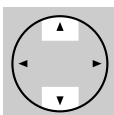
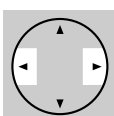
1 **入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える**

PC

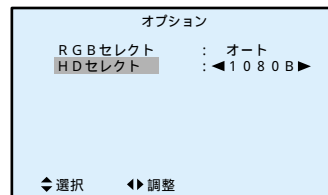
2 **メニューボタンを押す**

● メニューモードになります。

3 **カーソルボタン▲·▼で「オプション」を選び、決定ボタンを押す**

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
選択

4 **カーソルボタン▲·▼で「HD セレクト」を選ぶ**

5 **カーソルボタン◀·▶で「1080B」を選ぶ**

例:「1080B」に設定されました。

● カーソルボタン◀·▶を押すごとに切り換わります。

1035I ↔ 1080A ↔ 1080B

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■**HDセレクトの設定について**

- 1035I…
  日本のハイビジョン放送(MUSE)を見るときに設定します。
- 1080A…
  特殊なデジタル放送を見るときに設定します。
- 1080B…
  標準のデジタル放送を見るときに設定します。

インフォメーション設定

周波数(FREQUENCY)の確認

● 現在、入力されている信号の周波数・同期極性・解像度が確認できます。

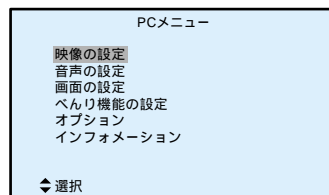
1 **入力切換ボタンで「PC」入力に切り換える**

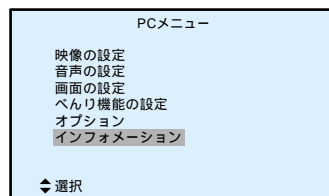
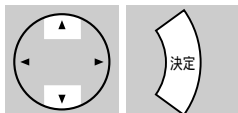
PC

2 **メニューボタンを押す**

メニュー

● メニューモードになります。

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

3 **カーソルボタン▲・▼で「インフォメーション」を選び、決定ボタンを押す**

PCメニュー
映像の設定
音声の設定
画面の設定
べんり機能の設定
オプション
インフォメーション
⇕選択

4 **カーソルボタン▲・▼で「周波数」を選び、決定ボタンを押す**

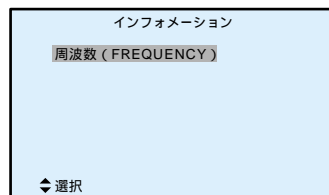
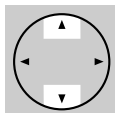
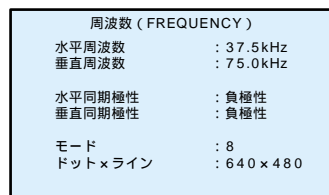
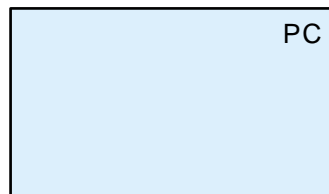
インフォメーション
周波数 (FREQUENCY)
⇕選択

5 **周波数が表示されます。**

周波数 (FREQUENCY)

水平周波数	：37.5kHz
垂直周波数	：75.0kHz
水平同期極性	：負極性
垂直同期極性	：負極性
モード	：8
ドット×ライン	：640×480

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

PC

第４章 他の機器をつないで楽しむ

システムアップ

システムアップ例

- このテレビは､いろいろな機器と組み合わせて楽しめます。
- 下記の他にLDプレーヤーなどもビデオ入力端子を使用して接続できます。

■接続例

- 端子に合わせて数台のA/V機器をつなぐことができます。

VHF/UHFアンテナ

分配器

BS･110度CS
アンテナ

モニター、チューナー

ビデオ
(127ページ)

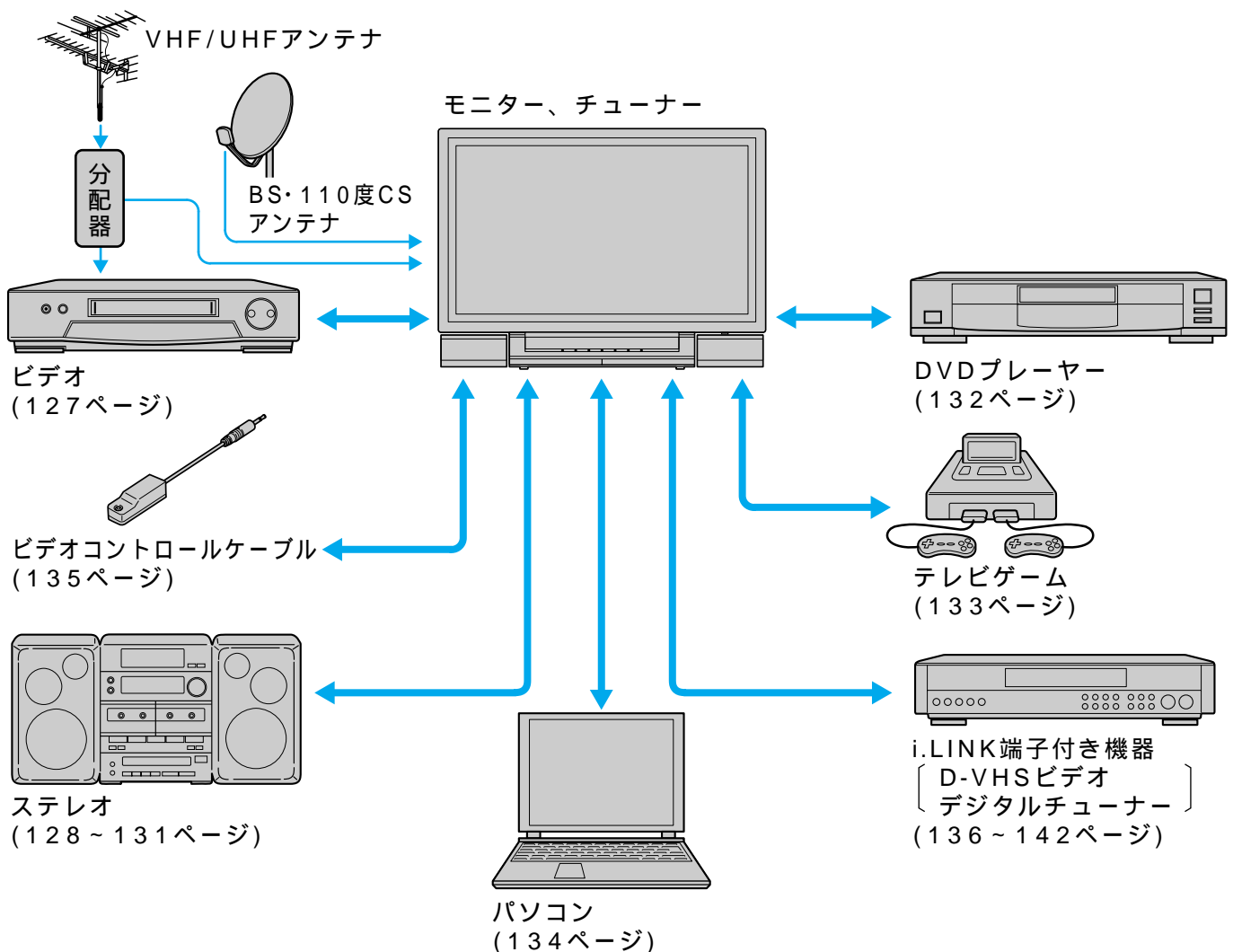
DVDプレーヤー
(132ページ)

ビデオコントロールケーブル
(135ページ)

テレビゲーム
(133ページ)

ステレオ
(128～131ページ)

i.LINK端子付き機器
〔D-VHSビデオ
デジタルチューナー〕
(136～142ページ)

パソコン
(134ページ)

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは必ずテレビおよび接続する機器の電源を「切（オフ）」にしてください。
- 録画または録音したものは個人的に楽しむほかは、著作権法によって権利者に無断で使用することはできません。
- S2映像入力端子と映像入力端子を同時に接続したときは、S2映像入力端子が優先します。
- S2映像入力端子または映像入力端子とD4映像入力端子を同時接続時は、D4映像入力端子が優先します。
- 接続機器の音声出力がモノラルのときは、別売のステレオ／モノラル変換コード（TSC-AX05など）をご使用ください。
- 接続する機器の接続方法は、その機器の取扱説明書をご覧ください。

端子のなまえとはたらき

チューナー端子部

●詳しくは 内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

専用接続端子 146
●モニターへつなぎます。

PC入力端子 134
●パソコンを接続します。

ビデオ入力1、2、4、5端子 127〜137
●ビデオやDVDプレーヤーなどをつなぎます。

バズーカスピーカー端子
スピーカー端子 145

電話回線(LINE)接続端子 158〜160

デジタル放送録画出力端子 127
●デジタル放送またはi.LINK端子からの信号が出力されます。
●地上放送や外部入力は出力されません。
●オン・スクリーン（番組表・操作ガイドなどの表示）表示は出力されません。
●デジタルカメラ再生動作中は出力されません。

BS·110度CSアンテナ入力端子 153

バズーカスピーカー端子
スピーカー端子 145

(背面)

ビデオコントロール端子 135
●ビデオコントロールケーブルをつなぎます。

オーディオコントロール端子 130
●オンキヨー製のAVアンプをつなぎます。

VHF/UHFアンテナ入力端子 151

AC100V出力端子 147

AC100V入力端子 147

i.LINK端子 136 137

光デジタル音声出力端子 129 130
●MDレコーダーなどの光デジタル音声入力端子につなぎます。

D4映像入力端子 132 136 137
●D4端子に入力できる映像信号です。

映像信号	映像の走査線数	方式
525i(480i)	525本(有効480本)	インターレース
525p(480p)	525本(有効480本)	プログレッシブ
750p(720p)	750本(有効720本)	プログレッシブ
1125i(1080i)	1125本(有効1080本)	インターレース

オーディオ出力(固定)端子 128 130

(左側面とびら内)

ヘッドホーン端子
●ヘッドホーン端子に挿入するとスピーカーの音が消えてヘッドホーンで聞けます。
※ミニプラグのヘッドホーンまたはイヤホーンで聞けます。

(右側面)

ビデオ入力3/ゲーム端子 133
●ポータブル機器やゲーム機器をつなぐのに便利です。

スマートメディア™挿入口 54

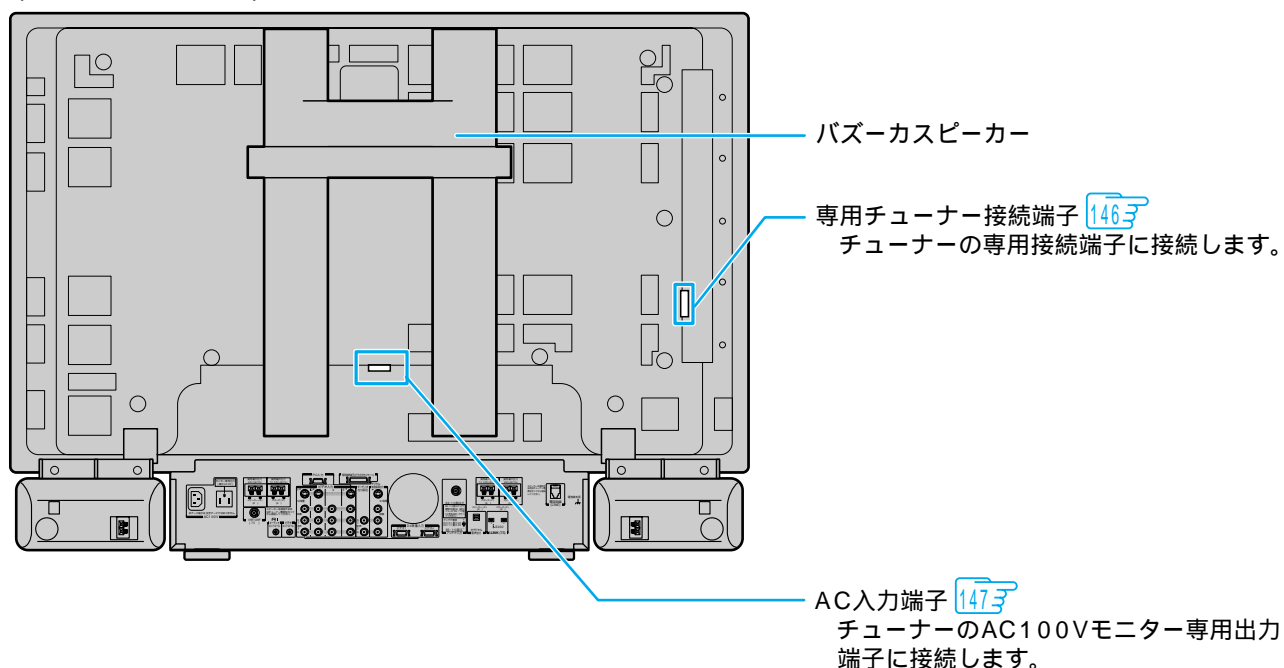
SDメモリカード挿入口 56

B-CASカード挿入口 150

副画面イヤホーン端子 43
※ミニプラグのイヤホーンで聞けます。
●二画面表示で「副画面イヤホーン」端子にイヤホーンを挿入したとき、スピーカーからは操作画面、イヤホーンからはもう一方の画面の音が出ます。
●副画面イヤホーンでお聴きになる場合はTruSurroundの効果は得られません。
●一画面のとき、スピーカーとイヤホーンの両方で聞けます。

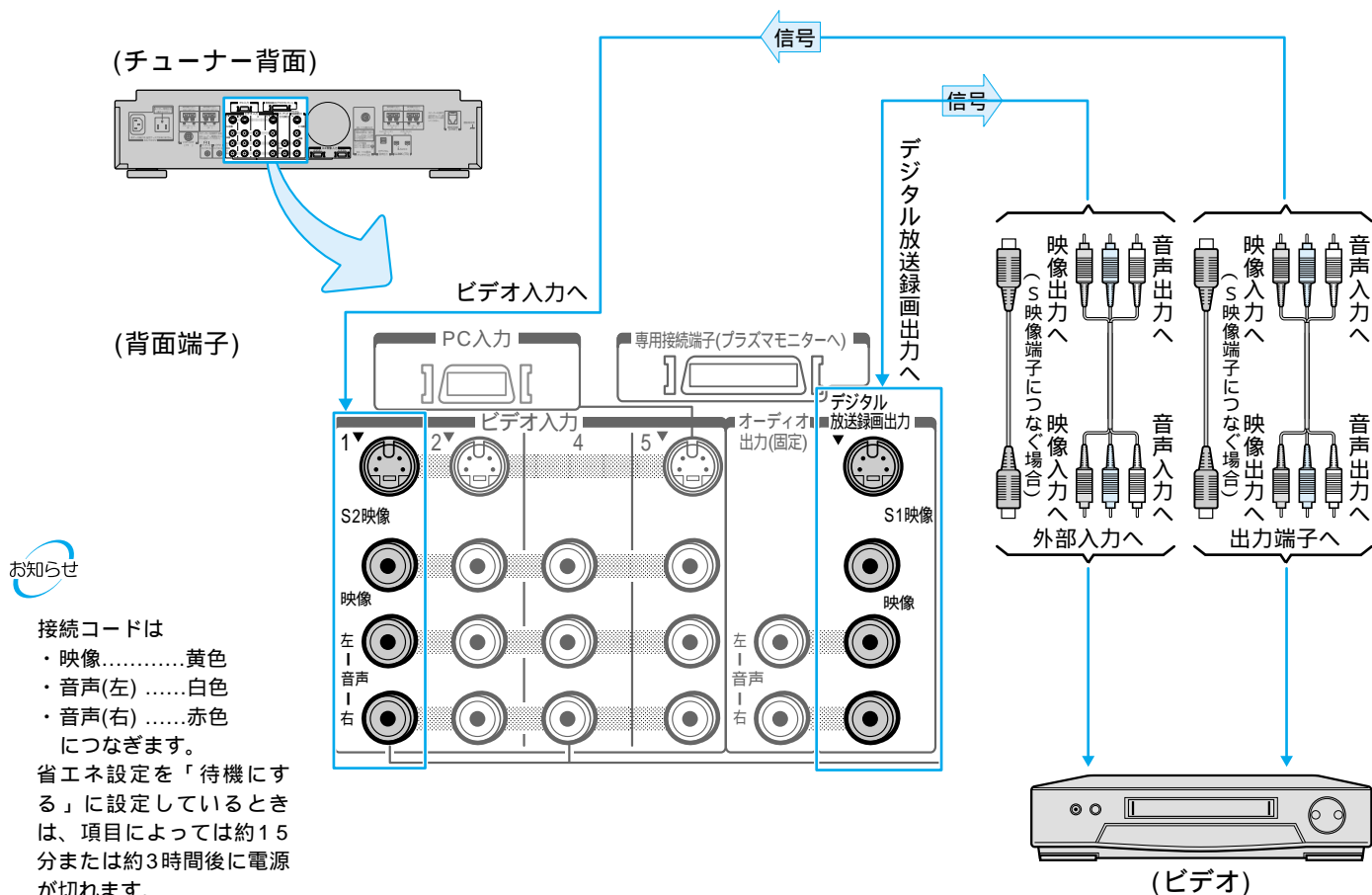
端子のなまえとはたらき つづき

モニター背面端子部

● 詳しくは ☞ 内のページをご覧ください。

ビデオで録画／再生するとき

ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた

●i.LINK端子付きのD-VHSビデオの場合は、i.LINK接続を行うことで、さらに便利な使いかたができます。（→136ページ）

【つなぎかた】

- 接続コードは
  - ・映像…………黄色
  - ・音声(左) ……白色
  - ・音声(右) ……赤色

  につなぎます。
- 省エネ設定を「待機にする」に設定しているときは、項目によっては約15分または約3時間後に電源が切れます。
  「動作しない」に設定すると電源は切れません。詳しくは94ページをご覧ください。
- デジタル放送の録画中は、デジタル放送のチャンネルを切り換えないようにご注意ください。地上放送についてはデジタル放送を録画中でもチャンネルを切り換えてご覧いただけます。
- 「一発録画機能」を使用すると、デジタル放送の録画がより簡単にできます。（→73ページ）
- テレビの主電源を切ると録画できません。
- 留守録する場合は、録画予約（→58ページ）を行ってください。

【使いかた】

デジタル放送を録画するとき（基本の操作）

1 デジタル放送のチャンネルを選ぶ

2 ビデオを外部入力モードにして、録画する

再生して見るとき

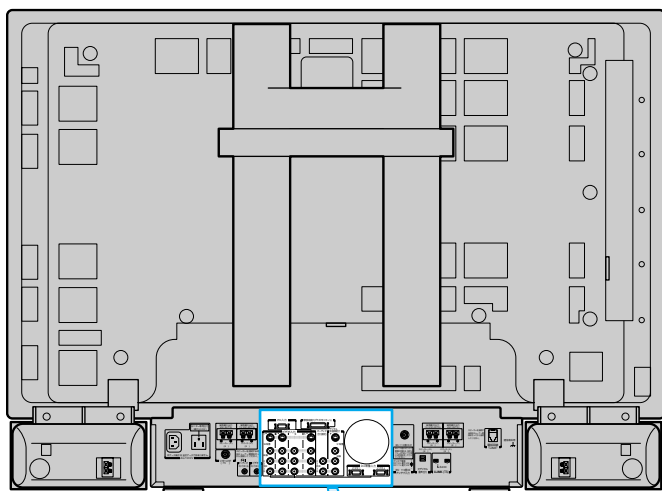
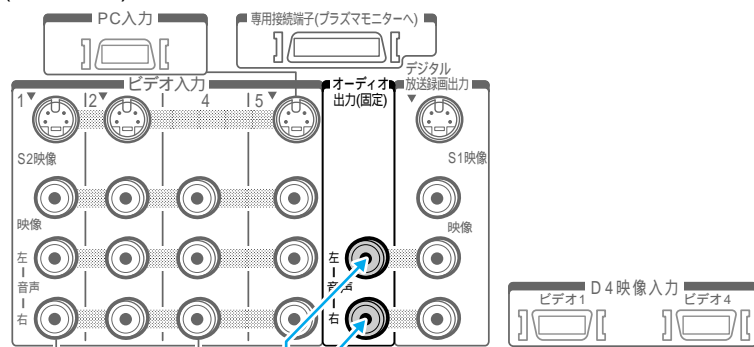
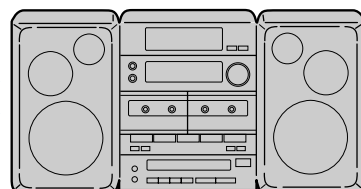
1 リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいるビデオ入力を選ぶ

2 ビデオを再生する

ステレオ装置で楽しむとき

映像はモニターで、音声はステレオ装置で迫力ある音声で楽しむとき

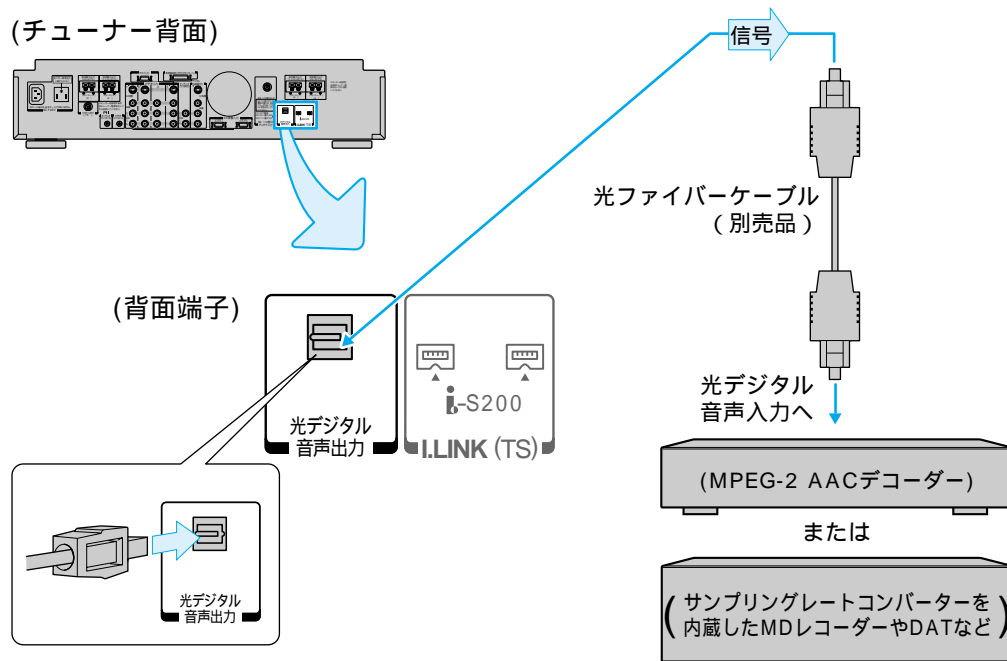
【つなぎかた】

■「オーディオ出力（固定）」端子を使ってつなぐ場合

【使いかた】

1 テレビの音量をゼロにする

2 音量はステレオ装置で調整する

【つなぎかた】

■「光デジタル音声出力」端子を使ってつなぐ場合

お願い

- 本機の「光デジタル音声出力」端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。そのままプラグを差し込んでください。

お知らせ

- 本機が出力する音声デジタル光出力のサンプリング周波数は、放送局から送られてくる音声のサンプリング周波数と同じで、48kHzまたは32kHzとなっています。これらのサンプリング周波数に対応していない機器と接続する場合は、市販のサンプリングレートコンバーターが必要となります。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーの場合は、市販のサンプリングレートコンバーターが必要となります。
- 光デジタル音声出力設定をMPEG-2 ACCに設定している場合で、音声がMPEG-2 ACCの場合には、主音声、副音声の切り換えは本機ではできません。その場合はMPEG-2 ACCデコーダー側で切り換えてください。

MPEG-2 AACデコーダー以外のデジタル機器(MDレコーダーやDAT)につなぐ場合

- MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子につなぐことによって、高品位な音声で録音したり楽しむことができます。
- この場合は、本機の「光デジタル音声出力設定」を「PCM固定」に設定します。
  - 設定方法は91ページをご覧ください。
- MDレコーダーやDATなどのデジタル機器の詳しい接続、取り扱いは各取扱説明書をご覧ください。

MPEG-2 AACデコーダーにつなぐ場合

- デジタル放送やi.LINK接続機器からのMPEG-2 AAC方式の信号をMPEG-2 AACデコーダー(市販品)で楽しむことができます。
  この場合は、本機の「光デジタル音声出力設定」を「AAC優先」に設定します。
  - 設定方法は91ページをご覧ください。
- 「光デジタル音声出力設定」を「AAC優先」に設定した場合でも、デジタル放送またはi.LINK端子からの音声信号が「AAC優先」でない場合は、「リニアPCM」で出力されます。
- MPEG-2 AACデコーダーの詳しい接続、取り扱いはMPEG-2 AACデコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 光デジタル音声出力端子から出力される音声がAACのときには、データ放送の一部の音声(効果音など)は、出力されない場合があります。

【使いかた】

1 テレビの音量をゼロにする

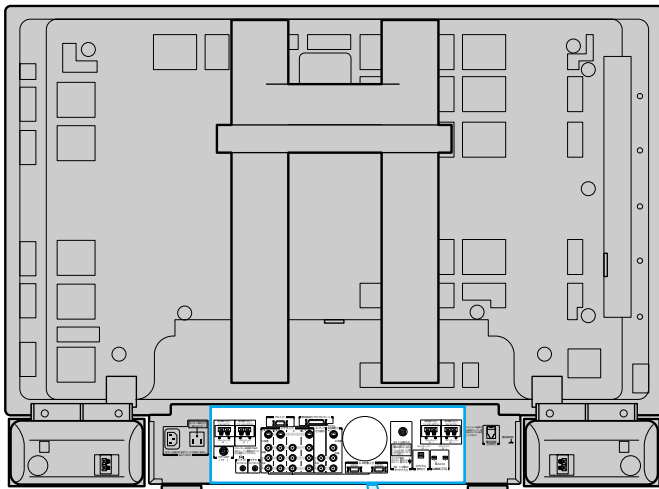
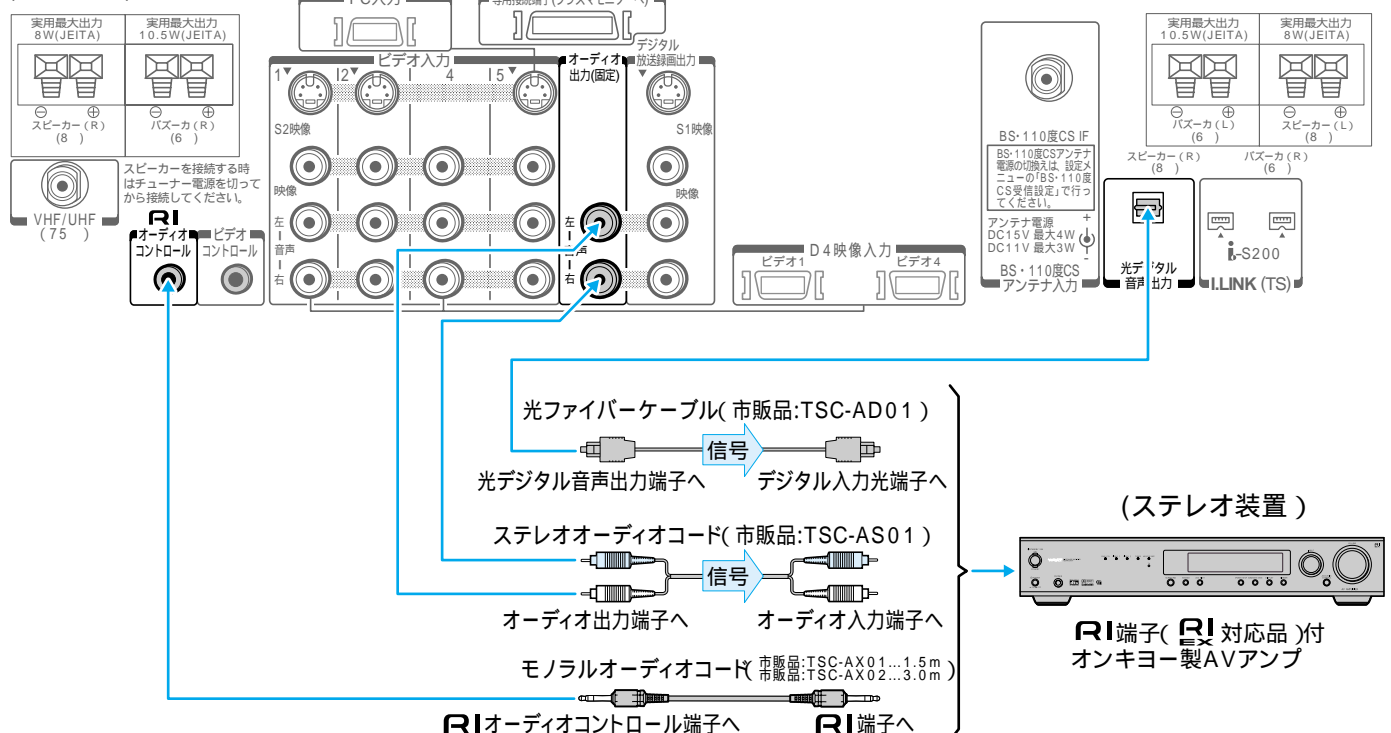
2 音量はステレオ装置で調整する

ステレオ装置で楽しむとき

映像はモニターで、音声はステレオ装置で迫力ある音声で楽しむとき

【つなぎかた】

■RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用する場合

(プラズマモニター背面)

- RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用するとより便利な使い方ができます。詳しくは、次ページをご覧ください。
- RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用する場合の詳しいつなぎ方については、オンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用する場合で、光ファイバーケーブルを接続する場合は、ステレオオーディオコードは必ず接続してください。
- RI EXはオンキヨー株式会社の商標です。

オンキヨー製AVアンプとの連動動作（RI端子付製品）

● 本機とオンキヨー製AVアンプを接続することによって、本機に付属のリモコンでAVアンプを操作することができ、便利です。

● 本機とオンキヨー製 AV アンプを接続することによって、本機に付属のリモコンだけで以下の操作ができます。
通常のテレビ放送を視聴するだけなら、AV アンプに付属のリモコンを使用する必要はありません。
・本機と AV アンプがともに「待機」の場合、本機に付属リモコンの電源ボタンを押すと、本機が「待機」から「入」になり、AV アンプも自動的に「入」になります。
AV アンプの入力設定も本機から出力される映像・音声信号に自動的に切り換わります。さらに、本機に付属リモコンの電源ボタンを押すと、本機が「入」から「待機」になり、AV アンプも自動的に「待機」になります。
本機の電源と AV アンプの電源を連動しないようにすることもできます。
詳しい設定方法は、92 ページをご覧ください。
・本機に付属リモコンの音量ボタン＋・－で、AV アンプの音量調整ができます。
本機画面上に、単独動作時の音量表示とは異なる音量調整表示がでます。
・本機に付属リモコンの消音ボタンで、AV アンプの消音操作ができます。
本機画面上に、単独動作時の消音表示とは異なる消音表示がでます。

● 本機とオンキヨー製 AV アンプが連動動作しているときは本体のスピーカーから音声はでません。連動動作していないときは、本体のスピーカーから音声がでます。連動動作する条件についての詳しくは、以下の「連動動作の条件」をご覧ください。

■連動動作の条件

※1. 本機とオンキヨー製AVアンプをモノラルオーディオコードで接続する必要があります。

※2. 連動動作可能な機器は、オンキヨー製RI端子つきAVアンプ(RI対応品)に限ります。
詳しくはオンキヨー製AVアンプの取扱説明書やカタログ等でご確認ください。

※3. オンキヨー製AVアンプの「入力設定」で、本機から出力される映像・音声信号が選択されているときだけ連動動作します。
連動動作中にオンキヨー製AVアンプの「入力設定」で、本機から出力される映像・音声信号以外の入力信号（例えばCDプレーヤー）が手動で選択された場合は、連動動作が解除されます。
もう一度本機から出力される映像・音声信号がオンキヨー製AVアンプの「入力設定」で選択されると連動動作に戻ります。
詳しくはオンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

※4. 電源入りにしたときにAVアンプが既に電源入りになっており、かつオンキヨー製AVアンプの「入力設定」で、本機から出力される映像・音声信号以外の入力信号（例えばCDプレーヤー）が選択されている場合は連動動作しません。

※5. DVDやビデオなどの音声出力信号を、直接AVアンプに接続して視聴している場合は、連動動作しません。

【使いかた】

1 接続は前ページの「つなぎかた」にする

● 詳しいつなぎかたはオンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

2 オンキヨー製 AV アンプの電源が待機（スタンバイ）状態であることを確認する

● 「入（オン）」の場合は「待機（スタンバイ）」にしてください。
● 待機操作については、オンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

3 本機に付属のリモコンの「電源」ボタンを押し、本機を動作させる

※「AVアンプ電源連動」が「オン」に設定されている場合は、AVアンプが自動的に「入」になります。「オフ」に設定されている場合は手動でAVアンプを「入」にしてください。

● お買い上げ時の「AVアンプ電源連動」は「オン」に設定されています。
・オン：本機に付属のリモコンで電源、入/待機、音量＋・－、消音に連動します。
・オフ：本機に付属のリモコンで電源、入/待機は連動しません。音量＋・－および消音は連動します。
※連動動作の設定については、92ページをご覧ください。

4 操作する

①本機に付属リモコンの音量＋・－ボタンで、オンキヨー製AVアンプの音量が調整できます。
②本機に付属リモコンの消音ボタンで、オンキヨー製AVアンプが消音動作します。
③本機に付属リモコンの電源ボタンで、本機の電源、入/待機と連動して、オンキヨー製AVアンプの電源も入/待機動作します。

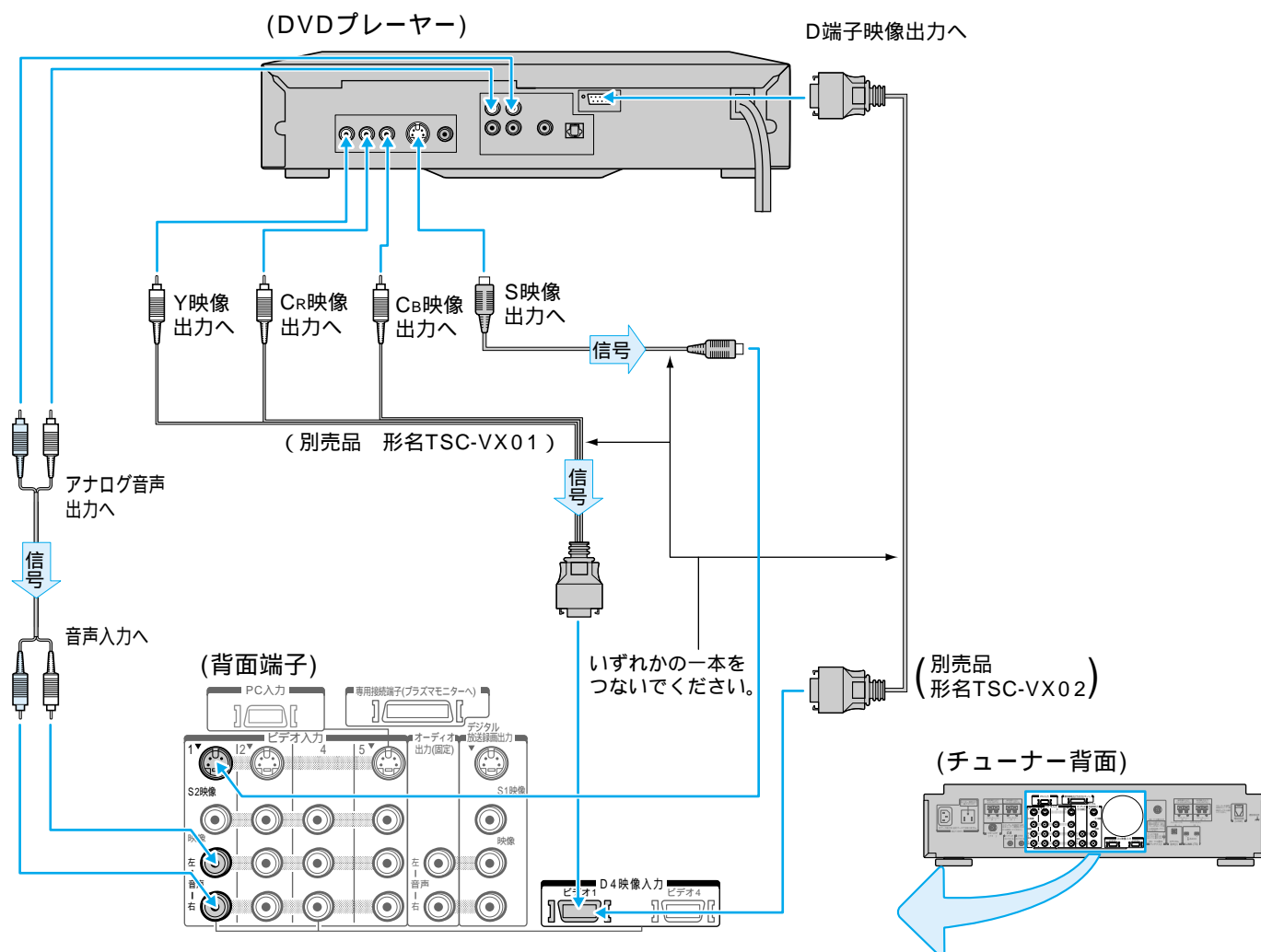
● AACデコーダ内蔵タイプのAVアンプを利用する場合で、本機とAVアンプの接続に光デジタル音声を利用するときは、「光デジタル音声出力」を「サラウンドAAC優先」に設定することをお勧めします。（お買い上げ時の「光デジタル音声出力」は「PCM固定」に設定されています。）「光デジタル音声出力」の設定については、91ページをご覧ください。
● **連動動作を行う前に本機とAVアンプの音量の状態を確認してください。**
● RIはオンキヨー株式会社の商標です。

DVDプレーヤーをつなぐとき

- 本機のD4映像端子とDVDプレーヤーのD端子映像出力またはコンポーネント信号出力（Y、CR、CB映像出力）をつなぐと、より高画質で楽しめます。
- D4映像入力には、DVDプレーヤーのほかに、将来のデジタル機器も接続できます。
（コンポーネント映像信号の525i、525p、750p、1125iに対応しています。）
- DVDプレーヤーの取扱説明書もご覧ください。

【つなぎかた】

- 例として本機の「ビデオ入力1」を使用した場合の例

(DVDプレーヤー)
D端子映像出力へ
Y映像
出力へ
CR映像
出力へ
CB映像
出力へ
S映像
出力へ
信号
（別売品　形名TSC-VX01）
アナログ音声
出力へ
信号
信号
音声入力へ
(背面端子)
PC入力
専用接続端子(プラズマモニターへ)
ビデオ入力
デジタル
放送録画出力
オーディオ
出力(固定)
S2映像
S1映像
映像
D4映像入力
ビデオ1
ビデオ4
いずれかの一本を
つないでください。
（別売品
形名TSC-VX02）
(チューナー背面)

- D4映像入力端子からの映像は、信号のフォーマットによっては二画面や静止画では見られません。
- 接続するDVDプレーヤーの取扱説明書もよくお読みください。

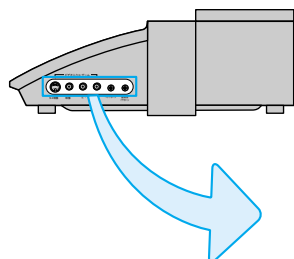
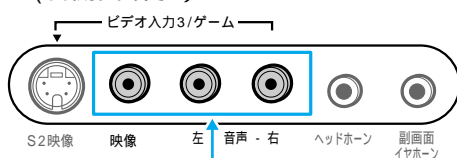
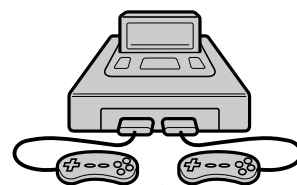
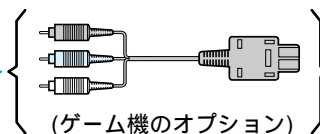
【使いかた】

■再生するとき

1 リモコンの入力切換ボタンを押し、つないでいるビデオ入力を選ぶ

2 DVDプレーヤーを再生する

テレビゲームをつなぐとき

【つなぎかた】

お知らせ

- 一時的にテレビゲームを外し、他の機器につなぎかえてご覧になるときは、終了ボタンを押してください。
- 常時、テレビゲーム機以外の機器をつなぐときは、「ビデオ入力表示設定」でゲーム以外に設定してください。（→95ページ）
- テレビ画面に向けて光線銃などを使用するゲームの場合、正しく動作しないことがあります。

■テレビゲームをつないだときの設定

- 「ビデオ入力表示設定」を「ゲーム」にしてください。(→95ページ)
- お買い上げ時は「ビデオ入力3/ゲーム」が「ゲーム」に設定されています。

【使いかた】

1 **リモコンの入力切換ボタンを押し、ゲーム機をつないだビデオ入力(ゲーム)を選ぶ（→ 51 ページ）**

- ゲームに適した画質と画面サイズに切り換わります。

※画面サイズの切り換えかたは、42ページの「ゲーム入力画面のとき」をご覧ください。

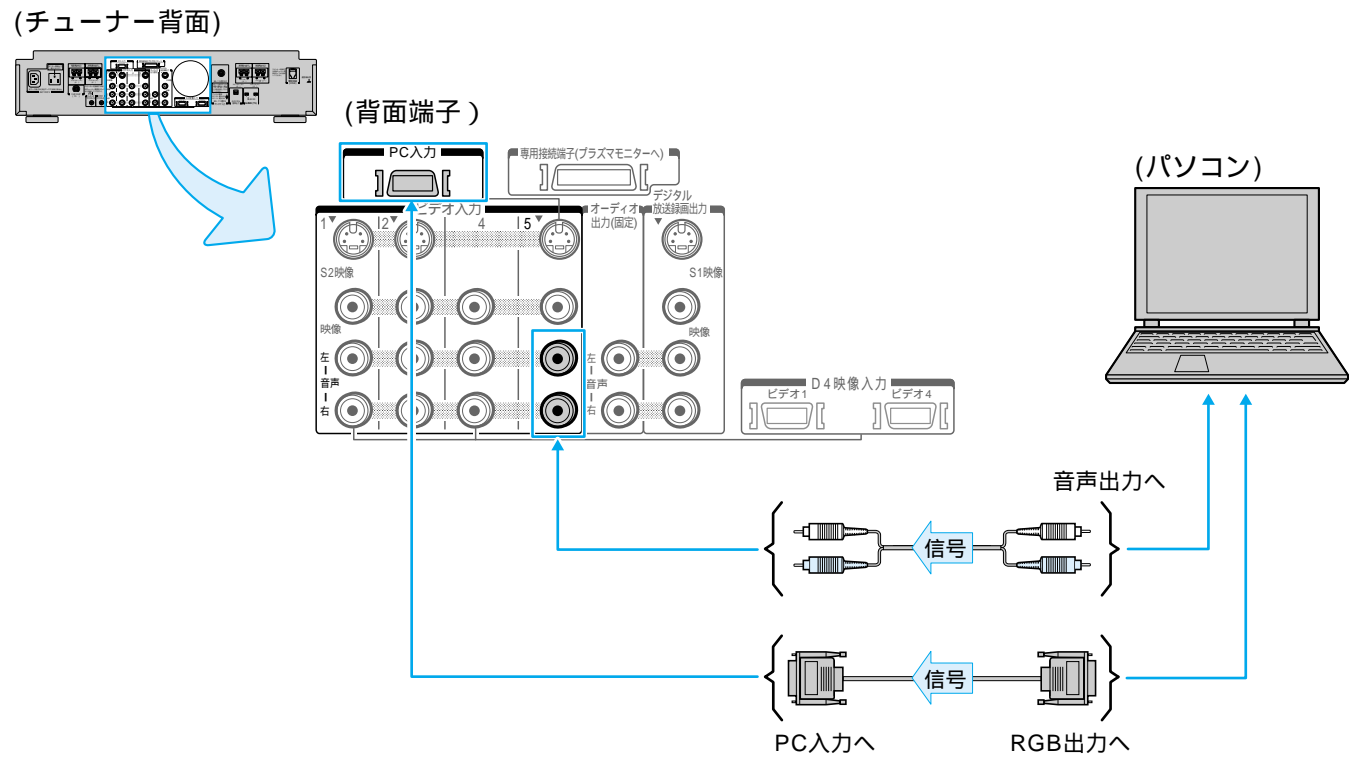
2 **テレビゲームを楽しむ**

■ビデオカメラをつなぐこともできます。

- ビデオをつなぐときは「ビデオ入力表示設定」で「VTR」に設定してください。(→95ページ)

パソコンをつなぐとき

- アナログRGB（15ピン）のパソコンと接続します。
- チューナーの「PC入力端子」にパソコンを接続します。

【つなぎかた】

- 音声入力端子は「ビデオ入力5端子」と兼用です。
- PC入力端子に入力できるパソコン入力信号については、230ページをご覧ください。
- パソコンの種類によっては、使用できない機種もあります。
- パソコンの種類によっては、パソコン側のモニター出力を変換アダプター（市販）を使用して接続する必要があります。
- パソコン側の詳しい接続のしかたと使いかたは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- PC入力時は、視聴予約は実行されません。
- PC入力時は、クイック、静止、二画面、番組表、番組チェック、チューナー本体のチャンネル設定などのボタンは、はたらきません。

【使いかた】

1 **リモコンの入力切換ボタンを押し、「PC」入力に切り換える（→51ページ）**

■簡単な切り換えかた

- i.LINK操作パネルボタンを押したあと、入力切換ボタンを押すと、早くPCモードに切り換えられます。

2 **パソコンを操作する**

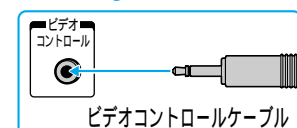
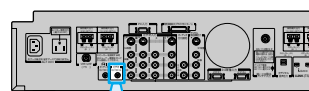
- パソコンの操作は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ PC入力端子のピン配列

D-SUB3列15ピン信号コネクター	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
5 ○○○○○ 1 / 10 ○○○○○ 6 / 15 ○○○○○ 11	1	赤映像信号（RED）	9	接地
	2	緑映像信号（GREEN）	10	未使用
	3	青映像信号（BLUE）	11	未使用
	4	未使用	12	未使用
	5	未使用	13	水平同期（H.SYNC）
	6	接地	14	垂直同期（V.SYNC）
	7	接地	15	未使用
	8	接地		

付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた

- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオをコントロールし録画予約や一発録画をすることができます。
- ビデオコントロールケーブルを使用するには、接続されるビデオの機種設定をすることが必要です。(→ 191 ページ)
- ビデオによっては付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画ができない機種があります。下部の「お知らせ」をご覧ください。

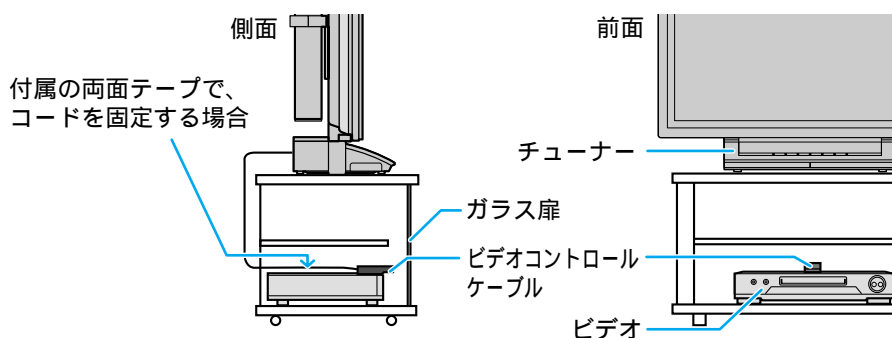
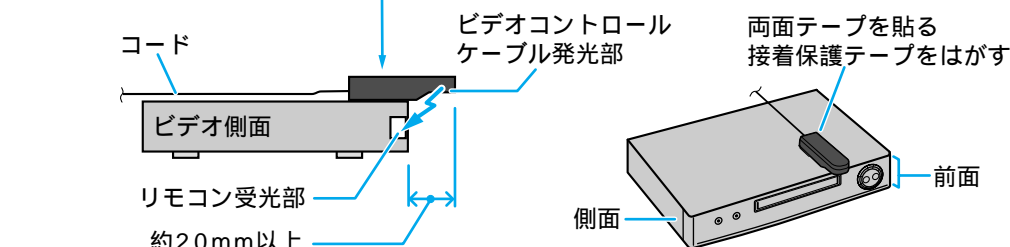
(チューナー背面)

付属のビデオコントロールケーブルをつなぐ

1 チューナーの「ビデオコントロール」端子にビデオコントロールケーブルをつなぐ

2 ビデオコントロールケーブルの取付け位置を決める

- テレビ台やラックなどに収納したビデオのリモコン受光部の近くで、発光部が取り付けられそうな場所を選びます。
  ガラス扉の開閉でビデオコントロールケーブル本体やコードがぶつからないようにしてください。
- 「録画機器機種設定」(→192ページ)の操作の手順**8**で、ビデオの電源が「入」⇔「切」(待機)となる場所を選んでください。ビデオの電源が「入」⇔「切(待機)」と動作しない場合はビデオコントロールケーブルを使用しての録画はできません。

3 固定する（固定する場所の例）

④ビデオにビデオコントロールケーブルを貼り付ける
- ビデオコントロールケーブルが固定できる範囲内で、なるべく前に出してください。
  約20mm以上、前に出してください

上図のように、ビデオコントロールケーブルのコードを途中で固定したい場合

- 付属の両面テープ(小さいほう)と、ご自宅にあるセロハンテープなどのテープを使います。
- ケーブルがピンと張らずに、多少たるんだ状態となる場所を選んでください。

  ①両面テープの片側の保護テープをはがし、その場所に貼り付ける
  ②両面テープのもう一方の保護テープをはがし、コードを貼り付ける
  ・コードを仮固定します。
  ③セロハンテープなどを、両面テープとコードの上から貼り、しっかりと押さえる

お願い

- 重要な録画を行う場合は事前にテストされることをおすすめします。
- ビデオコントロールケーブルと、ビデオのリモコン受光部との距離が50cm以内を目安に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部をよく確かめ、ビデオコントロールケーブルを多少動かしても充分動作する位置に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部については、ご使用のビデオの取扱説明書をご覧ください。

- 機種によっては録画ができないビデオがあります。
  次の①及び②の動作がしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画をすることはできません。
  ①192ページの手順**8**の操作で「ビデオの電源が入⇔切（待機）」の動作をしない。
  ②192ページの手順**11**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない。

他の機器をつないで楽しむ

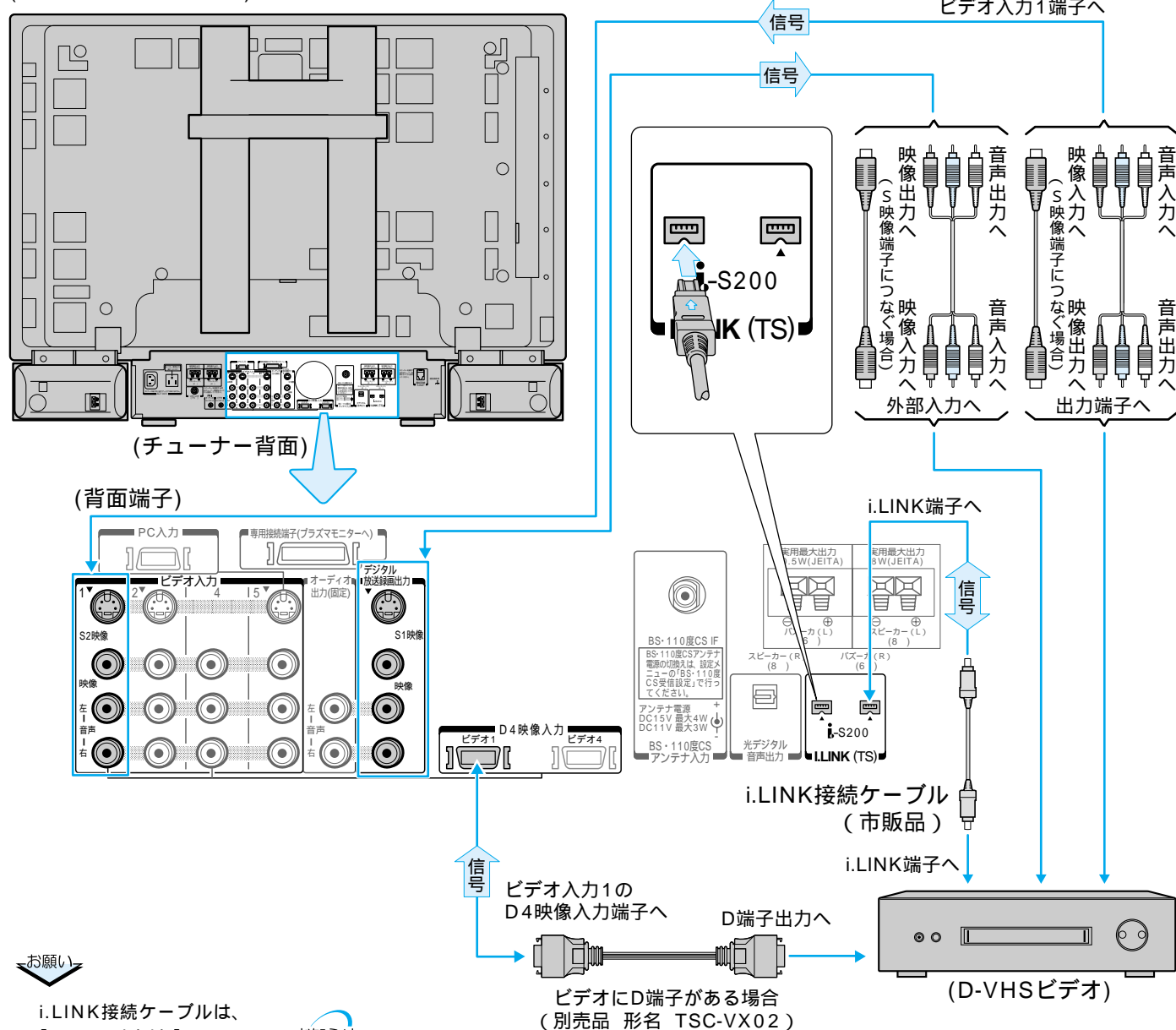
i.LINK端子付き機器とのつなぎかた

● i.LINK 接続をすることで、さらに便利な使いかたができます。

i.LINK端子付きD-VHSビデオとのつなぎかた

● 下図のようにD-VHSビデオとi.LINK接続することで、次の機能を使うことができます。

①テレビ画面にD-VHSビデオの操作パネルを表示させて、操作をする(→139ページ)
②デジタル放送を録画予約(デジタル録画)する(→58ページ)
③今見ているデジタル放送を簡単操作でデジタル録画する(「一発録画」→73ページ)

【つなぎかた】

お願い

● i.LINK接続ケーブルは、「S200」または「S400」のものをご使用ください。
● i.LINK接続を使用する場合は、接続後必要に応じて「i.LINK設定」(→184ページ)を行ってください。

お知らせ

● D4映像入力端子に750Pを受信したときは、フルモードになり画面サイズは切り換えられません。(1125i信号受信時は1080iと1035iに切り換えることができます。)
● D4映像入力端子からの映像は、信号のフォーマットによっては二画面や静止画では見られません。
● 再生信号の接続はデジタル再生とアナログ再生の切り換えを円滑に行うためにビデオ入力1端子に接続してください。

i.LINK端子付きチューナーとのつなぎかた

- 下図のように接続します。

【つなぎかた】

(プラズマモニター背面)

(チューナー背面)

(背面端子)

ビデオ入力1端子へ

信号

映像入力へ（S映像端子につなぐ場合）

音声入力へ

映像出力へ

音声出力へ

出力端子へ

i.LINK端子へ

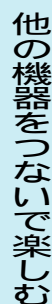
i.LINK接続ケーブル（市販品）

i.LINK端子へ

ビデオ入力1のD4映像入力端子へ

D端子出力へ

※ビデオにD端子がある場合（別売品　形名　TSC-VX02）

(デジタルチューナー)

- i.LINK接続ケーブルは、「S200」または「S400」のものをご使用ください。
- i.LINK接続を使用する場合は、接続後はじめに「i.LINK設定」（→184ページ）を行ってください。

- D4映像入力端子に750Pを受信したときは、フルモードになり画面サイズは切り換えられません。（1125i信号受信時は1080iと1035iに切り換えることができます。）
- D4映像入力端子からの映像は、信号のフォーマットによっては二画面や静止画では見られません。

他の機器をつないで楽しむ

i.LINK端子付きの機器とのつなぎかた つづき

お知らせ

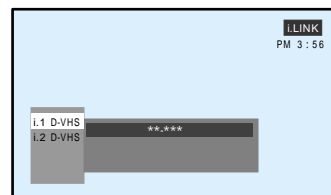
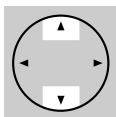
- 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作をすることはできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
- i.LINKの操作中に、i.LINK接続を変えると画面が途切れる場合があります。その際「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」が表示された場合は、下記を行ってください。
  ① 入力切換ボタンを押す
  ② i.LINK接続の状態を確認したあと、もう一度入力切換ボタンを押す
- ブロードキャスト入力について
  - 機器によっては、ブロードキャスト出力していても出力信号が異なるために本機ではご覧になれない場合があります。
- D-VHSビデオから本機を制御してデジタル放送の録画を行っている場合、入力切換ボタンを押すと出力信号がとぎれますのでご注意ください。
- i.LINK機器からデータ放送を再生しているときにデータ放送上の操作によって選局などの操作が行われた場合は、i.LINKモードを終了して通常の画面に戻る場合があります。

本機からi.LINK接続された機器を操作する

基本の操作

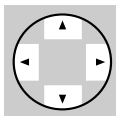
- 操作をする前に…
  接続されるi.LINK機器やご使用の状況によっては、あらかじめ設定が必要な場合があります。詳しくは、「i.LINK設定」(→184ページ)をご覧ください。
- i.LINK端子付き機器の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 i.LINK 操作パネルボタンを押し、i.LINK モードにする

- i.LINKモードになります。
※入力切換ボタンでもi.LINKモードに切り換えられます。

2 カーソルボタン▲・▼で操作したい機器を選ぶ

- カーソルボタン ◀ でカーソル位置を左端にした後、カーソルボタン ▲・▼ で機器を選んでください。
  ブロードキャスト入力を見る場合は、「ブロードキャスト」を選んでください。
  (ブロードキャストとその他については、189ページをご覧ください。)

お知らせ

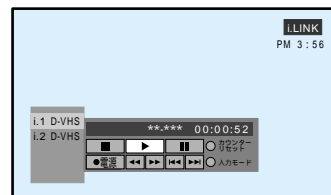
- i.LINK接続・登録されている機器が1台の場合で、ブロードキャスト入力がオフに設定されている場合は機器の選択は必要ありません。手順3に進んでください。

3 カーソルボタン▶ でカーソルを操作ボタン部分に移動した後、カーソルボタン▲・▼・◀・▶で、操作するボタン表示を選び、決定ボタンを押す

- 操作パネル表示は、操作する機器によって異なります。

■**D-VHSビデオの場合………次ページへ**
■**i.LINK端子のあるチューナーの場合………140ページへ**

操作パネル表示を一時的に消したいとき

① **操作パネルボタンを押す**
- 操作パネル表示が消えます。

② **もう一度、表示させるには、操作パネルボタンを押す**

4 [i.LINKでの操作を終了するには]
入力切換ボタンを押す

■ D-VHS ビデオの場合

(操作パネル表示例)

(本機でできる操作)

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止/解除
❙◀◀	前に戻って、頭出し再生
▶▶❙	1つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り
◀◀	巻戻し
カウンターリセット	カウンター表示をリセット
入力モード ● ビデオ1接続設定(→186ページ)が行われていない機器の場合は表示されません。	テレビの入力モード切り換え ● お買い上げ時は「自動切換」に設定されています。 ● 設定を変える場合は、下記の操作で行ってください。 ①カーソルボタン ▲·▼·◀·▶ で「入力モード」を選び、決定ボタンを押す ②カーソルボタン ▲·▼ で下記のどれかを選び決定ボタンを押す ● 自動切換…D-VHSビデオがデジタル再生を行っているときはi.LINK入力に、そうでない場合は、ビデオ入力1に切り換わります。 ● i.LINK入力……i.LINK入力に固定されます。 ● ビデオ入力1…あらかじめ設定されているビデオ入力1に固定されます。

- 操作パネルを使って録画の操作をすることはできません。
- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止の操作は映像信号だけが一時停止されます。データ放送が起動している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合は静止画像は表示されません。

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

■デジタルチューナーの場合

（操作パネル表示例）

（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	**電源の入/待機**
∧	**上方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。**
∨	**下方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。**
入力モード ● ビデオ1接続設定（→186ページ）が行われていない機器の場合は表示されません。	**テレビの入力モード切り換え** ● お買い上げ時は「i.LINK入力」に設定されています。 設定を変える場合は、下記の操作で行ってください。 ①カーソルボタン▲･▼･◀･▶ で「入力モード」を選び、決定ボタンを押す ②カーソルボタン▲･▼ で下記のどれかを選び決定ボタンを押す ● i.LINK入力…i.LINK入力に固定されます。 ● ビデオ入力1…あらかじめ設定されているビデオ入力1に固定されます。

- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKについて

i.LINKとは

- i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号を双方向で通信できる、シリアルインターフェースです。 i.LINKケーブル１本で接続することができます。

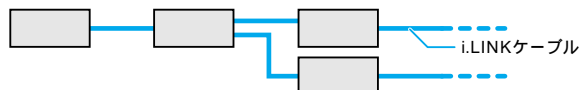
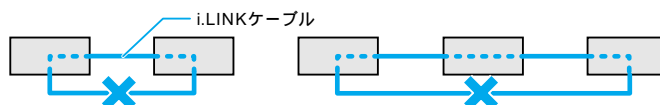
■本機が接続できるi.LINK機器について

- 下記の製品については、電源　入／切（待機）、再生、停止、BSデジタル放送の予約録画や一発録画が本機からのi.LINKでコントロールできることが確認されています。それ以外の機能については、正しく動作しないことがあります。

製　品	メーカー	型　名（STDモード対応）		型　名（HS/STDモード対応）	
D-VHSビデオ	東芝			A-HD2000	
D-VHSビデオ	シャープ	VC-DS1			
D-VHSビデオ	ソニー	SLD-DC1			
D-VHSビデオ	日本ビクター	HM-DR1	HM-DR10000	HM-DH20000 HM-DH35000	HM-DH30000
D-VHSビデオ	松下電器産業			NV-DH1 NV-DH2	NV-DHE10 NV-DHE20

- 上記以外で、i.LINK制御できる機器もありますが、正しく動作しない場合があります。
  また、上記リストの製品でも、本機から正しく制御できなくなる場合があります。
- D-VHSビデオで110度CS放送の録画が可能かについては、各ビデオメーカーにお問い合わせください。
- HSモード対応ではないD-VHSビデオの場合、BSデジタルハイビジョン放送は、ハイビジョンでのデジタル録画ができません。
- 東芝（A-HD2000）、日本ビクター（HM-DH20000、HM-DH30000など）は録画モードがD-VHSビデオ側で確定されます。
  設定方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 複数の機器を接続して使用する場合は、各機器の仕様によって動作が安定しない場合があります。
- DV機器はフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。

■i.LINK接続のしかた

- i.LINK接続では、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつないだ機器も操作やデータのやりとりができます。そのため、機器をつなぐ順番を考慮する必要はありません。
  ただし、接続する機器の仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。
- i.LINK機器は、右図のようにi.LINKケーブルを使用してデイジーチェーン（数珠つなぎ）でつなぎます。
- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合は、右図のように分岐してつなぐこともできます。
- 右図のようなループ（輪）状にはつながないでください。

■接続できる機器の数について

- 他の機器を16台までデイジーチェーンでつなげます。分岐して接続した場合は、最大62台まで他の機器を接続できます。

他の機器をつないで楽しむ

i.LINK端子付きの機器とつなぐとき つづき

i.LINKについて つづき

■接続についてのご注意

- 接続の際は、4ピン、「S200」または「S400」のタイプのi.LINK専用ケーブル(市販品)をご使用ください。
- 一部の機器では、電源を切られているとデータを中継しない場合があります。
- i.LINK機器にはその機器が対応している最大データ転送速度が、i.LNK端子の周辺に記載されています。
  データ転送速度には、S100(100Mbps)、S200(200Mbps)、S400(400Mbps)の3種類が定められています。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様によっては、実際の転送速度が遅くなる場合があります。

■ i.LINK での再生について

- 本機はデジタル放送についてはBSデジタル放送、および110度CSデジタル放送専用となっています。そのため、それら以外のデジタル信号(DVカメラの信号など)については、まったく再生できないか、または正常に再生できません。
  [詳しい説明]
  ・本機はデジタル放送についてはBSデジタル放送、および110度CSデジタル放送専用となっており、それらの放送によるMPEG-TS信号だけに対応しています。そのため、DV機器などの他の信号フォーマットについては再生できません。
  また、MPEG-TS信号であってもBSデジタル放送や110度CSデジタル放送以外のもの(アナログ信号を独自にエンコードしたMPEG-TS信号など)については、正常に再生できません。

■ i.LINK 機能をご使用の際のご注意

- i.LINK機能をご使用中は、使用していない他のiLINK機器のi.LINK機器のケーブルの抜き差しや、新しいi.LINK機器の追加、電源の入／切は行わないでください。
- 正しく制御できなくなったときは、接続されている、いずれかの機器が何らかの影響をおよぼしている場合が考えられます。(各機器のケーブルの抜き差し(リセット動作)で復帰する場合があります。)
- 登録機器名の表示が正しくない場合は、一度ケーブルを抜き、機器を削除(→187ページ)した後、再度機器を接続・登録してください。
- ダウンロード(→206ページ)が行われた後は、自動的にリセット動作(本機の電源の入/切)が行われます。本機以外のi.LINK機器の間で操作しているときに、リセット動作(本機の電源の入/切)が行われると問題となる場合には、自動ダウンロードの設定(→207ページ)を「ダウンロードしない」にしてご使用ください。

■ D-VHS 方式で録画する際のご注意

- D-VHS用のビデオテープをご使用ください。

■他機から本機を i.LINK 制御する際のご注意

- 「外部機器からの制御」(→189ページ)を「あり」に設定すると、他の機器から本機をi.LINK制御できるようになります。ただし、その場合は、本機の電源を「入」にしてから、制御してください。
  本機の電源が「切」や「待機」のときは、他機から制御することはできません。

■ D-VHS ビデオでダビングする際のご注意

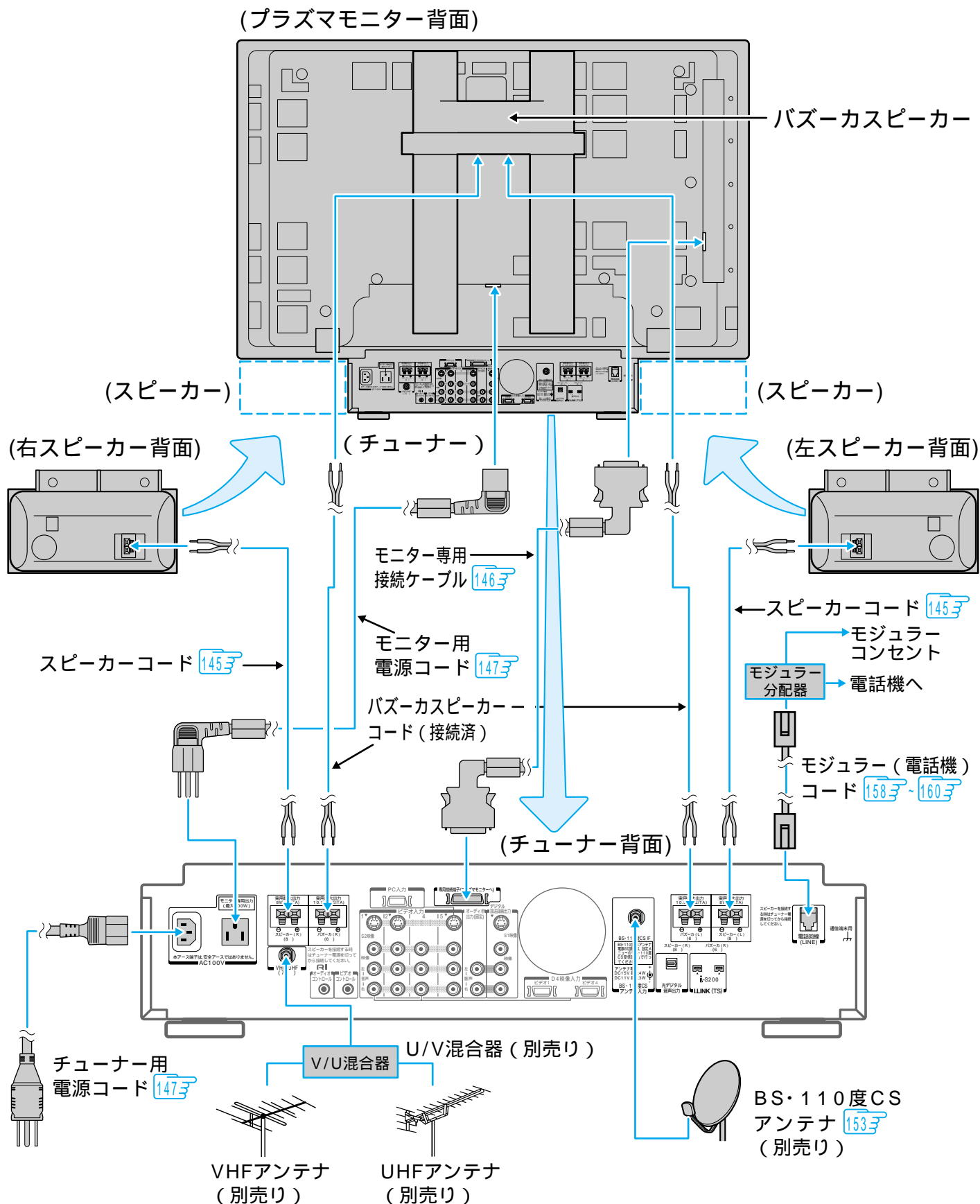
- 下図のよう本機の2つのi.LINK端子を使って2台のD-VHSビデオを接続し、ダビングを行う場合は、本機の電源を「入」にした状態で行ってください。
  電源が「待機」の状態でダビングを行うとダウンロード(→206ページ)が実行された場合、ダビングは中止されます。

本機
D-VHSビデオ　D-VHSビデオ

- i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995及びその拡張仕様を示す呼称です。
  このIEEE 1394-1995は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
  i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
  この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

第５章 設置／最初の設定

本機のつなぎかた

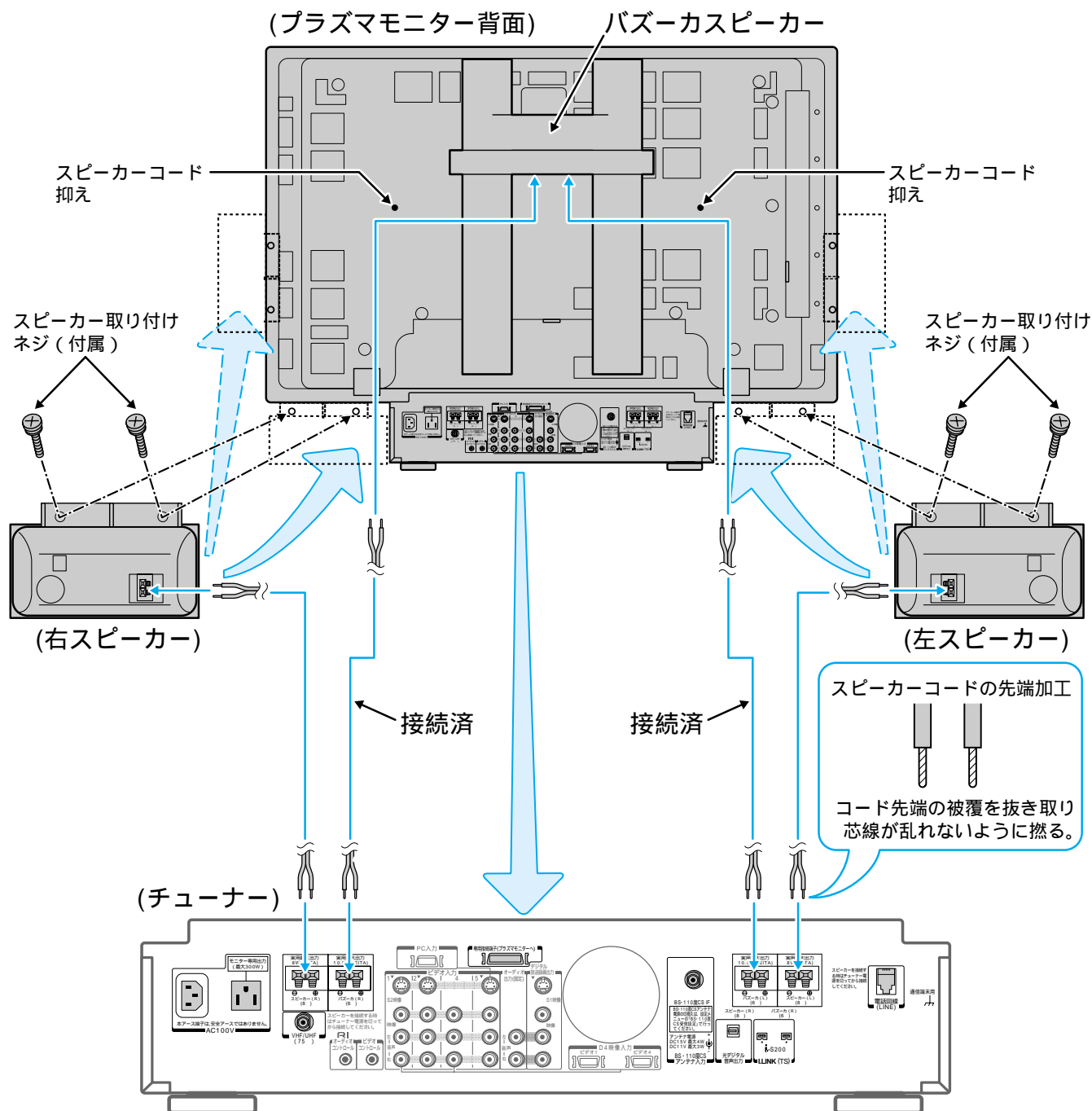
● 詳しくは [参照マーク] 内のページをご覧ください。

お願い

● 接続するときは、各機器の電源を切って接続してください。
● 接続順はスピーカーコード、モニター専用ケーブル、アンテナ線を接続後に電源コードを接続してください。

スピーカーを接続する

● メインスピーカーは、モニターの左 / 右底面または側面に取り付けることができます。

(プラズマモニター背面)
バズーカスピーカー
スピーカーコード抑え
スピーカーコード抑え
スピーカー取り付けネジ（付属）
スピーカー取り付けネジ（付属）
(右スピーカー)
(左スピーカー)
接続済
接続済
(チューナー)

スピーカーコードの先端加工
●コード先端の被覆を抜き取り芯線が乱れないように撚る。

【つなぎかた】

1 **付属のスピーカーを取付ネジでモニターに取り付ける**
●取り付け位置はモニター背面の底部または側面の左/右に取り付けることができます。

2 **付属のスピーカーコードでチューナーのスピーカー端子とスピーカーを接続する**
●端子の爪を押し開き芯線を差し込みます。(⊕と⊕、⊖と⊖どうしを接続してください。)
●スピーカーコード抑えを利用してコードを整理してください。

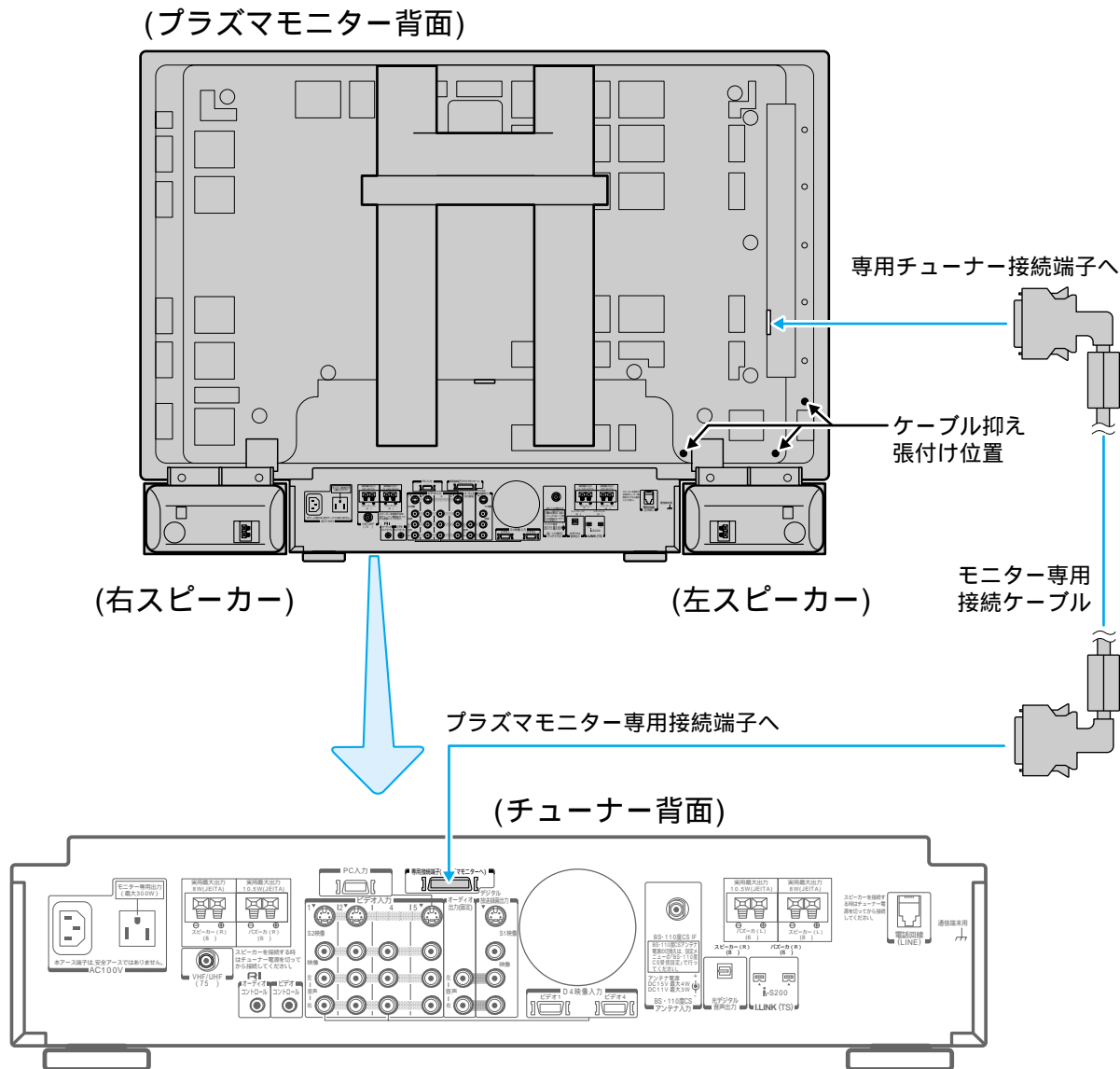
■バズーカスピーカーの接続を確認してください

● バズーカスピーカーと接続コードはお買い上げ時に接続されていますので接続状態を確認してください。

- **必ずモニターとチューナーの電源を切ってから接続してください。**
- 必ずチューナーのスピーカー端子にはスピーカーを、バズーカスピーカー端子にはバズーカスピーカーを接続してください。
- スピーカー端子とバズーカ端子には指定のスピーカー以外の機器を接続しないでください。
- このスピーカーは簡易防磁方式を採用しています。ビデオなどの磁気テープや磁石などを近づけるとノイズが入ることがあります。

モニターとチューナーを接続する

● モニターの「専用チューナー接続端子」とチューナーの「専用接続端子」を接続します。
使用するケーブルは、付属品のモニター専用接続ケーブルをご使用ください。

【つなぎかた】

1 **付属のモニター専用接続ケーブルでチューナーとモニターを接続する**

● プラグの爪を押し開き確実に差し込んでください。

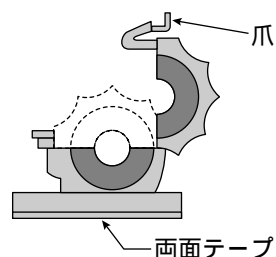
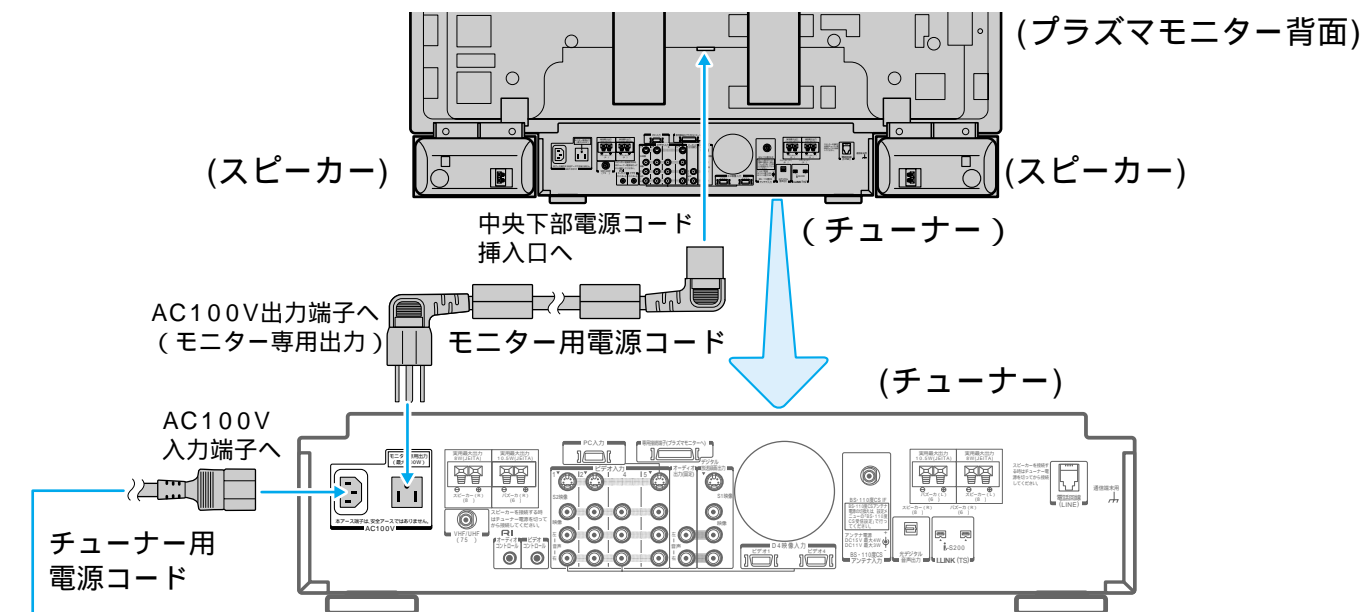
■モニター専用ケーブルの抑えかた

1 **付属のケーブル抑えの爪を押し開き、モニター専用接続ケーブルを通し、爪を戻して固定する**

2 **ケーブル抑えの両面テープ保護紙をはがしモニター背面の平面部に張付けてケーブルを固定する**

ケーブル抑え

爪

両面テープ

電源コードを接続する

【つなぎかた】

1 **モニター用電源コードを確実に差し込む**

● モニター背面中央下部の電源コード挿入口とチューナーのAC100V出力端子(モニター専用出力)に確実に差し込む。

2 **チューナー用電源コードを確実に差し込む**

● チューナー背面のAC100V入力端子とAC100V電源コンセントに確実に差し込む。

● 不完全な接続は、火災やノイズの原因になります。

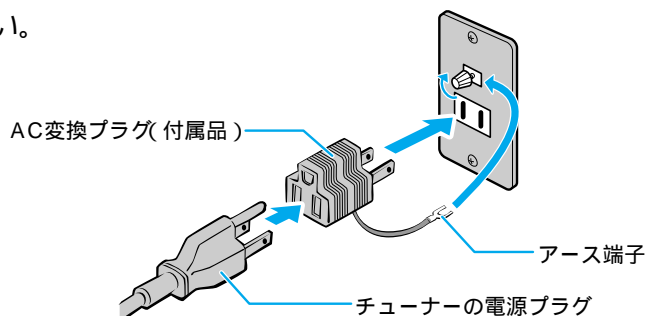
AC変換プラグご使用上の注意

警告

■ **本システムの電源プラグは、アース付き3芯プラグです。機器のアースは確実につないでください。**

電波妨害の原因となることがあります。

■ **コンセントが2芯の場合は、アース工事を行い、付属のAC変換プラグを使用してください。**

感電の原因となりますので、アース工事は、必ず専門業者にご依頼ください。

お願い

● 電源プラグは、電流容量に適した壁コンセントをご使用ください。
ビデオなどの連動型コンセントにはつながないでください。本機での予約ができなくなります。

● AC100V出力端子はモニター専用です。ドライヤーや電熱機具などモニター以外の電気機器は絶対に接続しないでください。

テレビを設置する

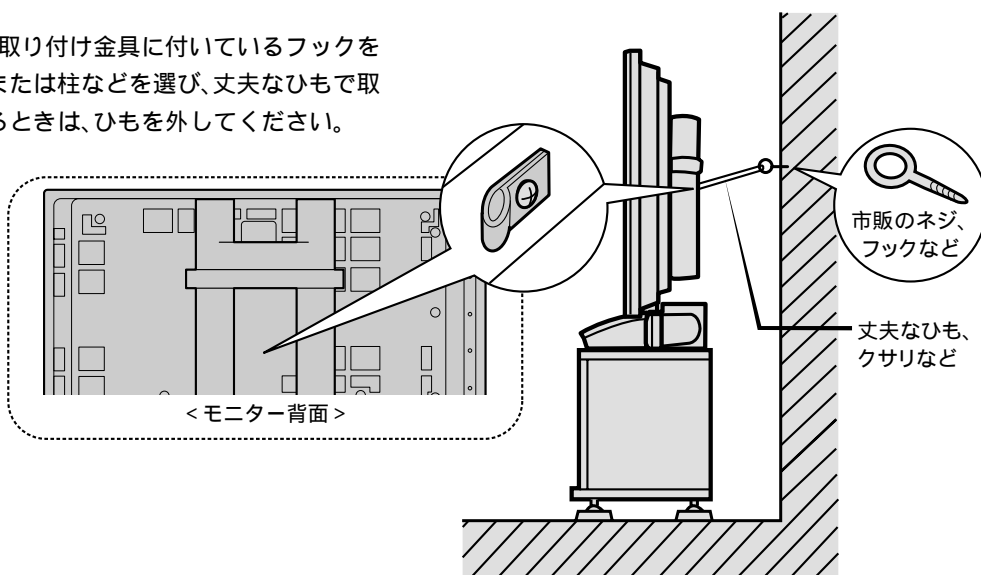
●設置の前に「安全上のご注意」（→ 8 ～ 14 ページ）を必ずお読みください。

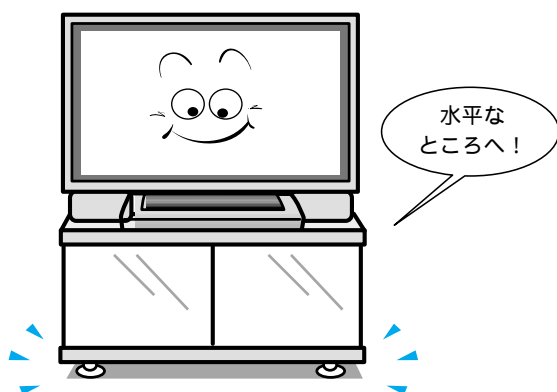
■転倒防止について

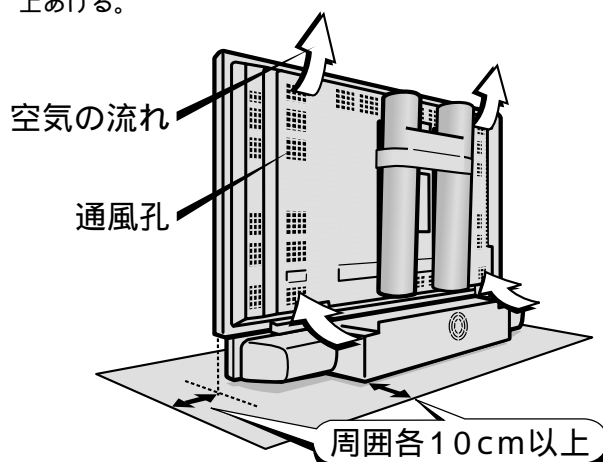
⚠注意	■転倒防止の処置を行うこと 転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

● テレビにお子様が登ったり､押したりしますとテレビが倒れることがあります。その際の事故防止と､地震などの非常時の安全確保のために､転倒防止の実施をお願いします。

● 壁または柱などに固定するとき

● 背面のバズーカスピーカーの取り付け金具に付いているフックを使用し､確実に支持できる壁または柱などを選び､丈夫なひもで取り付けてください。移動させるときは､ひもを外してください。

■正しい置きかた

■ 丈夫で水平な安定した所

■ 周囲からはなして置く

● 通風孔をふさがないように「かべ」などから 10cm 以上あける。

■ テレビ台について

● テレビ台はカタログ記載のものをおすすめします。（別売りとなります。）
● テレビ前面部をテレビ台より、はみだしたり、片寄った載せかたをしないでください。
● テレビ台を使用して畳やじゅうたんなど柔らかい上に設置するときは、キャスターを外してください。キャスターを外さないと不安定になり、倒れたり、破損してけがの原因になることがあります。

■お手入れのしかた

⚠ 注意

■お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行うこと
感電の原因となることがあります。

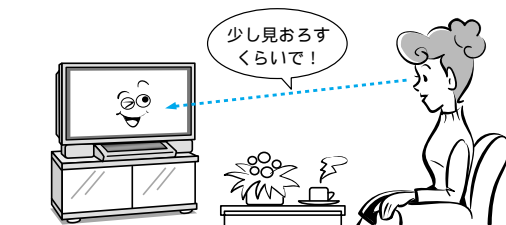
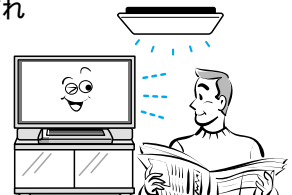
■ベンジン・アルコール・殺虫剤は使わない
ベンジン・アルコール・殺虫剤など揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。
ゴムやビニール製品を長時間、テレビに触れさせて置くと、「シミ」が付くことがあります。

■キャビネットや操作パネルのお手入れ
柔らかい布で軽くふき取ってください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■パネル面のお手入れ
電源を切ってから柔らかい乾いた布で。
※表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

■汚れのひどいときは
水でうすめた中性洗剤で
1. よく絞ってふき取る
2. 乾いた布で仕上げる

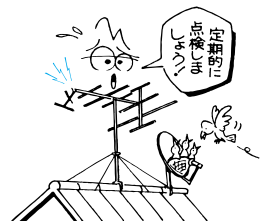
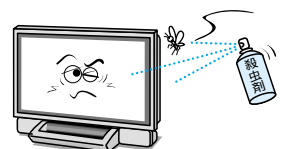
■正しい見かた

■少し離れてご覧ください。
● 画面の縦の長さの 5 ～ 7 倍が適当です。

■部屋の明るさは新聞が読める程度で
● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
時々、目を休めましょう。

■音量は適切に
● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

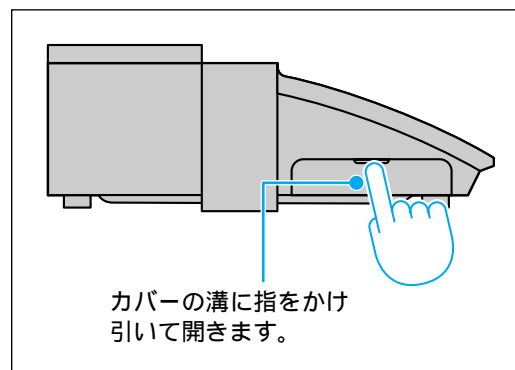
■お願い

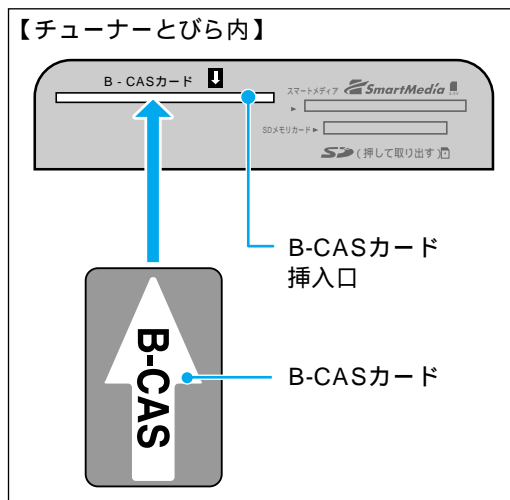
■BS·110 度 CS アンテナの設置について
マンションなど共同住宅の場合は、出入口や避難設備には、アンテナを設置できません。また、避難通路・消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また建物の管理者にもご相談ください。

■アンテナ工事は技術と経験が必要
販売店にご相談ください。設置は送配電線から離れた、安全な場所を選び堅固に設置してください。

■アンテナは定期的に点検・交換を
通常アンテナの設置場所は、屋外のため、傷みやすく性能が低下します。特に、ばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときはお買い上げの販売店にご相談ください。

■殺虫剤などについて
キャビネットに殺虫剤など揮発性のものを、かけたりしないでください。変質したり塗料がはげることがあります。

B-CASカード(ビーキャスカード)の装着のしかた

- 付属のB-CAS（ビーキャス）カードは、有料放送の受信や「お知らせ」の受信などに必要です。
  常に本体に挿入しておいてください。
- 付属のB-CAS（ビーキャス）カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に付属の加入申込書に必ず貼ってください。
- 「必ずお読みください」の「付属のB-CAS（ビーキャス）カードについて」（→18ページ）も必ずご覧ください。

1 チューナー左側面のとびらをあける

2 B-CAS（ビーキャス）カードをカード差し込み口に入れる

- カードの向き（端子面が下向き）を間違えないように注意してください。
- カードは奥まで差し込んでください。

3 チューナー左側面のとびらを閉める

- 取り出す場合は上記手順**2**でB-CAS（ビーキャス）カードをそのまま抜いてください。

アンテナ線の接続と設定

VHF/UHFアンテナ線のつなぎかた

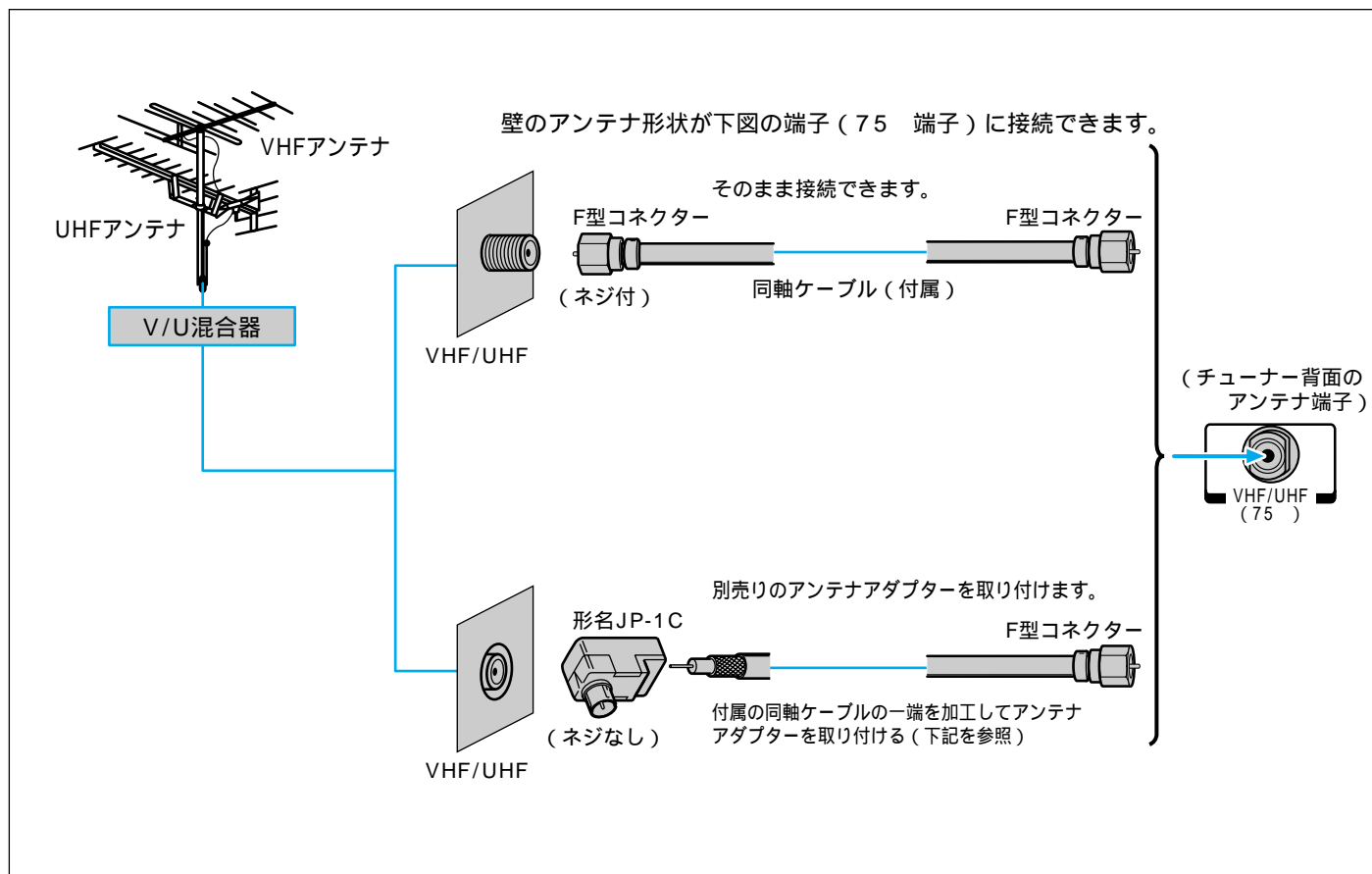
■アンテナ線がVHF/UHF混合の場合（あるいはVHFだけ、またはUHFだけの場合）

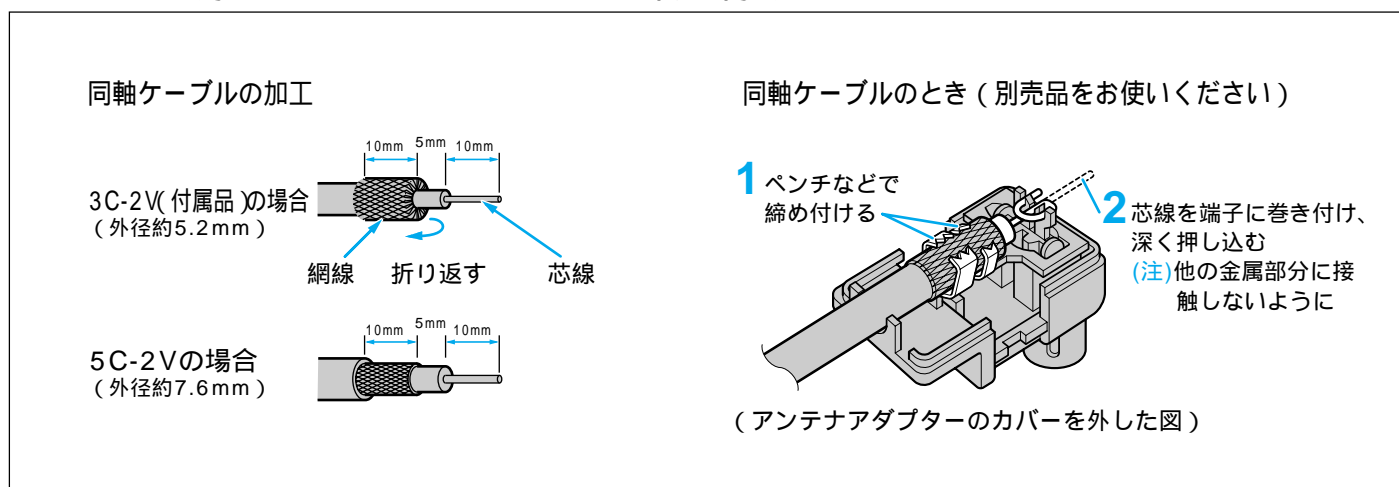
VHFアンテナ
UHFアンテナ
V/U混合器

●壁のアンテナ形状が下図の端子（75Ω端子）に接続できます。

そのまま接続できます。
F型コネクター
F型コネクター
（ネジ付）
同軸ケーブル（付属）
VHF/UHF

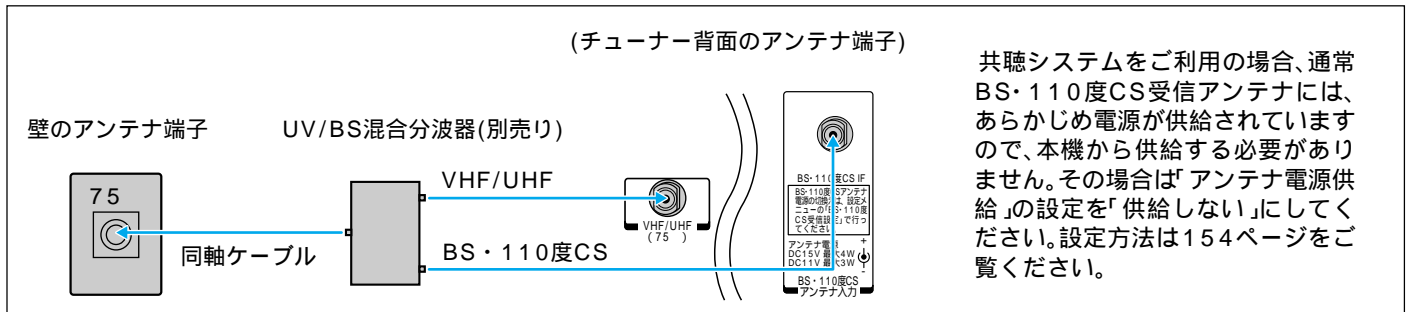
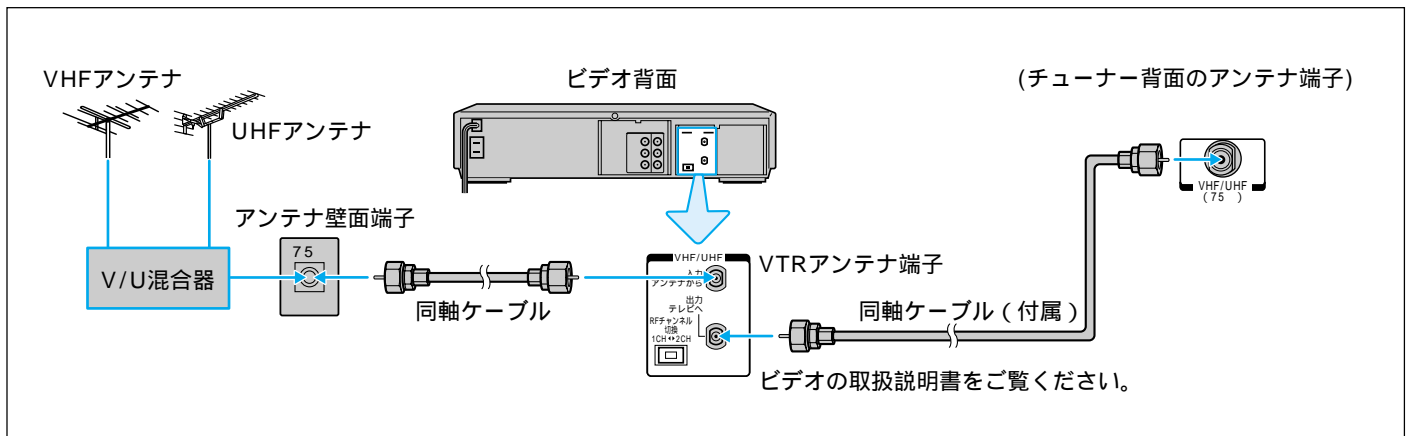
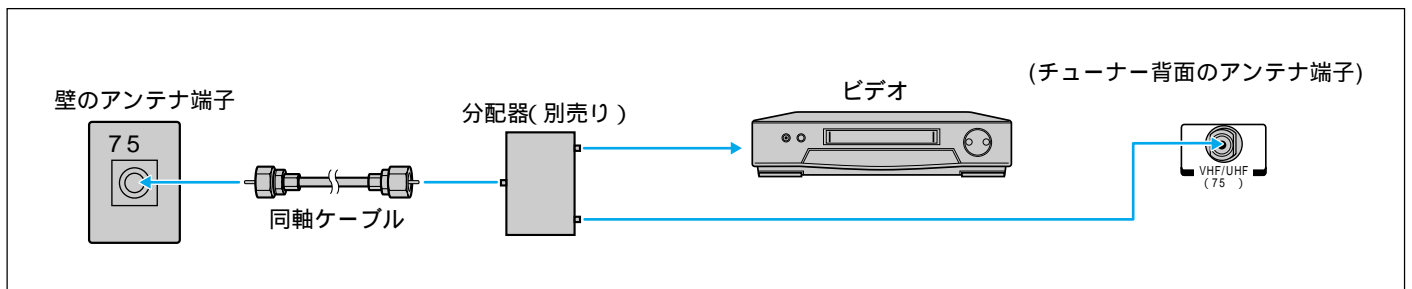
（チューナー背面のアンテナ端子）
VHF/UHF（75Ω）

別売りのアンテナアダプターを取り付けます。
形名JP-1C
F型コネクター
（ネジなし）
付属の同軸ケーブルの一端を加工してアンテナアダプターを取り付ける（下記を参照）
VHF/UHF

■アンテナ線とアンテナアダプターの取り付けかた

設置／最初の設定

- 300Ωのアンテナ端子にはノイズが出ることがありますので接続しないでください。
- アンテナアダプターは、いくつかのタイプがあり、構造によって多少異なります。（イラストは一例です。）
- 平行フィーダー線は使用しないでください。

アンテナ線の接続と設定 つづき

■マンションなどの共聴システムのとき（VHF/UHF/BS･110度CS混合のとき）

● 共聴システムをご利用の場合、通常BS･110度CS受信アンテナには、あらかじめ電源が供給されていますので、本機から供給する必要がありません。その場合は「アンテナ電源供給」の設定を「供給しない」にしてください。設定方法は154ページをご覧ください。

■ビデオを経由したつなぎかた（壁面端子が75Ωでビデオの入力がV・U混合のとき）

■分配器を使用したつなぎかた

■ VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

● V/U混合器、形名HMX-77など（別売り）が必要です。
● 詳しくは販売店にご相談ください。

● アンテナ工事はお買い上げの販売店にご相談ください。詳しくはお買い求めになられたアンテナの取扱説明書をお読みください。
● 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切ってください。
● VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブル（付属）をおすすめします。
● 平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。
● 同軸ケーブルをご使用の場合はBS･110度CSアンテナケーブルと離してください。（一緒に重ねたり、束ねたりしないでください。）
● 既存のアンテナで分波器が接続されているときは、分波器を外してつないでください。
● アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。
● CATVについては、CATV関係各社にお問い合わせください。
● VHF、UHFアンテナは定期的に点検・交換してください。屋外のため、傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
● VHFとUHFのアンテナ設置の際には、GR（ゴーストリダクション）設定（→179ページ）を「オフ」にしてください。

BS･110度CSアンテナ線のつなぎかた

- BSデジタル放送のみご覧になる場合は、BSデジタル放送受信用アンテナを、110度CSデジタル放送も合わせてご覧になる場合は、BS･110度CS放送用受信アンテナをご使用ください。
- アンテナをつないだ後にアンテナの方向調整が必要です。
- 本機とBS･110度CSアンテナの接続には、BS･110度CSデジタル対応のケーブル（S-4C-FB相当）をご使用ください。
- BS･110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

■ BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナをつなぐとき

BS･110 度 CS アンテナ入力端子（BS･110 度 CS-IF）

アンテナからのケーブルをつなぎます。この端子は、アンテナへ電源を供給するはたらきをしています。心線とアース線がショートしないようにしてください。ショートした場合はアンテナレベル画面に「アンテナ線がショートしています。」が表示されます。その場合は一度電源を切り、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてください。

■ BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナ 1 台で、本機など BS や 110 度 CS 機器を 2 台以上つなぐ場合

BS･CS分配器をご使用の場合は全方向電流通過型分配器をご使用ください。

- 2分配　CSG-D2Aなど（別売り）
- 3分配　CSG-D3Aなど（別売り）
- 4分配　CSG-D4Aなど（別売り）

※BSや110度CS機器をつなぐときは、機器付属の取扱説明書をご覧ください。

■アンテナ電源について

- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。
- お買い上げ時は「供給する」に設定されています。
- 共聴システムなどで、すでに別のチューナーなどからアンテナ電源が供給されている場合は、供給する必要はありません。
  このときは、アンテナ電源供給の設定は「供給しない」に設定してください。設定の確認と変更は154ページを参照ください。
- チューナーの電源を切った状態のときアンテナ電源は供給されません。
- チューナーの電源が「待機」の状態でも、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際に自動的にアンテナ電源が供給されることがあります。
- BS内蔵ビデオ単独で録画するときなどは、本機以外からのアンテナ電源供給が必要になります。

■従来の BS アンテナについて

- 従来のBSアンテナのほとんどは使用できます。ただし、従来のBSアンテナはBSデジタル放送受信に必要とされる「位相雑音性能」の規定がなくBSデジタル電波を受信した場合、安定した受信ができない場合があります。
  この場合はBSデジタル用のアンテナに交換してください。なお、従来のBSアンテナでは110度CSデジタル放送は受信できません。その場合は、BS110度CSデジタル放送受信用アンテナをご使用ください。

アンテナ線の接続と設定 つづき

BS・110度CSアンテナの設定と調整

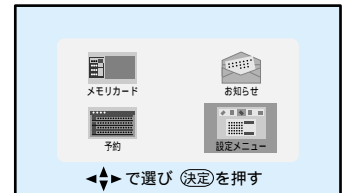
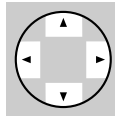
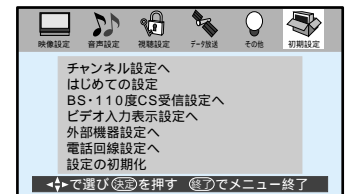
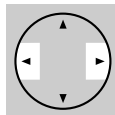
BS•110度CSアンテナ電源供給設定のしかた

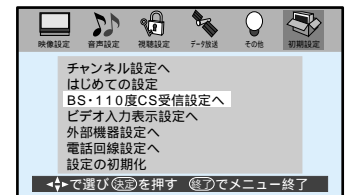
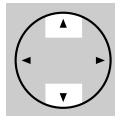
- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。お買い上げ時は「供給する」に設定されています。マンションなどでアンテナに他の機器から電源が供給されているとき「供給しない」に設定します。

1 メニューボタンを押す

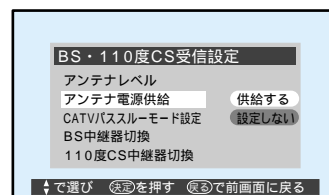
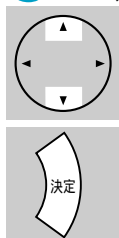
- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「BS・110度CS受信設定へ」を選び、決定ボタンを押す

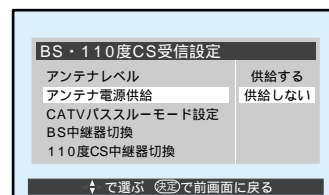
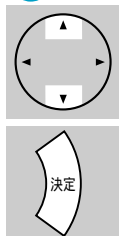
- 「BS•110度CS受信設定」画面が表示されます。

- 153ページの「BS·110度CSアンテナ線のつなぎかた」も合わせてご覧ください。

5 カーソル▲·▼ボタンで「アンテナ電源供給」を選び、決定ボタンを押す

● 「アンテナ電源供給」設定画面が表示されます。

6 カーソル▲·▼ボタンで「供給しない」を選び、決定ボタンを押す

● 項目を選ぶとその状態に設定されます。

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

● チューナーの電源を切った状態のときアンテナ電源は供給されません。
● 「供給する」に設定されている場合は、「待機中」であっても契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際に自動的にアンテナ電源が供給されます。

BS・110度CSアンテナの設定と調整 つづき

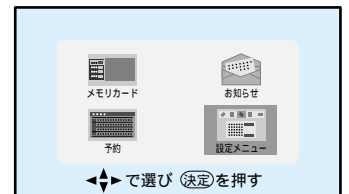
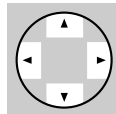
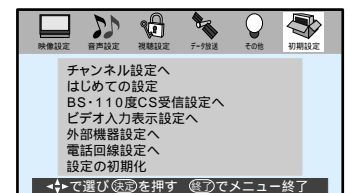
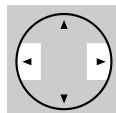
BS・110度CSアンテナの方向調整をする

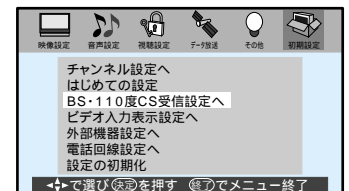
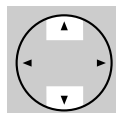
- アンテナレベル表示を使って、BSまたは110度CS放送をよりよく受信するために、アンテナの方向調整を行います。
- アンテナレベルはアンテナ角度の最適値を確認するためのものです。この数値が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。
- アンテナの調整方法については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

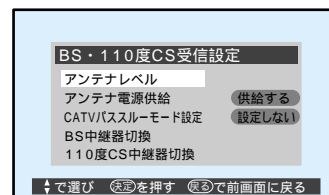
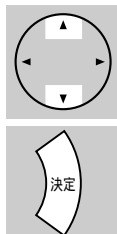
1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「BS・110度CS受信設定へ」を選び、決定ボタンを押す

- 「BS・110度CS受信設定」画面が表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼で「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す

- 「アンテナレベル」画面が表示されます。

6 BS…（CS…）ボタンを押して、放送の種類（BSまたは110度CS）を切り換える

7 チャンネルボタン∧·∨を押して、現在放送が行われているチャンネルを選局する

8 アンテナをゆっくり動かして､「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され､小さくなると ↘ が表示されます。
- アンテナレベルの最大値を覚えておきアンテナを固定したときにレベル値が下がっていないことを確認してください。

9 ［通常画面に戻るには］ アンテナを固定して、終了ボタンを押す

お知らせ

■映像が出ない場合

- 契約していないチャンネルを選んでいる場合があります。
  契約しているチャンネルまたは無料のチャンネルを選んで、アンテナの調整をしてください。

■アンテナ線がショートした場合

- 画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示されます。
  その場合は、一度電源を切り、ショートの原因を取り除いてから、もう一度電源を入れてください。

電話回線の接続

⚠注意

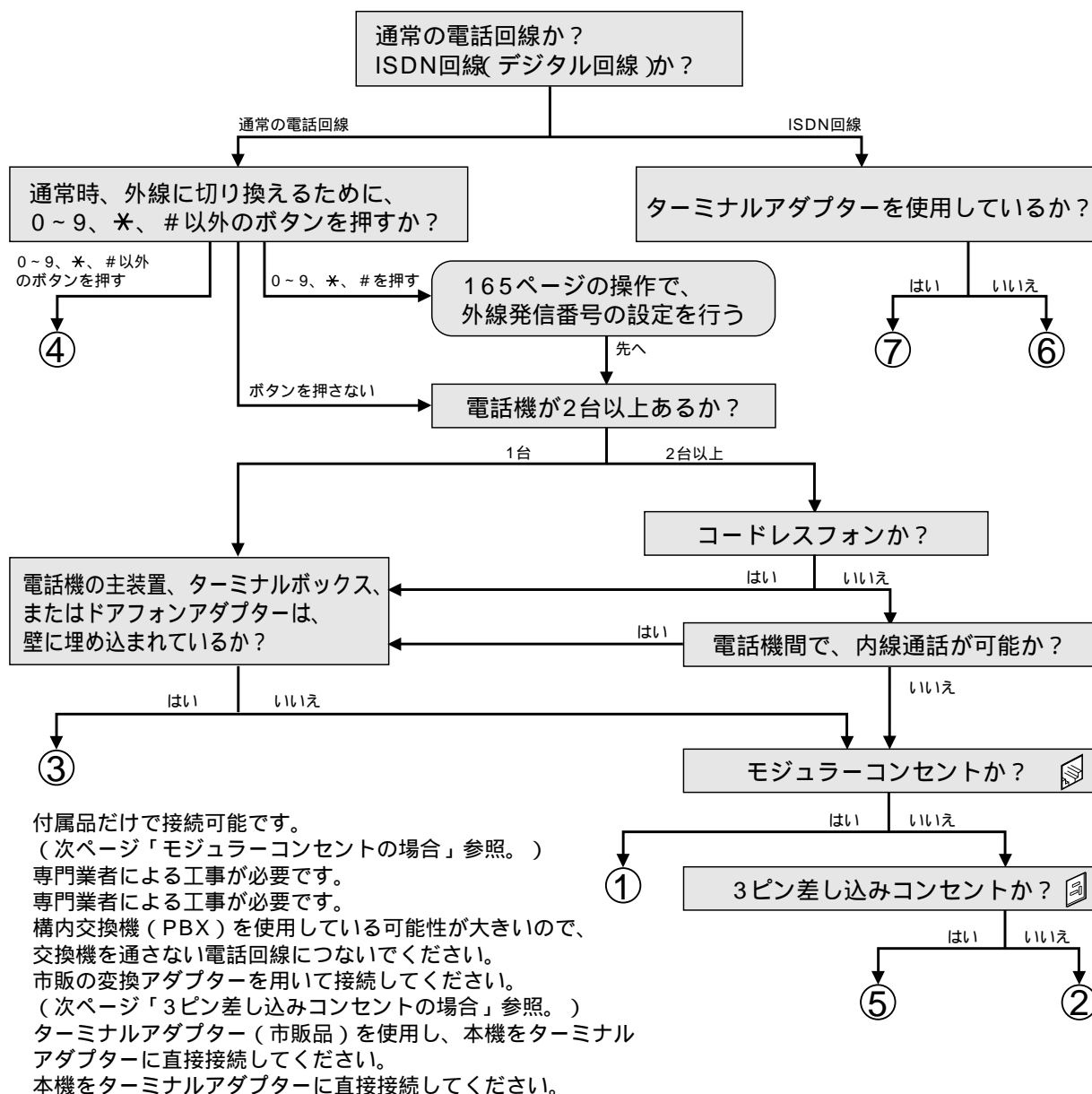
■ モジュラー分配機、電話機コード、変換アダプタの端子に触れたり、分解や改造をしないこと
●電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因となります。

■ 正しく接続すること
●正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

●下記により、電話回線の状態を確認してから、電話回線の接続を行ってください。

電話回線状態の確認

①付属品だけで接続可能です。
　（次ページ「モジュラーコンセントの場合」参照。）
②専門業者による工事が必要です。
③専門業者による工事が必要です。
④構内交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、
　交換機を通さない電話回線につないでください。
⑤市販の変換アダプターを用いて接続してください。
　（次ページ「3ピン差し込みコンセントの場合」参照。）
⑥ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナル
　アダプターに直接接続してください。
⑦本機をターミナルアダプターに直接接続してください。

お知らせ

● ISDN回線の場合
・ターミナルアダプター側で通信設定が必要な場合があります。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

● ADSLの場合
・スプリッターのモジュラージャック（ADSLモデム側ではなく電話機につないでいる方）に接続してください。ADSL接続については、ADSL機器（モデムやスプリッター）の取扱説明書をご覧ください。

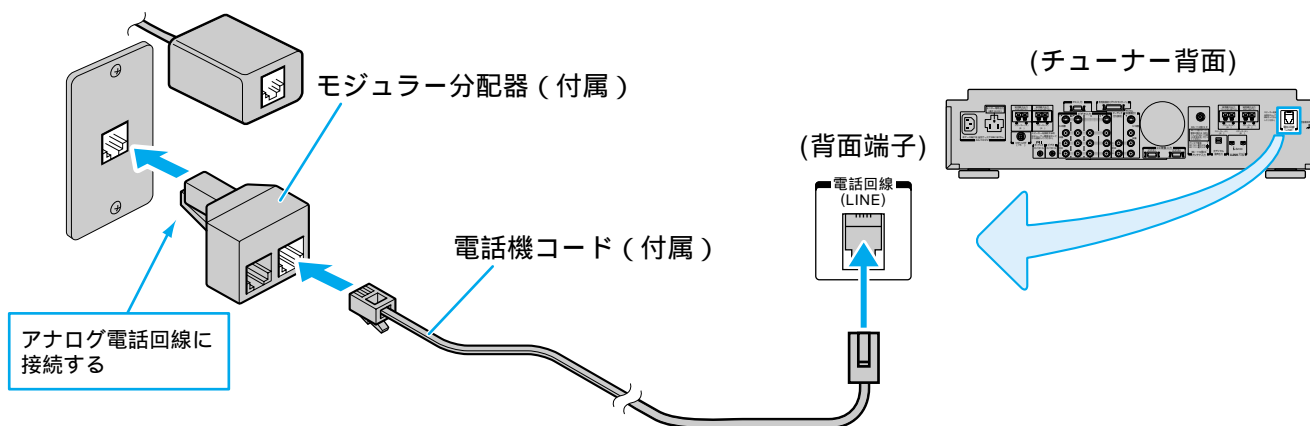
お願い

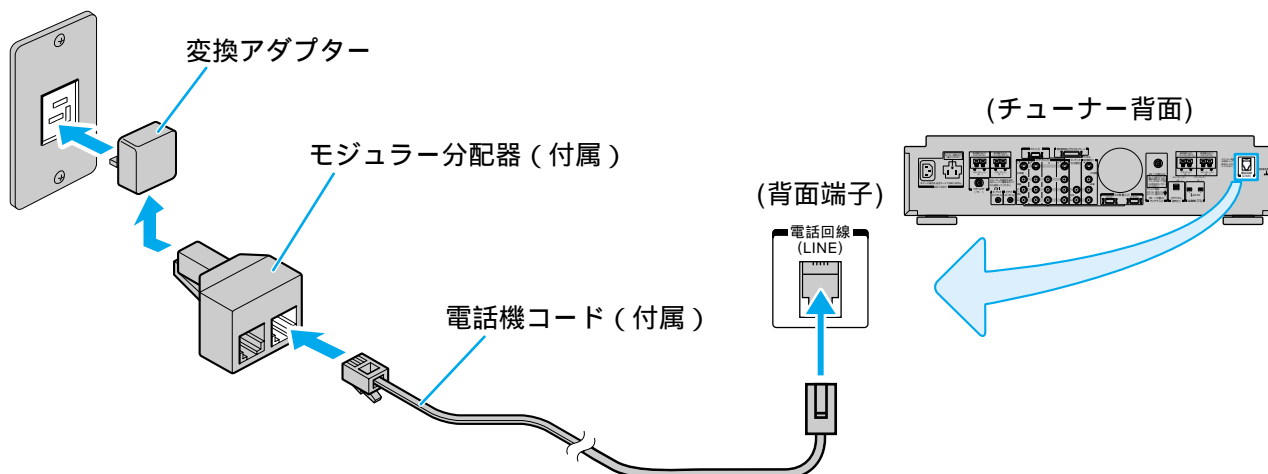
●②または③の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番に工事のお問い合わせをしてください。
電話工事は、資格が必要で有料となります。無資格のかたは工事できません。

電話回線とのつなぎかた

※本書と合わせてお使いの電話機に付属されている取扱説明書をお読みください。

モジュラーコンセントのとき

● 電話回線に本機専用のモジュラー分配器（付属）を接続し、電話機コード（付属）を分配器と本機の電話回線端子につなぎます。

3ピン差し込みコンセントのとき

● 市販の変換アダプターを購入のうえ、付属の本機専用のモジュラー分配器、電話機コードを接続してください。

直接配線されているとき

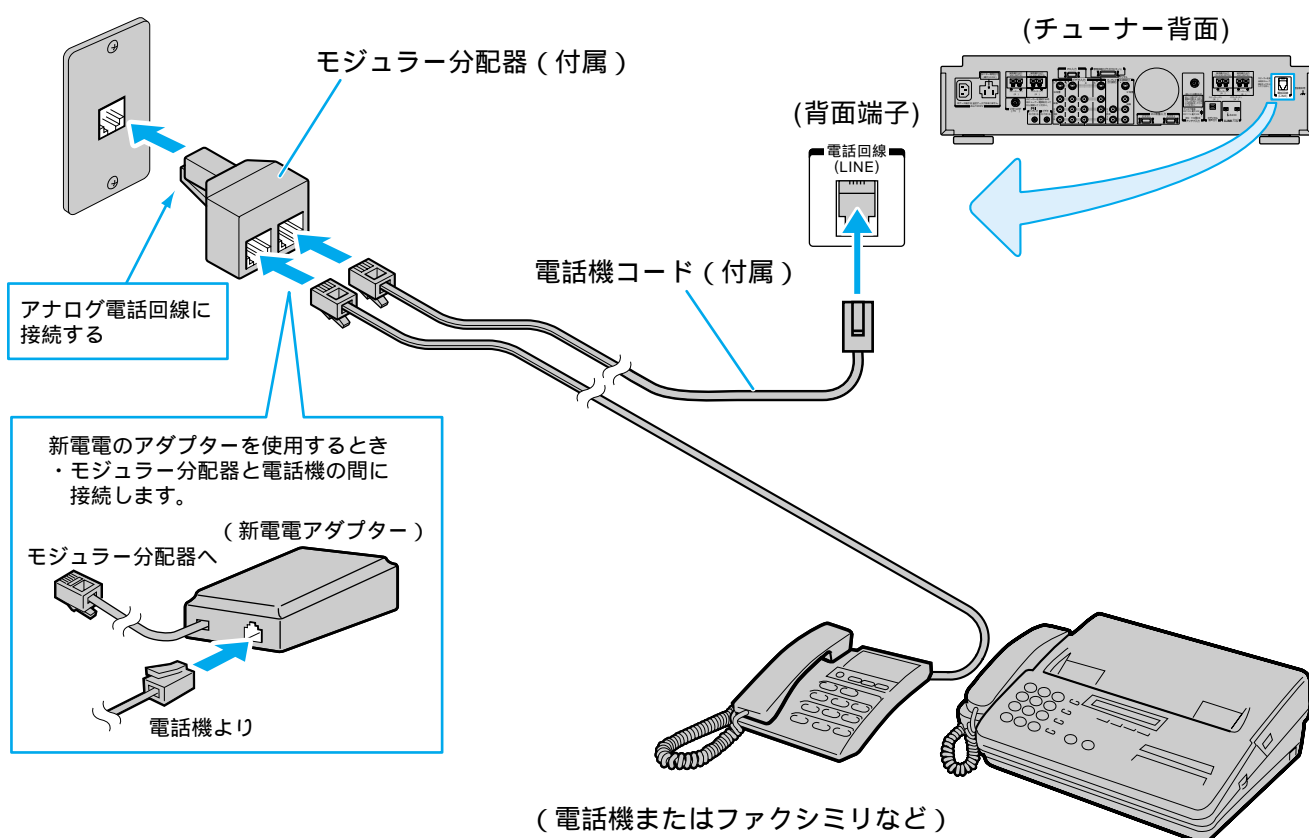
● そのままでは接続できませんので、モジュラーコンセント方式に変更する工事を行う必要があります。
取り付け工事は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。
電話工事は無資格のかたはできません。

● 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHSには使用できません。
● 構内交換機（PBX）には使用できないものがあります。
● 付属の電話機コードが短い場合は、専用の2線式電話機コードをお求めください。
● 電話機やファクシミリをご利用にならないときは、直接電話回線につなぎます。

電話回線の接続 つづき

電話機やファクシミリとのつなぎかた

電話機やファクシミリと接続します

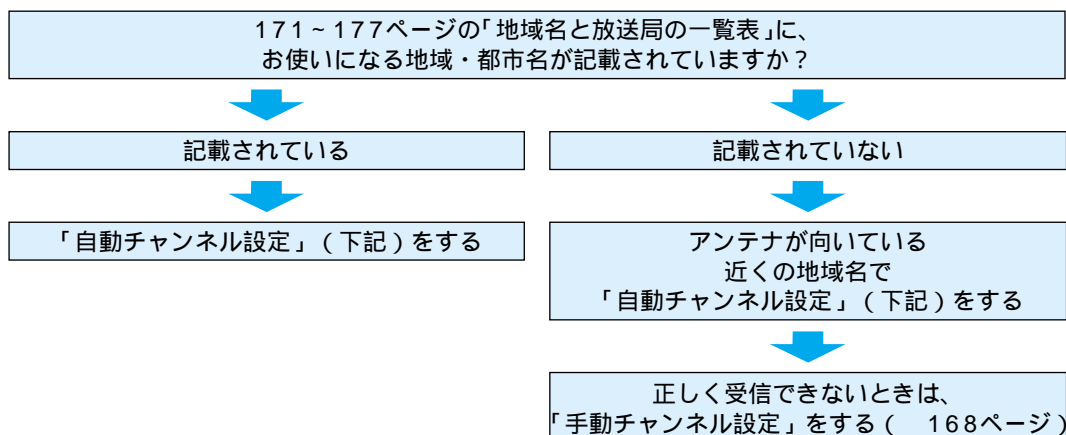
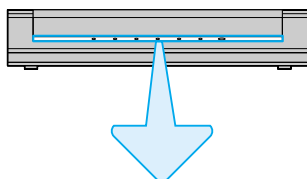
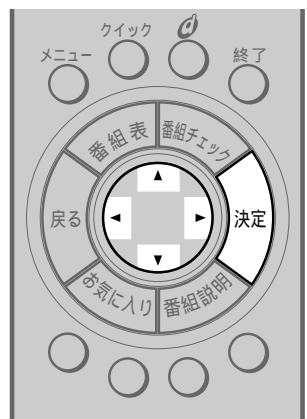
- このほかにも、家庭用コードレス電話の親機、家庭用コードレス留守番電話の親機、家庭用コードレスファクシミリの親機、留守番電話、PHS親機などにも接続することができます。

- ノイズの混入があると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

- 本機がセンターと通信中は、電話機やファクシミリのご使用はできません。
- 電話機やファクシミリを使用しているときは、本機の通信は行えません。
- 親子電話の場合は、本機の通信中に親子とも電話機を使用することはできません。正しく情報が送られません。
- 本機を接続している電話機コンセント以外に、別の部屋などに電話機コンセントがあり、電話機を接続している場合は、本機の通信中にその電話機を使用すると通信エラーが発生し、正しく情報が送られません。
- 4線式のホームテレホンには接続できません。ホームテレホンを接続される場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- NTTの「キャッチホン」契約をされている場合は、本機の通信中に電話がかかってくると、エラーが生じ通信が終了します。NTTの「キャッチホンII」契約をされている場合は、通信はそのまま継続されます。
- 一部のダイヤル式の電話をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。
  このような場合には、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- 本機が通信中、緊急に電話機やファクシミリをご使用になる場合は、本機の電源を「切」にしてください。ただし、サービスは終了します。

自動チャンネル設定をする

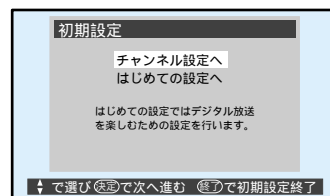
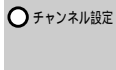
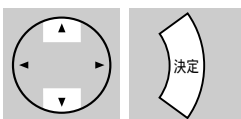
- ここでは、地上放送のチャンネルを自動設定します。
- ご使用になる地域で放送されているチャンネルを設定することができます。
- 販売店などであらかじめ設定する場合を除き、お買い上げ時はリモコンの１～12にはVHFの１～12チャンネルが番号と同じに設定されています。
- BSデジタルチャンネルはお買い上げ時に設定されていますので、新たに設定する必要はありません。ただし、BSデジタルチャンネルの設定を変更する場合や110度CSデジタルチャンネルを設定する場合は「手動チャンネル設定」（→168ページ）で行ってください。

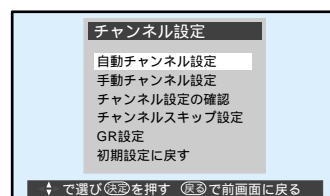
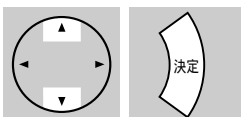
■自動チャンネル設定の前に

- 下記の流れに従ってチャンネルを設定します。

【チューナー】

【チューナー前面】

■自動チャンネルを設定する

1 「チャンネル設定」ボタンを右の画面が出るまで数秒押す

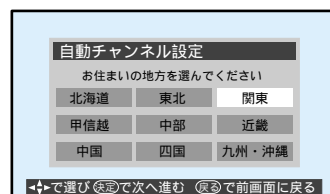
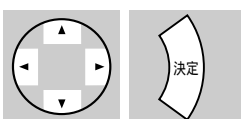
チャンネル設定

- 「チャンネル設定」ボタンはチューナーの前面にあります。

2 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定へ」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「自動チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

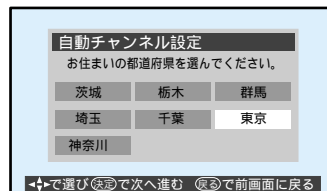
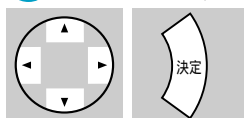
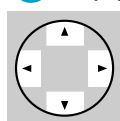
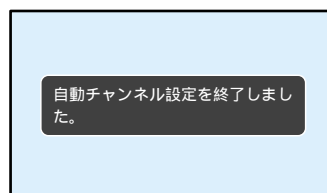
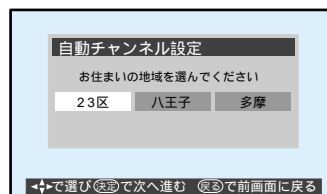
チャンネル設定
自動チャンネル設定
手動チャンネル設定
チャンネル設定の確認
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地方名を選び、決定ボタンを押す

自動チャンネル設定
お住まいの地方を選んでください

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

[次のページにつづく]

■自動チャンネルを設定する つづき

5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの都道府県名を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地域・都市名を選び、決定ボタンを押す

- つぎつぎにチャンネル設定確認画面が表示されながら自動的にリモコンの1～12ボタンにチャンネルが設定されます。
- 自動で設定されるチャンネルは171～177ページの一覧表をご覧ください。
- 自動チャンネル設定が終わると、右のメッセージが数秒間表示されます。

7 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

- 設定したチャンネルを一覧表示して確認するときは、「チャンネル設定の確認のしかた」（→180ページ）をご覧ください。
  受信できないチャンネルがあるときは「手動チャンネル設定」（→168ページ）で設定してください。
- リモコンのメニューボタンでもチャンネル設定画面（前ページの手順3の画面）は表示できます。
- 自動チャンネル設定は、本体ボタンとリモコンボタンのどちらでも操作できます。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	チャンネル へ·∨
カーソル ◀·▶	音量 ー·＋
決定	入力切換
戻る	チャンネル設定
チャンネル へ·∨	チャンネル へ·∨

はじめての設定をする

- はじめての設定では最初に必要な設定をまとめて行います。
- 設定は下記の順番で行います。

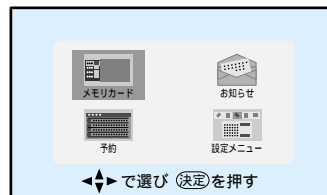
はじめての設定

- 最初に必要な設定を画面に従ってまとめて行います。
- 設定項目は次のとおりです。

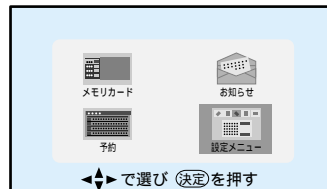
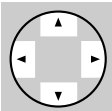
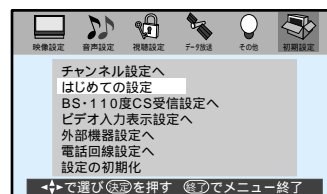
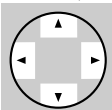
設定項目	内　容
郵便番号と地域の設定	お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報・選挙速報）や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ送受信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
電話回線設定	デジタル放送では、電話回線を利用したサービスが行われています。それらのサービスを楽しむための設定です。
簡易確認テスト	受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

- 設定が間違っていると、映像やメニューなどが表示されません。

1 メニューボタンを押す

メニュー

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「はじめての設定」を選び、決定ボタンを押す

4 右の画面を読んだ後、決定ボタンを押す

- 郵便番号と地域の設定→電話回線設定→簡易確認テストの順に続けて設定します。

はじめての設定

この度は本機をお買い上げいただきありがとうございました。ここでは、デジタル放送を受信するのに必要な設定を下記の順に行います。それぞれの設定方法は、各画面の説明および取扱説明書をご覧ください。

郵便番号と地域の設定
↓
電話回線設定
↓
簡易確認テスト

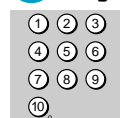
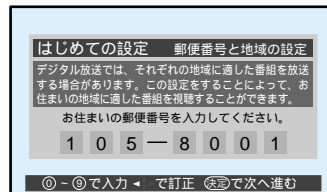
決定で次へ進む　戻るで前画面に戻る

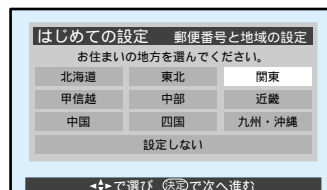
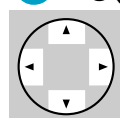
[次のページにつづく]

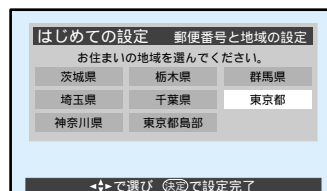
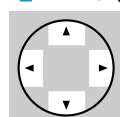
はじめての設定 つづき

郵便番号と地域の設定

5 数字(0～9)ボタンであなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す

- 「地方選択」画面が表示されます。
- 入力を間違えた場合は、カーソルボタン◄でカーソルを戻してからもう一度入力してください。

- データ放送を受信している状態で郵便番号の設定をした場合、設定終了後はその設定内容は反映されません。もう一度データ放送を選局しなおしてください。

6 カーソルボタン▲·▼·◄·►で該当する地方を選択し、決定ボタンを押す

- 「地域選択」画面が表示されます。
- 「設定しない」を選んだ場合、次ページの手順8の「電話回線設定」に進みます。

7 カーソルボタン▲·▼·◄·►で該当する地域を選択し、決定ボタンを押す

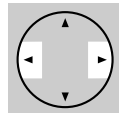
- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。
- 次ページの手順8の「電話回線設定」に進みます。

- データ放送を受信している状態でここの設定をした場合、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。再度データ放送を選局し直してください。
- 郵便番号入力で上３桁を入力して決定ボタンを押すと残り４桁は自動的に「０」が入力されます。
- 上2桁までの入力で決定ボタンを押すと、エラーになります。決定ボタンを押してもう一度入力してください。

電話回線設定(外線発信番号の設定)

8

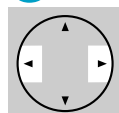
[電話回線の設定を行うには]

右の画面でカーソルボタン◄·►を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 次は手順**9**に進みます。

電話回線の設定を行わない場合

- **カーソルボタン◄·►で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**13**の確認画面に進みます。

9

右の画面で下記を行う

- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。

外線発信番号が必要な場合

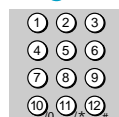
- **カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**10**に進みます。

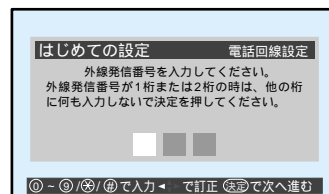
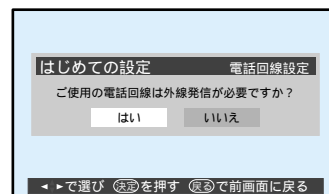
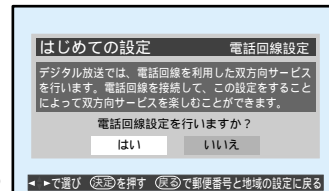
外線発信番号が不要な場合

- **カーソルボタン◄·►で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - 次は手順**11**に進みます。

10

[手順**9**で「はい」を選んだ場合]

外線発信番号を入力して、決定ボタンを押す

- 0～9、#、✳のボタンを押すことで設定します。(左詰めで入力してください)
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◄で前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- １桁、または2桁の設定を行う場合は、左詰めで入力し他の桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
  ※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。
- 次は手順**11**に進みます。

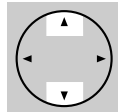
[次のページにつづく]

はじめての設定をする つづき

はじめての設定 つづき

電話回線設定（ダイヤル方式の設定）つづき

11 カーソルボタン▲・▼で設定するダイヤル方式を選び、決定ボタンを押す

- 通常は「自動判定」を選びます。

はじめての設定　電話回線設定
接続されている電話回線の
ダイヤル方式を選んでください。
自動判定
トーン
20PPS
10PPS
通常は「自動判定」を選んでください。
▲▼で選び　決定を押す　戻るで外線発信確認に戻る

「自動判定」を選んだ場合

- 判定中は右の画面になります。
- 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
- 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。次は手順**12**に進みます。

「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

- 右のメッセージの場合
  - 電話回線の接続確認（→158〜160ページ）をしてからもう一度行ってください。

ダイヤル方式判定エラー
ダイヤル方式の自動判定でダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話回線が正しく接続されているか確認してください。
決定を押す

- 右のメッセージの場合
  - 電話回線の種類によっては、自動判定できない場合があります。決定ボタンを押してダイヤル方式設定の画面に戻り、ご使用になっている電話回線のダイヤル方式（トーン、20PPS、10PPS）を選んで決定ボタンを押し、手順**12**に進みます。
  - ダイヤル方式がご不明の場合は、ご契約のNTT窓口にお問い合わせください。

ダイヤル方式判定エラー
ダイヤル方式の自動判定ができませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
決定を押す

- 右のメッセージの場合
  - [外線発信番号あり」に設定している場合で、さらに、198ページで外線発信後の待ち時間を指定している場合は、右のメッセージが表示され、ダイヤル方式自動判定ができません。

ダイヤル方式判定エラー
外線発信番号の設定によりダイヤル方式自動判定ができません。
決定を押す

自動判定が終了しない場合

- 3分以上たっても終了しない場合は、戻るボタンを押して自動判定を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認してください。（→158〜160ページ）

12 [手順**11**で「自動判定へ」を選んだとき]
判定結果を確認して、決定ボタンを押す

13 設定内容を確認する

- 設定内容を変更する場合は戻るボタンを押してください。戻るボタンを押すごとに、「はじめての設定」の各項目の最初の画面に戻ります。

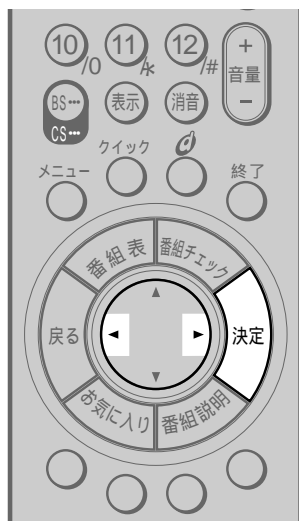
はじめての設定
設定を完了しました。
郵便番号　：105－8001
地方/地域　：関東/東京都
ダイヤル方式：トーン
外線発信番号：あり
続けて簡易確認テストを行いますか？
はい　いいえ
◄►で選び　決定を押す　戻るで電話回線設定に戻る

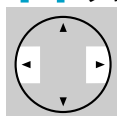
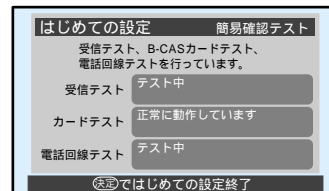
設定内容によって表示は異なります。

簡易確認テストを行う場合

- 次は手順**14**に進みます。

簡易確認テスト行わない場合

- **カーソルボタン◄・►で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - これではじめての設定は終了です。
- **通常画面に戻るには終了ボタンを押す**

簡易確認テスト

14 カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 簡易確認テストが開始されます。
- BS受信テスト中はBSチャンネルを、110度CS受信テスト中は110度CSチャンネルを受信します。
- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- 「テスト結果」については下記をご覧ください。

15 ［簡易確認テストが終了したら］ 決定ボタンを押す

- これで「はじめての設定」は終了です。
- 通常画面に戻るには、終了ボタンを押します。

■テスト結果について

■受信テスト

- BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。

正しい場合

- 「正常に受信できています。」が表示されます。

「正しく受信できていません。」または「BS(110度CS)は受信できていますが110度CS(BS)が受信できません。」が表示された場合

- 「アンテナの設定と調整」(→154ページ)と「BS･110度CS受信設定」(→181ページ)を参照し、もう一度設定の状態を確認してください。

■カードテスト

- 本機で使えるカードかどうかテストします。

正しい場合

- 「正常に動作しています。」が表示されます。

「このB-CASカードはご使用になれません。」が表示された場合

- B-CASカードを確かめてください。
- B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

「B-CASカードを正しく挿入してください。」が表示された場合

- B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」が表示された場合

- B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

「B-CASカードが故障しています。」が表示された場合

- B-CASカードを交換してください。
- B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

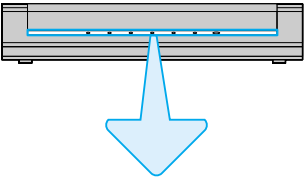
■電話回線テスト

- 電話回線が正しくつながることをテストします。
テスト結果については左の「お知らせ」をご覧ください。

お知らせ

■電話回線テストの結果

- **「電話回線の接続を確認しました。」が表示された場合**
  - ・正しく接続されています。
- **「ダイヤルトーンの検出できませんでした。」が表示された場合**
  - ・電話回線の接続（→158ページ）および電話回線設定（→165ページ）を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。
- **「電話回線の接続を確認できませんでした。」が表示された場合**
  - ・ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプターを使用していることが考えられます。詳しくは158、166ページをご覧ください。
- **「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」が表示された場合**
  - ・「外線発信あり」に設定し、さらに198ページで外線発信後の待ち時間を設定している場合は、ダイヤル方式自動判定はできません。

初期設定を個別に行うとき

【チューナー】

【チューナー前面】

お知らせ

- 手動チャンネル設定は本体ボタンとリモコンボタンのどちらでもできます。（下の表を参照してください。）
  ただし本体ボタンで放送の種類（BSまたは110度CS）を切り換えることはできません。
- リモコンのメニューボタン操作でもチャンネル設定画面は表示できます。
  ①メニューボタンを押す
  ②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
  ③カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ
  ④カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定へ」を選び、決定ボタンを押す
  • 「チャンネル設定」画面になります。
- 微調整ができるのはリモコンの**カーソルボタン◄·►**だけです。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	音量 ＋·－
決定	入力/放送切換
戻る	チャンネル設定
チャンネル∧·∨	チャンネル∧·∨
カーソル◄·►	なし

チャンネル設定

- ご使用になる地域で放送されているチャンネルを設定することができます。
- お買い上げ時はリモコンの1～12にはＶＨＦの1～12チャンネルが番号と同じに設定されています。
- ＤＳ1～ＤＳ10には、27ページのチャンネルが各ＤＳボタンに設定されています。

自動チャンネル設定

- お使いになる地域に合わせると、その地域で放送されている地上放送（VHF/UHF）のチャンネルおよび各放送局名に自動的に設定されます。
- 自動設定されるチャンネルは171～177ページの一覧表をご覧ください。
  操作方法は「自動チャンネル設定をする」（→161ページ）をご覧ください。

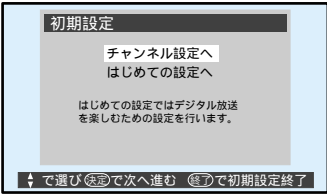
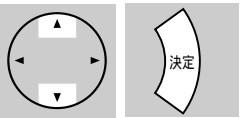
手動チャンネル設定

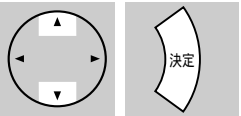
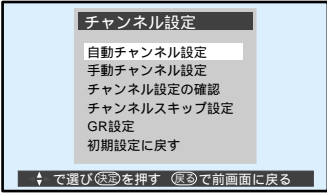
- 自動チャンネル設定後、次の場合は、さらに手動チャンネル設定を行ってください。
  •自動チャンネル設定で設定ができないとき
  •お住まいの地域で放送局が増えたとき
  •設定されたチャンネルの表示を変えたいとき
  •その他、チャンネル設定の内容を変更するとき
- 以下のチャンネルを設定できます。
  ①地上放送/CATVチャンネル
  ②BSデジタル放送チャンネル
  ③110度CSデジタル放送チャンネル

■地上放送（VHF/UHF）/CATV（C13～C38）チャンネルの場合

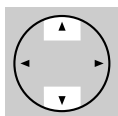
- **設定例：リモコンの⑤ボタンにUHF放送の「14」チャンネル、画面表示番号を「5」、放送局名を「MXテレビ」で設定するとき**

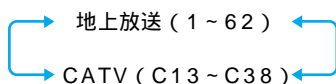
1 チャンネル設定ボタンを右の画面が出るまで数秒押す

- 「チャンネル設定」ボタンはチューナーの前面にあります。

2 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定へ」を選び、決定ボタンを押す

- 「チャンネル設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で「手動チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

- 手動チャンネル設定一覧の画面が表示されます。

［次のページにつづく］

チャンネル設定 つづき

4 下記の操作で地上放送チャンネルを設定する

①カーソルボタン▲·▼で設定するリモコンの1〜12のボタンを選び、決定ボタンを押す
- チャンネル設定画面が表示されます。
  例：リモコンを5にする
- DS1〜DS10には地上放送は設定できません。

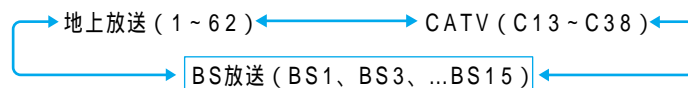
②カーソルボタン▲·▼で「チャンネル」を選び、チャンネルボタン︿·﹀で設定するチャンネルを選ぶ
例：チャンネルを14チャンネルにする
- チャンネルボタン︿·﹀を押すと下記の順に切り換わります。

チャンネル調整を少しずらした方が見やすくなる場合

- 色が消えたり画像が不安定になったときに、微調整すると良くなる場合があります。ただし微調整できるチャンネルは、地上放送(UHF/VHF)とCATVです。

カーソルボタン◀·▶で見やすい映像に微調整する

・調整前の状態に戻すには、チャンネルボタン︿·﹀で選び直してください。

③カーソルボタン▲·▼で「表示」を選び、チャンネルボタン︿·﹀でテレビ画面に表示させる番号を選ぶ（下記の手順に切り換わります。）
例：表示を5にする

地上放送（1〜62） ⟷ CATV（C13〜C38） → BS放送（BS1、BS3、…BS15） → 地上放送（1〜62）

CATVでBSのアナログ放送が行われている場合に使います。

④カーソルボタン▲·▼で「放送局」を選び、チャンネルボタン︿·﹀で放送局名を選ぶ
例：放送局名を「MXテレビ」にする
- 選んだ状態が設定されます。
- 放送局を表示しない場合は、「表示しない」に設定してください。

⑤決定ボタンを押す
- 手順4の①の画面に戻ります。

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順 4 の①〜⑤を繰り返す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■ BS または 110 度 CS デジタル放送チャンネルの場合

1 上記手順 4 の最初の画面でデジタル放送チャンネルを設定する

BSデジタル放送を設定する場合

①カーソルボタン▲·▼で設定するリモコンのDS1〜DS10のボタンを選び、決定ボタンを押す
- 1〜12にはBSデジタル放送は設定できません。

設定されているチャンネルが110度CSの場合

BS···(CS···)ボタンを押す

手動チャンネル設定

リモコン	チャンネル	表示	放送局
DS1	BS BS101	BS101	NHK BS1
DS2	BS BS102	BS102	NHK BS2
DS3	BS BS103	BS103	NHK h
DS4	BS BSテレビ	ーーー	BS日テレ
DS5	BS BSテレビ	ーーー	ビーエス朝日
DS6	BS BSテレビ	ーーー	BS-i

で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

②チャンネルボタン︿·﹀で設定するBSチャンネルを選ぶ
- チャンネルボタン︿·﹀を押すと下記の順に切り換わります。

BSテレビ ⟷ BSラジオ ⟷ BSデータ ⟷ BSチャンネルを番号順に選局 → BSテレビ

お知らせ

- 「手動チャンネル設定」の下記の操作は、ボタンを押しつづけると、選択項目の切換えが速くなり便利です。下記のうち選局動作を伴う操作は、押しつづけている間は選局を停止します。
  - 手動チャンネル設定一覧画面でのカーソル移動
  - チャンネルボタン︿·﹀での各項目の選択操作

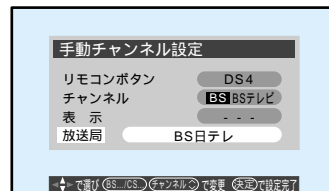
■CATV（有線テレビ）について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴、録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- 地上放送/CATVの場合は、「チャンネル設定」を行ったチャンネルは、チャンネルスキップ設定が自動的に「受信」に設定されます。

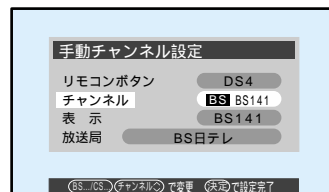
初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

放送メディア(「BSテレビ」または「BSラジオ」または「BSデータ」)を選んだ場合

- 1つのボタンに同じ放送局のBSテレビまたはBSラジオまたはBSデータの複数チャンネルがまとめて設定されます。
- 放送メディア設定後、下記の操作で設定したい放送局を選んでください。
  ①カーソルボタン▲･▼で「放送局」を選ぶ
  ②チャンネルボタン︿･﹀で設定したい放送局を選ぶ

(例)
リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタンDS４を押すごとに､「BS日テレ」の「BSテレビ」チャンネルが順次選局されます。

通常のBSデジタル放送のチャンネルを選んだ場合

- リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタン(例：DS4)を押したとき、上記で選んだチャンネルだけが選局されるように設定されます。
- 「表示」欄には選局時テレビ画面に表示されるチャンネル番号が表示されます。
  (表示を変えることはできません。)
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。
  (放送局名を変えることはできません。)

(例)
リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタンDS４を押すと、BS141が選局される設定

110度CSデジタル放送を設定する場合

①カーソルボタン▲･▼で設定するリモコンのDS1〜DS10のボタンを選び、決定ボタンを押す
- 1〜12には110度CSデジタル放送は設定できません。

手動チャンネル設定

リモコン	チャンネル	表示	放送局
DS5	BS BSテレビ	–––	ビーエス朝日
DS6	BS BSテレビ	–––	BS-i
DS7	BS BSテレビ	–––	BSジャパン
DS8	BS BSテレビ	–––	BSフジ
DS9	CS001	CS001	プロモCH
DS10	CS100	CS100	スカパー！2プロモ

で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

設定されているチャンネルが110度CSの場合

BS･･･(CS･･･)ボタンを押す

②チャンネルボタン︿･﹀で設定する110度CSチャンネルを選ぶ
- チャンネルボタン︿･﹀を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
- 放送メディアとして選ぶことはできません。
- リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタン(例：DS9)を押したとき、上記で選んだチャンネルだけが選局されるように設定されます。
- 「表示」欄には選局時テレビ画面に表示されるチャンネル番号が表示されます。
  (表示を変えることはできません。)
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送が表示されます。
  (放送局名を変えることはできません。)

(例)
リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタンDS９を押すと、CS001が選局される設定

2 **決定ボタンを押す**

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順 1、2 を繰り返す

3 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 「手動チャンネル設定」の下記の操作は、ボタンを押しつづけると、選択項目の切換えが速くなり便利です。下記で選局動作を伴う操作は、押しつづけている間は選局を停止します。
  - 手動チャンネル設定一覧画面でのカーソル移動
  - チャンネルボタン︿･﹀での各項目の選択操作

地域名と放送局名の一覧表

- 161ページの「自動チャンネル設定」で設定すると、この表にある放送局が各チャンネルポジションに自動設定されます。
- 表にない放送局を設定するときは、168ページの「手動チャンネル設定」で設定してください。
- 表にない地域のかたは近くの地域・都市名で設定して、正しく設定できないときは「手動チャンネル設定」で設定してください。
- 一覧表で空きチャンネルにはCHと表示がポジション番号と同じに設定されます。

CH:受信チャンネル番号
表示1:放送局名略称
表示2:画面表示番号

地方名	都道府県名	チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		地域・都市名	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*	放送局名 表示1* CH 表示2*
		初期設定	― ― 1 1	― ― 2 2	― ― 3 3	― ― 4 4	― ― 5 5	― ― 6 6	― ― 7 7	― ― 8 8	― ― 9 9	― ― 10 10	― ― 11 11	― ― 12 12
北海道	北海道・北部	旭川		NHK教育 NHK教育 2 2		テレビ北海道 TVh 33 33	北海道文化放送 UHB 37 37	北海道テレビ放送 HTB 39 39	札幌テレビ放送 STV 7 7		NHK総合 NHK総合 9 9		北海道放送 HBC 11 11	
北海道	北海道・北部	釧路		NHK教育 NHK教育 2 2	北海道テレビ放送 HTB 39 39	北海道文化放送 UHB 41 41			札幌テレビ放送 STV 7 7		NHK総合 NHK総合 9 9		北海道放送 HBC 11 11	
北海道	北海道・北部	北見		NHK教育 NHK教育 2 2		北海道テレビ放送 HTB 61 61	北海道文化放送 UHB 59 59		札幌テレビ放送 STV 7 7		NHK総合 NHK総合 9 9		北海道放送 HBC 53 53	
北海道	北海道・北部	網走	北海道放送 HBC 1 1		NHK総合 NHK総合 3 3		札幌テレビ放送 STV 5 5		北海道文化放送 UHB 27 27		北海道テレビ放送 HTB 35 35			NHK教育 NHK教育 12 12
北海道	北海道・北部	稚内		北海道文化放送 UHB 26 26		NHK総合 NHK総合 28 28		札幌テレビ放送 STV 22 22		北海道テレビ放送 HTB 24 24		北海道放送 HBC 10 10		NHK教育 NHK教育 30 30
北海道	北海道・北部	名寄		北海道文化放送 UHB 26 26		NHK総合 NHK総合 4 4		札幌テレビ放送 STV 6 6		北海道テレビ放送 HTB 24 24		北海道放送 HBC 10 10		NHK教育 NHK教育 12 12
北海道	北海道・北部	根室		NHK教育 NHK教育 2 2			北海道文化放送 UHB 62 62	北海道テレビ放送 HTB 60 60	札幌テレビ放送 STV 7 7		NHK総合 NHK総合 9 9		北海道放送 HBC 11 11	
北海道	北海道・南部	札幌	北海道放送 HBC 1 1		NHK総合 NHK総合 3 3	テレビ北海道 TVh 17 17	札幌テレビ放送 STV 5 5		北海道文化放送 UHB 27 27			北海道テレビ放送 HTB 35 35		NHK教育 NHK教育 12 12
北海道	北海道・南部	函館	北海道文化放送 UHB 27 27		北海道テレビ放送 HTB 35 35	NHK総合 NHK総合 4 4	テレビ北海道 TVh 21 21	北海道放送 HBC 6 6				NHK教育 NHK教育 10 10		札幌テレビ放送 STV 12 12
北海道	北海道・南部	帯広	北海道文化放送 UHB 32 32		北海道テレビ放送 HTB 34 34	NHK総合 NHK総合 4 4		北海道放送 HBC 6 6				札幌テレビ放送 STV 10 10		NHK教育 NHK教育 12 12
北海道	北海道・南部	苫小牧		NHK教育 NHK教育 49 49		北海道テレビ放送 HTB 61 61	北海道文化放送 UHB 53 53		札幌テレビ放送 STV 57 57		NHK総合 NHK総合 51 51		北海道放送 HBC 55 55	テレビ北海道 TVh 47 47
北海道	北海道・南部	小樽		NHK教育 NHK教育 2 2		北海道テレビ放送 HTB 4 4	北海道文化放送 UHB 26 26		札幌テレビ放送 STV 7 7		北海道放送 HBC 9 9		NHK総合 NHK総合 11 11	テレビ北海道 TVh 24 24
北海道	北海道・南部	室蘭		NHK教育 NHK教育 2 2		テレビ北海道 TVh 29 29	北海道文化放送 UHB 37 37	北海道テレビ放送 HTB 39 39	札幌テレビ放送 STV 7 7		NHK総合 NHK総合 9 9		北海道放送 HBC 11 11	
東北	青森	青森	青森放送 RAB 1 1		NHK総合 NHK総合 3 3	青森朝日放送 ABA 34 34	NHK教育 NHK教育 5 5							青森テレビ ATV 38 38
東北	青森	八戸		アイビーシー岩手放送 IBCテレビ 2 2	テレビ岩手 テレビ岩手 37 37	岩手めんこいテレビ 岩手めんこいテレビ 29 29		岩手朝日テレビ 岩手朝日テレビ 27 27	NHK教育 NHK教育 7 7		NHK総合 NHK総合 9 9	青森朝日放送 ABA 31 31	青森放送 RAB 11 11	青森テレビ ATV 33 33
東北	青森	むつ				NHK総合 NHK総合 4 4		青森朝日放送 ABA 56 56		青森テレビ ATV 58 58		青森放送 RAB 10 10		NHK教育 NHK教育 12 12
東北	岩手	盛岡	テレビ岩手 テレビ岩手 35 35			NHK総合 NHK総合 4 4		アイビーシー岩手放送 IBCテレビ 6 6		NHK教育 NHK教育 8 8		岩手めんこいテレビ 岩手めんこいテレビ 33 33		岩手朝日テレビ 岩手朝日テレビ 31 31
東北	岩手	釜石		NHK総合 NHK総合 2 2		岩手朝日テレビ 岩手朝日テレビ 62 62		岩手めんこいテレビ 岩手めんこいテレビ 60 60		テレビ岩手 テレビ岩手 58 58		アイビーシー岩手放送 IBCテレビ 10 10		NHK教育 NHK教育 12 12

初期設定を個別に行うとき つづき

地方名	都道府県名	チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		地域・都市名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
			表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*
			CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*	CH 表示2*
東北	岩手	二戸		アイビーシー岩手放送		岩手朝日テレビ	NHK総合			岩手めんこいテレビ		テレビ岩手		NHK教育
				IBCテレビ		岩手朝日テレビ	NHK総合			岩手めんこいテレビ		テレビ岩手		NHK教育
				2 2		27 27	5 5			29 29		37 37		12 12
	宮城	仙台	東北放送		NHK総合		NHK教育		東日本放送		宮城テレビ放送			仙台放送
			TBCテレビ		NHK総合		NHK教育		東日本放送		ミヤギテレビ			仙台放送
			1 1		3 3		5 5		32 32		34 34			12 12
		石巻	東北放送		NHK総合		NHK教育		東日本放送		宮城テレビ放送			仙台放送
			TBCテレビ		NHK総合		NHK教育		東日本放送		ミヤギテレビ			仙台放送
			59 59		51 51		49 49		61 61		55 55			57 57
		気仙沼		NHK総合		東北放送		仙台放送		東日本放送		NHK教育		宮城テレビ放送
				NHK総合		TBCテレビ		仙台放送		東日本放送		NHK教育		ミヤギテレビ
				2 2		4 4		6 6		43 43		10 10		37 37
	秋田	秋田		NHK教育			秋田朝日				NHK総合		秋田放送	秋田テレビ
				NHK教育			秋田朝日放送				NHK総合		ABSテレビ	AKT
				2 2			31 31				9 9		11 11	37 37
		大館	青森放送			NHK総合	秋田朝日	秋田放送		NHK教育				秋田テレビ
			RAB			NHK総合	秋田朝日放送	ABSテレビ		NHK教育				AKT
			1 1			4 4	59 59	6 6		8 8				57 57
		大曲・横手		NHK教育			秋田朝日				NHK総合		秋田放送	秋田テレビ
				NHK教育			秋田朝日放送				NHK総合		ABSテレビ	AKT
				43 43			41 41				45 45		47 47	51 51
	山形	山形				NHK教育		テレビュー山形		NHK総合		山形放送	さくらんぼテレビジョン	山形テレビ
						NHK教育		TUY		NHK総合		YBC山形放送	さくらんぼテレビ	山形テレビ
						4 4		36 36		8 8		10 10	30 30	38 38
		鶴岡・酒田	山形放送		NHK総合			NHK教育		テレビュー山形			さくらんぼテレビジョン	山形テレビ
			YBC山形放送		NHK総合			NHK教育		TUY			さくらんぼテレビ	山形テレビ
			1 1		3 3			6 6		22 22			24 24	39 39
		米沢		さくらんぼテレビジョン		NHK教育		テレビュー山形		NHK総合		山形放送		山形テレビ
				さくらんぼテレビ		NHK教育		TUY		NHK総合		YBC山形放送		山形テレビ
				60 60		50 50		56 56		52 52		54 54		58 58
		新庄		NHK教育		さくらんぼテレビジョン		テレビュー山形			NHK総合		山形放送	山形テレビ
				NHK教育		さくらんぼテレビ		TUY			NHK総合		YBC山形放送	山形テレビ
				2 2		28 28		26 26			9 9		11 11	58 58
	福島	福島・郡山		NHK教育		テレビュー福島		福島中央テレビ			NHK総合	福島放送	福島テレビ	
				NHK教育		テレビュー福島		福島中央テレビ			NHK総合	KFB	FTV	
				2 2		31 31		33 33			9 9	35 35	11 11	
		いわき				NHK総合		福島中央テレビ	テレビュー福島	福島テレビ		NHK教育		福島放送
						NHK総合		福島中央テレビ	テレビュー福島	FTV		NHK教育		KFB
						4 4		58 58	62 62	8 8		10 10		60 60
		会津若松	NHK総合		NHK教育	テレビュー福島		福島テレビ		福島中央テレビ		福島放送		
			NHK総合		NHK教育	テレビュー福島		FTV		福島中央テレビ		KFB		
			1 1		3 3	47 47		6 6		37 37		41 41		
関東	茨城	水戸	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網		東京放送		フジテレビジョン		テレビ朝日		テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBS		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
			44 1		46 3	42 4		40 6		38 8		36 10		32 12
		日立	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網		東京放送		フジテレビジョン		テレビ朝日		テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBS		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
			52 1		50 3	54 4		56 6		58 8		60 10		62 12
	栃木	宇都宮	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網	とちぎテレビ	東京放送		フジテレビジョン		テレビ朝日		テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
			29 1		27 3	25 4	31 31	23 6		21 8		19 10		17 12
		矢板	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網	とちぎテレビ	東京放送		フジテレビジョン		テレビ朝日		テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
			51 1		49 3	53 4	33 31	55 6		57 8		59 10		61 12
	群馬	前橋	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網	放送大学	東京放送	テレビ埼玉	フジテレビジョン		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBS	テレビ埼玉	フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			52 1		50 3	54 4	40 40	56 6	38 38	58 8		60 10	48 48	62 12
		桐生	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網	放送大学	東京放送		フジテレビジョン		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBS		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			43 1		45 3	39 4	40 40	37 6		35 8		33 10	41 48	31 12
	埼玉	さいたま	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網	放送大学	東京放送	テレビ埼玉	フジテレビジョン		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBS	テレビ埼玉	フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			1 1		3 3	4 4	16 16	6 6	38 38	8 8		10 10	48 48	12 12
		熊谷・児玉	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網		東京放送	テレビ埼玉	フジテレビジョン		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBS	テレビ埼玉	フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
			33 1		35 3	25 4		23 6	28 38	21 8		19 10	48 48	17 12
		秩父	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網		東京放送	テレビ埼玉	フジテレビジョン		テレビ朝日		テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBS	テレビ埼玉	フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
			51 1		49 3	53 4		55 6	47 38	57 8		59 10		61 12
	千葉	千葉・船橋	NHK総合		NHK教育	日本テレビ放送網	放送大学	東京放送	テレビ神奈川	フジテレビジョン	千葉テレビ放送	テレビ朝日		テレビ東京
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBS	TVKテレビ	フジテレビ	CTC	テレビ朝日		テレビ東京
			1 1		3 3	4 4	16 16	6 6	42 42	8 8	46 46	10 10		12 12

地方名	都道府県名	チャンネルポジション	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12	
			放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
		地域・都市名	表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*	
			CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*
関東	千葉	銚子	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送				フジテレビジョン		千葉テレビ放送		テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ				TBS				フジテレビ		CTC		テレビ朝日				テレビ東京	
			51	1			49	3	53	4			55	6			57	8	39	46	59	10			61	12
	東京	東京23区	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		東京メトロポリタンテレビ		東京放送		テレビ神奈川		フジテレビジョン		千葉テレビ放送		テレビ朝日		テレビ埼玉		テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ		MXテレビ		TBS		TVKテレビ		フジテレビ		CTC		テレビ朝日		テレビ埼玉		テレビ東京	
			1	1			3	3	4	4	14	14	6	6	42	42	8	8	46	46	10	10	38	38	12	12
		八王子	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		東京メトロポリタンテレビ		東京放送				フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ		MXテレビ		TBS				フジテレビ				テレビ朝日				テレビ東京	
			51	1			49	3	53	4	47	14	55	6			57	8			59	10			61	12
		多摩	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		東京メトロポリタンテレビ		東京放送				フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ		MXテレビ		TBS				フジテレビ				テレビ朝日				テレビ東京	
			30	1			32	3	26	4	28	14	24	6			22	8			20	10			18	12
	神奈川	横浜・川崎	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		テレビ神奈川		フジテレビジョン		千葉テレビ放送		テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ				TBS		TVKテレビ		フジテレビ		CTC		テレビ朝日				テレビ東京	
			1	1			3	3	4	4			6	6	42	42	8	8	46	46	10	10			12	12
		横浜みなと	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		テレビ神奈川		フジテレビジョン		千葉テレビ放送		テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ				TBS		TVKテレビ		フジテレビ		CTC		テレビ朝日				テレビ東京	
			52	1			50	3	54	4			56	6	48	42	58	8	46	46	60	10			62	12
		平塚・茅ヶ崎	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		テレビ神奈川		フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ				TBS		TVKテレビ		フジテレビ				テレビ朝日				テレビ東京	
			33	1			29	3	35	4			37	6	31	42	39	8			41	10			43	12
		小田原	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		テレビ神奈川		フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ				TBS		TVKテレビ		フジテレビ				テレビ朝日				テレビ東京	
			52	1			50	3	54	4			56	6	46	42	58	8			60	10			62	12
		秦野	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		テレビ神奈川		フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
			NHK総合				NHK教育		日本テレビ				TBS		TVKテレビ		フジテレビ				テレビ朝日				テレビ東京	
			47	1			49	3	51	4			53	6	61	42	55	8			57	10			59	12
甲信越	新潟	新潟					新潟テレビ21		テレビ新潟放送網		新潟放送						NHK総合				新潟総合テレビ				NHK教育	
							NT21		TeNY		BSN新潟放送						NHK総合				新潟総合テレビ				NHK教育	
							21	21	29	29	5	5					8	8			35	35			12	12
		上越	NHK教育				NHK総合						新潟テレビ21				テレビ新潟放送網				新潟放送				新潟総合テレビ	
			NHK教育				NHK総合						NT21				TeNY				BSN新潟放送				新潟総合テレビ	
			1	1			3	3					37	37			27	27			10	10			33	33
	山梨	※	NHK総合				NHK教育				山梨放送		テレビ山梨													
			NHK総合				NHK教育				YBS		UTY													
			1	1			3	3			5	5	37	37												
	長野	長野(美ヶ原)			NHK総合				長野朝日放送				テレビ信州						NHK教育		長野放送		信越放送			
					NHK総合				ABN				テレビ信州						NHK教育		NBS		信越放送			
					2	2			20	20			30	30					9	9	38	38	11	11		
		長野(善光寺平)			NHK総合				長野朝日放送				テレビ信州						NHK教育		長野放送		信越放送			
					NHK総合				ABN				テレビ信州						NHK教育		NBS		信越放送			
					44	44			50	50			40	40					46	46	42	42	48	48		
		松本			NHK総合				長野朝日放送				テレビ信州						NHK教育		長野放送		信越放送			
					NHK総合				ABN				テレビ信州						NHK教育		NBS		信越放送			
					44	44			50	50			48	48					46	46	42	42	40	40		
		飯田					NHK教育		NHK総合				信越放送				テレビ信州				長野放送				長野朝日放送	
							NHK教育		NHK総合				信越放送				テレビ信州				NBS				ABN	
							3	3	4	4			6	6			42	42			40	40			44	44
		岡谷・諏訪	長野朝日放送						NHK総合				信越放送				NHK教育				テレビ信州				長野放送	
			ABN						NHK総合				信越放送				NHK教育				テレビ信州				NBS	
			61	61					4	4			6	6			8	8			59	59			47	47
中部	富山	富山	北日本放送				NHK総合						チューリップテレビ								NHK教育				富山テレビ放送	
			北日本放送				NHK総合						チューリップテレビ								NHK教育				BBT	
			1	1			3	3					32	32							10	10			34	34
		高岡	北日本放送				NHK総合						チューリップテレビ								NHK教育				富山テレビ放送	
			北日本放送				NHK総合						チューリップテレビ								NHK教育				BBT	
			50	1			48	3					42	32							46	10			44	34
	石川	金沢							NHK総合				北陸放送		北陸朝日放送		NHK教育				テレビ金沢				石川テレビ放送	
									NHK総合				MRO		HAB		NHK教育				テレビ金沢				石川テレビ	
									4	4			6	6	25	25	8	8			33	33			37	37
		七尾	テレビ金沢				北陸朝日放送				NHK教育				石川テレビ放送				NHK総合				北陸放送			
			テレビ金沢				HAB				NHK教育				石川テレビ				NHK総合				MRO			
			57	57			59	59			5	5			55	55			9	9			11	11		
	福井	福井					NHK教育												NHK総合				福井放送		福井テレビジョン放送	
							NHK教育												NHK総合				FBCテレビ		福井テレビ	
							3	3											9	9			11	11	39	39
		敦賀											NHK総合				福井放送				福井テレビジョン放送				NHK教育	
													NHK総合				FBCテレビ				福井テレビ				NHK教育	
													6	6			8	8			38	38			12	12
	岐阜	岐阜	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			1	1			3	3			5	5	33	33	25	25			9	9	37	37	11	11	35	35

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

初期設定を個別に行うとき つづき

地方名	都道府県名	チャンネルポジション	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12	
		地域・都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*	
			CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*
中部	岐阜	長良	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送								NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC								NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			57	57			53	53			55	55							49	49	61	61	59	59	47	47
		高山			NHK教育		中京テレビ放送		NHK総合				中部日本放送				東海テレビ放送				岐阜放送				名古屋テレビ放送	
					NHK教育		中京テレビ		NHK総合				CBC				東海テレビ				岐阜放送				名古屋テレビ	
					2	2	26	26	4	4			6	6			8	8			38	38			12	12
		各務原	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送								NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC								NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			1	1			3	3			5	5							9	9	37	37	11	11	35	35
		中津川					中京テレビ放送		NHK総合				名古屋テレビ放送				中部日本放送				東海テレビ放送		岐阜放送		NHK教育	
							中京テレビ		NHK総合				名古屋テレビ				CBC				東海テレビ		岐阜放送		NHK教育	
							26	26	4	4			6	6			8	8			10	10	28	28	12	12
	静岡	静岡			NHK教育				静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ						NHK総合				静岡放送		テレビ静岡	
					NHK教育				静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ						NHK総合				SBSテレビ		テレビ静岡	
					2	2			31	31			33	33					9	9			11	11	35	35
		浜松			静岡第一テレビ				NHK総合				静岡放送				NHK教育				静岡朝日テレビ				テレビ静岡	
					静岡第一テレビ				NHK総合				SBSテレビ				NHK教育				静岡朝日テレビ				テレビ静岡	
					30	30			4	4			6	6			8	8			28	28			34	34
		三島・沼津			NHK教育		静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ				テレビ静岡				NHK総合				静岡放送			
					NHK教育		静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ				テレビ静岡				NHK総合				SBSテレビ			
					51	51	61	61			57	57			59	59			53	53			55	55		
		島田	NHK総合				NHK教育				静岡放送				静岡第一テレビ						静岡朝日テレビ				テレビ静岡	
			NHK総合				NHK教育				SBSテレビ				静岡第一テレビ						静岡朝日テレビ				テレビ静岡	
			15	15			18	18			22	22			48	48					50	50			58	58
		富士			NHK教育		静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ				テレビ静岡				NHK総合				静岡放送			
					NHK教育		静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ				テレビ静岡				NHK総合				SBSテレビ			
					54	54	27	27			29	29			39	39			52	52			41	41		
		藤枝	NHK総合				NHK教育				静岡放送				静岡第一テレビ						静岡朝日テレビ				テレビ静岡	
			NHK総合				NHK教育				SBSテレビ				静岡第一テレビ						静岡朝日テレビ				テレビ静岡	
			42	42			44	44			40	40			24	24					26	26			38	38
	愛知	名古屋	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			1	1			3	3			5	5	33	33	25	25			9	9	37	37	11	11	35	35
		豊橋	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			56	1			54	3			62	5	33	33	52	25			50	9	37	37	60	11	58	35
		豊田	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			57	1			53	3			55	5	33	33	49	25			51	9	37	37	61	11	59	35
	三重	津	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			1	1			3	3			5	5	33	33	25	25			9	9	37	37	11	11	35	35
		伊勢	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			57	1			53	3			55	5	59	33	25	25			49	9	37	37	61	11	47	35
		名張	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			東海テレビ				NHK総合				CBC		三重テレビ		テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ		中京テレビ	
			62	1			52	3			60	5	58	33	25	25			50	9	37	37	56	11	54	35
近畿	滋賀	大津			NHK総合				毎日放送				朝日放送		京都放送		関西テレビ放送		びわ湖放送		読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合				毎日放送				ABC		KBS京都		関西テレビ		BBCびわ湖放送		読売テレビ				NHK教育	
					28	2			36	4			38	6	34	34	40	8	30	30	42	10			46	12
		彦根			NHK総合				毎日放送				朝日放送				関西テレビ放送		びわ湖放送		読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合				毎日放送				ABC				関西テレビ		BBCびわ湖放送		読売テレビ				NHK教育	
					52	2			54	4			58	6			60	8	56	56	62	10			50	12
	京都	京都			NHK総合		テレビ大阪		毎日放送				朝日放送		京都放送		関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合		テレビ大阪		毎日放送				ABC		KBS京都		関西テレビ				読売テレビ				NHK教育	
					32	2	19	19	4	4			6	6	34	34	8	8			10	10			12	12
		山科			NHK総合				毎日放送				朝日放送		京都放送		関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合				毎日放送				ABC		KBS京都		関西テレビ				読売テレビ				NHK教育	
					52	2			54	4			56	6	62	62	58	8			60	10			50	12
		福知山			NHK総合				毎日放送				朝日放送		京都放送		関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合				毎日放送				ABC		KBS京都		関西テレビ				読売テレビ				NHK教育	
					50	2			54	4			58	6	56	56	60	8			62	10			52	12
		舞鶴			NHK総合				毎日放送				朝日放送		京都放送		関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合				毎日放送				ABC		KBS京都		関西テレビ				読売テレビ				NHK教育	
					51	2			53	4			55	6	57	57	59	8			61	10			49	12
	大阪	※			NHK総合		テレビ大阪		毎日放送		サンテレビジョン		朝日放送		京都放送		関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合		テレビ大阪		毎日放送		サンテレビ		ABC		KBS京都		関西テレビ				読売テレビ				NHK教育	
					2	2	19	19	4	4	36	36	6	6	34	34	8	8			10	10			12	12
	兵庫	神戸			NHK総合				毎日放送		テレビ大阪		朝日放送				関西テレビ放送		サンテレビジョン		読売テレビ放送				NHK教育	
					NHK総合				毎日放送		テレビ大阪		ABC				関西テレビ		サンテレビ		読売テレビ				NHK教育	
					28	28			18	4	19	19	20	6			22	8	36	36	24	10			26	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
			表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*
			CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*
近畿	兵庫	姫路	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		50 / 50		54 / 4		58 / 6		60 / 8	56 / 56	62 / 10		52 / 12
		明石	放送局名		NHK総合		毎日放送	テレビ大阪	朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送	テレビ大阪	ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		51 / 51		53 / 4	19 / 19	57 / 6		59 / 8	55 / 55	61 / 10		49 / 12
		川西	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		29 / 29		35 / 4		37 / 6		39 / 8	33 / 33	41 / 10		31 / 12
		灘	放送局名		NHK総合		毎日放送	テレビ大阪	朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送	テレビ大阪	ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		52 / 52		54 / 4	19 / 19	56 / 6		58 / 8	62 / 62	60 / 10		50 / 12
		長田	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		44 / 44		38 / 4		40 / 6		42 / 8	34 / 34	48 / 10		46 / 12
		北淡・垂水	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		51 / 51		53 / 4		57 / 6		59 / 8	55 / 55	61 / 10		49 / 12
		三木	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ	サンテレビ	読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		44 / 44		34 / 4		38 / 6		40 / 8	36 / 36	42 / 10		46 / 12
	奈良	奈良	放送局名		NHK総合		毎日放送	京都放送	朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送	奈良テレビ放送	NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送	KBS京都	ABC		関西テレビ		読売テレビ	奈良テレビ放送	NHK教育
			CH / 表示2		2 / 2		4 / 4	34 / 34	6 / 6		8 / 8		10 / 10	55 / 55	12 / 12
		生駒	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送	奈良テレビ放送	NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ		読売テレビ	奈良テレビ放送	NHK教育
			CH / 表示2		2 / 2		4 / 4		6 / 6		8 / 8		10 / 10	26 / 55	22 / 12
		五條	放送局名		NHK総合		毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送	奈良テレビ放送	NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送		ABC		関西テレビ		読売テレビ	奈良テレビ放送	NHK教育
			CH / 表示2		43 / 2		33 / 4		35 / 6		37 / 8		39 / 10	41 / 55	45 / 12
	和歌山	和歌山	放送局名		NHK総合		毎日放送	テレビ和歌山	朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送	テレビ和歌山	ABC		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		32 / 2		42 / 4	30 / 30	44 / 6		46 / 8		48 / 10		26 / 12
		海南・田辺	放送局名		NHK総合		毎日放送	テレビ和歌山	朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送	テレビ和歌山	ABC		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		50 / 2		54 / 4	56 / 56	58 / 6		60 / 8		62 / 10		52 / 12
		新宮	放送局名		NHK総合		毎日放送	テレビ和歌山	朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送		NHK教育
			表示1		NHK総合		毎日放送	テレビ和歌山	ABC		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
			CH / 表示2		44 / 2		36 / 4	34 / 34	38 / 6		40 / 8		42 / 10		46 / 12
中国	鳥取	鳥取	放送局名	日本海テレビジョン放送		NHK総合	NHK教育						山陰放送		山陰中央テレビジョン放送
			表示1	日本海テレビ		NHK総合	NHK教育						BSSテレビ		TSK
			CH / 表示2	1 / 1		3 / 3	4 / 4						22 / 22		24 / 24
		米子	放送局名			NHK総合		NHK教育			日本海テレビジョン放送		山陰放送		山陰中央テレビジョン放送
			表示1			NHK総合		NHK教育			日本海テレビ		BSSテレビ		TSK
			CH / 表示2			42 / 42		5 / 5			8 / 8		10 / 10		34 / 34
		倉吉	放送局名	日本海テレビジョン放送		NHK総合	NHK教育				山陰中央テレビジョン放送		山陰放送		
			表示1	日本海テレビ		NHK総合	NHK教育				TSK		BSSテレビ		
			CH / 表示2	1 / 1		3 / 3	4 / 4				58 / 58		56 / 56		
	島根	松江	放送局名	日本海テレビジョン放送					NHK総合		山陰中央テレビジョン放送		山陰放送		NHK教育
			表示1	日本海テレビ					NHK総合		TSK		BSSテレビ		NHK教育
			CH / 表示2	30 / 30					6 / 6		34 / 34		10 / 10		12 / 12
		浜田	放送局名		NHK総合	日本海テレビジョン放送		山陰放送			山陰中央テレビジョン放送	NHK教育			
			表示1		NHK総合	日本海テレビ		BSSテレビ			TSK	NHK教育			
			CH / 表示2		2 / 2	54 / 54		5 / 5			58 / 58	9 / 9			
	岡山	岡山	放送局名			NHK教育		NHK総合	テレビせとうち	瀬戸内海放送		西日本放送		山陽放送	岡山放送
			表示1			NHK教育		NHK総合	テレビせとうち	瀬戸内海放送		西日本放送		RSK	OHK
			CH / 表示2			3 / 3		5 / 5	23 / 23	25 / 25		9 / 9		11 / 11	35 / 35
		津山	放送局名		NHK総合		テレビせとうち		瀬戸内海放送	山陽放送		西日本放送		岡山放送	NHK教育
			表示1		NHK総合		テレビせとうち		瀬戸内海放送	RSK		西日本放送		OHK	NHK教育
			CH / 表示2		2 / 2		56 / 56		62 / 62	7 / 7		58 / 58		60 / 60	12 / 12
		笠岡	放送局名		NHK総合		NHK教育	テレビせとうち	山陽放送			西日本放送	瀬戸内海放送	岡山放送	
			表示1		NHK総合		NHK教育	テレビせとうち	RSK			西日本放送	瀬戸内海放送	OHK	
			CH / 表示2		2 / 2		4 / 4	19 / 19	6 / 6			17 / 17	21 / 21	60 / 60	
	広島	広島	放送局名	テレビ新広島		NHK総合	中国放送			NHK教育		広島ホームテレビ			広島テレビ放送
			表示1	TSS		NHK総合	RCC			NHK教育		広島ホームテレビ			広島テレビ
			CH / 表示2	31 / 31		3 / 3	4 / 4			7 / 7		35 / 35			12 / 12
		福山	放送局名	テレビ新広島		NHK教育		NHK総合		中国放送		広島ホームテレビ		広島テレビ放送	
			表示1	TSS		NHK教育		NHK総合		RCC		広島ホームテレビ		広島テレビ	
			CH / 表示2	54 / 54		3 / 3		5 / 5		7 / 7		57 / 57		11 / 11	
		呉	放送局名	NHK教育		広島ホームテレビ		広島テレビ放送		テレビ新広島		中国放送		NHK総合	
			表示1	NHK教育		広島ホームテレビ		広島テレビ		TSS		RCC		NHK総合	
			CH / 表示2	1 / 1		24 / 24		5 / 5		26 / 26		9 / 9		11 / 11	

初期設定を個別に行うとき つづき

地方名	都道府県名	チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		地域・都市名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名	放送局名
			表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*	表示1*
			CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*	CH / 表示2*
中国	広島	尾道	NHK総合		広島ホームテレビ		テレビ新広島		NHK教育			中国放送		広島テレビ放送
			NHK総合		広島ホームテレビ		TSS		NHK教育			RCC		広島テレビ
			1 / 1		24 / 24		26 / 26		7 / 7			10 / 10		12 / 12
	山口	山口	NHK教育					山口朝日放送	テレビ山口		NHK総合		山口放送	
			NHK教育					YAB山口朝日放送	TYS		NHK総合		KRY山口放送	
			42 / 42					52 / 52	49 / 49		44 / 44		46 / 46	
		下関	NHK教育		ティー・エックス・エヌ九州	山口放送		山口朝日放送	テレビ山口		NHK総合	テレビ西日本		福岡放送
			NHK教育		TVQ	KRY山口放送		YAB山口朝日放送	TYS		NHK総合	TNC		FBS
			41 / 41		23 / 23	4 / 4		21 / 21	33 / 33		39 / 39	10 / 10		35 / 35
		宇部	NHK教育					山口朝日放送	テレビ山口		NHK総合	テレビ西日本	山口放送	
			NHK教育					YAB山口朝日放送	TYS		NHK総合	TNC	KRY山口放送	
			14 / 14					31 / 31	20 / 20		16 / 16	10 / 10	18 / 18	
		岩国	NHK教育					山口朝日放送	テレビ山口		NHK総合		山口放送	
			NHK教育					YAB山口朝日放送	TYS		NHK総合		KRY山口放送	
			1 / 1					28 / 28	22 / 22		9 / 9		11 / 11	
		防府	NHK教育					山口朝日放送	テレビ山口		NHK総合		山口放送	
			NHK教育					YAB山口朝日放送	TYS		NHK総合		KRY山口放送	
			1 / 1					28 / 28	38 / 38		9 / 9		11 / 11	
四国	徳島	徳島	四国放送		NHK総合	毎日放送		朝日放送		関西テレビ放送		読売テレビ放送		NHK教育
			四国放送		NHK総合	毎日放送		ABC		関西テレビ		読売テレビ		NHK教育
			1 / 1		3 / 3	4 / 4		6 / 6		8 / 8		10 / 10		38 / 12
	香川	高松			NHK教育		NHK総合	テレビせとうち	瀬戸内海放送		西日本放送		山陽放送	岡山放送
					NHK教育		NHK総合	テレビせとうち	瀬戸内海放送		西日本放送		RSK	OHK岡山放送
					39 / 39		37 / 37	19 / 19	33 / 33		41 / 41		29 / 29	31 / 31
		丸亀			NHK教育		NHK総合	テレビせとうち	瀬戸内海放送		西日本放送		山陽放送	岡山放送
					NHK教育		NHK総合	テレビせとうち	瀬戸内海放送		西日本放送		RSK	OHK岡山放送
					40 / 40		44 / 44	16 / 16	42 / 42		20 / 20		18 / 18	22 / 22
	愛媛	松山		NHK教育				NHK総合		伊予テレビ	愛媛朝日テレビ	南海放送	広島ホームテレビ	テレビ愛媛
				NHK教育				NHK総合		あいテレビ	EAT	RNB	広島ホームテレビ	テレビ愛媛
				2 / 2				6 / 6		29 / 29	25 / 25	10 / 10	35 / 35	37 / 37
		今治		NHK教育				NHK総合		伊予テレビ	愛媛朝日テレビ	南海放送		テレビ愛媛
				NHK教育				NHK総合		あいテレビ	EAT	RNB		テレビ愛媛
				30 / 30				32 / 32		27 / 27	17 / 17	34 / 34		36 / 36
		新居浜		NHK総合		NHK教育		南海放送	愛媛朝日テレビ	伊予テレビ				テレビ愛媛
				NHK総合		NHK教育		RNB	EAT	あいテレビ				テレビ愛媛
				2 / 2		4 / 4		6 / 6	14 / 14	27 / 27				36 / 36
		宇和島	NHK教育					NHK総合		伊予テレビ	愛媛朝日テレビ	南海放送		テレビ愛媛
			NHK教育					NHK総合		あいテレビ	EAT	RNB		テレビ愛媛
			1 / 1					6 / 6		34 / 34	16 / 16	10 / 10		32 / 32
	高知	高知				NHK総合		NHK教育		高知放送		テレビ高知		高知さんさんテレビ
						NHK総合		NHK教育		RKC		KUTV		さんさんテレビ
						4 / 4		6 / 6		8 / 8		38 / 38		40 / 40
		中村	NHK総合		高知放送			テレビ高知		高知さんさんテレビ			NHK教育	
			NHK総合		RKC			KUTV		さんさんテレビ			NHK教育	
			1 / 1		3 / 3			32 / 32		14 / 14			11 / 11	
九州	福岡	福岡	九州朝日放送		NHK総合	アール・ケー・ビー毎日放送	ティー・エックス・エヌ九州	NHK教育			テレビ西日本			福岡放送
			KBC		NHK総合	RKB	TVQ	NHK教育			TNC			FBS
			1 / 1		3 / 3	4 / 4	19 / 19	6 / 6			9 / 9			37 / 37
		北九州		九州朝日放送	福岡放送		ティー・エックス・エヌ九州	NHK総合		アール・ケー・ビー毎日放送		テレビ西日本		NHK教育
				KBC	FBS		TVQ	NHK総合		RKB		TNC		NHK教育
				2 / 2	35 / 35		23 / 23	6 / 6		8 / 8		10 / 10		12 / 12
		久留米	九州朝日放送		NHK総合	アール・ケー・ビー毎日放送	ティー・エックス・エヌ九州	NHK教育			テレビ西日本			福岡放送
			KBC		NHK総合	RKB	TVQ	NHK教育			TNC			FBS
			57 / 57		46 / 46	48 / 48	14 / 14	54 / 54			60 / 60			52 / 52
		大牟田	九州朝日放送		NHK総合	アール・ケー・ビー毎日放送	ティー・エックス・エヌ九州	NHK教育			テレビ西日本			福岡放送
			KBC		NHK総合	RKB	TVQ	NHK教育			TNC			FBS
			58 / 58		53 / 53	61 / 61	19 / 19	50 / 50			55 / 55			43 / 43
		行橋		九州朝日放送	福岡放送		ティー・エックス・エヌ九州	NHK総合		アール・ケー・ビー毎日放送		テレビ西日本		NHK教育
				KBC	FBS		TVQ	NHK総合		RKB		TNC		NHK教育
				57 / 57	43 / 43		19 / 19	49 / 49		60 / 60		54 / 54		46 / 46
	佐賀	佐賀		NHK教育	福岡放送	サガテレビ	ティー・エックス・エヌ九州	九州朝日放送		アール・ケー・ビー毎日放送	NHK総合	テレビ西日本	熊本放送	
				NHK教育	FBS	サガテレビ	TVQ	KBC		RKB	NHK総合	TNC	RKK	
				40 / 40	52 / 52	36 / 36	14 / 14	57 / 57		48 / 48	38 / 38	60 / 60	11 / 11	
		伊万里	NHK教育		福岡放送	サガテレビ	ティー・エックス・エヌ九州	九州朝日放送		アール・ケー・ビー毎日放送	NHK総合	テレビ西日本	熊本放送	
			NHK教育		FBS	サガテレビ	TVQ	KBC		RKB	NHK総合	TNC	RKK	
			44 / 44		52 / 52	41 / 41	14 / 14	57 / 57		48 / 48	51 / 51	60 / 60	11 / 11	
	長崎	長崎	NHK教育		NHK総合		長崎放送		テレビ長崎		長崎文化放送		長崎国際テレビ	
			NHK教育		NHK総合		NBC		KTN		NCC		長崎国際テレビ	
			1 / 1		3 / 3		5 / 5		37 / 37		27 / 27		25 / 25	
		佐世保		NHK教育				長崎文化放送	テレビ長崎	NHK総合		長崎放送	長崎国際テレビ	
				NHK教育				NCC	KTN	NHK総合		NBC	長崎国際テレビ	
				2 / 2				31 / 31	35 / 35	8 / 8		10 / 10	17 / 17	

地方名	都道府県名	チャンネルポジション	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12	
		地域・都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*		表示1*	
			CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*	CH	表示2*
九州	長崎	諫早	NHK教育				NHK総合				長崎放送				テレビ長崎				長崎文化放送				長崎国際テレビ			
			NHK教育				NHK総合				NBC				KTN				NCC				長崎国際テレビ			
			45	45			47	47			49	49			42	42			24	24			20	20		
	熊本	熊本			NHK教育		熊本朝日放送		熊本県民テレビ				テレビ熊本						NHK総合				熊本放送			
					NHK教育		KAB		KKT				TKU						NHK総合				RKK			
					2	2	16	16	22	22			34	34					9	9			11	11		
		水俣	NHK教育				熊本朝日放送		NHK総合				熊本放送				熊本県民テレビ				テレビ熊本					
			NHK教育				KAB		NHK総合				RKK				KKT				TKU					
			1	1			32	32	4	4			6	6			36	36			38	38				
	大分	大分					NHK総合				大分放送		大分朝日放送		テレビ大分										NHK教育	
							NHK総合				OBS		OAB大分朝日放送		TOS										NHK教育	
							3	3			5	5	24	24	36	36									12	12
		中津					NHK総合				大分放送		大分朝日放送		テレビ大分										NHK教育	
							NHK総合				OBS		OAB大分朝日放送		TOS										NHK教育	
							48	48			51	51	17	17	37	37									45	45
		佐伯	NHK教育								テレビ大分		大分朝日放送		NHK総合				大分放送							
			NHK教育								TOS		OAB大分朝日放送		NHK総合				OBS							
			1	1							49	49	31	31	7	7			9	9						
	宮崎	宮崎					テレビ宮崎										NHK総合				宮崎放送				NHK教育	
							UMK										NHK総合				MRT				NHK教育	
							35	35									8	8			10	10			12	12
		延岡			NHK教育				NHK総合				宮崎放送				テレビ宮崎									
					NHK教育				NHK総合				MRT				UMK									
					2	2			4	4			6	6			39	39								
	鹿児島	鹿児島	南日本放送				NHK総合				NHK教育				鹿児島放送				鹿児島テレビ放送				鹿児島読売テレビ			
			MBC				NHK総合				NHK教育				KKB鹿児島放送				KTS				KYT			
			1	1			3	3			5	5			32	32			38	38			30	30		
		鹿屋			NHK教育				NHK総合				南日本放送				鹿児島放送				鹿児島テレビ放送				鹿児島読売テレビ	
					NHK教育				NHK総合				MBC				KKB鹿児島放送				KTS				KYT	
					2	2			4	4			6	6			31	31			33	33			25	25
		阿久根							鹿児島放送				鹿児島テレビ放送				NHK総合				南日本放送		鹿児島読売テレビ		NHK教育	
									KKB鹿児島放送				KTS				NHK総合				MBC		KYT		NHK教育	
									23	23			35	35			8	8			10	10	17	17	12	12
	沖縄	那覇			NHK総合								琉球朝日放送				沖縄テレビ放送				琉球放送				NHK教育	
					NHK総合								QAB				OTV				RBC				NHK教育	
					2	2							28	28			8	8			10	10			12	12

設置／最初の設定

初期設定を個別に行うとき つづき

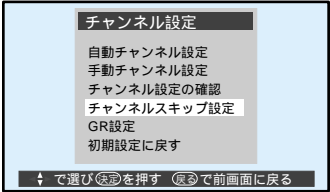
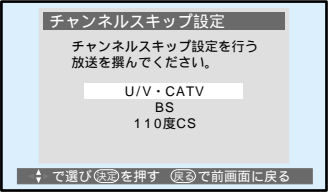
チャンネル設定 つづき

チャンネルスキップ設定

- チャンネルボタン∧·∨で選局するときに不要なチャンネルを飛び越し選局できます。
- CATVチャンネルはお買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、「受信」を設定してください。

1 **168ページの手順1、2を行い、「チャンネル設定」画面にする**

2 **カーソルボタン▲·▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す**

- 「チャンネルスキップ設定」画面が表示されます。

3 **カーソルボタン▲·▼でスキップ設定を変更したい放送を選び、決定ボタンを押す**

4 **下記を行う**

手順3で「U/V·CATV」を選んだ場合

- **カーソルボタン▲·▼でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ**

U/V・CATVチャンネルスキップ設定

リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1		受信
2	2		スキップ
3	3		受信
4	4		受信
5	5		受信
6	6		受信

で選び 決定で設定/解除 戻るで前画面に戻る

手順3で「BS」または「110度CS」を選んだ場合

- **カーソルボタン▲·▼でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ**

BSチャンネルスキップ設定 テレビ

チャンネル	放送局	スキップ
BS101	NHK BS1	受信
BS102	NHK BS2	受信
BS103	NHK h	受信
BS141	BS日テレ	受信
BS142	BS日テレ	受信
BS143	BS日テレ	受信

メディアで選び 決定で設定/解除 戻るで前画面に戻る

（例）放送メディアが「テレビ」の場合

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ･放送メディアの詳細については、28ページをご覧ください。

5 **決定ボタンを押す**

- 決定ボタンを押すごとに、「受信」←→「スキップ」と交互に切り換わります。

いくつものチャンネルについて設定するときは、手順4、5を繰り返す

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

	リモコン	チャンネル
①	1～12	各ボタンに割り当てられたチャンネル
②	チャンネル∧·∨専用	C13～C38
③	BSまたは110度CSデジタル放送	放送チャンネル

スキップ設定できるのは次のとおりです。

地上放送の場合：①に割り当てられた地上放送チャンネルのみ
CATVの場合：①に割り当てられたCATVチャンネルとその設定済みチャンネル以外の②のチャンネル
BSまたは110度CSデジタル放送の場合：受信可能なチャンネル

- チャンネルスキップ設定は本体ボタンとリモコンボタンのどちらでもできます。下の表をご覧ください。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	チャンネル ∧·∨
カーソル ◀·▶	音量 ＋·－
決定	入力/放送切換
戻る	チャンネル設定

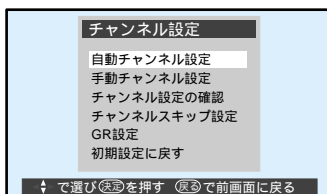
- 「自動チャンネル設定」を行った場合のチャンネルスキップ設定の状態は下記のとおりです。

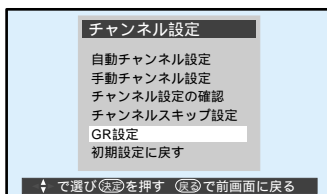
放送	スキップ設定の状態
地上放送	•1～12ボタンはチャンネルが割り当てられているボタン「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定
CATV	「自動チャンネル設定」する前の状態
BSまたは110度CSデジタル放送	「自動チャンネル設定」する前の状態

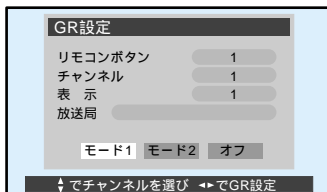
- ハイビジョン放送のような1つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル（一番小さい番号のチャンネル）をスキップ設定するとその次のチャンネルで選局されます。
- 地上放送/CATVの場合は、「手動チャンネル設定」を行ったチャンネルは、チャンネルスキップ設定が自動的に「受信」に設定されます。

GR(ゴーストリダクション)設定

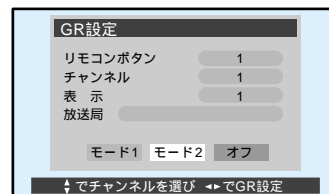
- テレビ受信時にゴースト(2重、3重の映像)があるとき、GR(ゴーストリダクション)設定を「モード1」または「モード2」に設定すると、ゴーストの軽減された映像でご覧になれます。
- GR機能は「ゴースト除去基準信号(GCR信号)」が含まれた放送チャンネルを受信したときにはたらきます。(BSまたは110度CSデジタル放送や外部入力時には、はたらきません。)
- お買い上げ時はすべてのチャンネルが「モード1」に設定されています。

1 **168ページの手順1、2を行い、「チャンネル設定」画面にする**

2 **カーソル▲・▼ボタンで「GR設定」を選び、決定ボタンを押す**

- 「GR設定」画面が表示されます。

3 **カーソル▲・▼ボタンでGR設定したいチャンネルを選ぶ**

例:チャンネル1にGR設定を行う

4 **カーソル◀・▶ボタンで「モード1」「モード2」または「オフ」を選ぶ**

例:モード2を選ぶ

※BSまたは110度CSデジタルチャンネルのGR設定はできません

いくつものチャンネルをGR設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

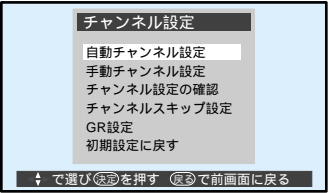
- 自動チャンネル設定を行うと、ダイレクト選局ボタン(1〜12)については「モード1」に設定されます。
- 「モード1」または「モード2」に設定した時および、設定してあるチャンネルを選局したとき、数秒してから働き、時間がたつにつれて徐々に軽減します。
- 電波が弱い場合など、ゴースト軽減中に新たなゴーストがつく場合がありますが徐々に軽減します。このような場合は「モード2」をおすすめします。
- 「モード2」は「モード1」に比べて、ゴースト軽減を開始するまでの時間がかかりますが、開始後に新たなゴーストが見える場合が少なくなります。
- 次の場合はGR設定を「オフ」でご使用ください。
  - ゴーストが軽減できなく見づらい場合(過大なゴーストや多数のゴーストがあるとき、電波が弱いとき、飛行機など動くものによるゴーストのときなど)
  - アンテナの設定・調整が適切でないとき(室内アンテナなど)
  - アンテナの設置・調整時
- 「ゴースト除去基準信号(GCR信号)」が含まれていない放送を受信しているときは、効果が得られません。
- GR設定は本体ボタンとリモコンボタンのどちらでもできます。詳しくは前ページの「お知らせ」の表をご覧ください。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

チャンネル設定の確認のしかた

● リモコンのチャンネルダイレクトボタン(1～12、DS1～DS10)に設定された内容を一覧で見ることができます。

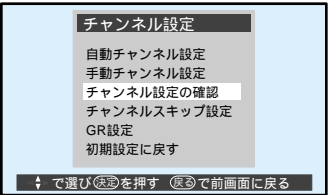
1 **168ページの手順1、2を行い、「チャンネル設定」画面にする**

2 **カーソル▲·▼ボタンで「チャンネル設定の確認」を選び、決定ボタンを押す**

● 「チャンネル設定の確認」画面が表示されます。

チャンネル設定
自動チャンネル設定
手動チャンネル設定
チャンネル設定の確認
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 **カーソル▲·▼ボタンで画面表示をページ切換させて、設定内容を確認する**

チャンネル設定の確認

リモコン	チャンネル	表示	放送局
DS1	BS101	BS101	NHK BS1
DS2	BS102	BS102	NHK BS2
DS3	BS103	BS103	NHK h
DS4	BSテレビ	―――	BS日テレ
DS5	BSテレビ	―――	ビーエス朝日

でページ切換 決定で前画面に戻る

4 **決定ボタンを押す**

● 手順2の画面に戻ります。

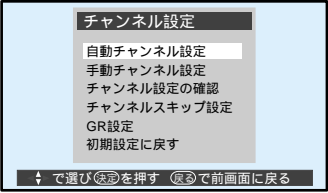
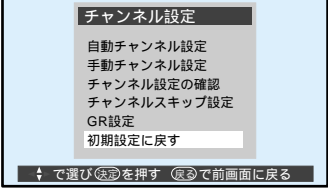
5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

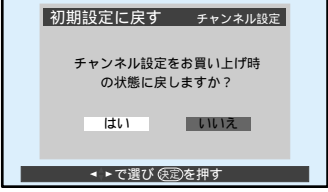
● 正しく設定されていないときは、168ページの「手動チャンネル設定」で設定してください。
● チャンネル設定の確認は、本体ボタンとリモコンボタンのどちらでもできます。（下の表を参照してください。）

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	チャンネル ∧·∨
決定	入力/放送切換
戻る	チャンネル設定

チャンネル設定を最初の状態に戻す

● 買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 **168ページの手順1、2を行い、「チャンネル設定」画面にする**

2 **カーソル▲·▼ボタンで「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソル◀·▶ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● チャンネル設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
● リモコンボタン1のVHF1チャンネルが表示されます。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■お買い上げ時のチャンネル設定の状態

地上放送

リモコンのボタン	チャンネル	スキップ設定	GR設定
1～12	VHF1～12	受信	モード1

BSデジタル放送

リモコンのボタン		放送局	チャンネル
(DS1)	NHK1	NHK BS1	101
(DS2)	NHK2	NHK BS2	102
(DS3)	NHKh	NHKハイビジョン	103
(DS4)	BS日テレ	BS日テレ	BSテレビ
(DS5)	BS朝日	BS朝日	BSテレビ
(DS6)	BS-i	BS-i	BSテレビ
(DS7)	BSJ	BSジャパン	BSテレビ
(DS8)	BSフジ	BSフジ	BSテレビ
(DS9)	WOWOW	WOWOW	BSテレビ
(DS10)	スターチャンネル	スターチャンネル	BSテレビ

※110度CSデジタル放送はリモコンボタンにチャンネル設定されていません。

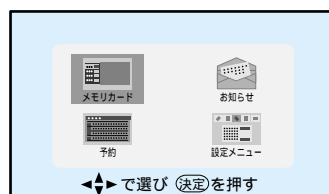
BS・110度CS受信設定

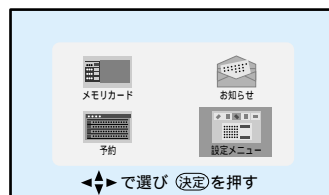
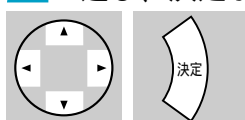
● アンテナ電源供給とアンテナレベルの設定は154～157ページをご覧ください。

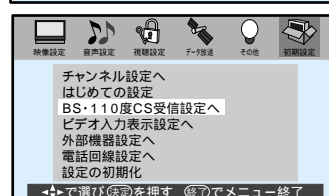
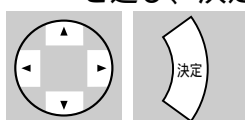
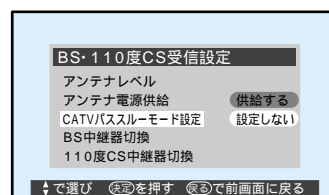
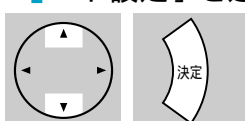
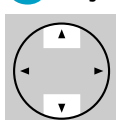
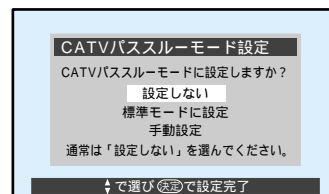
CATVパススルーモード設定

● ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行われている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。
その場合は、下記の操作でCATVパススルーモード設定を行うことが必要です。
● この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
※110度CSデジタル放送については対応していません。

1 メニューボタンを押す

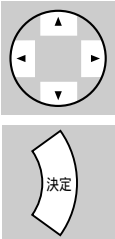
● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◀・▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲・▼で「BS・110度CS受信設定へ」を選び、決定ボタンを押す

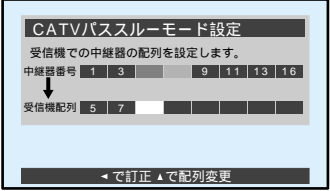
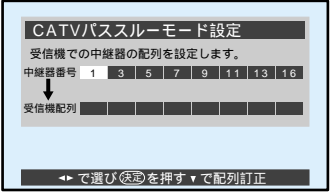
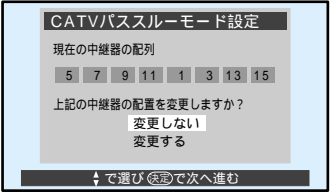
● 「BS・110度CS受信設定」画面になります。

4 カーソルボタン▲・▼で「CATV パススルーモード設定」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲・▼で設定する状態を選び、決定ボタンを押す

● 右下表によって、設定内容を選んでください。
● 「設定しない」または「標準モードに設定」を選んだ場合はその状態に設定され、「BS・110度CS受信設定」画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
● 「手動設定」を選んだ場合は、手順**6**に進んでください。
● CATVパススルーモード方式で受信しない場合は「設定しない」を選んでください。

選択項目	内　容
設定しない	CATVパススルーモードを設定しない場合
標準モードに設定	ケーブルテレビでの標準的なCATVパススルー方式
手動設定	伝送するBS-IFチャンネルとその並びを指定する場合

BS・110度CS受信設定 つづき

CATVパススルーモード設定 つづき

6 ［「手動設定」を選んだ場合には ］
下記の操作で設定する

①現在設定されている状態を画面表示で確認し、このままで良い場合は「変更しない」を、設定を変える場合は「変更する」をカーソルボタン▲·▼で選び、決定ボタンを押す

- 「変更しない」を選んだ場合は「BS・110度CS受信設定」画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「変更する」を選んだ場合は、手順②に進んでください。

②カーソルボタン◀·▶で設定する中継器を選び決定ボタンを押す

- 中継器は、設定欄の選んだ中継器の番号が受信機の配列の左から順次設定されます。
- 訂正する場合は、カーソルボタン▼を押し、カーソルボタン◀を押すと一つずつ左に戻ります。訂正したらカーソルボタン▲を押してください。
- すべての設定欄に登録されると、前ページの手順4の画面に戻ります。

項 目	BS-IF							
中心周波数（MHz）	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
CATVパススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

BS中継器切換/110度CS中継器切換

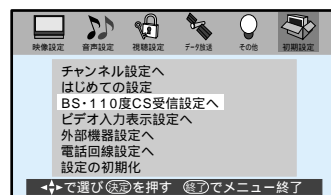
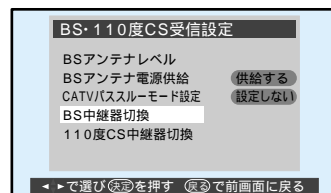
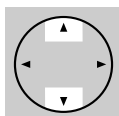
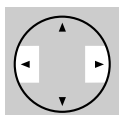
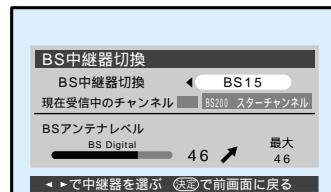
- 通常は切換の必要はありません。
- 衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できなくなってしまう場合があります。その際は、下記の操作で他の中継器に切り換えることによって、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。
- 衛星の中継機が故障した場合以外にも、外部機器からの電波の干渉などによって、一部の中継機が受信できない場合も同様に設定します。

1 下記の操作で「BS・110度CS受信設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「BS・110度CS受信設定へ」を選び、決定ボタンを押す

映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定
チャンネル設定へ
はじめての設定
BS・110度CS受信設定へ
ビデオ入力表示設定へ
外部機器設定へ
電話回線設定へ
設定の初期化
で選び 決定を押す 終了でメニュー終了

2 カーソルボタン▲·▼で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定ボタンを押す

BS・110度CS受信設定
BSアンテナレベル
BSアンテナ電源供給 供給する
CATVパススルーモード設定 設定しない
BS中継器切換
110度CS中継器切換
◄ ►で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 カーソルボタン◄·►で中継器を切り換える

- 選択できる中継器は、「BS1,BS3,BS5,BS7,BS9,BS11,BS13,BS15」です。
- 選択できる110度CS中継器は、「ND2、ND4、ND6、ND8、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND24」です。

(例)BS中継器の場合

4 放送が受信できたことを確認したら、決定ボタンを押す

- 手順2の画面に戻ります。

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

外部機器設定

i.LINK設定

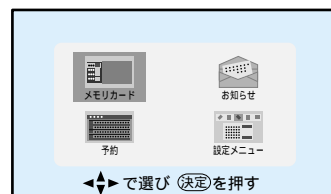
- i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続した場合は、必要に応じて下記の設定を行ってください。

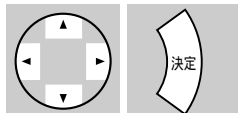
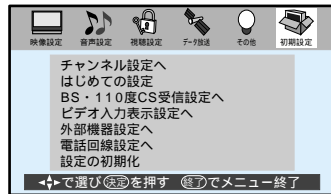
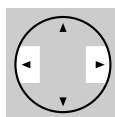
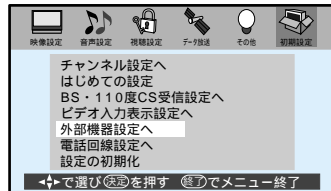
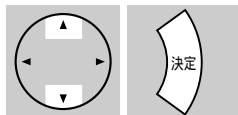
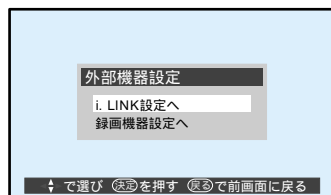
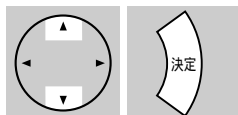
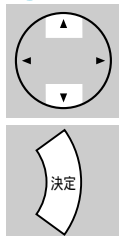
■ i.LINK 機器の登録

- 通常は、本機にi.LINK機器が接続されると自動的に機器登録されますので、この手動操作での登録をする必要はありません。
- 次の場合に、下記の操作で登録を行ってください。
  - 「登録モード設定」(→189ページ)を「手動」に設定している場合で、新たなi.LINK機器を登録する場合
  - 16台以上のi.LINK機器を接続している場合
- 登録できるのは、最大15台までです。
- 本機に登録できるのはD-VHSビデオ、BSまたは110度CSデジタルチューナーなどです。
  上記以外の機器は登録できない場合があります。

はじめに 登録したい機器を i.LINK 接続する（→ 136 ページ）

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼で「i.LINK 設定へ」を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタン▲·▼で「i.LINK機器の登録」を選び、決定ボタンを押す

- 未登録の機器がある場合は、右のメッセージが表示されます。
  このメッセージが表示されない場合は新たに登録できる機器がありません。登録を変更する場合は、「i.LINK機器の削除」（187ページ）で削除してから、登録操作を行ってください。

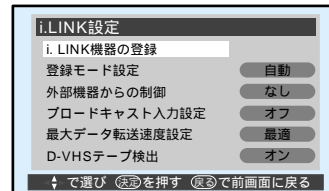
i.LINK設定

i. LINK機器の登録	
登録モード設定	自動
外部機器からの制御	なし
ブロードキャスト入力設定	オフ
最大データ転送速度設定	最適
D-VHSテープ検出	オン

↕ で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	録画機器	接続状態
i.1						
i.2						
i.3						
i.4						
i.5						
i.6						
i.7						

↕ で選び 決定を押す ● 未登録一覧

未登録機器がある場合に表示されます

7 青ボタンを押す

- 未登録機器のリストが表示されます。

i.LINK機器の登録　未登録機器一覧

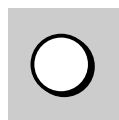
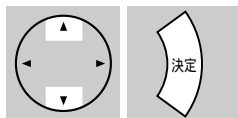
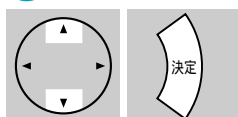
種別	メーカー	型名
D-VHS	▲▲▲	*******
D-VHS	▲▲▲	*******

↕ で登録する機器を選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

8 カーソルボタン▲·▼で登録したい機器を選び、決定ボタンを押す

i.LINK機器の登録　未登録機器一覧

種別	メーカー	型名
D-VHS	▲▲▲	*******
D-VHS	▲▲▲	*******

↕ で登録する機器を選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

9 カーソルボタン▲·▼で登録場所を選び、決定ボタンを押す

- すでに登録されている場所を選んだ場合は、確認のメッセージが表示されます。
  そのまま登録する場合は「変更する」を選んで決定ボタンを押してください。

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	録画機器	接続状態
i.1						
i.2						
i.3						
i.4						
i.5						
i.6						
i.7						

↕ で登録する場所を選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

続けて登録を行う場合は、手順 7 ～ 9 を繰り返す

10 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

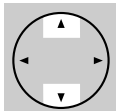
i.LINK設定 つづき

■ビデオ 1 接続設定

- この設定はi.LINK接続した機器からのアナログ信号をテレビのビデオ入力1端子に入力して見るための設定です。
- この設定をした機器の操作方法は138ページの「本機からi.LINK接続された機器を操作する」をご覧ください。
- 設定できる機器はi.LINK機器1台だけです。

1 **184～185 ページの手順 1～6 を行う**

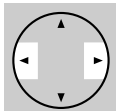
- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

2 **カーソルボタン▲·▼で登録したい機器を選び、決定ボタンを押す**

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	録画機器	接続状態
i.1	D-VHS	▲▲▲	＊＊＊		設定済み	接続
i.2	チューナー	▲▲▲	＊＊＊	設定済み		接続
i.3						
i.4						
i.5						
i.6						
i.7						

▲▼で選び 決定を押す

3 **カーソルボタン▲·▼で「ビデオ 1 接続」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン◀·▶で「設定する」を選び、決定ボタンを押す**

- 選ばれた機器がビデオ1設定されている場合は解除をする/しないの選択画面になります。ビデオ1設定を解除する場合は、カーソルボタン◀·▶で「解除する」を選び決定ボタンを押してください。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

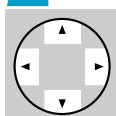
■i.LINK機器を削除するには

- i.LINK接続をはずして使用しなくなった機器を、登録リストから削除することができます。
- 左下の「お知らせ」もご覧ください。
- 個別に削除する方法とまとめて削除する方法があります。

1 **184～185ページの手順1～6を行う**

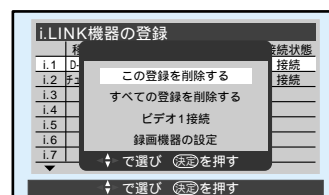
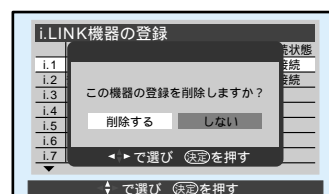
- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

2 **下記の操作で削除する**

終了

個別に削除する場合

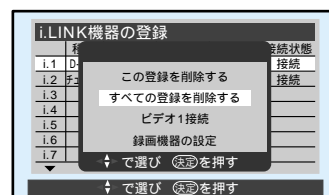
①カーソルボタン▲·▼で削除したい機器を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「この登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す

③カーソルボタン◄·►で「削除する」を選び、決定ボタンを押す

i.LINK機器の登録
この機器の登録を削除しますか？
削除する　しない
で選び 決定を押す

続けて他の機器を削除する場合は、手順①～③を繰り返す

④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

すべての機器をまとめて削除する場合

①カーソルボタン▲·▼で登録されている機器のどれかを選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「すべての登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す

③カーソルボタン◄·►で「削除する」を選び、決定ボタンを押す

④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

お知らせ

■i.LINK機器を接続したままの状態で、本機の登録リストから削除したい場合

- 「登録モード設定」（→189ページ）を「手動」でご使用の場合に削除ができます。
- 「自動」に設定されている場合は、削除の操作をしてもう一度自動的に登録される場合があります。

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

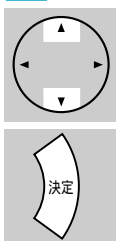
i.LINK設定 つづき

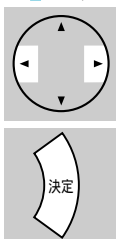
■録画用機器の設定

- デジタルで録画予約や一発録画をする際に使用するD-VHSビデオの設定を行います。
- i.LINK接続されているD-VHSビデオが１台の場合は、この設定は不要です。
（ i.LINK接続した際に自動的に登録されます。）

1 **184～185 ページの手順 1～6 を行う**

- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

2 **カーソルボタン▲·▼でデジタル録画に使用するD-VHS ビデオを選び、決定ボタンを押す**

設定されているD-VHSビデオには「設定済み」が表示されます。

3 **カーソルボタン▲·▼で「録画機器の設定」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン◄·►で「設定する」を選び、決定ボタンを押す**

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 設定できるのは１台だけです。
- 新たに設定すると、前に設定されていたビデオは登録が取り消されます。
- 録画予約が設定されている場合は、設定を変更できません。

■その他のi.LINK設定（登録モード、外部機器からの制御、ブロードキャスト入力、最大データ転送速度、D-VHSテープ検出の設定）

● お買い上げ時は、基本的な状態に設定されています。設定を変える場合は、下記の操作で行ってください。

1 184ページの手順 1 ～ 5 までを行う

● i.LINK設定画面が表示されます。

2 下記の操作によって、設定を行う

i.LINK設定
i. LINK機器の登録
登録モード設定　自動
外部機器からの制御　なし
ブロードキャスト入力設定　オフ
最大データ転送速度設定　最適
D-VHSテープ検出　オン
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

1.登録モード設定（自動/手動）

※通常はこの設定は不要です。

● i.LINK機器の登録を自動で行うか、手動操作だけで登録させるかの設定をします。
お買い上げ時は「自動」に設定されており、通常はこのままでご使用いただけます。

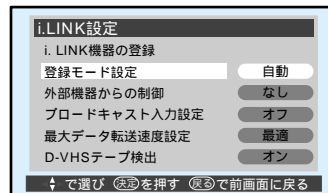
● i.LINK接続している機器の一部だけを登録したい場合や、自動登録の動作が安定しない場合は、下記の操作で「手動」にしてください。

設定のしかた

①カーソルボタン▲·▼で「登録モード設定」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「自動」または「手動」を選び、決定ボタンを押す

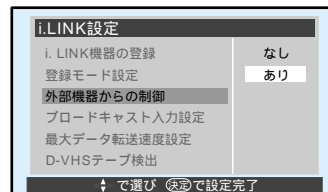
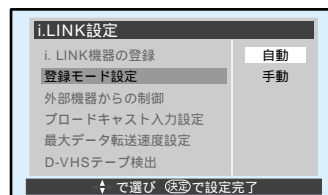
・「自動」…i.LINK機器が本機に接続されると、自動的に機器が登録されます。

・「手動」…自動登録しないで、手動だけで登録を行うモードです。「手動」にした場合は、「i.LINK機器の登録」（→184ページ）で登録を行ってください。

2.外部機器からの制御（なし／あり）

●「あり」にすると、i.LINK接続されている他の機器から制御されるようになります。（142ページの「他機から本機をi.LINK制御する際のご注意」をご覧ください。）
お買い上げ時は、「なし」に設定されています。

設定のしかた

①カーソルボタン▲·▼で「外部機器からの制御」を選び、決定ボタンを押す

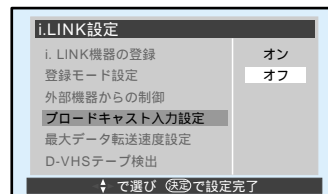
②カーソルボタン▲·▼で「あり」または「なし」を選び、決定ボタンを押す

3.ブロードキャスト入力設定（オン／オフ）

● ブロードキャストとは、i.LINK接続されている複数の機器に同時に信号を送り、それぞれの機器で同時にその信号を受けるようにした機能のことです。

● 本機では、ブロードキャスト入力を「オン」にすることで、他機器からのブロードキャストを受けることができます。お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。（操作方法は、→138ページ）

設定のしかた

①カーソルボタン▲·▼で「ブロードキャスト入力設定」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

● 接続される機器によっては、本機で「ブロードキャスト入力設定」を「オン」に設定しても、ブロードキャストをご覧になれない場合があります。

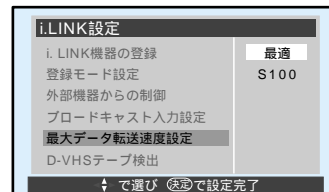
外部機器の設定 つづき

i.LINK設定 つづき

4.最大データ転送速度設定(最適/S100)

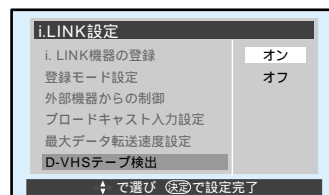
- お買い上げ時は「最適」に設定されています。(通常はこの状態でご使用ください。)
転送速度が100Mbpsのケーブルや機器を使用する場合は、「S100」に設定してください。

設定のしかた

①カーソルボタン▲·▼で「最大データ転送速度設定」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼で「最適」または「S100」を選び、決定ボタンを押す

5.D-VHSテープ検出(オン/オフ)

- 録画予約や一発録画をデジタル録画で行う際、D-VHSテープが入っているかを自動検出する機能です。お買い上げ時は「オン」に設定されています。

設定のしかた

①カーソルボタン▲·▼で「D-VHSテープ検出」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す
「オン」…自動検出を行います。(自動検出の判定は、本機ではなくD-VHSビデオが行います。)
デジタル録画予約や一発録画(デジタル録画の場合)で、実行時にD-VHSテープが入っていない場合は録画を実行しません。(その場合、デジタル録画予約のときには、「テレビに関するお知らせ」を発行します。)
「オフ」…チューナー側では自動検出を行いません。

- D-VHSテープを入れても、D-VHSテープが入っていないというメッセージが表示される場合はこの機能を「オフ」に設定してください。これは、D-VHSビデオにD-VHSテープの自動検出機能がないためです。チューナーの故障ではありません。

3 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 上記で設定した内容は、次にi.LINKモードにしたときから反映されます。

録画機器の設定

■録画機器機種設定

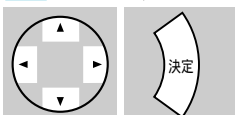
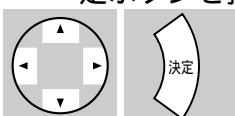
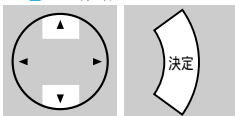
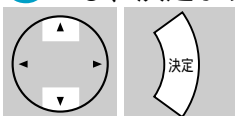
- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、録画機器への録画予約、一発録画を行う場合、あらかじめ、この設定をしておくことが必要です。
- この設定が終了したあとは、必ず「録画機器連動動作の確認」(→193ページ)を行ってください。(手順7または手順8で「該当なし」に設定した場合は不要です。)
  「録画機器連動動作の確認」で正しく動作しない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、外部録画をすることはできません。
- 手順8〜11の操作はチューナー前面のボタンで行ってください。
- お買い上げ時の録画機器機種設定は「東芝1」に設定されています。

はじめに 付属のビデオコントロールケーブルを正しく接続、設置する(→135ページ)

1 メニューボタンを押す

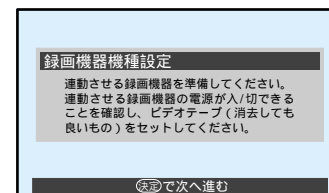
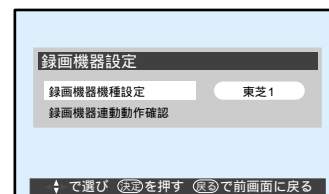
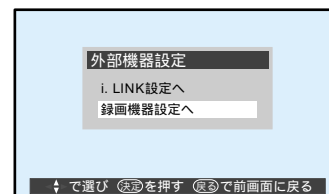
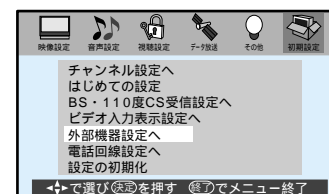
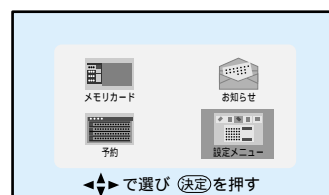
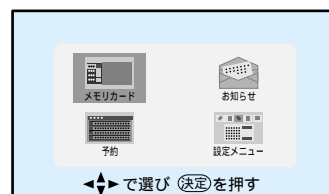
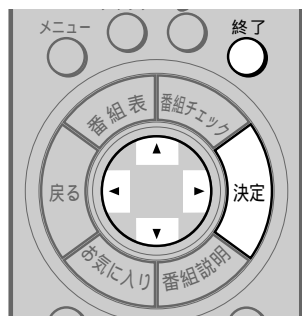
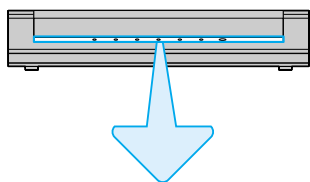
- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「外部機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「録画機器設定へ」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼で「録画機器機種設定」を選び、決定ボタンを押す

6 画面の説明に従って、連動させる録画機器の準備をする

①録画機器の電源が、録画機器のリモコンで入/切(待機)できることを確認する
②ビデオテープ(消去して良いもの)を録画機器に入れる
③以上が終ったら、決定ボタンを押す

[次のページにつづく]

設置/最初の設定

初期設定を個別に行うとき つづき

【チューナー】

【チューナー前面】

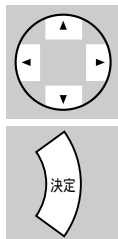
お知らせ

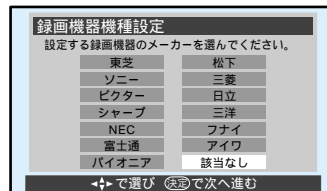
- 前面の入力/放送切換ボタンとリモコンの決定ボタン、音量+･－ボタンとカーソルボタン◀･▶は同じ動作をします
- 次の①および②の動作がしないビデオは、付属のビデオコントローラを使って録画できません。
  ①右記の手順**8**の操作で「ビデオの電源が入⇔切(待機)」の動作をしない
  ②右記の手順**11**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない
- ビデオによっては「ビデオ1」「ビデオ2」などのように、ビデオ側でリモコンの信号形式を選べるものがあります。お使いのビデオ付属の取扱説明書でご確認ください。それらの数字(「ビデオ1」など)と手順**8**の画面の数字（東芝1、東芝2など）とは関連ありません。
- 「該当なし」を選んだ場合は、前にビデオの機種を設定していた場合も、その設定内容は削除されます。

外部機器の設定 つづき

■録画機器機種設定 つづき

7 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で接続する録画機器のメーカーを選び、決定ボタンを押す

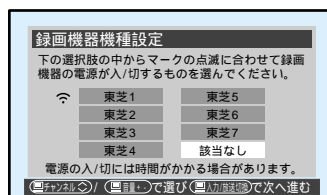
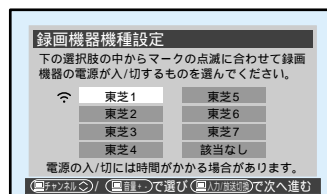
録画機器機種設定
設定する録画機器のメーカーを選んでください。
東芝 / 松下 / ソニー / 三菱 / ビクター / 日立 / シャープ / 三洋 / NEC / フナイ / 富士通 / アイワ / パイオニア / 該当なし
◀▲▼▶で選び 決定で次へ進む

該当するメーカーがない場合

- この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。
- 「該当なし」を選んだ場合は、録画予約および一発録画で録画機器を連動することができません。録画予約、一発録画のときは、録画機器側で録画の設定を行ってください。
- 決定ボタンを押すと手順**5**に戻ります。

8 チューナーのチャンネル∧･∨ボタンまたは音量+･－ボタンでリモコンの信号形式を選ぶ

○∨チャンネル∧○

- 録画機器の電源が入⇔切(待機)となる信号形式を選びます。
- **選んだ信号形式によっては電源入から切(待機)までしばらく時間がかかる場合があります。**
  (信号形式によっては1分ほどかかる場合もあります)

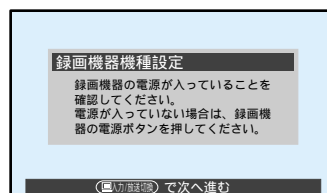
録画機器の電源が入⇔切(待機)となるものがない場合

- この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、一発録画をすることはできません。録画予約、一発録画のときは、録画機器側で録画の設定を行ってください。
- 「該当なし」を選んで入力/放送切換ボタンを押すとメッセージ画面になります。
- 入力/放送切換ボタンを押すと手順**5**に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。

9 入力 / 放送切換ボタンを押す

10 録画機器の電源が「入」であることを確認してから、入力 / 放送切換ボタンを押す

○入力/放送切換

録画機器機種設定
録画機器の電源が入っていることを確認してください。
電源が入っていない場合は、録画機器の電源ボタンを押してください。
入力/放送切換 で次へ進む

- 録画機器の電源が切(待機)のときには、録画機器の電源ボタンを押して電源を入れてから、入力/放送切換ボタンを押してください。

11 録画機器が数秒の間隔で録画⇔停止を繰り返しているか確認し、下記の操作を行う

○－ 音量 +○

○入力/放送切換

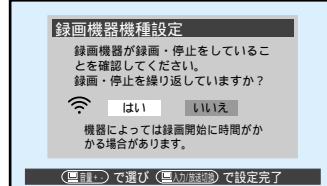
録画機器機種設定
録画機器が録画・停止をしていることを確認してください。
録画・停止を繰り返していますか？
はい いいえ
機器によっては録画開始に時間がかかる場合があります。
音量+－ で選び 入力/放送切換 で設定完了

- **選んだ信号形式によっては録画⇔停止でしばらく時間がかかる場合があります。**
  (信号形式によっては1分ほどかかる場合もあります)

録画機器が録画⇔停止を繰り返している場合

- **音量+･－ボタンで「はい」を選び、入力/放送切換ボタンを押す**
  - 「録画機器の設定が完了しました。」のメッセージが表示されます。その後、手順**5**の画面に戻ります。手順**12**に進んでください。

録画機器が録画⇔停止を繰り返していない場合

- 現在選んでいる信号形式では、録画機器の録画や停止を行うことができません。下記の操作により、別の信号形式を選んでください。
  - **音量+･－ボタンで「いいえ」を選び、入力/放送切換ボタンを押す**
    - 手順**8**の画面に戻ります。別の信号形式を選んで、手順**8**以降の操作をもう一度行ってください。
    - どの信号形式でも、録画機器が録画⇔停止を繰り返さない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。終了ボタンを押して、設定を中止してください。

12 「録画機器連動動作の確認」（次ページ）を行う
（手順 7 または手順 8 で「該当なし」を選んだ場合は不要です）

【チューナー】

【チューナー前面】

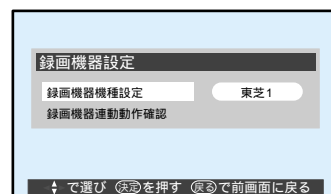
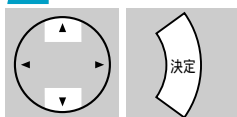
■録画機器連動動作の確認

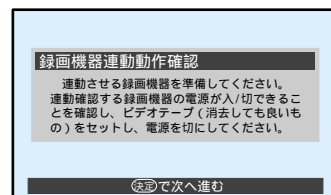
- ビデオコントロールケーブルによって録画機器が正しくコントロールされているか、確認することができます。
- 「録画機器機種設定」で「該当なし」に設定した場合は、録画機器の連動動作の確認はできません。

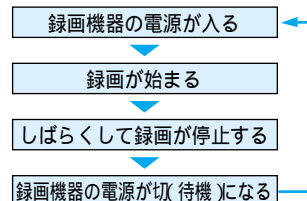
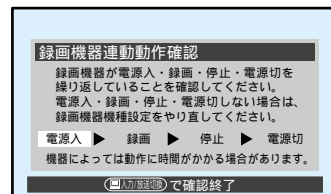
はじめに

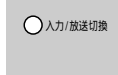
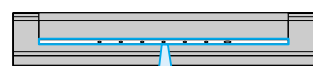
- 付属のビデオコントロールケーブルが正しく接続、設置されていること（→135ページ）
- 「録画機器機種設定」（→191ページ）が完了していること

1 「録画機器設定」の画面を表示させる

- 191ページの「録画機器機種設定」の手順1～4の操作を行い「録画機器設定」の画面にします。

2 カーソルボタン▲・▼で「録画機器連動動作確認」を選び、決定ボタンを押す

3 連動させる機器の準備をする

- 右の画面のメッセージが表示されます。
- 下記のように準備をしてください。
  ①ビデオテープ（消去してもよいもの）を録画機器に入れる
  ②録画機器の電源を切（待機）にする

4 決定ボタンを押す

- ビデオコントロールケーブルからリモコン信号が送信され、録画機器が自動的に動作を開始します。
- 画面の表示に従って、右下の図のとおり動作することを確認してください。
  録画機器によっては、右下の図のそれぞれの動作に1分ほど時間がかかる場合があります。
- 録画機器が右下の図のとおり正常に動作しない場合は、「付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた」（→135ページ）、「録画機器機種設定」を再度確認してください。

5 録画機器が動作していることを確認したら、入力 / 放送切換ボタンを押す

- 手順1の画面に戻ります。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 前面の入力/放送切換ボタンとリモコンの決定ボタンは同じ動作をします。

初期設定を個別に行うとき つづき

電話回線の設定

- デジタル放送では、電話回線を利用したサービスが行われています。それらのサービスを受けるには、電話回線の設定が必要です。
- **ダイヤル方式および外線発信番号については「はじめての設定」(→163ページ)がお済みの場合は、ここで設定の必要はありません。**

■電話回線設定のしかた

- 設定項目は下記のとおりです。

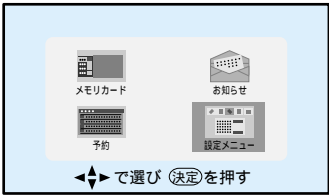
外線発信番号

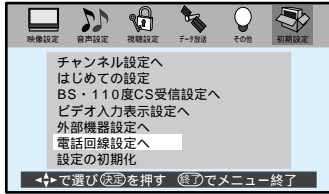
設定項目	内　容	ページ
ダイヤル方式の設定	ダイヤル方式を設定します。	194
外線発信番号の設定	外線発信時に、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合に設定します。	194
電話会社の設定	電話の発信をする際に使用する電話会社を設定します。	195
電話番号通知設定	本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者（センター）に通知するかどうかを設定できます。	196
電話回線テスト	電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。	197
ダイヤル待ち時間の設定	各種付加番号のうしろに待機時間が必要な場合に設定します。	198

ダイヤル方式の設定

- お買い上げ時は「トーン」に設定されています。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 「設定メニュー」が表示されます。

2 **カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定へ」を選び、決定ボタンを押す**

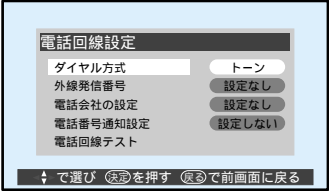
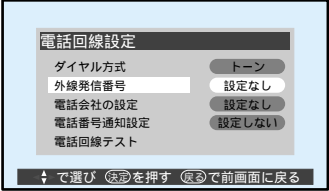
- 電話回線設定画面になります。

3 **カーソルボタン▲·▼で「ダイヤル方式」を選び、決定ボタンを押す**

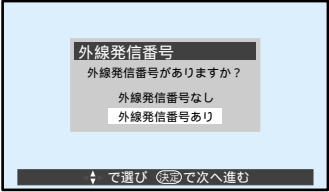
4 **「はじめての設定」(→166ページ)の手順11を行い、次は下の手順5に進む**

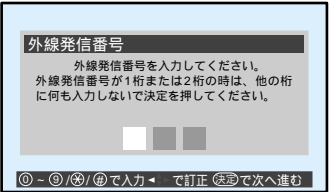
5 [他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

外線発信番号の設定

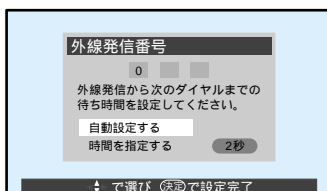
- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。また、外線発信を出した後、何秒後に回線が外線に切り換わるのか、その切り換わりにかかる時間を外線発信後の待ち時間と呼びます。
- お買い上げ時は、「外線発信番号なし」に設定されています。
- 外線発信が必要な場合は、下記の操作で設定してください。

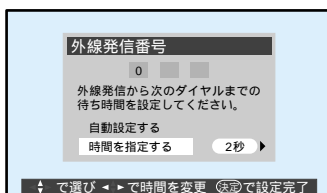
1 **左記の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする**

2 **カーソルボタン▲·▼で「外線発信番号」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲·▼で「外線発信番号あり」を選び、決定ボタンを押す**

- 「外線発信番号」設定画面になります。

4 **「はじめての設定」の「電話回線設定」(→165ページ) の手順10を行い、次は次ページの手順5に進む**

外線発信番号
外線発信番号を入力してください。
外線発信番号が1桁または2桁の時は、他の桁に何も入力しないで決定を押してください。
⓪～⑨/※/＃で入力 ◄ で訂正 決定で次へ進む

外線発信番号の設定 つづき

5 外線発信後の待ち時間を設定する

- 通常は下記の操作で、「自動設定する」にしてください。
  ① カーソルボタン▲·▼で「自動設定する」を選び、決定ボタンを押す
  - 電話回線設定画面に戻ります。
  - 手順6に進んでください。

「自動設定する」の状態で、197ページの「電話回線テスト」が失敗となる場合

- 下記の操作で、時間を設定してください。
  ① カーソルボタン▲·▼で「時間を指定する」を選ぶ
  ② カーソルボタン◄·►で時間を設定し、決定ボタンを押す
  - 設定範囲は2秒～9秒（秒単位）です。
  - 電話回線設定画面に戻ります。
  - 手順6に進んでください。

6 ［他の電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す

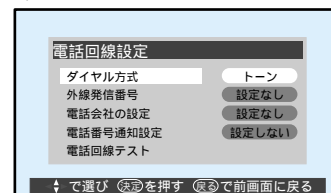
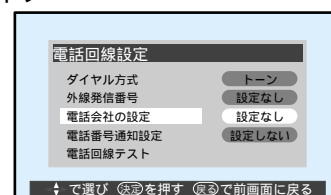
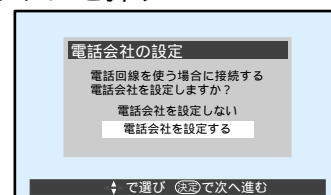
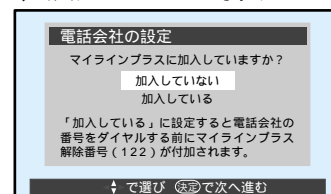
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 手順5で「時間を指定する」に設定した場合、ダイヤルトーン検出を行いません。
  ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、この設定にしてください。
  この場合、以下の方法では回線の接続と設定の確認はできません。
  「センターと接続できることを確認する場合」（→197ページ）で確認を行ってください。
  •「ダイヤル方式の設定」（→194ページ）
  •「電話回線テスト」（→197ページ）
  • 簡易確認テスト（→167ページ）での電話回線テスト

電話会社の設定

- マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社を使用する場合は、この設定は不要です。
- 上記以外に契約されている電話会社を選んで設定できます。
- お買い上げ時は「電話会社を設定しない」に設定されています。

- 電話会社の設定は、データ放送の一部では適用されない場合があります。

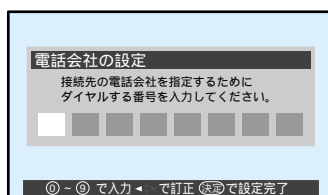
1 194ページ左側の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする

2 カーソルボタン▲·▼で「電話会社の設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で、「電話会社を設定する」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で、マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」/「加入している」を選び、決定ボタンを押す

［次のページにつづく］

初期設定を個別に行うとき つづき

電話回線の設定 つづき

電話会社の設定 つづき

5 **電話会社番号を入力し、決定ボタンを押す**

- 電話会社番号を数字ボタン(0〜9)を押して左詰めで入力し、決定ボタンを押す

・最大8桁まで設定できます。
・間違って入力した場合は、カーソルボタン◀で前の桁に戻り、設定をやり直してください。

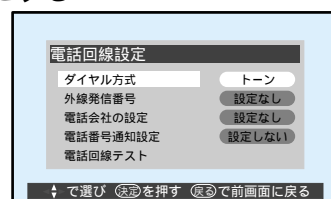
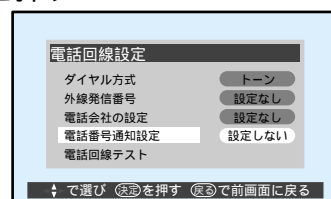
- 前ページ手順4で「加入している」を選んだ場合は、本機からの電話発信時にマイラインプラス(優先接続サービス)解除番号(122)が自動的に付け加えられます。

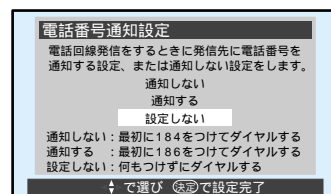
6 [他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- マイラインプラスに加入している場合
  - 前ページ手順4で「加入している」に設定してください。手順5で設定した電話会社での回線発信ができます。
  - 前ページ手順4で「加入していない」に設定すると、手順5で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。
- 手順5で電話会社番号が未入力の場合は、前ページ手順3の「電話会社を設定しない」に自動的に設定されます。

電話番号通知設定

- 本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者(センター)に通知するかどうかを設定します。
- お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。

1 **194ページ左側の手順1〜2の操作で、「電話回線設定」画面にする**

2 **カーソルボタン▲･▼で「電話番号通知設定」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲･▼で、お好みの設定を選び、決定ボタンを押す**

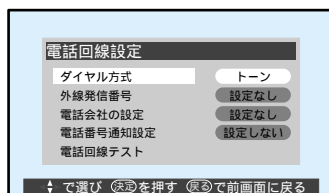
- 選択項目は以下のとおりです。

通知しない:最初に「184」をつけてダイヤルする
通知する　:最初に「186」をつけてダイヤルする
設定しない:何もつけずにダイヤルする

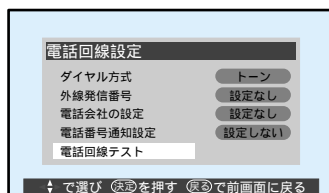
- 「設定しない」のときはNTTとの「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。

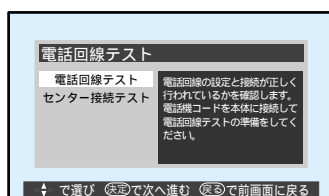
4 [他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

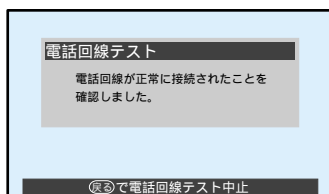
電話回線テスト

- 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。

1 **194ページ左側の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする**

2 **カーソルボタン▲·▼で「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す**

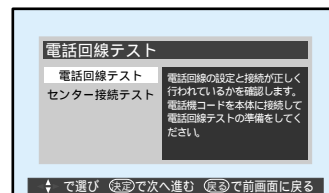
- 電話機コードが本体に接続されているか確認してください。

3 **電話回線の確認をしたら、カーソルボタン▲·▼で「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す**

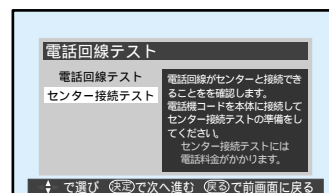
- 「電話回線テスト」が開始されます。(「電話回線テスト中」のメッセージが表示されます。)
- 電話回線テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

4 **電話回線テストが終了したら、決定ボタンを押す**

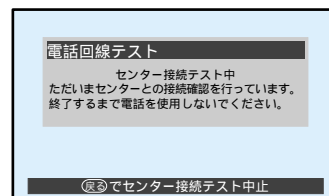
- テスト結果については、167ページの「はじめての設定」の「お知らせ」をご覧ください。
- 決定ボタンを押すと、電話回線テスト画面に戻ります。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

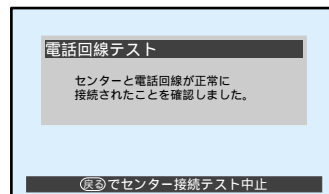
■センターと接続できることを確認する場合

- このセンター接続テストは電話料金がかかります。

1 **左記の手順3「電話回線テスト」の画面になっていることを確認する**

2 **カーソルボタン▲·▼で、「センター接続テスト」を選ぶ**

- 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

3 **電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す**

- センター接続テストが開始されます。
- センター接続テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

4 **センター接続テストが終了したら、決定ボタンを押す**

- テスト結果については、下記のお知らせをご覧ください。
- 決定ボタンを押すと、電話回線テスト画面に戻ります。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

センター接続テストの結果

■正しい場合
- 「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」が表示されます。

■「センターと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」が表示された場合
- 電話回線テスト（→このページの左上）で、電話回線が正しく接続されているか確認してください。

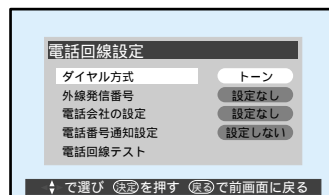
■「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。 しばらくしてからやり直してください。」が表示された場合
- 回線が混んでいる等の理由により通信できません。しばらくしてからやり直してください。

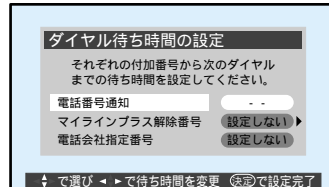
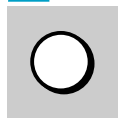
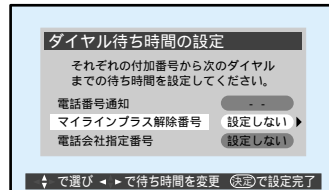
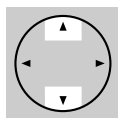
■「ただいまセンターと通信できません。しばらくしてからやり直してください。」が表示された場合
- しばらくしてからやり直してください。

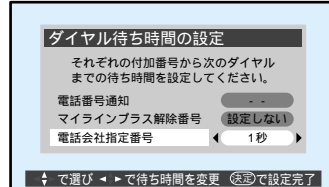
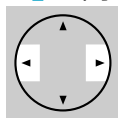
電話回線の設定 つづき

ダイヤル待ち時間の設定を行う場合

- 本機で電話回線発信のとき、電話会社番号、マイラインプラス(優先接続サービス)解除番号(122)、電話番号通知番号(184/186)のうしろにダイヤル待ち時間(ダイヤルポーズ)が必要な場合に下記の設定を行ってください。
- お買い上げ時のダイヤル待ち時間の設定は「設定しない」です。

1 194ページ左側の手順1～2の操作で、「電話回線設定」画面にする

2 黄色ボタンを押す

- ダイヤル待ち時間設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼を押して、設定する項目を選ぶ

4 カーソルボタン◀·▶を押して、ダイヤル待ち時間を設定する

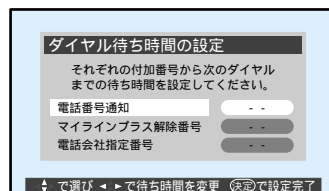
- 設定範囲は1秒～9秒、「設定しない」です。

他の項目も設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 決定ボタンを押す

- 設定されて、「電話回線設定」画面に戻ります。

6 [他の電話回線設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

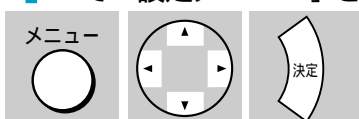
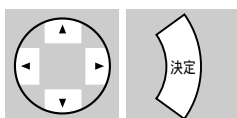
■表示が「－－」になっている項目に対してダイヤル待ち時間は設定できません。

- 各項目で「－－」表示になる場合は下記のとおりです。
  - ・電話番号通知設定(→196ページ)で「設定しない」に設定した場合
  - ・マイラインプラス(優先接続サービス)に「加入していない」に設定(→195ページ)した場合
  - ・電話会社の設定(→195ページ)で「電話会社を設定しない」に設定した場合

暗証番号の設定

● 暗証番号は、ペイ・パー・ビュー番組を購入する際や、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

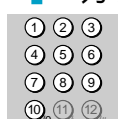
● 暗証番号を忘れないようにご注意ください。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 「設定メニュー」が表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「暗証番号設定」を選び、決定ボタンを押す

● 決定ボタンを押すと、新規登録の場合は手順4の画面に、変更の場合は手順3の画面になります。

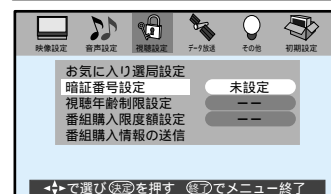
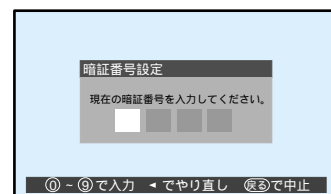
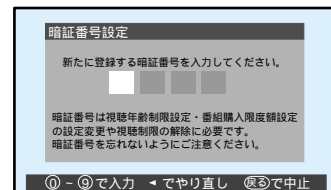
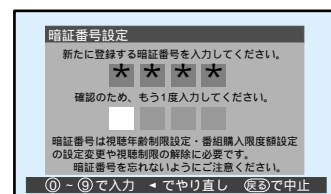
3 [暗証番号を変更する場合]
数字ボタン（0～9）で変更する前の暗証番号を入力する

● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

4 数字ボタン（0～9）で登録したい暗証番号を入力する

● 数字ボタン（0～9）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。
● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

5 数字ボタン（0～9）でもう一度暗証番号を入力する

● 暗証番号が登録されます。

6 [設定メニューに戻るには]
右の画面で決定ボタンを押す

暗証番号を登録しました。
決定を押す
（新規登録の場合）

暗証番号を変更しました。
決定を押す
（変更登録の場合）

[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

設置／最初の設定

初期設定を個別に行うとき つづき

視聴年齢制限の設定

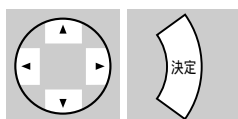
- 大人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されているものがあります。その場合、あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます。（年齢の設定値は、4歳～20歳です。）
- お買い上げ時設定はされていません。この状態では視聴年齢制限付き番組は視聴できません。
- 視聴年齢制限機能を使わないときは、視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」にしてください。
  例えば本機の視聴年齢制限を18歳に設定したとき
  視聴年齢が18歳以下の番組 ……………… そのまま視聴できます。
  視聴年齢が18歳を超えた番組 …………… 視聴するには暗証番号が必要となります。

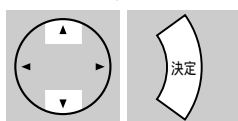
視聴年齢制限の設定

1 **メニューボタンを押す**

- メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

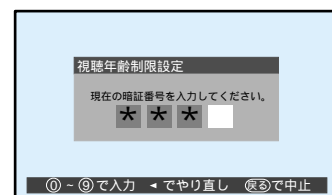
- 「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソルボタン◄·►で「視聴設定」を選ぶ**

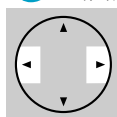
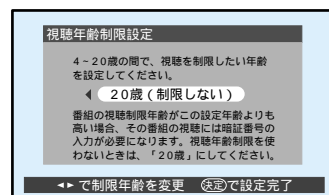
4 **カーソルボタン▲·▼で「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す**

- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順5に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

- 視聴年齢制限の設定はできません。（右のメッセージが表示されます。）視聴年齢制限設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（→前ページ）

5 **数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する**

- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◄を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順6の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

- **暗証番号について**
  ・ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定で使用する暗証番号は同じものです。

6 **カーソルボタン◀・▶で視聴できる年齢を設定し、決定ボタンを押す**

- 視聴できる年齢は、4歳から20歳（制限しない）の間で設定できます。

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢以下のとき

- 通常どおり番組は受信できます。

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢よりも上のとき

- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。

番組を見るためには

①決定ボタンを押す
②数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する
- 間違って入力した場合はカーソルボタン◀を押し、もう一度1桁目から入力してください。

■本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていないとき

- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。
- 決定ボタンを押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。
内容を確認した後、それらの設定を行ってください。

初期設定を個別に行うとき つづき

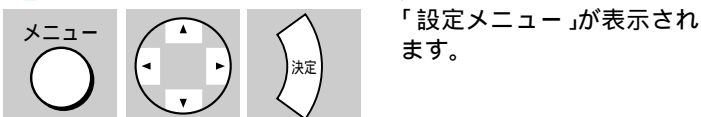
お知らせ

- **暗証番号について**
  - ・ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定で使用する暗証番号は同じものです。
- 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は高いほうの金額で購入限度額の判定を行います。
- 複数映像、複数音声または複数データで課金対象になっている番組は、切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

番組購入限度額の設定

- ペイ・パー・ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定できます。限度額を超える番組の場合、購入するためには暗証番号の入力が必要となります。
- 金額に関係なくすべてのペイ・パー・ビュー番組について、暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。
- お買い上げ時は、「すべての購入を制限しない」に設定されています。

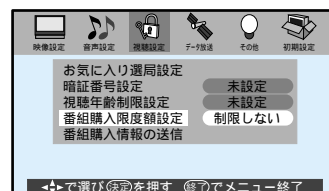
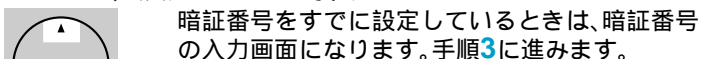
1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「番組購入限度額設定」を選んで、決定ボタンを押す

- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順3に進みます。

映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定

お気に入り選局設定	
暗証番号設定	未設定
視聴年齢制限設定	未設定
番組購入限度額設定	制限しない
番組購入情報の送信	

で選び 決定を押す 終了でメニュー終了

暗証番号が設定されていない場合

- 番組購入限度額の設定はできません。(右のメッセージが表示されます。)番組購入限度額設定をする場合は、暗証番号を設定してください。(→164ページ)

暗証番号が設定されていません。

決定 を押す

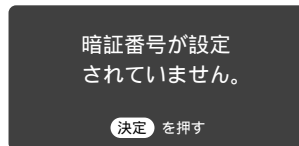
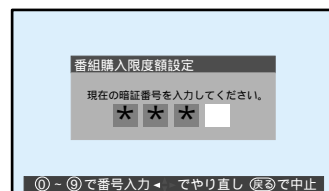
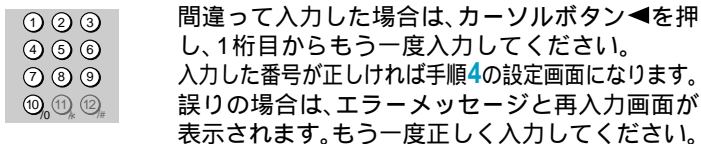
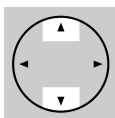
3 数字ボタン（0～9）で暗証番号を入力する

- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順4の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

番組購入限度額設定

現在の暗証番号を入力してください。

＊＊＊

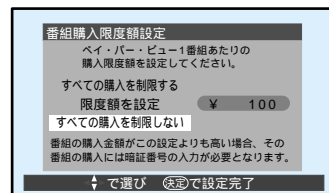
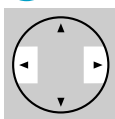
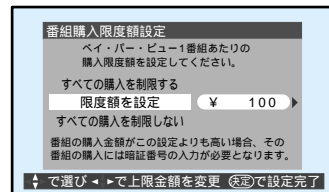
⓪～⑨で番号入力 ◀でやり直し 戻るで中止

4 カーソルボタン▲·▼で制限モードを選ぶ

- すべての購入を制限する：すべてのペイ・パー・ビュー番組について購入するためには暗証番号の入力が必要となります。選択後手順5に進みます。
- 限度額を設定：限度額を超える番組の場合、暗証番号の入力が必要となります。手順5に進みます。
- すべての購入を制限しない：上記の制限をしません。選択後手順5に進みます。

番組購入限度額設定

ペイ・パー・ビュー1番組あたりの購入限度額を設定してください。

すべての購入を制限する
限度額を設定 ¥ 100
すべての購入を制限しない

番組の購入金額がこの設定よりも高い場合、その番組の購入には暗証番号の入力が必要となります。

で選び 決定で設定完了

5 [「限度額を設定」を選んだ場合] カーソルボタン◀·▶で限度額を選ぶ

- 金額は以下のように設定できます。
  - 100円 ～ 1,000円の範囲で100円単位
  - 1,000円 ～ 3,000円の範囲で500円単位
  - 3,000円 ～ 10,000円の範囲で1,000円単位
- 設定後手順6に進みます。

6 決定ボタンを押す

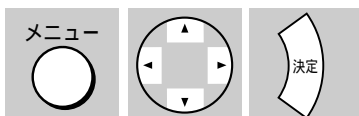
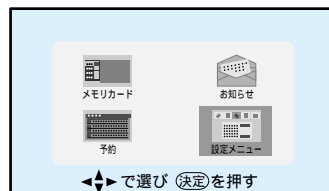
- 手順2の画面に戻ります。

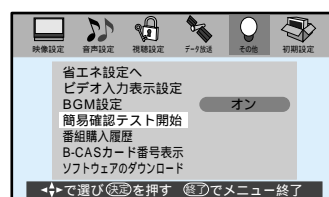
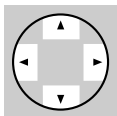
7 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

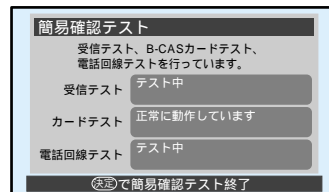
簡易確認テスト

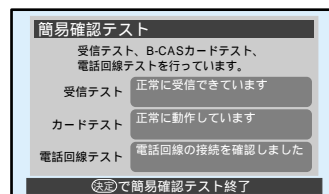
- BS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストまとめて行います。
- 「簡易確認テスト」は、「はじめての設定」(→167ページ)でお済みの場合は、ここで行う必要はありません。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 「設定メニュー」が表示されます。

メモリカード
お知らせ
予約
設定メニュー
◀▲▼▶で選び 決定を押す

2 カーソルボタン◀·▶で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「簡易確認テスト開始」を選ぶ

映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定
省エネ設定へ
ビデオ入力表示設定
BGM設定 オン
簡易確認テスト開始
番組購入履歴
B-CASカード番号表示
ソフトウェアのダウンロード
◀▲▼▶で選び 決定を押す 終了でメニュー終了

3 決定ボタンを押す

- 簡易確認テストが開始されます。
- BS受信テスト中はBSチャンネルを、110度CS受信テスト中は110度CSチャンネルを受信します。
- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- 「テスト結果」については167ページをご覧ください。

4 [簡易確認テストが終了したら] 決定ボタンを押す

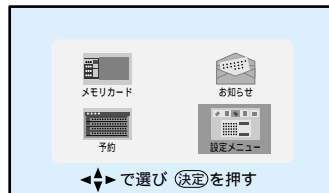
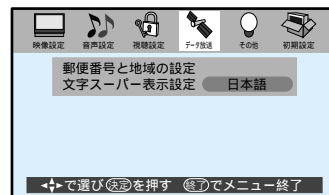
- 手順2の画面に戻ります。

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

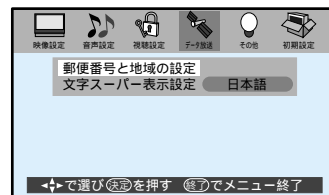
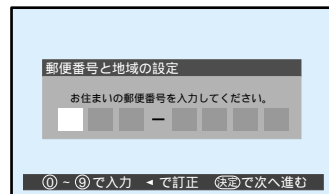
データ放送設定を個別に行うとき

郵便番号と地域の設定

- お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報・選挙速報)や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ送受信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
- 「はじめての設定」(→163ページ)でお済みの場合は、ここでの設定の必要はありません。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 「設定メニュー」が表示されます。

2 **カーソルボタン◀·▶で「データ放送」を選ぶ**

3 **カーソルボタン▲·▼で「郵便番号と地域の設定」を選び、決定ボタンを押す**

- 「郵便番号入力」画面が表示されます。

4 **164ページ「はじめての設定」の手順5～7を行い、次は下の手順5に進む**

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

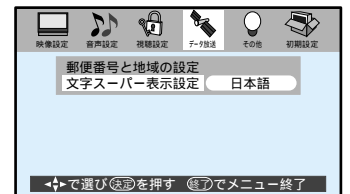
文字スーパー表示の設定

- デジタル放送は、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。複数言語の文字スーパーに対応した番組を受信した場合、本機で表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、日本語を優先で表示するように設定されています。

文字スーパー表示設定のしかた

- ここでは文字スーパー表示設定を個別で行う場合の操作方法を説明します。

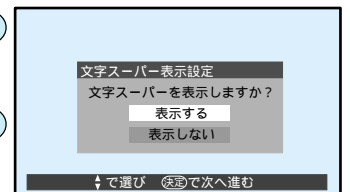
1 **左記の手順1～2を行う**

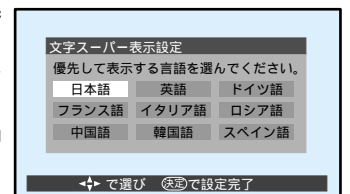
2 **カーソルボタン▲·▼で「文字スーパー表示設定」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す**

「表示する」を選んだ場合

- 手順4に進みます。

「表示しない」を選んだ場合

- 手順5に進みます。
- 文字スーパーは表示されません。

4 **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で言語を選び、決定ボタンを押す**

- 以下の言語が選択できます。
  日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/ロシア語/中国語/韓国語/スペイン語

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがある場合は、その言語を表示します。
  設定した言語がない場合は、送信データに従って表示されます。

お買い上げ時の状態に戻すには

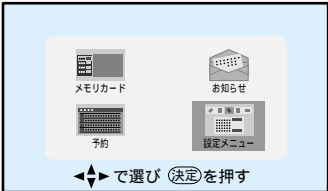
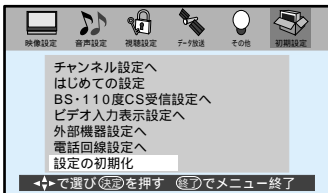
（設定内容を初期化するには）

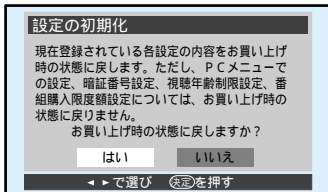
- お好みに設定された内容を初期化します。（お買い上げ時の状態に戻します。）
- お買い上げの状態（初期設定の状態）については、表をご覧ください。

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

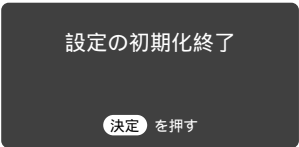
2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「設定の初期化」を選び決定ボタンを押す

4 初期化する場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 設定された内容が初期化されます。（右の表をご覧ください。）

5 ［右の画面を確認して］決定ボタンを押す

- 手順**3**に戻ります。

6 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

- ＰＣメニュー設定は、この設定では、お買い上げ時の設定には戻せません。ＰＣメニュー設定を戻すには119ページをご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">初期設定状態</th></tr>
<tr><td colspan="2">映像メニュー</td><td colspan="2">あざやか</td></tr>
<tr><td colspan="2">上下振幅調整</td><td colspan="2">00/1080i</td></tr>
<tr><td colspan="2">上下画面位置</td><td colspan="2">00</td></tr>
<tr><td colspan="2">プログレッシブ</td><td colspan="2">モード1</td></tr>
<tr><td colspan="2">バスーカ</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">ステレオ/モノラル</td><td colspan="2">ステレオ</td></tr>
<tr><td colspan="2">TruSurround</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">光デジタル音声出力</td><td colspan="2">PCM固定</td></tr>
<tr><td colspan="2">AVアンプ電源連動</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">番組表画面でのジャンル色分け表示</td><td colspan="2">赤…映画
緑…スポーツ
橙…音楽</td></tr>
<tr><td colspan="2">郵便番号設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域の設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字スーパー表示設定</td><td colspan="2">日本語</td></tr>
<tr><td colspan="2">無操作自動電源オフ</td><td colspan="2">動作しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部入力無信号オフ</td><td colspan="2">待機にする</td></tr>
<tr><td colspan="2">地上波無信号オフ</td><td colspan="2">待機にする</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＢＧＭ設定</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロングライフ設定</td><td colspan="2">オ　フ</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動ダウンロード</td><td colspan="2">ダウンロードする</td></tr>
<tr><td colspan="2">アンテナ電源供給</td><td colspan="2">供給する</td></tr>
<tr><td colspan="2">CATVパススルーモード設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">i.LINK設定</td><td>外部機器からの制御</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>ブロードキャスト入力設定</td><td colspan="2">オ　フ</td></tr>
<tr><td>最大データ転送速度設定</td><td colspan="2">最　適</td></tr>
<tr><td>D-VHSテープ検出</td><td colspan="2">オ　ン</td></tr>
<tr><td>録画用機器の設定</td><td colspan="2">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画機器機種設定</td><td colspan="2">東芝1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオ入力表示設定</td><td colspan="2">ビデオ1:VTR、ビデオ2:VTR
ビデオ3:ゲーム、ビデオ4:VTR
ビデオ5:VTR</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイヤル方式</td><td colspan="2">トーン</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線発信番号</td><td colspan="2">外線発信番号なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線発信待ち時間設定</td><td colspan="2">自動設定する</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話会社の設定</td><td colspan="2">電話会社を設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">マイラインプラス加入設定</td><td colspan="2">加入していない</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号通知設定</td><td colspan="2">設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">ダイヤルの待ち時間設定</td><td>電話番号通知</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td>マイラインプラス解除番号</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td>電話会社指定番号</td><td>設定しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">お気に入り登録</td><td colspan="2">お買い上げ時のお気に入り登録状態（→37ページ参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">二重音声</td><td colspan="2">主音声</td></tr>
<tr><td colspan="2">字　幕</td><td colspan="2">字幕オフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">お知らせ</td><td colspan="2">オールクリア</td></tr>
<tr><td colspan="2">視聴予約、録画予約、任意ダウンロード予約</td><td colspan="2">オールクリア</td></tr>
<tr><td colspan="2">1〜12ボタン</td><td colspan="2">お買い上げ時のチャンネル設定状態（→180ページ参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">DS1〜DS10ボタン</td><td colspan="2">お買い上げ時のチャンネル設定状態（→180ページ参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">音　量</td><td colspan="2">30</td></tr>
</table>

- 下記については、初期化されません。
  - 暗証番号/視聴年齢制限/番組購入限度額設定の状態
  - ＰＣメニュー設定の状態
- 本機のソフトウェアをバージョンアップされている場合は、「設定の初期化」を行っても、お買い上げ時のソフトウェアに戻すことはできません。ソフトウェアのバージョンアップについては206ページをご覧ください。

バージョンアップするには

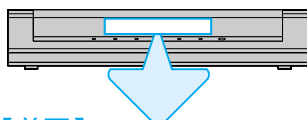
● 本機のソフトウェアを書き換えて更新させることができます。

■バージョンアップの種類

● ソフトウェアをバージョンアップする方法としては、ダウンロードでソフトを書き換える方法（207〜209ページ）と、スマートメディア™を使って書き換える方法（210ページ）の2種類があります。

■ダウンロードについて

● ダウンロードとは、放送局が書き換え用のソフトウェアを放送電波の中に入れて送信し、テレビなどが受信してソフトウェアを書き換える方法のことです。
● ダウンロードには、下表の2つの場合があります。
どちらの場合でも、ダウンロードが行われるのは電源が待機状態のときのみです。

自動ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→207ページ）	●あらかじめ設定しておくことで、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
任意ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→208〜209ページ）	●任意ダウンロードについての情報があるときは「テレビに関するお知らせ」が発行されます。

ダウンロードの動作について

● **ダウンロードは電源が「待機」のときだけ、行われます。**
● チューナーの電源が「入」の場合は、任意ダウンロード開始時刻の少し前に、リモコンの電源ボタンを押して待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。
● ダウンロードを行うには、あらかじめ電源「入」の状態で数分間放送を受信することによりダウンロード情報を取得しておくことが必要です。
● ダウンロード中は、チューナー前面パネルの「お知らせ」表示が点滅します。点滅が終了するまで、操作をしないでください。
（スマートメディア™での、バージョンアップ時は、終了時に前面パネルの「連動データ放送」表示（青）が点灯しますので、その後スマートメディア™を抜くとチューナーの電源が入ります。）

ダウンロードの実行中に、電源ボタンが押されたとき

● 右のメッセージが表示されます。
● これ以降は、自動ダウンロードがすべて完了し、「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されるまで、本機には触れないでください。
● 特に、チューナーの電源とモニターの主電源は絶対に切らないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作する場合があります。
● 「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されたら決定ボタンを押してください。電源が「待機」になった後、再び「入」になります。以降は通常どおり操作できます。

「ソフトウェアを更新中です。ソフトウェアを更新中は、本機に触れないでください。主電源の切/入をしたりするとソフトウェアが正常に書き込まれません。」

送信されてくるソフトウェアをダウンロードする

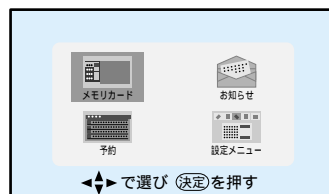
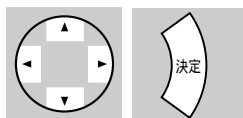
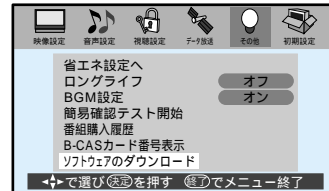
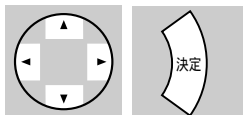
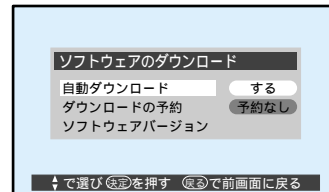
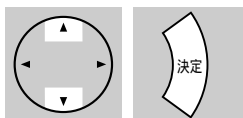
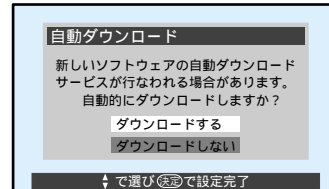
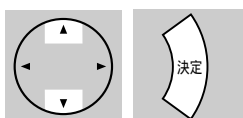
自動ダウンロードをするには

- 下記の設定をすることによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送信されているときに自動的にダウンロードさせることができます。
- 206ページもよくお読みください。

■「自動ダウンロード」の設定をする

- お買い上げ時は、「ダウンロードする」に設定されています。
- 「ダウンロードしない」に設定した場合は、自動ダウンロードサービスが行われていることを「テレビに関するお知らせ」(→80ページ)にて連絡します。

1 **メニューボタンを押す**

- メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン◄·►で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選んで決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードする」、または「ダウンロードしない」を選び、決定ボタンを押す**

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- ダウンロードは電源が「待機」のときだけ、行われます。

設置／最初の設定

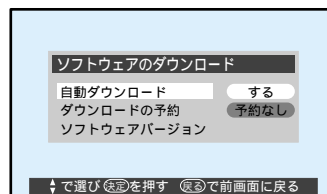
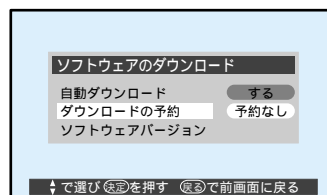
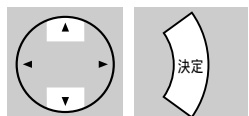
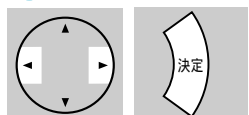
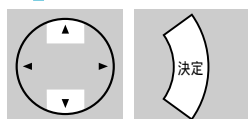
送信されてくるソフトウェアをダウンロードする つづき

任意ダウンロードをするには

● 206ページもよくお読みください。

■任意ダウンロードを予約する

はじめに
- ●任意ダウンロードについての情報があるときには､｢テレビに関するお知らせ｣（→ 80 ページ）を発行して連絡します。
- ●ダウンロードする場合は､下記の操作でダウンロード予約を行ってください。

1 207 ページの手順 1 ～ 3 を行い、「ソフトウェアのダウンロード」画面にする

2 カーソルボタン▲･▼で「ダウンロード予約」を選び、決定ボタンを押す

3 表示されている説明を読み､ダウンロード予約をする場合は､カーソルボタン◄･►で「はい」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲･▼で予約する時間を選び、決定ボタンを押す

- ●ダウンロードが予約されます。
- ●設定できるダウンロード予約は1つです。

予約と時間が重なっている場合

- ●録画予約や視聴予約と重なっている場合は､右のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押すと前画面に戻ります。
ダウンロードの予約日時を変えるか､または終了ボタンを押した後､予約を取り消してください。
(→69ページ)

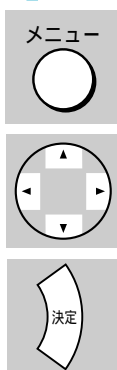
「番組予約と時間が重なっています。」

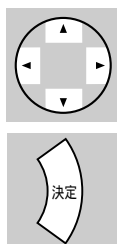
5 表示されるメッセージを読んだ後、決定ボタンを押す

6 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源待機状態にする

- ●ダウンロードは電源が｢待機｣のときだけ､行われます。

■任意ダウンロード予約の日時を変更したり、予約を取り消すには

1 下記の操作でダウンロード予約画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選んで決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定ボタンを押す

2 下記を行う

ダウンロード予約の日時を変更する場合

①カーソルボタン▲·▼で変更する日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- 選んだ日時にダウンロード予約が変更されます。

③予約開始時刻の前までに、電源ボタンを押して電源待機状態にする
- ダウンロードは電源が「待機」のときだけ、行われます。

ダウンロード予約を取り消す場合

①カーソルボタン▲·▼で予約されているダウンロードの日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- ダウンロード予約が取り消されます。

- ダウンロード中は、電源を切る、電源コードを抜くなどは行わないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作する場合があります。動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ

- 任意ダウンロードは録画予約した番組が時間変更となり任意ダウンロード予約と重なった場合や悪天候の場合などには実行されません。その場合、ダウンロードに失敗した旨の「お知らせ」を発行します。
- ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。
- 一発録画中に、任意ダウンロード予約の開始時刻になると任意ダウンロード予約は取り消されます。

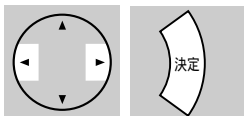
バージョンアップするには つづき

スマートメディアTMのソフトウェアを書き込む

1 スマートメディアTMを本体に差し込む

- 差し込みかたなど詳しくは、54ページをご覧ください。
- 正しく差し込まれると、自動的にソフトウェアの説明画面になります。

2 画面の説明を読み、ダウンロードする場合はカーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- バージョンアップについてのご注意が表示されます。

3 画面の説明を読んでから、決定ボタンを押す

- ダウンロードが始まります。

以下のメッセージが表示された場合

- 以下のメッセージが表示された場合は、ダウンロードできません。
  終了ボタンを押して、中止してください。
  「このソフトウェアでは書き換えできません」
  「バージョンアップ中にエラーが発生しました」

4 右のメッセージが表示されたら、決定ボタンを押す

- 電源が「待機」になった後、再び「入」になります。
  以降、通常どおり操作できます。

「ソフトウェアを更新しました。ソフトウェアのバージョンアップを完了するため決定ボタンを押してください。決定ボタンを押すといったん電源が切れた後、自動的に電源が入ります。」

5 スマートメディアTMを本体から抜く

- **ソフトウェアの書き込み中は、主電源を切る、電源コードを抜く、スマートメディアTMを抜くなどは行わないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作する場合があります。**
  動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。

- バージョンアップ実行中は、予約は実行されません。

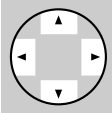
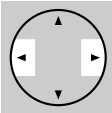
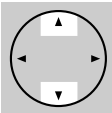
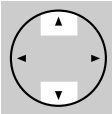
ソフトウェアのバージョンを確認するには

● 現在の本機のソフトウェアのバージョンが確認できます。

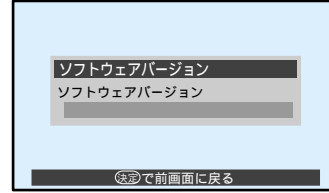
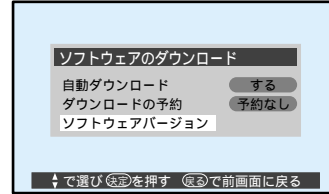
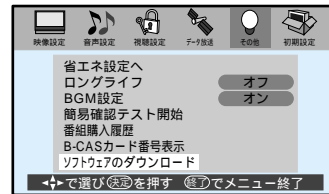
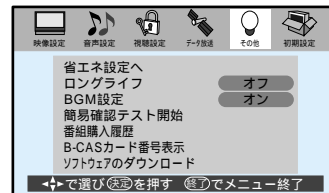
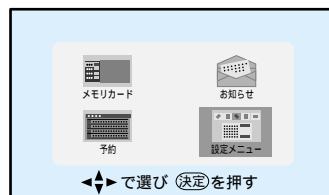
1 **メニューボタンを押す**

● メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

●「設定メニュー」が表示されます。

3 **カーソルボタン◀·▶で「その他」を選ぶ**

4 **カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定ボタンを押す**

6 **ソフトウェアバージョンを確認後、決定ボタンを押す**

● 決定ボタンを押すと前画面に戻ります。

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

第6章 その他

エラー表示、メッセージ表示について

●代表的なエラー表示、メッセージ表示のみ説明

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「アンテナ線がショートしています。 コード：E209」	●アンテナ線の心線とアース線(網線)がショートして信号を受信できない。	●153ページの「お願い」をご覧ください。
●「電波が受信できません。 コード：E202」	●適合したアンテナでないため ●雨や雷などの気象条件により一時的に受信できない。 ●アンテナ線が外れたり、切れたりしている。 ●アンテナの設定値が合ってない。 ●アンテナの方向ずれや故障。	●BS・110度CSデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 ●アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。（→151～157ページ） ●アンテナ線をご確認ください。 ●アンテナの方向をご確認ください。 ※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
●「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	●気象条件などにより信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	●降雨対応放送に切り換えることができます。（→50ページ）
●「現在放送されていません。 コード：E203」	●選局したチャンネルでの放送が休止中。 ●放送時間が終了している。	●番組表などで放送時間をご確認ください。 ●放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷などの気象条件により一時的に受信できない場合も表示することがあります。
●「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	●通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 ●ホテル客など特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	●通常の放送チャンネルを選局してください。
●「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	●B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●B-CASカードの装着をご確認ください。（→150ページ）
●「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400または6581」	●B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●それでも正常にならない場合は、放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	●付属のB-CASカード以外のカードを挿入している。	●付属のB-CASカードを挿入してください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。コード：A1FFまたはA102」	●使用できないB-CASカードを挿入している。	●付属のB-CASカードを挿入してください。
●「この番組には視聴制限があります。」	●設定されている視聴年齢を超えた番組を選局した。 ●設定した購入限度額よりも高い料金の番組を選局した。	●ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。（→199ページ）
●「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903または8503または8303」	●選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	●詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
●「番組購入情報がいっぱいのため新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、カスタマーセンターへご連絡ください。コード：8109」	●B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリがいっぱいになっている。	●「番組購入情報の送信」を行ってください。（→79ページ）

■ チューナーの温度プロテクターに関するエラー表示

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
● 「チューナー本体内部が高温になっています。 電源をオフにし、しばらくしてからご使用ください。」 「まもなく電源をオフします。」	● 周囲温度がチューナーの使用範囲を超えているため。 ● 本機を風通しの悪い場所に設置している。 ● チューナー本体背面にある冷却ファンの通気孔をふさいでいる。 ● 高地での使用の場合で、大気が希薄なためチューナーの冷却ファンの効率が低下した。	● 周囲の温度が高い場所で使用している場合には、適切な場所（気温0℃～40℃）に設置し直してご使用ください。 ● 壁などの周囲から10cm以上離してください。 ● 冷却ファンの通気孔（チューナー本体背面）をふさぐ要因がないか確認し、取り除いてください。 ● 高地でのご使用の場合、大気が希薄なため冷却ファンによる、チューナー内部の冷却効率が低下して、228ページに記載されている使用周囲温度範囲内（0℃～40℃）であっても、内部の温度があがり、温度プロテクターがはたらき、左の欄のエラーメッセージが表示されて、チューナーの電源が自動的に「切」になることがあります。そのような場合には、周囲の温度を下げてご使用ください。 ● 以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

■ モニターの温度プロテクターに関するエラー表示

モニター前面の表示灯によるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
● モニターの電源が切れて、「電源入（青）／待機（赤）」表示が点滅	● 周囲温度がモニターの使用範囲を超えているため。 ● 本機を風通しの悪い場所に設置している。 ● モニター本体背面の通気孔をふさいでいる。 ● 高地での使用の場合で、大気が希薄なためモニターの冷却ファンの効率が低下した。	● 下記を行ってください。 ①主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 ②次の事項を確認し、必要な処置をしてください。 ・モニターの温度が下がるまで、約60分待ってください。 ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、適切な場所（気温0℃～35℃）に設置し直してご使用ください。 ・壁などの周囲から10cm以上離してください。 ・モニター本体背面の通気孔をふさぐ要因がないか確認し、取り除いてください。 ● 高地でのご使用の場合、大気が希薄なため冷却ファンによる、モニター内部の冷却効率が低下して、229ページに記載されている使用周囲温度範囲内（0℃～35℃）であっても、内部の温度があがり、温度プロテクターがはたらき、モニターの電源が自動的に「切」になることがあります。そのような場合には、周囲の温度を下げてご使用ください。 ● 以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

エラー表示、メッセージ表示について つづき

■i.LINKに関するエラー表示（代表的なもの）

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」	● i.LINK操作パネルの機器リストで選んだ機器に接続を失敗した。 ● i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	● i.LINK機器の接続を確認してください。 ● もう1度操作パネルでこの機器を選んでください。 ● 相手機器の電源を入れて立ち上げてください。 ● 相手機器のi.LINK設定を見直してください。
●「i.LINK機器が登録されていません。」	● i.LINK機器が登録されていません。	● i.LINK接続、設定を行ってください。（→136〜142、184〜190ページ）
●「ブロードキャスト出力機器はありません。」	● ブロードキャスト出力している機器がない。	● i.LINK接続機器をご確認ください。
●「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	● 現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。	● この機器から出力されている信号は本機では受信できません。 ● 本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
●「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	● i.LINK接続ケーブルが外れている、または接続が不十分。 ● i.LINK接続に変更があった。	● 接続状態を確認中です。1分たっても終了しない場合は、決定ボタンで中止し、i.LINK機器の接続、設定を確認ください。（→136〜142、184〜190ページ）
●「i.LINK機器の接続を確認してください。」	● i.LINK機器との接続が正しくない。	● i.LINK機器はループ状態に接続できません。正しく接続してください。（→136〜142ページ）
	● i.LINK機器を64台以上接続している。	● 64台以上のi.LINK機器接続はできません。 ● i.LINK機器の接続は63台以下にしてください。
●「外部機器から接続されています。」	● 外部のi.LINK機器から接続されているため、i.LINK操作ができません。	● i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続を終了させてください。
●「使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	● 使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	● 使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 ● 同時使用する機器の数を少なくしてください。 ● 接続機器の電源を抜き差ししてください。
●「この信号は解像度制限があるためご覧になれません。」	――――	● 詳しくは16ページ「解像度制限のある信号をご覧になる際のご注意」をご覧ください。

アイコン一覧

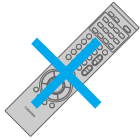
■番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	BSテレビ放送	サラウンド	サラウンド音声放送
ラジオ	BSラジオ放送	SD	デジタル標準テレビ放送
データ	BSデータ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
d	番組連動データ放送がある場合	HD	デジタルハイビジョン放送で解像度制限されている信号の場合
16:9	画面の横縦比が16：9信号	字幕	字幕放送
4:3	画面の横縦比が4：3信号	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
ステレオ	ステレオ音声放送	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
二重音声	二重音声放送	年令	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

■録画、録音、予約、お知らせについてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	未読の「お知らせ」	D コピー	デジタル録画できます
	すでに読んだ「お知らせ」	D ¥ コピー	録画購入すればデジタル録画できます
	予約	D 1 コピー	1回（第1世代）だけデジタル録画できます
重複	予約が重なっています	D × コピー	デジタル録画できません
コピー	アナログ録画できます	G→ コピー	光デジタル録音できます
¥ コピー	録画購入すればアナログ録画できます	G→ ¥ コピー	録画購入すれば光デジタル録音できます
× コピー	アナログ録画できません	G→ × コピー	光デジタル録音できません

その他

修理を依頼される前にお調べください

	■ **修理・改造・分解はしないこと** 内部には電圧の高い部分があり感電・火災の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

● 電源プラグが外れたり、アンテナなどに異常があると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に下記のことをお調べください。

このようなとき	ここをお調べください
電源が入らない	● 電源プラグが抜けていませんか。
映像や音声が出ない	● アンテナ線が外れていませんか。● アンテナの向きは正しく合っていますか。 ● アンテナ線の心線と網線がショートしていませんか。（→151～153ページ） ●「登録されていません。」が表示された場合は、モニターケーブルを確認し、チューナーの電源を入れ直してください。 ● 音量が最小になっていませんか、または消音ボタンが押されていませんか。 ● チューナー前面の録画中(青)表示が点滅しているときは、モニター専用ケーブルの接続を確認し、電源を入れ直してください。
色や色あいが悪い	● 映像調整がズレていませんか。（→83～85ページ）
操作ボタンが働かない	●「バージョンアップをするには」（→206ページ）でソフトウェアの書き換えを行っている場合は、操作ボタン(電源ボタン以外のボタン)は受け付けません。 **ソフトウェアの書き換えを行っているときは、チューナーの電源コードは抜かないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作する場合があります。** ● 上記以外の場合は、チューナーの電源コードを抜いて再度差し込み、電源を入れてください。
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。 ● 乾電池が逆向きに入っていませんか。 ● 受光部との距離または角度が大きすぎませんか。 ● 電源が「切」になっていませんか。
映像が二重、三重になる	● ビルなどからの反射電波が考えられます。 →アンテナの位置、高さ、向きを調整する。
雪が降ったような画面になる	● アンテナ線が外れたり、切れたりしていませんか。 ● アンテナの向きがズレていませんか。 →別売りのアンテナブースターを使うと良くなることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
画面にはん点が出る	● 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアードライヤーなどからの妨害が入っています。 →アンテナの位置を原因から離す。アンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
画面にしま模様が出る	● 他のテレビやパソコン、テレビゲームビデオ、オーディオ機器などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 →アンテナの位置、高さ、向きを調整する。
画面に光る点または光らない点がある	● プラズマモニターの微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。（→15ページ）

デジタル放送関係

このようなとき	ここをお調べください
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	● 多少の時間がかかる場合があります。特に、電源を「切」→「入」にしたときには、しばらく時間がかかります。
デジタル放送だけが映らない／映りが悪い ?	● 電波の種類（BSまたは110度CS）に適したアンテナを使用していますか。 ● 地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。 ● アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 ● アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。 ● アンテナ線が外れていませんか。 ● アンテナの向きがズレていませんか。 ● B-CASカードが正しく装着されていますか。 ● 積雪や豪雨、雷などで電波が減衰していませんか。 ※降雨対応放送の場合、映像の品位は通常の場合に比べて悪くなります。
デジタル放送のチャンネルが変えられない	● 録画予約や一発録画が実行中ではありませんか。
ビデオコントロールケーブルを使ったデジタル放送の予約録画ができない	● 録画機器の入力切換を正しく設定しましたか。 ● 録画機器の電源を「切（待機）」にしていましたか。 ● 録画機器本体での予約設定が行われていて、予約待機状態になっていたり、予約が実行されていませんでしたか。 ● 録画機器機種設定が正しく行われていますか。（→191ページ） ● ビデオコントロールケーブルの接続、設置が正しく行われていますか。（→135ページ）
未読の「お知らせ」がなくなっている	● 「放送局からのお知らせ」は、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を合わせて24通まで記録されます。「テレビに関するお知らせ」は40通までが記憶 されます。「ボード」はプラットワン、スカイパーフェクトTV！2それぞれに対し、50通まで記憶されています。それぞれ最大数を超えて受信した場合は、既読の古いものから順に削除されます。すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。 ● 「設定の初期化」をしませんでしたか。（→205ページ）
有料放送が視聴できない	● B-CASカードは正しく挿入されていますか。（→150ページ） ● 有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 ● 電話回線の接続や設定は正しいですか。（→158、194ページ）
光デジタル音声が出ない	● 「光デジタル音声出力の設定」は接続する機器に合わせて正しく設定されていますか。（→91ページ）

■このようなときは故障ではありません

■アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害
- 積雪や豪雨で電波が減衰したとき。
- 春分、秋分、日食など太陽と衛星の方向が一致する食のとき。（衛星の太陽電池が地球や月の影になり、一時的にはたらかなくなるためです。）

■電話回線を通じて通話中に電話機の呼出し音が鳴る
- 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出し音が鳴る場合があります。このような場合には、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。

■キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音
- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。
画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

■静電気について
- 電源を入／切したときなど画面（パネル面）に手を触れると弱い電気を感じることがあります。これはパネル面が静電気を帯びているためで人体に影響はありません。

■温度プロテクターについて
- モニターの内部温度が非常に高くなると、温度プロテクターがはたらきモニターの電源が切れます。（モニターの電源入（青）/ 待機（赤）表示が赤で点滅）対処のしかたについては、215ページの「モニターの温度プロテクターに関するエラー表示」をご覧ください。

用語について(索引)

●ＡＢＣ順

●アイウエオ順

ア行 ページ

カ行 ページ

サ行 ページ

タ行 ページ

用語について(索引) つづき

デジタル放送の受信契約について

このページについてのお問い合わせは、NHK放送センター（このページの下部に記載）にお願いします。

ＮＨＫ・BSデジタル放送をご覧いただくには

ＮＨＫは…

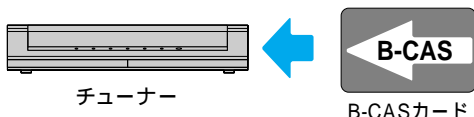
<デジタルハイビジョン>
美しい高画質映像やデジタルサウンドによる高音質で、大河ドラマ・ニュース・大型企画番組などをお届けします。
<データ放送>
番組ガイドや気象情報・ニュースなど、欲しい情報をすぐに見ることのできる新しい放送サービスです。
<デジタルBS1>
世界と日本の動きを多角的に伝えるニュース・情報番組、世界中のメジャースポーツをダイナミックな編成でお届けします。
<デジタルBS2>
見応えある大型番組・海外の人気ドラマや、公開番組・地域密着型の番組を数多く編成し、お楽しみいただきます。

ＮＨＫ衛星放送をご覧いただくためには 衛星受信契約 が必要です。

（すでに衛星受信契約をいただいている場合は受信契約は不要です。）

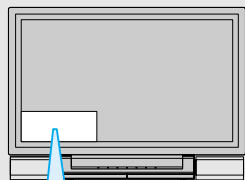
1 B-CASカードを挿入してください

① B-CASカードを台紙からはがし、カードを本機のB-CASカード挿入口に挿入してください。（→150ページ）

【チューナー】

② BSデジタル放送が受信されていることをご確認ください。

2 B-CASカードの登録をお願いします

B-CASカードについているユーザー登録はがき（赤と黒の2色刷り）に必要事項をご記入・押印のうえ、ポストに投かんしてください（切手は不要です）。

ＮＨＫでは、BSデジタル受信機のメッセージ機能を利用して受信確認を行います。
ユーザー登録はがきをお送りいただけない場合、またはお送りいただいても、ＮＨＫへの情報提供に同意いただけない場合は、平成13年1月以降、ＮＨＫのチャンネルに合わせると、15分間、画面左下にご連絡をお願いするメッセージが出ます。

（メッセージ表示例）

**ＮＨＫへのBS受信機設置のご連絡を
お願いしております。
フリーダイヤル0120-XXXXXXを
ご利用ください。メッセージはすぐに消えます。**

画面に表示されるＮＨＫのフリーダイヤルにお電話いただき、B-CASカード番号、住所、お名前、電話番号をお伝えいただければ、メッセージはすぐに消えます。

3 ＮＨＫ衛星受信契約をお願いします

テレビをお持ちの場合は、放送法第32条により、ＮＨＫとの受信契約が必要です。
① 本機に梱包されている契約書・パンフレットの中にあるＮＨＫ「衛星放送受信契約書」のはがきを取り出してください。
② 必要事項をご記入ください（押印もお願いします）。
③ ポストに投かんしてください（切手は不要です）。

受信料額（消費税を含みます）	支払区分	2か月払額	6か月前払額	12か月前払額
衛星カラー契約（カラー契約受信料を含みます）	口座振替¥継続振込	4,580円	13,090円	25,520円
	訪問集金	4,680円	13,390円	26,100円

（平成12年現在）　（沖縄県は料額が異なります。）

ＮＨＫは、みなさまからいただいた受信料だけで運営されている、視聴者のみなさまのための「公共放送」です。

より多くの方に楽しんでいただく番組を放送するのはもちろんですが、福祉や教養・教育番組など、社会にとって必要な番組をお届けし、また、災害や大事故がおきた時には、みなさまの生命・財産を守るための情報を素早く、正確にお届けしています。
これらの役割を果たすために必要な経費を、全国のテレビをお持ちの方々から公平にご負担いただいているのが「受信料」です。

ＮＨＫ・BSデジタルキャラクター
きらり

新しい世界 NHK BSデジタル放送

**お問い合わせ先：ＮＨＫ放送センター
TEL：03-3465-1111（代表）**

WOWOWデジタル有料放送をご覧いただくには

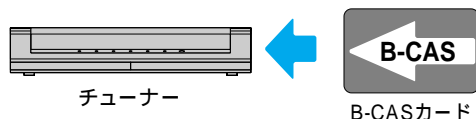
このページについてのお問い合わせは、WOWOWカスタマーセンター（下記の手順 **4** に記載）にお願いします。

WOWOWとは…

WOWOWは、HDTV（有効走査線1080本の高画質テレビジョン）の高品位画面を使用してハリウッドはもとより世界中の優れた映画作品を放送します。また、BSデジタル放送では唯一、マルチチャンネル放送を実現します。従来のアナログ放送では一チャンネルを使って映画、音楽、スポーツを放送していました。マルチチャンネル放送では、WOWOW、WOWOW-2、WOWOW-3と言うように3チャンネルの放送がお楽しみいただけます。WOWOWチャンネルではサイマル放送、WOWOW-2では常に映画番組、WOWOW-3では常にスポーツと言うように見たい番組が見たい時にご覧になれます。映画番組の中には5.1chサラウンド・ステレオに対応したものがあり、お手持ちの5.1chサラウンド・ステレオ対応のオーディオ機器に接続いただくと、家庭に居ながらにして映画館のような大迫力のホームシアターとしても楽しんでいただけます。

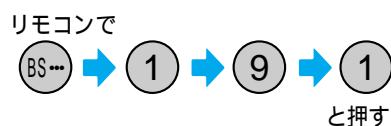
WOWOWデジタル有料放送をご覧いただくためには 加入契約 が必要です。

1 BSデジタル放送を受信しましょう

① B-CASカードを台紙からはがし、カードを本機のB-CASカード挿入口に挿入する（→150ページ）

② BSデジタル放送が受信されていることを確認する

2 WOWOW有料放送を受信しましょう

① リモコンでWOWOW有料放送191チャンネルに合わせる

リモコン

② この状態ではテレビの画面は映像のない状態（スクランブルがかかっている）及び「契約がないため視聴できません」「ご覧のチャンネルにお問い合わせください」といった内容のメッセージが表示されている

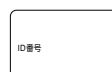
テレビ画面（表示例）

契約がないため視聴できません
ご覧のチャンネルにお問い合わせください。

3 スクランブルを解除しましょう

① 電話をする前にB-CASカードのID番号を確認する
（カード台紙の加入申込書用バーコードシールの20桁の番号、またはB-CASカードの裏面の20桁の番号）
② WOWOWカスタマーセンターに電話する

スクランブル解除専用フリーダイヤル
0120-3-81649（09:00～20:00年中無休）

B-CASカード表面　B-CASカード裏面

ID番号例
0123 4567 8901 2345 6789

③ オペレーターにB-CASカードのID番号を告げる
④ 15分～30分程度でWOWOWデジタル放送画面に切り替わったことを確認
⑤ WOWOW有料放送が視聴可能です

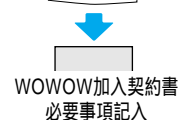
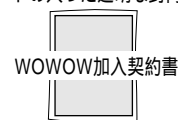
4 加入契約をしましょう

① 本機に同梱されている加入契約書・パンフレットの入った透明の封筒から加入契約書を取り出す
② 加入契約書に必要事項を記入する
③ 記入もれがないかどうか確認する
④ 記入済みの加入契約書をWOWOWカスタマーセンターに郵送する

注1 必ずスクランブル解除後2週間以内に郵送しないと再び「スクランブル」がかかり番組が視聴できなくなります。

注2 仮登録、本登録したにもかかわらず視聴できないとか、視聴契約の確認等のご質問はWOWOWカスタマーセンター0570－00808にお電話ください。携帯電話や各種LCRなどの設定により上記の電話番号をご利用いただけない場合は、045－683－8080へおかけください。

本機に同梱されている加入契約書・パンフレットの入った透明な封筒
WOWOW加入契約書
WOWOW加入契約書 必要事項記入
2週間以内に郵送
WOWOWカスタマーセンター

WOWOW有料放送加入契約完了

5 「B-CASカード登録」がまだの方は…

※ 本機に同梱されているB-CASカードのユーザー登録はがきにも必要事項を記入の後、ご投函ください。

加入契約が完了しました。

それでは、WOWOWの高画質、高音質、豊富な番組と信頼性の高いサービスをご満喫ください。有難うございました。

その他

デジタル放送の受信契約について つづき

スター・チャンネル（200ch）をご覧いただくには

このページについてのお問い合わせは、スター・チャンネル　カスタマーセンター（このページの下部に記載）にお願いします。

スター・チャンネルとは…

●（株）スター・チャンネルは映画専用の放送局です。日本初の映画専用チャンネルとしてスタートしてから15年。全国のケーブルテレビやCSデジタル放送を通じて多くの人からの支持を集めています。
●世界の映画ファンが注目するハリウッドのメジャー作品を中心に、世界中の新作・話題作をノーCM、24時間放送。いつでも映画が楽しめます。

スター・チャンネルは有料放送です。ご覧いただくには 加入契約 が必要です。

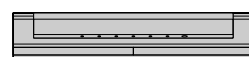
1 B-CASカードのユーザー登録をしましょう

● 本機に同梱されているB-CASのユーザー登録はがきに必要事項を記入の上、投函する

B-CASカード　ユーザー登録完了

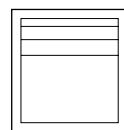
B-CASカード
ユーザー登録はがき

2 B-CASカードを挿入しましょう

● B-CASカードを台紙からはがし、カードを本機のB-CASカード挿入口に挿入する（→150ページ）

チューナー　B-CASカード

3 スター・チャンネル加入申込書を送りましょう

● 本機に同梱されている加入申込書に必要事項を記入の上、申込書をスター・チャンネル　カスタマーセンターに送る

契約完了

※ケーブルテレビ局でご視聴の方は、視聴方法が異なる場合がございます。ご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

スター・チャンネル
加入申込書

お問い合わせは
スター・チャンネル　カスタマーセンターへ

0570−010−110

年中無休　営業時間10:00～20:00

※携帯電話・PHSはご使用できません。
※電話番号はお間違いのないようにお願いいたします。

スター・チャンネル最新情報はホームページでもご覧頂けます
http://www.star-ch.co.jp

BS955のデータ放送をご覧いただくには

このページについてのお問い合わせは、（株）メディアサーブ双方向サービスセンター（このページの下部に記載）にお願いします。

BS955をはじめ「BSデジタル放送」各局の双方向サービスをお楽しみいただくためには双方向サービスセンターへの 利用者登録 が必要です。

BS955とは…
（株）メディアサーブが運営するBSデジタルデータ放送局の呼称です。

双方向サービスセンターとは…
（株）メディアサーブが運営するBSデジタル放送用の双方向データ処理を行うサーバー施設の呼称です。

登録料・年間費は無料！　方法は4通り、さあ今すぐ登録しましょう！
※あらかじめ利用者規約をお読みになり、電話回線の接続を済ませてから、お好みの方法でお申し込み願います。

[1] ハガキでのお申し込み

- 同梱されているB-CASカードの「加入申込書用バーコードシール」をはがし、双方向サービスセンター宛て「利用者登録申し込みハガキ」に貼付し、必要事項を記入して郵便ポストに入れてください。

[2] FAXでのお申し込み

- 同梱されているB-CASカードの「加入申込書用バーコードシール」をはがし、双方向サービスセンター宛て「FAX申し込み用紙」に貼付し、必要事項を記入して　FAX番号 03-5351-9025 に送信願います。

[3] ホームページでのお申し込み

- http://www.mserve.co.jp/からご登録ください。

[4] リモコンを使ってテレビ画面でのお申し込み

- 「双方向サービス登録申し込みメニュー画面」を映し出し、画面上の申し込み案内に従ってリモコンで入力し送信してください。

※本機に同梱されているB-CASカードのユーザー登録はがきも必要事項をご記入の上、投函願います。
※電話による登録/登録確認は、お受けできませんので、予めご了承ください。

お問い合わせは
（株）メディアサーブ　双方向サービスセンターまでお電話ください。

年中無休　営業時間10:00～18:00
・東京 03−5351−9388　・大阪 06−6444−6055
・名古屋 052−265−3866　・福岡 092−732−8901

その他

仕様

品名		BS･110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ	
		プラズマテレビ一式（チューナー､プラズマモニター､スピーカー）	リモコン
形名		35P2700	CT-90125
電源		AC100V　50/60Hz 共用	DC3V（単四形、2個）
外形寸法	幅	89.3cm（スピーカー底部設置時）	—
	高さ	63.5cm	
	奥行	30.9cm	
質量（重量）		32.9kg	
主な付属品		取扱説明書 ×1部 リモコン ×1個 リモコン用乾電池（単四） ×2個 電源コード ×2本 AC変換プラグ ×1個 ビデオコントロールケーブル ×1本 モニター専用接続ケーブル ×1本 ケーブル抑え ×3個 スピーカーコード ×2本	同軸ケーブル ×1本 電話機コード（10m） ×1本 モジュラー分配器 ×1個 B-CASカード ×1枚 スピーカー ×2個 スピーカー取り付けネジ ×4個 デジタル放送受信契約申込書 ×一式

品名		BS･110度CSデジタルハイビジョンチューナー
形名		TT-P270B
電源		AC100V　50/60Hz 共用
消費電力	電源入	60W（BSまたは110度CS留守録時26W）
	待機	2.5W（i.LINK制御なし）
		6.5W（i.LINK制御あり）
外形寸法	幅	50.0cm
	高さ	10.8cm（脚含む）
	奥行	30.9cm（端子含む）
質量（重量）		6.0kg
受信チャンネル		VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C38）、 BSデジタル（BS000～BS999）、110度CSデジタル（CS001～CS999）
音声出力		実用最大出力　8W+8W+10.5W+10.5W（JEITA）
入力・出力端子	ビデオ入力（入力1、2、3/ゲーム、4、5）	S2映像（Y入力）：1V（p-p）、75Ω、同期負、S2映像（C入力）：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：150mV（rms）、22kΩ以上（ピンジャック）
	オーディオ出力（固定）	音声：150mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）
	デジタル放送録画出力	S1映像（Y出力）：1V（p-p）、75Ω、同期負、S1映像（C出力）：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：250mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）
	D4映像（ビデオ1、4）	14ピン、2列、1.27mmピッチ Y:1V（p-p）、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7V（p-p）
	PC入力	アナログRGB入力端子　ミニD-sub 15ピン
	i.LINK（TS）	IEEE1394　4pin type、S200対応、MPEG-TS信号
	光デジタル音声出力	トスリンク
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω
	副画面イヤホーン	口径3.5mmイヤホーンジャック
	ビデオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック
	オーディオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック
	スピーカー接続端子	実用最大出力8W＋8W（JEITA）、インピーダンス8Ω
	バズーカスピーカー接続端子	実用最大出力10.5W＋10.5W（JEITA）、インピーダンス6Ω
	スマートメディア™スロット	3.3V　2/4/8/16/32/64/128MBに対応
	SDメモリカードスロット	3.3V　8/16/32/64/128/256MBに対応
	AC100V入力/出力端子	アース端子付き3芯端子、最大入/出力300W
使用条件		使用周囲温度 0℃～40℃　使用周囲湿度 10%～80%（結露のないこと）

品名		プラズマモニター
形名		35P270M
電源		AC100V　50/60Hz 共用
消費電力		215W（待機時1.5W）
年間消費電力量		295kWh/年
外形寸法	幅	89.3cm（スピーカー含まず）
	高さ	54.0cm
	奥行	9.9cm
質量（重量）		22.5kg（スピーカー含まず）
表示サイズ（画面寸法）	幅	78.6cm
	高さ	44.2cm
	対角	90.1cm
アスペクト比		16：9
画素数 1)		853（H）×480（V）
専用チューナー接続端子		26ピン
使用条件		使用周囲温度 0℃～35℃　使用周囲湿度 20%～80%
保存条件		使用周囲温度 －10℃～50℃　使用周囲湿度 10%～90%

1）1画素はRGB3原色のドット・トリオで構成されます。
- 本モニターは経済産業省の「家庭汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づいた適合品です。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

品名	スピーカー	バズーカスピーカー
使用スピーカー	8cmφ×2個、2.5cmφ×2個	8cmφ×2個
入力インピーダンス	8Ω	6Ω

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- テレビのV型（35V型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 「高調波ガイドライン」適合品－高調波ガイドライン適合品とは、経済産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した商品です。
- 本機を使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  （This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- チューナーまたはリモコンの電源ボタンで電源を切っても本機にわずかな電流が流れています。

※本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictry prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

入力できるパソコン信号について

- ノーマルモードのとき、各信号は640ドット×480ラインに変換して表示します。（ただし、※1～※3の場合を除く）
- フルモードのとき、各信号は853ドット×480ラインに変換して表示します。（ただし、※2の場合を除く）

モデル Signal Type		表示解像度（ドット×ライン）	周波数 垂直周波数（Hz）	周波数 水平周波数（kHz）	同期極性 水平	同期極性 垂直	同期の有無 水平	同期の有無 垂直	画面モード ノーマル（4：3）	画面モード フル（16：9）	RGBセレクト
IBM PC/AT互換機		640×400	70.1	31.5	負	負	有	有	有※1,2	有	ー
		640×480	59.9	31.5	負	負	有	有	有※2	有	スチル
			72.8	37.9	負	負	有	有	有※2	有	ー
			75.0	37.5	負	負	有	有	有※2	有	スチル
			85.0	43.3	負	負	有	有	有※2	有	ー
			100.4	51.1	負	負	有	有	有※2	有	ー
			120.4	61.3	負	負	有	有	有※2	有	ー
		848×480	60.0	31.0	正	正	有	有	ー	有※2	ワイド2
		852×480	60.0	31.7	負	負	有	有	ー	有※2	ワイド1
		800×600	56.3	35.2	正	正	有	有	有	有	スチル
			60.3	37.9	正	正	有	有	有	有	スチル
			72.2	48.1	正	正	有	有	有	有	ー
			75.0	46.9	正	正	有	有	有	有	ー
			85.1	53.7	正	正	有	有	有	有	ー
			99.8	63.0	正	正	有	有	有	有	ー
			120.0	75.7	正	正	有	有	有	有	ー
		1,024×768	60.0	48.4	負	負	有	有	有	有	スチル
			70.1	56.5	負	負	有	有	有	有	ー
			75.0	60.0	正	正	有	有	有	有	スチル
			85.0	68.7	正	正	有	有	有	有	ー
			100.6	80.5	負	負	有	有	有	有	ー
		1,152×864	75.0	67.5	正	正	有	有	有	有	スチル
		1,280×768	56.2	45.1	正	正	有	有	ー	有	ワイド1
		1,360×765	60.0	47.7	正	正	有	有	ー	有※2	ワイド1
		1,360×768	60.0	47.7	正	正	有	有	ー	有	ワイド1
		1,376×768	59.9	48.3	負	正	有	有	ー	有	ワイド2
		1,280×1,024	60.0	64.0	正	正	有	有	有※3	有	ー
			75.0	80.0	正	正	有	有	有※3	有	ー
			85.0	91.1	正	正	有	有	有※3	有	ー
		1,600×1,200	60.0	75.0	正	正	有	有	有	有	ー
			65.0	81.3	正	正	有	有	有	有	ー
			70.0	87.5	正	正	有	有	有	有	ー
			75.0	93.8	正	正	有	有	有	有	ー
Apple Macintosh		640×480	66.7	35.0	Sync on G	Sync on G	ー	ー	有※2	有	ワイド1
		832×624	74.6	49.7	Sync on G	Sync on G	ー	ー	有	有	ワイド1
		1,024×768	74.9	60.2	Sync on G	Sync on G	ー	ー	有	有	ー
		1,152×870	75.1	68.7	Sync on G	Sync on G	ー	ー	有	有	ー
Work Station	EWS4800	1,280×1,024	60.0	64.6	負	負	有	有	有※3	有	ー
			71.2	75.1	負	負	有	有	有※3	有	ー
	HP	1,280×1,024	72.0	78.1	ー	ー	ー	ー	有※3	有	ー
	SUN	1,152×900	66.0	61.8	C Sync	C Sync	ー	ー	有	有	ー
			76.0	71.7	C Sync	C Sync	ー	ー	有	有	ー
		1,280×1,024	76.1	91.1	C Sync	C Sync	ー	ー	有※3	有	ー
	SGI	1,024×768	60.0	49.7	ー	ー	ー	ー	有	有	ー
		1,280×1,024	60.0	63.9	ー	ー	ー	ー	有※3	有	ー

- プラズマモニターの性質上、上記解像度においても、パソコン本体のタイミング誤差によって、ユーザーによる位置・サイズ・位相などの調整が必要になります。このときは、107ページ～109ページの「画面の設定」をご覧ください。
- IBM PC/ATは米国 International Business Machines, Inc. の登録商標です。
- Apple Macintosh は米国 Apple Computer, Inc. の商標です。